



DVD

Type II

Navigation Map Vol.4

ナビゲーションブック

使いこなす
ために
読む本

ナビゲーションのすべての機能を説明しています。

初めてお使いになるときは、自宅の場所を登録してください。(P.83)
タイヤを交換したときや、本体の設置場所・設置方法を変更したときは、
センサーリセットをしてください。(P.297)

carrozzeria

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

メニュー操作など複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(走行中にメニュー操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを切って本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

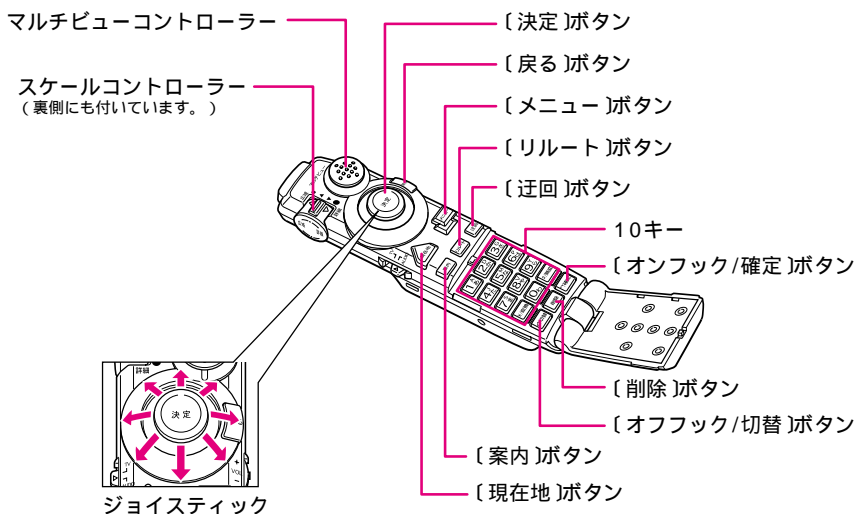
ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、2001年4月現在のものです。また、曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

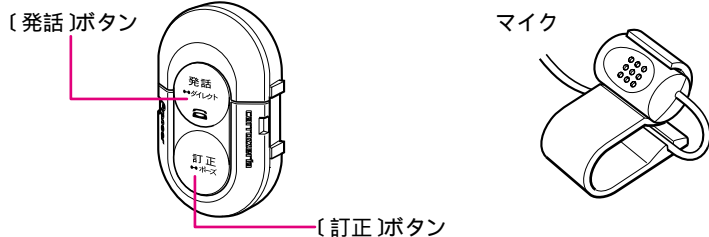
リモコンの各ボタンの表記

手順説明には、操作に必要な各ボタンを次の名称で表わしています。お手持ちのリモコンで、ボタンの位置などを確認してください。

リモコン



音声認識コントローラー/マイク



本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

Chapter 1 画面を見る / 操作する 7	Chapter 2 行き先決定 / ルート案内 33
地図表示の見かた 8	ルート設定とルート案内について 34
現在地画面：ノーマルビューの場合 8	行き先までのルートを探索させる 35
スクロール画面：ノーマルビューの場合 9	ルートが決まったら 38
スクロール画面：スカイビューの場合 9	画面表示による誘導・案内 38
起動後に地図の画面が表示されたら 10	音声による誘導・案内 40
自分の車の現在地を確認する 10	自動的にルートを再設定させる 42
見たい場所まで地図を動かす 10	ドライブガイドでルートを探す 44
見たい場所の地図をすばやく表示させる 11	自宅に帰るルートを探索させる 46
スクロールしながら地図の縮尺を変える.. 11	ワンタッチで操作する 46
画面を左右に分割してスクロールする.. 11	メニューから操作する 46
地図の縮尺を変える 12	リストから行き先を選ぶ 47
詳しい地図を見る / 広い範囲の地図を見る.. 12	ルートの探索条件を指定する 48
地図の縮尺を小さくすると 13	立ち寄りしたい場所を指定する 50
地図の表示方法を変える 14	ルート探索開始前に指定する 50
地図を左右に回転させる 16	立寄地を追加する 52
地図を見る角度を変える 17	ルートから立寄地を削除する 52
現在地画面の見えかたを登録する 18	立ち寄り順序を替える 53
高速道路の施設情報を見る 19	ルートの出発地を指定する 54
施設情報を見る 19	ふだんよく通る道をルートに使う 55
道路料金を確認する 21	登録道をルートに組み込む 56
メニューの種類 22	Chapter 3 場所を探す / 登録する 59
メインメニュー 22	名前を入力して探す 60
ショートカットメニュー 23	住所を指定して探す 62
ダイレクトキー 23	電話番号を入力して探す 64
カスタマイズショートカットメニュー.. 23	ジャンルを指定して探す 65
メニュー操作の基本 24	やりたいこと(テーマ)を指定して探す 69
文字を入力する 28	近くのガソリンスタンドなどを探す 72
英数字や記号を入力する 28	郵便番号を入力して探す 75
カタカナを入力する 28	緯度経度を入力して探す 76
ひらがなを入力する 29	最近探した場所から探す 77
漢字を入力する 30	登録した場所から探す 78
難しい漢字を入力する 30	検索におけるデータベースについて 80
誤って入力した文字を削除する 30	友人宅などを登録する 81
文字を挿入する 31	自宅の場所を登録する 83
文字入力を終了する 31	回避したい場所を登録する 84
	携帯電話のデータを使って登録する 85

Chapter 4 案内中のルート	87	MONET-i とは	115
行き先までのルートを再探索する	88	インターネット接続の準備をする	116
ワンタッチで操作する	88	プロバイダーを一覧から選ぶ	116
メニューから操作する	88	プロバイダーの設定を手動で行う	119
渋滞などを迂回する	89	ブラウザの表示を設定する	123
ワンタッチで操作する	89	2つのプロバイダーを使い分けるときは	123
メニューから操作する	89	ホームページを見る	124
案内中のルートに立寄地を追加する	91	インターネットに接続する	124
最初の立寄地を追加する場合	91	画面を操作する	125
すでに立寄地を追加してある場合	91	画面が正しく表示されないときは	127
ルートから立寄地を削除する	92	データの読み込みを中止する	127
立ち寄り順序を替える	92	ホームに戻る	128
ルートの道順を確認する	93	URLを指定してホームページを表示させる	128
ルートプロフィールで確認する	93	気に入ったホームページを登録する	129
ルートスクロールで確認する	93	登録したホームページを呼び出す	130
案内中のルートを登録する	94	登録したホームページを削除する	131
ルート案内を中止する	95	表示中のホームページをPCカードに保存する	131
Chapter 5 VICS情報を利用する	97	PCカードに保存したホームページを表示する	132
VICSとは	98	以前見たことのあるホームページを表示する	133
VICS情報の提供方法	98	ホームの登録先を変える	133
VICS情報の表示形態	99	接続を解除する	134
渋滞や交通規制などの地図情報を見る	100	インターネットの基礎知識	136
VICS情報マークの詳細を見る	102	Chapter 7 各種情報を利用する	139
特定の情報だけが知りたいときは	103	気象情報を見る	140
VICS情報を簡易図形や文字で見る	104	データを取得する	142
簡易図形表示で見る	104	天気予報を見る	143
文字表示で見る	105	天気予報時刻を選ぶ	144
ビーコンからの情報を見る	106	アメダス情報を見る	144
渋滞を考慮したルートを探索する	107	警報・注意報を見る	145
今いる地域以外の放送局を選局する	108	FM文字放送の番組を見る	146
放送局の受信感度を確認する	108	FM放送局を選ぶ	146
リストから選ぶ	109	番組内容を現在地画面に表示させる	147
シークで選ぶ	109	番組を見る	147
マニュアルで選ぶ	110	Chapter 8 携帯電話を利用する	149
VICSセンターからの連絡を見る	111	携帯電話を利用する前に	150
Chapter 6 インターネットを利用する	113	機器を準備する	150
インターネットを利用する前に	114	携帯電話で通話するときは	150
インターネットとは	114	携帯電話を使う	152
インターネットを利用するまで	114	電話をかける / 切る	152
インターネットナビシステムとは	115	本機に登録された電話番号にかける	152
		ハンズフリーで通話する	153

音声認識コントローラーで操作する .. 154	最近探した場所を編集する .. 192
最近通話した相手に電話をかける .. 154	最近探した場所を地図で確認する .. 192
最近通話した電話番号を消す .. 155	最近探した場所を消す .. 193
ロードサービスを利用する .. 157	登録したデータをPCカードで管理する .. 194
携帯電話のデータを利用する .. 158	データをPCカードに保存する .. 194
携帯電話のデータを本機に転送する .. 158	PCカードのデータを読み込む .. 196
メモリダイヤルに電話をかける .. 159	PCカードのデータを消去する .. 197
リストからメモリダイヤルを消す .. 160	PCカードを初期化する .. 198
短縮ダイヤルを使う .. 162	ナビゲーションの設定を変える .. 199
短縮ダイヤルに登録する .. 162	ナビゲーションの設定一覧 .. 200
短縮ダイヤルで電話をかける / 切る .. 163	設定の詳細 .. 203
受話・着信音量を調整する .. 164	「地図」メニューの内容 .. 203
Chapter 9 その他の操作 .. 165	「ルート」メニューの内容 .. 207
指定したロゴマークを地図上に表示する .. 166	「VICS」メニューの内容 .. 209
登録した場所の情報を編集する .. 168	「その他」メニューの内容 .. 211
登録した場所を呼び出す .. 168	ハードウェアの調整を行う .. 215
名前を変更する .. 169	音量を調整する .. 215
マークを変更する .. 170	TVモニターの表示位置を調整する .. 216
立体マークを変更する .. 170	自転車位置のずれを修正する .. 217
よみを変更する .. 171	ナビゲーションの状態を画面で見る .. 218
電話番号を変更する .. 171	走行状態画面を見る .. 218
効果音を変更する .. 172	衛星測位状態画面を見る .. 219
画像を変更する .. 173	センサー学習状況画面を見る .. 220
探索条件を変更する .. 174	配線の接続状態を確認する .. 222
位置を移動する .. 175	外部カメラを使う .. 225
登録した場所を消す .. 176	車のギアと連動させるには .. 225
登録したルートを編集する .. 177	手動で画面を切り換えるには .. 225
登録したルートを呼び出す .. 177	
名前を変更する .. 178	Chapter 10
登録したルートを消す .. 179	<u>ショートカットメニュー・ダイレクトキー</u> .. 227
走行軌跡を登録・編集する .. 180	ショートカットメニューを使う .. 228
走行軌跡を登録する .. 180	メニューを表示させる .. 228
走行軌跡を呼び出す .. 182	ここの情報を見る .. 228
名前を変更する .. 183	ここへ行く .. 230
走行軌跡を消す .. 184	ここへ立ち寄る .. 230
ルートに使いたい道を登録・編集する .. 186	ここを登録する .. 231
ルートに使いたい道を登録する .. 186	この周辺を探す .. 231
登録道を地図で確認する .. 187	ルートスクロール .. 231
名前を変更する .. 188	ダイレクトキーを使う .. 232
登録道を消す .. 189	10キーをカスタマイズする .. 233
学習した道を再学習させる .. 191	10キーに割り当て可能な機能の一覧 .. 235

Chapter 11 音声で操作する	241
音声操作のポイント	242
正しく発話を認識させるには	242
音声操作の流れ	243
地図を操作する	248
地図上の情報を確認する	249
VICS情報を確認する	249
最寄りの高速道路までの距離を確認する	250
現在の日時を確認する	250
地図を確認しやすいように	
ボイスヘルプの表示を消す	250
場所を探す	251
近くのカソリンスタンドなどを探す	251
住所を指定して探す	251
最寄り駅を指定して施設を探す	251
観光地を指定して施設を探す	252
施設名(ジャンル)で場所を探す	252
電話番号から場所を探す	253
登録した場所を探す	253
最近探した場所を探す	254
探した場所を行き先にする	254
探した場所を登録する	254
探した場所に立ち寄る	254
ルートを探索する	255
ルートを探索する	255
自宅へ帰るルートを探索する	256
登録した場所を行き先にする	256
近くのカソリンスタンドなどへ行く	256
ルートを確認する	257
ルートを修正する・消す	258
テレビを操作する	259
電話を操作する	260
検索した施設に電話をかける	260
登録した場所に電話をかける	260
電話番号を発話して電話をかける	261
メモリダイヤルに電話をかける	261
フリーダイヤルに電話をかける	261
気象情報を利用する	262
気象データを取得する	262
気象情報を聞く	262
10キーを操作する	263

検索できるジャンルの種類	264
ジャンル名の指定のしかた	
(ジャンルで探す場合)	264
ジャンル名の指定のしかた	
(周辺を探す場合)	266
検索できる観光地の種類	267
住所やインターチェンジの読みかた	274
施設名の読みかた	275
都道府県名の読みかた	276
音声操作の設定を変える	278

Appendix 付録	279
困ったときには	280
故障かな?と思ったら	280
エラーメッセージとその対処方法	287
画面が動かなくなったときは	288
頻繁にシステムエラーが発生するときは	288
使い方Q&Aを見る	289
ナビゲーションのしくみ	290
現在地がわかるしくみ	290
測位の精度を高めるためのしくみ	291
誤差について	293
タイヤを交換したときや本体の設置場所を変更したときは	297
センサーリセットが必要になるのは	297
センサーメモリーを切り換える	297
リセット作業を行う	298
ルートに関する注意事項	300
VICS情報に関する注意事項	302
ETCに関する注意事項	303
天気予報に関する注意事項	304
アメダス情報について	305
詳細市街地図収録エリアについて	306
オービスポイントについて	310
「MapFan V」について	311
2画面でのナビゲーションの映像	312
かな漢字変換できる記号	313
地図記号一覧	314
メニュー別索引	316
キーワード索引	320
やりたいこと索引	324

Chapter 1

画面を見る / 操作する

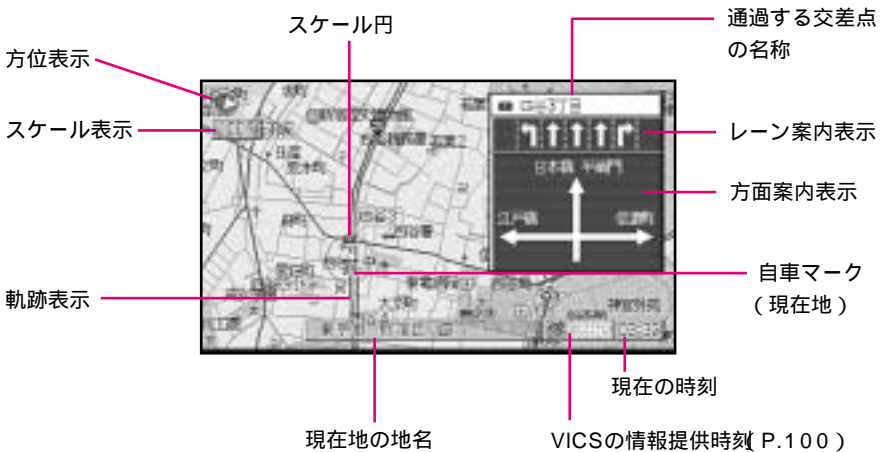
この章の内容

地図表示の見かた	8
起動後に地図の画面が表示されたら	10
見たい場所の地図をすばやく表示させる	11
地図の縮尺を変える	12
地図の表示方法を変える	14
地図を左右に回転させる	16
地図を見る角度を変える	17
現在地画面の見えかたを登録する	18
高速道路の施設情報を見る	19
メニューの種類	22
メニュー操作の基本	24
文字を入力する	28

地図表示の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車（自車）の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所の地図を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面：ノーマルビュー（P.14）の場合



方位表示の赤い三角が北の方向を示します。地図を左右に回転(P.16)させると、矢印の形に変わります。

自車マークは、現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。また進行方向が常に上にくるように地図が回転します(ヘディングアップ)。地図の回転のしかたは、「設定を変える 地図」メニューの「2D地図の回転」(P.203)で変更できます。

軌跡表示は、今までに通った約200km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。スケール円は、ノーマルビューやナイアガラビューなどの2D地図内で表示されます。ノーマルビューではスケール円の半径が、ナイアガラビューではスケール円の直径が、スケール表示の距離になります。

現在地の地名は地図の縮尺が10m～50mの場合、市区町村、住所名、丁目が表示されます(ドライバーズビューは都道府県と市区町村が表示されます。)

現在地の地名は地図の縮尺が100m～1Kmの場合、都道府県と市区町村が表示されます。

現在地の地名は地図の縮尺が2Km以上の場合は表示されません。

ドライバーズビューのウィンドウマップは、ドライバーズビューにする前の地図の縮尺で表示される為、前の地図の縮尺が2km以上の場合、現在地の地名は表示しません。

場所によっては、現在地の地名が表示されないところもあります。

方面案内表示は、実際の表記と異なる場合があります。

走行中は、安全のため細街路(100mおよび200mスケール時の灰色の細い道)は表示されません。

スクロール画面：ノーマルビュー（P.14）の場合

十字カーソル

現在地と十字
カーソルを結
んだ線

現在地から十
字カーソルま
での直線距離



十字カーソルの位置の地名



十字カーソルは、画面の中心に表示されます。

スクロール中は、画面の上下左右に方面案内が表示されます。地図の縮尺が500mスケール未満では市区町村名が、500m以上2km未満では都道府県名が表示されます。

方面案内は、ノーマルビュー、スカイビュー、ナイアガラビュー、ツインビューの左画面、ハイウェイマップ、ピクチャーサイドピクチャーやピクチャーインピクチャーで、ナビゲーションとテレビまたはビデオの映像を左右2画面表示しているときに表示されます。

スクロール画面：スカイビュー（P.14）の場合

スケール表示

グリッド線



グリッド線の間隔が、スケール表示の4倍になります。

スクロール中は、画面の上下左右に方面案内が表示されます。地図の縮尺が500mスケール未満では市区町村名が、500m以上2km未満では都道府県名が表示されます。（場所によっては、上下左右どちらかの方面案内が表示されない場合があります。）

方面案内は、ノーマルビュー、スカイビュー、ナイアガラビュー、ツインビューの左画面、ハイウェイマップ、ピクチャーサイドピクチャーやピクチャーインピクチャーで、ナビゲーションとテレビまたはビデオの映像を左右2画面表示しているときに表示されます。

起動後に地図の画面が表示されたら

3Dハイブリッドセンサーのリセット(『スタートブック』参照)が正しく行われた場合、本機の電源を入れディスクをセットしたあと、しばらくすると地図画面が表示されます。

自分の車の現在地を確認する

1. [現在地] ボタンを押す

自分の車の現在地と進行方向を示す「自車マーク」が表示された「現在地画面」になります。走り始めると、地図上の自車マークが車の走行に合わせて自動的に動きます。



自車マーク



本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は過去の現在地(最後に測位したところ)が表示されます。

自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向とは異なる場合があります。(誤差について P.293)

見たい場所まで地図を動かす

1. 見たい場所がある方向へジョイスティックを倒す

ジョイスティックは上下左右、およびその間の斜め方向に動かすことができます。ジョイスティックを倒すと、倒した方向に地図が動きます(地図のスクロール)。

地図を動かしてジョイスティックから手を離すと、画面は「スクロール画面」になります。(十字形のカーソルが画面の中心に表示された状態です。)



MEMO

地図やリストなどが画面上で動くことをスクロールといいます。

ジョイスティックを倒しながら、スケールコントローラーを倒すと、スクロールしながら地図の縮尺を変えることができます(ズームングスクロール)。

ジョイスティックを倒したまま、さらに[決定]ボタンを押し続けると、スクロールのスピードが速くなります。このとき、ハイパーツインスクロール(P.11)がONの場合は、画面が左右2つに分割されます。OFFの場合は、画面が分割されずにスクロールします(ハイパースクロール)。

見たい場所の地図をすばやく表示させる

地図をスクロールする方法を変えて、見たい場所の地図をすばやく表示させることができます。(ズームングスクロールとハイパーツインスクロール)

スクロールしながら地図の縮尺を変える

縮尺の大きい地図で見たい場所がどのあたりかを確認して、縮尺を小さくしながら地図をスクロールさせていくことで、目的の場所を絞り込んでいきます。(ズームングスクロール)

1. ジョイスティックを倒しながらスケールコントローラーを倒す



スクロール
方面表示



スクロールすると同時に地図の縮尺が変わります。

画面を左右に分割してスクロールする

地図をスクロールさせる方向が分かっている場合は、この方法でスクロールすると、地図を高速にスクロールさせることができます。(ハイパーツインスクロール)

1. ジョイスティックを倒したまま、さらに「決定」ボタンを押し続ける



左画面の縮尺はそのまま、右画面は、左画面より2段階大きい尺度の2D地図で、両方同時にスクロールします。



次のときはハイパーツインスクロールにはなりません。(スクロールのスピードが速くなる、ハイパースクロールとなります。)

ツインビュー、ドライバズビュー (P.15) のとき

ピクチャーサイドピクチャーでナビゲーションとテレビの映像を左右2画面表示しているとき

地図の縮尺が200kmと500kmスケールのとき

スクロール速度向上の為、スクロール中に地図の一部が欠けて表示される場合があります。

MEMO

ハイパーツインスクロールは、「設定を変える 地図」メニューの「ハイパーツインスクロール」(P.205) でON/OFFできます。

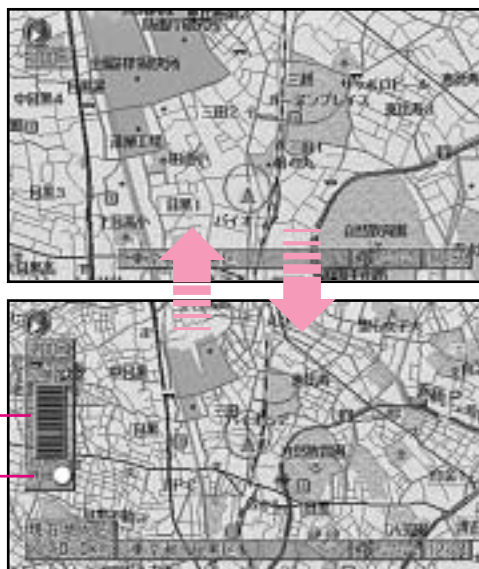
地図の縮尺を変える

10mから500kmまでのスケール表示の範囲で地図の縮尺を変えることができます。

詳しい地図を見る / 広い範囲の地図を見る

より詳しい地図で、細かい道路まで見たいときは、地図の縮尺を小さくしてください。だいたいの位置を知るときや、広い範囲を見るときは、地図の縮尺を大きくしてください。

1. 縮尺を大きくするときにはリモコンのスケールコントローラーを「広域」側に倒す
小さくするときには「詳細」側に倒す



MEMO

スケールコントローラーを倒すたびに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmのスケール表示ごとに縮尺が変わります。

スケールコントローラーを倒し続けると、スケール表示は同じでもスケール円の大きさ（スカイビューのときはグリッド線の間隔）が変化して、細かく縮尺が変わります（フリーズーム）。

ジョイスティックを倒しながらスケールコントローラーを倒すと、スクロールしながら地図の縮尺を変えることができます（ズームングスクロール）。

地図を2画面（ツインビュー）で表示しているときは

スケールコントローラーを倒すと、左画面の縮尺だけ変わります。右画面の縮尺を変えたいときは、マルチビューコントローラーを2秒以上長く押します。右画面の縮尺を変更できる状態になるので、通常の場合と同様にスケールコントローラーを使って地図の縮尺を変更します。〔決定〕ボタンを押すと、変更内容が登録されます。

地図の縮尺を小さくすると

ビルなどの建物が立体表示されたり、詳細な市街地図が表示されるようになります。

立体ランドマーク表示

スカイビュー、ナイアガラビュー、ハイウェイマップなどの3D地図（ツインビューの3D地図を含む）（P.14）の場合、10m～1kmスケールの地図では、代表的な建物が立体的なランドマークで表示されます。

立体ランドマーク表示は、「設定を変える 地図」メニューの「立体ランドマーク表示」（P.204）でON/OFFできます。



シティマップ

ノーマルビュー、ナイアガラビュー、ウインドウマップなどの2D地図（ツインビューで表示させた2D地図も含む）10m～50mスケールで表示している場合は、地域によって次のような詳細な市街地図（シティマップ）が表示されます

シティマップでは一方通行の規制が表示されます（一部表示されないところもあります）。

シティマップの表示は、「設定を変える 地図」メニューの「シティマップ」（P.204）でON/OFFできます。



一方通行の規制表示

ビジュアルシティマップ

スカイビュー、ナイアガラビュー、ハイウェイマップなどの3D地図（ツインビューの3D地図を含む）を10m～50mスケールで表示している場合は、次のような立体的な市街地図（ビジュアルシティマップ）が表示されます。

ビジュアルシティマップでは、代表的なビルなどの建物が立体表示されます。自車マークの手前にある場合は、自車マークが見えるように透かし表示されます。（ある程度手前になると、表示されなくなります。）10m～25mスケールの場合、ビルが1つ表示されます。

このほか、ビジュアルシティマップでは一方通行の規制が表示されます。（一部表示されないところもあります。）

ビジュアルシティマップの表示は、「設定を変える 地図」メニューの「ビジュアルシティマップ」（P.204）でON/OFFできます。



全ての建物が立体表示されるわけではありません。

立体ランドマークおよびその他の建物の外見は、実際とは異なる場合があります。

シティマップおよびビジュアルシティマップでは、立体ランドマークは表示されません。（ただし、登録した場所に設定した立体マーク（P.170）は、2つまで表示されます。）

地図の表示方法を変える

利用状況に応じて、地図の表示方法を変えることができます。

1. マルチビューコントローラーを1回押す



ビュー切り換えメニュー

2. マルチビューコントローラーを左右に倒して、表示方法を選ぶ



3. もう一度マルチビューコントローラーを押す



選んだ表示方法で表示される。

MEMO

ビュー切り換えメニューが表示されている間（8秒間）に押してください。

表示方法の種類

ノーマルビュー：
通常の地図（2D地図）で表示されます。



スカイビュー：
上空からヘリコプターで見ているように、3Dで地図を表示します。500m～1kmスケールでは、山岳名が表示されます。



ナイアガラビュー：
上半分はスカイビューで、下半分はノーマルビューで地図を表示します。遠くから手前に地図が流れるように表示されます。



ドライバーズビュー：

ドライバーの目線から見たように地図を表示します。信号やお店など、目印となる情報が表示されます。コンビニエンスストアやガソリンスタンド、ファミリーレストラン、カーディーラーの建物は立体で表示されます。(一部表示されないところもあります。) また、画面の中にはノーマルビューの地図も表示されます(ウィンドウマップ)。ドライバーズビューでは、地図の回転やスクロールも行えます。

**ツインビュー：**

自車位置と目的地など、2つの場所を同時に表示します。右画面ではノーマルビューで常に自車位置を表示します。左画面は地図の回転、表示方法や角度の変更、スクロールができます。左右の画面それぞれで、縮尺を変更することができます。



3D地図が
表示される

登録させた縮尺
で表示される
(P.12)

ハイウェイモード：

高速道路走行の専用画面です。前方の高速道路施設までの距離や高速料金、高速の分岐方向などが表示されます。目的地までの距離、到着予定時刻も表示されます。また、右側にはサイドマップとして、直前で選んでいた表示方法と縮尺で地図が表示されます。

**ハイウェイマップ：**

高速道路だけを目立たせた3D地図です。複雑な都市高速の接続関係や渋滞が一目でわかります。



ナイアガラビューでは、地図の縮尺によってはスケール円が3D地図部分にはみ出すことがあります。はみ出した部分の距離は正しくありません。3D地図の距離は、スケール円ではなく、グリッド線の間隔で判断してください。

MEMO

ドライバーズビューで表示されるウィンドウマップは、ON/OFFの切り換え(P.204) 縮尺変更、回転、スクロールを行うことができます。

地図を左右に回転させる

地図を左右に回転させて、違う方向から地図を見ることができます。

1. 地図の左側を上に向けたいときはマルチビューコントローラーを左側に倒す
地図の右側を上に向けたいときは右側に倒す



左側に倒すと



方位表示

矢印が変わる（矢印の向きが北を示す）

右側に倒すと



地図の回転を解除するには

現在地画面のときに〔現在地〕ボタンを押してください。方位表示が矢印からひし形に戻り、地図の回転が解除されます。



ハイウェイモードで表示中に、地図（サイドマップ）を回転することはできません。

MEMO

地図を回転した場合、地図の向きが固定され、走行しても自動的に回転しなくなります（ヘディングアップやノースアップにはなりません）。自動的に回転するようにしたいときは、地図の回転を解除してください。

地図を見る角度を変える

地図を見る角度を変えることができます。

1. 地図を見る角度を深くしたいときはマルチビューコントローラーを上側に倒す
角度を浅くしたいときは下側に倒す



下側に倒すと



上から見おろした地図になる



上側に倒すと



視線を上げて遠くまで見渡す地図になる



ツインビューの右画面とドライバーズビュー、およびドライバーズビューのウィンドウマップの角度を変えることはできません。

MEMO

ノーマルビューのときにマルチビューコントローラーを上側に倒すと、スカイビューになります。

スカイビューのときにマルチビューコントローラーを下側に倒し続けると、最後にノーマルビューになります。

ニアガラビューのときにマルチビューコントローラーを上下に倒すと、画面上半分の角度が変わります。

ツインビューのときにマルチビューコントローラーを上下に倒すと、左画面の角度が変わります。

現在地画面の見えかたを登録する

地図の表示方法ごとに、「現在地」ボタンを押したときの地図画面の縮尺と地図を見る角度を登録しておくことができます。(ビューメモリー)

1. 現在地画面のときに、「現在地」ボタンを2秒以上長く押す
現在の地図縮尺と地図を見る角度が登録されます。



登録したとき

以降、現在地画面で「現在地」ボタンを押した際は、上記の操作で登録した縮尺と角度の地図が表示されます。



現在地画面で「現在地」ボタンを押したとき



ハイウェイモードは登録できません。
2D地図では、地図を見る角度は登録できません。

MEMO

地図を左右に回転しているときは、「現在地」ボタンを押すと、まず最初に回転が解除されます。もう一度「現在地」ボタンを押すと、登録した縮尺と上下の角度になります。

スクロール画面のときは、現在地画面の縮尺と角度に戻ります。

高速道路の施設情報を見る

施設情報を見る

高速道路走行中にマルチビューコントローラーでハイウェイモードに切り換える（P.14）と、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアの施設情報や、そこまでの距離を確認できます。

ハイウェイモードでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。また、ジョイスティックを倒すことで、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見ることも可能です。



ジョイスティックを上動かすと...



ルートを設定した場合は、ルートの道塗りもされます。

通常の地図表示に戻したいときは、マルチビューコントローラーで切り換えて（P.14）ください。

ルート設定中に高速道路出口のおよそ1km手前になると、自動的に通常の地図表示に戻ります。

ジャンクションやインターチェンジなど、高速道路に併設されている施設を通過して高速道路を降りる場合、高速道路を降りるまでハイウェイモードで表示されます。一般道に降りると、メッセージの表示後、通常の地図表示に戻ります。

高速道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

次の高速道路施設が近くなると、施設情報で表示される距離が長くなったり短くなったりすることがあります。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報



ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）



身障者用トイレ



おみやげ屋



レストラン



休憩所



コインランドリー



風呂



シャワー



郵便ポスト



ファクシミリ



仮眠所



案内所



キャッシュサービス

料金表示について

- ルートを設定されている場合には料金が表示されます。（設定されていない場合は表示されません。）
- 高速道路上でルートを設定した場合は、料金は表示されません。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。
- 高速道路上でリルート（リアルタイムリルートを含むルートの再探索）が行われると「****」の表示になります。
- 料金表示は、都市高速・都市間高速・一部の有料道路で2002年7月1日現在の普通車のものです。

都市高速走行時のハイウェイモード

都市高速では、わかりにくいランプやジャンクションがイラスト表示されます。ルートを設定したときはルートの道塗りもされます。



VICS情報表示時のハイウェイモード

表示している施設までの区間に渋滞が発生している場合には、渋滞のマークが表示されます。また、規制情報やサービスエリア、パーキングエリアの駐車場満空情報もマーク（P.101）で表示されます。



渋：渋滞

混：混雑

道路料金を確認する

高速道路を走行していなくても、高速道路の入口と出口を指定して、その間の道路料金を確認することができます。

1. 入口として希望する高速道路インターチェンジ付近にある情報マーク[Ⓜ]に十字カーソルを合わせる

MEMO

Ⓜは10m～500mスケールのときに表示されます。(ただし、シティマップ表示ではⓂは表示されません。)



2. 「決定」ボタンを押してショートカットメニューを表示させる

MEMO

ショートカットメニューの詳細は、「ショートカットメニューを使う」(P.228)をご覧ください。

3. **この情報を見る**を選び「決定」ボタンを押す



4. ジョイスティックを倒して出口として希望するインターチェンジまで進み、料金を確認する



料金表示

5. 確認し終わったら、「現在地」ボタンを押す

メニューの種類

本機の基本的な操作は、メニューから項目を選択して行います。
メニューには、メインメニューの他にも数種類のメニューがあります。
ここでは、メインメニューの一覧と他のメニューの内容について説明します。

メインメニュー

[メニュー]ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

行き先 (Chapter2)

ドライブの行き先が決まっていれば、その行き先をセットするだけで、自動的に道順を決めてくれます。

曲がる交差点も音声で案内してくれるので、知らない道でも迷うことなくドライブできます。



場所 (Chapter3)

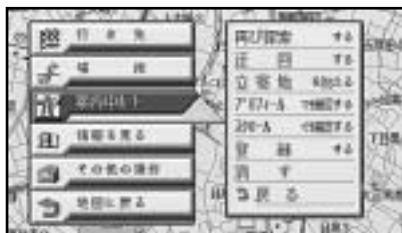
ホテル、遊園地などの電話番号や名前から、その施設周辺の地図を表示させることができます。

また、現在地やスクロール先周辺のコンビニ、ガソリンスタンドなどを探することができます。このほか、友人の家や気に入ったレストランなど、覚えておきたい場所を登録させることができます。



案内中のルート (Chapter4)

設定されているルートを修正したり、登録しておくことができます。



情報を見る (Chapter5、6、7)

VICS(道路交通情報通信システム)の情報を見ることができます。

本機にデジタル携帯電話をつないだ場合、インターネットのホームページを見たり、気象情報を見たりすることができます。また、FM文字放送を見ることが可能です。



その他の操作 (Chapter8、9)

お店のマークを表示させたり、ナビゲーションの状態を見ることができます。また、各種の設定を変更することができます。本機にデジタル携帯電話を接続すると電話をかけたり、携帯電話のデータを本機に転送して利用したりすることができます。



AVIC-D6500では、Chapter6、Chapter8で説明している操作と、Chapter7で説明している一部の操作はご利用できません。

ショートカットメニュー

(Chapter10)

ショートカットメニューでは、ルート探索や場所の登録など、利用頻度の高い機能が割り当てられており、十字カーソル(または現在地)のある位置に対して、その操作をすばやく行うことができます。

通常メニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく簡単に操作できます。



ダイレクトキー

(Chapter10)

リモコンの10キー、〔案内〕ボタン、〔リルート〕ボタン、〔迂回〕ボタンを総称して、「ダイレクトキー」といいます。ダイレクトキーを押すと、割り当てられた機能がワンタッチで動作します。

また、10キーにはお好みの機能を割り当てることもできます。

カスタマイズショートカットメニュー

(Chapter10)

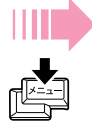
カスタマイズショートカットメニューでは、リモコンの10キーに割り当てられた機能がメニューとして表示され、操作することができます。

メニュー操作の基本

「〔メニュー〕ボタンを押してメニューを表示させ、ジョイスティックで項目を選んで〔決定〕ボタンを押す」というのが操作の基本的な流れです。この説明書では、「ジョイスティックを動かして項目を選び〔決定〕ボタンを押す」という一連の操作を、「項目を選び、〔決定〕ボタンを押す」というように、ひとつの手順として表記しています。ここでは、一連の操作でのボタンを押したときの画面の変化や、画面上の項目の選びかたなどについて説明します。

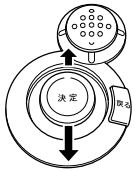


メニューの表示



項目の選択

ジョイスティックを上下に倒して、目的の項目を反転表示させます。



項目の選択



途中で操作がわからなくなったり操作を誤ったときは

- 画面に**戻る**という項目がある場合は、〔戻る〕ボタンを押すと、前の画面に戻ることができます。(画面に表示された**戻る**をジョイスティックで選んで〔決定〕ボタンを押しても同様です。)
- 〔メニュー〕ボタン、または〔現在地〕ボタンを押すことで、今までのメニュー操作が中止され、スクロール画面または現在地画面に戻ることができます。(ホームページを見る操作を行っているときは、〔メニュー〕ボタンでは地図画面に戻れません。〔メニュー〕ボタンは、インターネットメニューの表示/非表示切り換えになります。)

項目の選択



選択項目の決定

〔決定〕ボタンを押して、反転表示させた項目に決定します。



MEMO

現在選ばれているメニュー項目に対応したメニューがある場合は、画面の右側に表示されます。このときジョイスティックを右に倒すと、〔決定〕ボタンを押した場合と同様に右側のメニューに移動することができます。ジョイスティックを左に倒すと、左側のメニューに戻ります。

メニューの
消去



メニューの再表示は、もう一度〔メニュー〕ボタンを押す。

選択項目の
決定



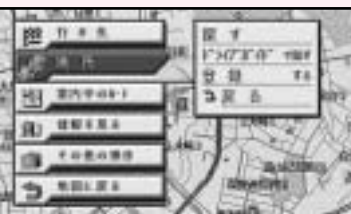
選択項目の
決定



項目の選択



選択項目
の決定



ジョイスティック
を右に倒す



気象情報の取得 (P.138) や、携帯電話からメモリダイヤルの読み込み (P.158) を行っている間など、〔メニュー〕ボタンや〔現在地〕ボタンの操作ができない場合があります。

各機能の画面での共通操作

各機能によって画面に表示される内容は異なりますが、次のようなルールで統一されています。

縦に並んだ項目は、ジョイスティックを上下に倒して選ぶ。

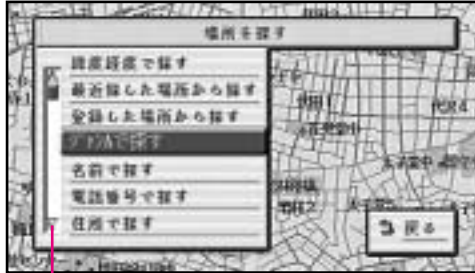


左右の項目間は、ジョイスティックを左右に倒して選ぶ。



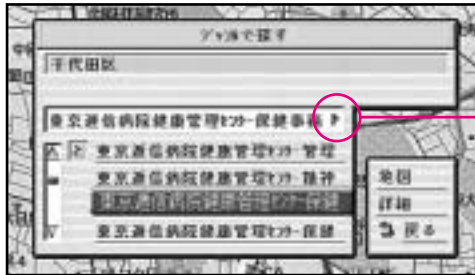
リスト表示の画面では

リスト中で選択する項目が画面に表示しきれないときには、リストの左横に「」が表示されます。このような場合でも、ジョイスティックを上下に倒せば、見えていない項目を表示させることができます。



上下に隠れた項目があるときに表示される

ボックス内に文字が入りきらないときには、マルチビューコントローラーを左右に倒せば、見えていない部分を表示させることができます。



ここに「▶」が表示される

MEMO

都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、スケールコントローラーを「広域」側や「詳細」側に倒すと、50音の行(アイウエオ...)をとばしながら選ぶことができます。その他の項目のリストでは1画面分ずつとばすことができます。

文字を入力する

場所の名前を登録したり、目的地の検索などを行うときには、文字入力用の画面が表示されます。この画面を使って英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字を入力することができます。また、リモコンの10キーを使って文字を入力することも可能です。

英数字や記号を入力する

1. ジョイスティックで画面左の **英字** **数字** **記号** のいずれかを選び、〔決定〕ボタンを押す
ランプが黄色で点灯した項目の文字種が入力可能になります。



《10キー操作》

〔オンフック / 確定〕ボタン：文字種が切り換わります。

2. ジョイスティックを上下左右に倒して入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

キーに表記された文字を入力できます。例えば、「Mark」なら以下のように押します。

“M” 10キーの **5** を4回押す

“a” 10キーの **1** を1回押す

“r” 10キーの **6** を3回押す

“k” 10キーの **4** を2回押す

〔オンフック / 確定〕ボタン：10キーで入力した文字が確定します。

全角・半角を切り換える

半角文字を入力するときは、ジョイスティックで **半角** を選び、〔決定〕ボタンを押します。全角文字を入力するときは、**全角** を選びます。全角・半角の切り換えは、文字入力する前に行ってください。

カタカナを入力する

1. ジョイスティックで画面左の **カナ** を選び、〔決定〕ボタンを押す
ランプが黄色で点灯した項目の文字種が入力可能になります。



《10キー操作》

〔オフフック / 切替〕ボタン：文字種が切り換わります。

2. ジョイスティックで入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

キーに表記された文字を入力できます。例えば、「パイオニア」なら以下のように押します。

- “ハ” 10キーの $\boxed{6}$ を1回押す
- “。” 10キーの $\boxed{0}$ を6回押す
- “イ” 10キーの $\boxed{1}$ を2回押す
〔オンフック / 確定〕ボタンを押す
(次に入力する“オ”が同じ10キーを使うため、“イ”を確定しておく。)
- “オ” 10キーの $\boxed{1}$ を5回押す
- “ニ” 10キーの $\boxed{5}$ を2回押す
- “ア” 10キーの $\boxed{1}$ を1回押す

全角・半角を切り換える

半角文字を入力するときは、ジョイスティックで**半角**を選び、〔決定〕ボタンを押します。全角文字を入力するときは、**全角**を選びます。全角・半角の切り換えは、文字入力する前に行ってください。

ひらがなを入力する

1. ジョイスティックで画面左の**かな**を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

〔オフフック / 切替〕ボタン：文字種が切り換わります。

2. ジョイスティックで入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

キーに表記された文字を入力できます。例えば、「ふどうまえ」なら以下のように押します。

- “ふ” 10キーの $\boxed{6}$ を3回押す
- “と” 10キーの $\boxed{4}$ を5回押す
- “。” 10キーの $\boxed{0}$ を5回押す
- “う” 10キーの $\boxed{1}$ を3回押す
- “ま” 10キーの $\boxed{7}$ を1回押す
- “え” 10キーの $\boxed{1}$ を4回押す

3. ジョイスティックで画面下の**無変換**を選び、〔決定〕ボタンを押す

《10キー操作》

10キーの〔# / 無変〕：ひらがながそのまま入力されます。

漢字を入力する

1. ジョイスティックで画面左の **かな** を選び、〔決定〕ボタンを押す
《10キー操作》
〔オフフック/切替〕ボタン：文字種が切り換わります。
2. ジョイスティックで入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す
《10キー操作》
キーに表記された文字を入力できます。例えば、「おみせ」なら以下のように押します。
“お” 10キーの **1** を5回押す
“み” 10キーの **7** を2回押す
“せ” 10キーの **3** を4回押す
3. ジョイスティックで画面下の **変換** を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

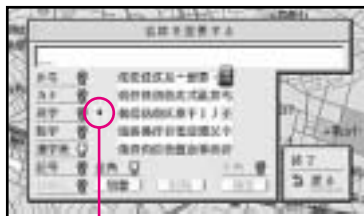
10キーの〔* / 変換〕：読みが漢字に変換されます。

4. 候補から漢字を選び、〔決定〕ボタンを押す



難しい漢字を入力する

1. ジョイスティックで画面左の **漢字表** を選び、〔決定〕ボタンを押す
漢字(JIS第二水準)の一覧が表示されます。
2. ジョイスティックで漢字を選び、〔決定〕ボタンを押す



「◀」を選んで決定ボタンを押すと、次の漢字が表示される

誤って入力した文字を削除する

1. マルチビューコントローラーを左右に倒して、削除したい文字の右側にカーソルを移動する



2. ジョイスティックで **削除** を選び、〔決定〕ボタンを押す



〔決定〕ボタンを押すごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

《10キー操作》

10キーの〔削除〕ボタン：カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。

文字を挿入する

- 1 マルチビューコントローラーを左右に倒して、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動する



入力した文字がカーソルの左側に挿入されます。

MEMO

カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

文字入力を終了する

- 1 ジョイスティックで右側のメニューの**終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

〔迂回〕ボタンを押すと、ジョイスティックを操作せずに右側のメニューの**終了**を選ぶことができます。

Chapter 2

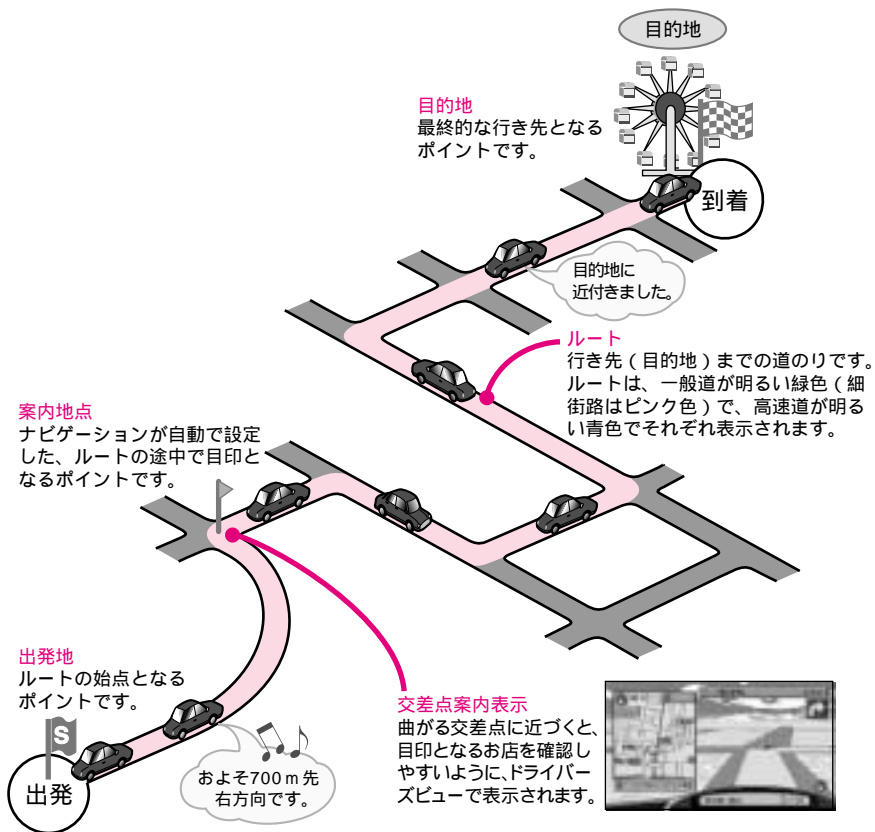
行き先決定 / ルート案内

この章の内容

ルート設定とルート案内について	34
行き先までのルートを探索させる	35
ルートが決まったら	38
ドライブガイドでルートを探す	44
自宅に帰るルートを探索させる	46
リストから行き先を選ぶ	47
ルートの探索条件を指定する	48
立ち寄りたい場所を指定する	50
ルートの出発地を指定する	54
ふだんよく通る道をルートに使う	55
登録道をルートに組み込む	56

ルート設定とルート案内について

ドライブの行き先を指定すると、本機が行き先までの道順(ルート)を探してくれます。これが「ルート探索」です。ルート探索が終わったら、探しだされたルートを行き先までの道に決めます。これを「ルート設定」といいます。ルートを設定してドライブを開始すると、本機が行き先までの道のりを音声で案内します。この音声による案内を「ルート案内」といいます。



行き先までのルートを探させる

目的地を選んで、ナビゲーションに現在地から目的地までのルートを探させます。ここでは、地図から目的地を選んでルートを探させる方法をご紹介します。探索条件をより細かく設定したいときは、この章の後半（48ページ以降）を参照してください。

1. メインメニューの **行き先**

地図で決める を選び、「決定」ボタンを押す



MEMO

次の方法で行き先を探すことも可能です。

探す : 地名などで探す (P.60)

ドライブガイドで探す : ドライブエリアから探す (P.44)

自宅にする : 自宅に戻るとき (P.46)

ここにする : すでに行き先に十字カーソルを合わせてあるとき

2. 行き先となる場所に十字カーソルを合わせ、「決定」ボタンを押す



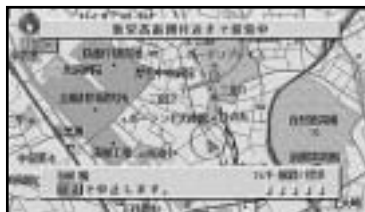
MEMO

十字カーソルが高速道路付近にある場合などに、目的地が有料道路にあるかどうかを確認するメッセージが表示されることがあります。

はいか**いいえ**を選んで、「決定」ボタンを押してください。

3. **探索開始** を選び、「決定」ボタンを押す

現在地から行き先までのルートを探し始めます。(探し終わるまでの時間は、現在地から行き先までの距離によって異なります。)



ルート探索が終わると、6本の候補ルートが表示されます。

4. ジョイスティックを左右に倒してお好みのルートを選び、「決定」ボタンを押す



ルートが設定され、ルート案内が開始されます (P.35)



出発地、目的地、立寄地 (P.50) 付近では、道幅5.5m未満の細街路を含めてルート探索し、道塗りをを行います (ドア to ドア探索)。

探索させるルートの数に応じて、それぞれ次の条件でルート探索を行います。

「6」のとき：

ルート探索基準 [推奨、別ルート、距離優先] の3つ × 有料道路 [標準、回避] の2つ

フェリーの使用 / 非使用は、「設定を変える ルート」メニュー (P.207) の設定、あるいは条件指定 (P.48) の設定に基づいて決まります。

「1」のとき：

ルート探索基準、有料道路、フェリーとともに、「設定を変える ルート」メニューの設定、あるいは条件指定 (P.48) で設定した条件になります。

以下の場合には、候補ルートは表示されません。最も効率のよいルートが1本だけ探索されます。

ルートの探索開始時に立寄地指定を行ったとき (P.50)

登録道を使用してルート探索を行ったとき (P.56)

ショートカットメニューでルート探索を行ったとき (P.230)

クイックルート探索 (P.47) を行ったとき

音声操作でルート探索を行ったとき (P.255)

登録したルート呼び出したとき (P.56)

「設定を変える ルート」メニューの「ルート探索の候補数」(P.207) を「1」にしたとき

有料道路のなかには、料金が表示されないものもあります。

サービスエリアなどの高速道路施設を行き先とした場合に、料金が表示されないことがあります。

MEMO

複数の有料道路を使用する場合は、最初に使う有料道路の入口と、最後に使う有料道路の出口が表示されます。

手順4の画面で**ルートプロフィール**または**ルートスクロール**を選ぶと、目的地までの通過ルートを確認できます。操作方法は、「ルートの道順を確認する」(P.93)をご覧ください。

手順4の画面で**行程一覧表**を選ぶと、それぞれのルートについて探索条件、距離、所要時間、料金を確認することができます。確認が終わったら、〔戻る〕ボタンを押してください。

条件によって、最高6本まで候補のルートが表示されます。そのなかからお好みのルートを1つ選んで地図上に設定します。(場合によっては、同じルートが複数、候補ルートとして表示されることがあります。)

ルートを1本だけ探索させたいときは、「設定を変える ルート」メニューで「ルート探索の候補数」(P.207)の設定を変更します。

複数の都道府県にまたがる長距離のルートを設定するときは、より適切なルートが探索されるように、ご利用になる一般国道の交差点や、高速道路のインターチェンジの出入口を立寄地(P.91)に指定することをおすすめします。

高速道路(サービスエリアなど)を行き先にするときは、**行き先 探す**を選んで高速道路施設を探します。

ルート上にオレンジ色の旗マークが表示されたら

ルートを設定すると、方向転換を行う場所(交差点など)やインターチェンジの出入り口など、ルート案内を行うときのめやすとなる場所に、オレンジ色の旗マークが表示されます。ナビゲーションではこの場所のことを「案内地点」と呼びます。



案内地点

駐車場が併設されている場所や、パーキングエリアが併設されているインターチェンジなどを目的地にしてルート探索を行った場合は、駐車場やパーキングエリアまで案内するルートを探します。このとき、「案内ポイントまで探索中」というメッセージが表示されます。

ルートが決まったら

ルートの設定が終わったら、画面と音声によるルート案内に従って、ドライブを始めてください。

⚠️注意

本機に使用している交通規則データは、2002年7月1日現在のものです。また、曜日、時刻規制などの交通規制情報は、ルート探索した時刻のものが反映されます。なお、一部対応していないものもありますので、ルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

画面表示による誘導・案内

ドライブをスタートすると、車の動きにあわせて表示される情報の内容が変わっていきます。交差点に近づいたときや、高速道路の走行中は、画面の表示が下のように切り換わっていきます。

目的地の方向
現在地と目的地を結ぶピンク色の線が表示される。

ルート
一般道路: 明るい緑色
高速道路: 明るい青色
細街路 : ピンク色

目的地までの道のり距離と到着予想時刻

ルートを設定したときの現在地画面

案内地点の交差点名

ルートインフォメーション
2つ先までの案内地点の情報が表示される。

ルート上の交差点に近づくと...

通過すると...

次の案内地点とそこまでの距離、進行方向

都市高速の出口やジャンクションのイラスト(都市高速を使うルートの場合)

交差点案内表示

ジャンクションなどの500m手前になると...

ウインドウマップ
ノーマルビューの地図が表示される。

ドライバースビュー
信号やお店が表示される。
コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストランなどが立体表示される。

地下駐車場に入ったときは

地図ディスクに収録されている大規模地下駐車場に入ると、自動的に地下駐車場マップが画面に表示されます。



入口、出口、現在いる階、エレベーター、料金所、トイレなどが表示される。



VICS情報 (P.100) を受信している場合、到着予想時刻には、VICS情報の内容が反映されます。

交差点の300m手前に近づくと、方面案内と左右折レーンの情報が表示されます。ルート案内中は、音声でもレーン案内を行います (交差点の700m手前)。

方面案内とレーンの情報が表示されないところもあります。

方面案内は、「設定を変える ルート」メニューの「方面案内表示」(P.209) でON / OFFできます。

現在地から300m先までにある信号機が最大5つまで表示されます。

場所によっては、行き先付近や出発地・立寄地付近まで、ルートの道塗りが行われない場合があります。ルート探索などの仕様については、「ルートに関する注意事項」(P.301) をご覧ください。

交差点どうしの間が150m以内の複合交差点では、交差点案内が (現在地画面に戻ることなく) 連続して表示されます。

場所によっては、交差点案内が表示されないところもあります。

画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内表示が表示されません。交差点案内を、ドライバーズビューではなく交差点拡大図に切り換えることもできます。

「設定を変える ルート」メニューの「交差点案内表示」(P.208) で切り換えます。

都市高速の出口やジャンクションのイラストは、1km手前で流れる音声案内と同時に表示されます。ただし、一部、イラストが表示されないところもあります。

高速道路でのイラスト表示は、「設定を変える ルート」メニューの「高速施設のイラスト表示」(P.208) でON / OFFできます。

ルートインフォメーションは、「設定を変える ルート」メニューの「ルートインフォメーション」(P.208) でON / OFFできます。

地下駐車場マップの自動表示は、「設定を変える 地図」メニューの「自動地下駐車場マップ」(P.206) でON / OFFできます。

地下駐車場マップは、4mスケールで表示されます。

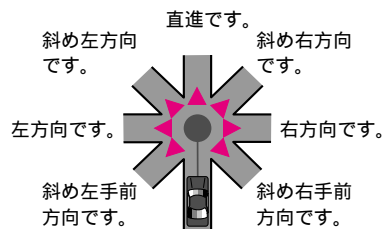
所要時間案内は、ルートを設定した直後からの時間で案内します。本製品の電源をオフしている間の時間も積算されますのでご注意ください。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、ドライビングの状況や車の速度に応じて、音声できめ細かく道案内を行います。

音声で案内されること

進行方向（7方向）は、音声で次のように案内されます。



MEMO

下表のセーフティインフォメーションは、「設定を変える その他」メニューの「セーフティインフォメーション」(P.213)でON/OFFします。

他にも、以下の情報を案内します。

種類	案内例
[ルート音声]	
側道案内	およそ m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ m先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	その先、練馬方面、左方向です。
合流案内	まもなく、合流です。
高速（有料）道路入口・出口案内	およそ m先、 インターチェンジ、左方向、入口です。
高速（有料）道路料金所案内	およそ km先、 料金所です。
ETC情報案内	ETCが利用可能です。左側専用レーンにお進みください。
[セーフティインフォメーション]	
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
踏切案内	この先、踏切です。ご注意ください。
ライト点灯案内	まもなく、日が暮れます。ライトの確認をしてください。
県境案内	県に入りました。



誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

セーフティインフォメーションの踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、全ての踏切で案内されるわけではありません。

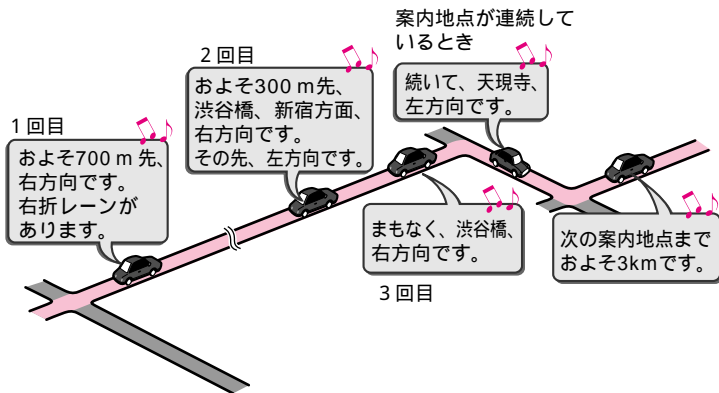
特定の場所に近づくと、その施設にちなんだ効果音が流れます（サウンドトラップ）。サウンドトラップは、「設定を変える その他」メニューの「サウンドトラップ」(P.213)でON/OFFできます。

ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC2」(別売)を接続する必要があります。

県境案内は、都市間高速道路を走行中のみ案内されます。

一般道路を走行しているときは

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内も表示されます。



高速道路を走行しているときは

都市高速では、2回目の音声案内と同時に出口やジャンクションのイラストが画面に表示されます。また、インターチェンジ出口やジャンクションのおよそ500m手前になると、交差点案内が表示されます。高速道路を走行している場合には、出口の料金所で料金とこれから進む方向を案内してくれます。

ETCユニット「ND-ETC2」(別売)を本機に接続している場合は、出口付近でETCの音声案内が流れます。



料金案内で案内されるのは、高速道路に入る前にルートを設定した場合の、入口から出口までの料金です。高速道路に入ってからルートを設定した場合や、途中でルートを変更した場合(オートリルートを含む)には、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。

料金案内は、都市高速・都市間高速・一部の有料道路で2002年7月1日現在の普通車のもので、正しくは、料金所窓口で確認してください。

音声案内を聞き逃したときは(リクエスト案内)

[案内] ボタンを押すと、次の案内地点の音声案内を聞くことができます。

渋滞案内を聞きたいときは

[案内] ボタンを2秒以上長く押すと、案内中のルート上のVICS渋滞情報を聞くことができます。また、このとき画面には渋滞付近の地図が表示されます。

自動的にルートを再設定させる

間違って案内中のルートから外れてしまったとき、ルートの前方で渋滞が発生したときなどには、状況に合わせて自動的にルートを設定し直す（再探索）ことができます。

ルートから外れたときは

予定外の回り道など、ちょっとした寄り道でルートから外れてしまった場合、すぐに元に戻る道順を探索させることができます（復帰ルート探索）。

購入した直後の状態では、ルートから外れると、自動的に復帰ルート探索が行われます（オートリルート）。また、状況によって現在地から目的地までのルートを新たに探索し直すこともあります（全ルート再探索）。



自車マークがルートから外れた場合は、30m以上走行したところでオートリルートが行われます。

オートリルートがOFFの状態で大幅にルートを外れた後、オートリルートONに変えた場合、本機が元のルートに復帰するには効率が悪いと判断したときは、全ルート再探索が行われます（P.88）。その際に当初選択したものとは異なるルートが設定される場合があります。

MEMO

オートリルートは、「設定を変える ルート」メニューの「オートリルート」（P.207）でON / OFFできます。

復帰ルート探索は手動ではできません。オートリルートをONに設定しているときのみ行われます。

オートリルートをOFFにしている状態でリルートを行いたい場合は、〔リルート〕ボタンを押してください。ただし、この場合は全ルート再探索（P.88）を行います。

定期的に見直すには（リアルタイムリルート）

一度設定したルートを定期的に見直すように設定できます。これを「リアルタイムリルート」といいます。リアルタイムリルートをONにすると、VICS情報を受信したときに、本機内部でルートの再探索が行われます。

案内中のルートと異なるルートが探索された場合には、“リアルタイムリルートをを行いました。”と音声案内が流れ、自動的にルートが修正されます。このリアルタイムリルートにより、常に状況に応じたルートにしておくことができます。

案内中のルートと異なるルートが探索されるのは

時間によって交通規制が変化したとき（ディスクに収録された規制情報による）

VICSの通行止め情報が変化したとき

目的地や立寄地に近づいてきて、より細かく道路を探索できるようになり、より効率的なルートが見つかったとき（この場合は交通状況に変化がなくてもルートが修正されます）



VICS情報が取得できないときなど、リアルタイムリルートが行われないことがあります。

MEMO

リアルタイムリルートは、「設定を変える ルート」メニューの「リアルタイムリルート」(P.207)でON/OFFします。

VICS用ビーコン受信機（付属、または別売の「ND-B3」）を接続した場合は、ビーコンのVICS情報を受信したときにもリアルタイムリルートが行われます。また、「設定を変える ルート」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」(P.209)をONにしておくと、リアルタイムリルートでも渋滞情報が考慮されます。

次の案内地点が見える縮尺に自動的に変更する（オートフリーズーム）

ルート案内中、次に向かう案内地点付近が地図で見えるよう、地図の縮尺を自動的に変更させることができます。この設定を行うと、案内地点までの距離が大きいときは地図の縮尺が大きくなり、案内地に近づいたときは地図の縮尺が小さい、詳細な地図になります。



次の案内地点が遠い場合は、縮尺が変更されないことがあります。案内地点に近づいてくると、適切な縮尺に変更されます。

MEMO

オートフリーズームは、「設定を変える ルート」メニューの「オートフリーズーム」(P.208)でON/OFFします。

ドライブガイドでルートを探す

ドライブガイドを利用して行きたい場所を指定して、その場所の詳細情報を見たり、特定の場所までのルートを探ささせることができます。
ここでは、華厳の滝を探する場合を例に説明します。

1. メインメニューの **行き先**
ドライブガイドで探す を選び、〔決定〕
ボタンを押す



ドライブガイドが表示されます。画面にはカーソル（矢印、指マーク）が表示され、ジョイスティックで動かすことができます。

MEMO

操作のしかたは、「ホームページを見る」(P.124)をご覧ください。
〔メニュー〕ボタンを押すと、現在地画面または十字カーソル周辺の地図画面に戻ります。
ドライブガイドは、メインメニューの **場所** **ドライブガイドで探す** を選んで表示させることもできます。

2. ジョイスティックでカーソルを動かして、「ビューポイント」に合わせて〔決定〕ボタンを押す

MEMO

ドライブプラン、ビューポイント、レジャー、グルメから選ぶことができます。ドライブプランより「コース設定」にてルートを探することもできます。ドライブプランに表示されている道順やルートは実際のルート探索結果と異なることがあります。

3. カーソルを「関東」に合わせて〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「BACK」にカーソル合わせて〔決定〕ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
「MENU」にカーソル合わせて〔決定〕ボタンを押すと、手順1の画面に戻ります。

4. 「栃木県」にカーソルを合わせて〔決定〕ボタンを押す



5. 「華厳の滝」にカーソルを合わせて〔決定〕ボタンを押す



選択した場所の詳細情報が表示されます。

6. 「地図を見る」にカーソルを合わせて、〔決定〕ボタンを押す



選択した場所の地図が表示されます。

7. 〔決定〕ボタンを押す

8. **ここへ行く**を選び、〔決定〕ボタンを押す



ルートが設定され、ルート案内が開始されます。

MEMO

手順6で「写真を見る」にカーソルを合わせて、〔決定〕ボタンを押すと、現在表示されている場所の写真を見ることができます。

手順8で**ここを登録する**を選ぶと、表示されている場所を登録することができます。

検索できるドライブエリアの種類

- 北海道 美瑛、富良野、然別湖、帯広、摩周湖、根室、釧路ほか
- 東北 八戸、下北半島、津軽、一関、山形、仙台ほか
- 関東 箱根、東京、湘南海岸、鎌倉、那須、塩原ほか
- 甲信越 南軽井沢、新潟、奥阿賀、柏崎、高岡、能登ほか
- 中部 中部、高山、下呂、郡上八幡、伊吹山、熱海ほか
- 関西 大阪、京都、六甲山、奈良、淡路島ほか
- 中国 松江・出雲、広島、岡山・倉敷ほか
- 四国 松山、鳴門、今治、高松ほか
- 九州 長崎、佐世保、雲仙・天草、阿蘇、熊本、湯布院ほか

自宅に帰るルートを探させる

前もって「自宅」の場所を登録（P.83）しておけば、簡単に自宅へ帰るルートを探させることができます。

ワンタッチで操作する

この場合は、最も効率のよいルートが1本だけ探索され、自動的に設定されます。

1. 〔リルート〕ボタンを2秒以上長く押す



メニューから操作する

この場合は、通常のルート探索と同様の操作になります。

1. メインメニューの **行き先**
自宅にする を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

リストから行き先を選ぶ

友人の家など、あらかじめ登録してある場所（P.78）や最近探した場所（P.77）のリストをワンタッチで表示させることができます。リストから目的の場所を選ぶだけで、そこまでのルートを設定できます。（クイックルート探索）

1. [メニュー] ボタンを2秒以上長く押す
登録した場所、最近探した場所がリスト表示されます。



2. 行き先にしたい場所を選び、[決定] ボタンを押す



ルートが設定され、ルート案内が開始されます。

2



最も効率の良いルートが1本だけ検索され、自動的に設定されます。

リストは、最近探した場所、登録した場所の順で表示されます。また、登録した場所はソート順（P.79）、最近探した場所は最新のものから順に表示されます。登録した場所を探した場合も、最近探した場所のリストに含まれます。

最近探した場所の情報は50件まで自動的に保存されます。

ルートの探索条件を指定する

ルートを1本だけ探索させる場合は、あらかじめ「高速道路を使いたくない」「フェリー航路を積極的に使いたい」といった条件を指定して、ルートを探索させることができます。立寄地を指定している場合（P.50）には、現在地～立寄地、立寄地～行き先といった各区間ごとに、条件を細かく指定できます。（区間別条件指定）

1. 35ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める

2. **条件指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 探索条件を指定したいポイントを「行き先リスト」から選び、〔決定〕ボタンを押す

現在地・立寄地・行き先の各区間ごとに条件を指定できます（区間別条件指定）。



4. **条件指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 指定したいルート条件（**有料道路**など）を選び、指定したい条件になるまで〔決定〕ボタンを押す

条件項目右のランプが黄色く点灯しているものが条件として選ばれています。

〔決定〕ボタンを押すごとに、選ばれる条件が変わります。



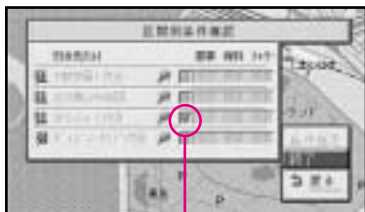
6. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

他のポイントでも探索条件を変更したい場合は、手順 3～6の操作を繰り返します。

7. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



条件指定を行うとチェックマークが付く

8. 35 ページの手順 3 以降の操作で、ルート探索を開始する



「設定を変える ルート」メニューの「ルート探索の候補数」(P.207)を「6」に設定しているときは、「フェリー」の使用 / 非使用のみ変更できます。この場合「探索基準」と「有料道路」は、本機が自動的に探索条件を選ぶため、条件を変える必要はありません。

「立寄地指定」(P.50)、「登録道使用」(P.56)を行ったときや、「設定を変える ルート」メニューの「ルート探索の候補数」(P.207)を「1」に設定しているときは、「探索基準」「有料道路」「フェリー」のすべてを変更できます。

立ち寄りたい場所を指定する

「友人を迎えに行ってから遊園地に行く」など、前もって寄っていきたい場所があるときは、その場所に立ち寄ってから目的地に向かうようにルートを設定することができます。

ルート探索開始前に指定する

- 35ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
- 立寄地指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 地図で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

手順3では**地図で探す**以外に、地名や施設名などで場所を探すことも可能です。

名前で探す (P.60)

住所で探す (P.62)

ジャンルで探す (P.65)

テーマで探す (P.69)

電話番号で探す (P.64)

郵便番号で探す (P.75)

最近探した場所から探す (P.77)

登録した場所から探す (P.78)

周辺から探す (P.72)

緯度経度で探す (P.76)

- 最初の立寄地となる場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



カーソル位置が立寄地として指定されます。



立寄地は、5ヵ所まで指定できます。ただし、登録道(P.56)を1本使用する場合、登録道の最初と最後が立寄地として扱われるので、指定できる立寄地の数は3ヵ所になります。

複数の立寄地を指定する場合、通常は入力した順に立ち寄るルートが探索されます。

5. 立寄地を指定し終わったら、**終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



ほかに立ち寄りたい場所があるときは、**継続**を選んで〔決定〕ボタンを押し、手順3～4の操作を繰り返して次の立寄地を指定します。

6. 目的地 / 立寄地リストの**終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

追加を選んで〔決定〕ボタンを押すと、立寄地を追加することができます。

削除を選んで〔決定〕ボタンを押すと、立寄地を削除することができます。

ソートを選んで〔決定〕ボタンを押すと、立ち寄る順序を変更することができます。

立寄地までの探索条件を指定したいときは、「ルートの探索条件を指定する」(P.48)の手順4～5の操作を行います。

7. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

MEMO

ルート探索後でも、ルートが設定される前に〔戻る〕ボタンを押してルート探索前の画面に戻せば、立寄地を追加することができます。

ルート設定後、ルート案内を開始している場合は、メインメニューの**案内中のルート** **立寄地を加える**で立寄地の追加、削除や立ち寄り順序の変更を行うことができます。(P.91)



立寄地への道塗りは行われなことがありません。画面上立寄地を通るルートになっていないように見えますが、故障ではありません。

立寄地を指定した場合、ルートが1本だけ探索されます。

MEMO

「設定を変える 地図」メニュー(P.205)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄地」にすると、立寄地までの到着予想時刻を表示できます。登録した場所に探索条件を設定しておく(P.48) その場所を立寄地として指定すると、より簡単に、より好みに近いルートにすることができます。

立寄地を追加する

ルート探索開始前であれば、立寄地をさらに追加することができます。

1. 探索開始の画面で、**立寄地指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **追加** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 立寄地を追加する位置に矢印を合わせて、〔決定〕ボタンを押す



矢印

4. 50ページの手順3以降の操作で、追加する立寄地の場所を決める

MEMO

地図で決める を選んで立寄地を探した場合、十字カーソルが高速道路付近にある場合などに、立寄地が有料道路にあるかどうかを確認するメッセージが表示されることがあります。**はい**か**いいえ**を選択してから先に進みます。

5. **はい** を選び、〔決定〕ボタンを押す
6. 目的地 / 立寄地リストの **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す
7. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

ルートから立寄地を削除する

間違っって指定した場合、ルート探索開始前であれば立寄地を削除できます。

1. 探索開始の画面で、**立寄地指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **削除** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 削除する立寄地を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す
5. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

立ち寄り順序を替える

ルート探索開始前であれば、立ち寄り順序を並べ替えてルートを探索し直すことができます。

1. 探索開始の画面で、**立寄地指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. **ソート** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **マニュアル** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 入れ換える立寄地を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 入れ換え先に矢印を合わせて、〔決定〕ボタンを押す



矢印

6. **設定終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す

8. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

立ち寄り順序を自動で並べ替えるには

手順3で**オート**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、次のような順序に自動で並べ替えることができます。〔決定〕ボタンを押すたびに、の順に並べ替えの方法が変わります。

立寄地だけを現在地から近い順に並べ替える。

目的地を含めて、現在地から近い順に並べ替える。(この場合、最も遠い立寄地が目的地に置き換わります。)

入力した順に並べ替える。(この場合、最後に入力した立寄地が目的地に置き換わります)

MEMO

元に戻す を選んで〔決定〕ボタンを押すと、並び替える前の順序に戻ります。

ルートの出発地を指定する

たとえば、自宅にいて「高速道路の入り口までの道は分かっているから、そこから目的地までのルートを探したい」というとき、現在地以外の場所をルートのはじめ（出発地）に指定して、その場所から目的地までのルートを探させることができます。

- 35ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
- 出発地指定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 地図で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 出発地となる場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



- 指定し終わったら、**はい** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

いいえ を選んで〔決定〕ボタンを押すと、出発地の指定は取り消されます。

- 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

MEMO

手順3では **地図で探す** 以外に、地名や施設名などで場所を探すことも可能です。

名前で探す (P.66)

住所で探す (P.62)

ジャンルで探す (P.65)

テーマで探す (P.69)

電話番号で探す (P.64)

郵便番号で探す (P.75)

最近探した場所から探す (P.77)

登録した場所から探す (P.78)

周辺から探す (P.72)

緯度経度で探す (P.76)

自転車位置で探す を選んで〔決定〕ボタンを押すと、出発地は現在地に戻ります。

ふだんよく通る道をルートに使う

本機はふだんよく通る道を自動的に学習しています。この道（学習ルート）を通るように、ルートを設定することができます。

1. 35ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
2. **学習ルート使用**を選び、〔決定〕ボタンを押して項目右のランプを点灯させる
〔決定〕ボタンを押すたびにランプの点灯 / 消灯が切り換わります。



学習ルートは、目的地、立寄り地、出発地付近の道で有効です。

学習した道が必ず使われるとは限りません。

MEMO

学習ルートの使用をやめるときは、**学習ルート使用**を選んで〔決定〕ボタンを押し、ランプを消灯させます。
学習ルート使用のランプの表示は、「設定を変える ルート」メニューの「学習ルート探索」(P.208)で設定した結果に従って表示されます(初期設定はOFF)。ただし、ここで変更した内容は「学習ルート探索」の設定には反映されません。

3. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

登録道をルートに組み込む

複雑な抜け道やよく使う近道などをあらかじめ登録しておき（P.186）、その道路をルートに組み込むことができます。（登録道使用）

- 35ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
- 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

- 登録道使用** を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 使用したい登録道を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 決定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



ルートに使いたい道は1本だけ組み込むことができます。

登録道の使用をやめるときは

手順2で**登録道使用**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

手順2以降の操作をもう一度行って、ランプが点灯している道路を選び、〔決定〕ボタンを押すとランプが消え、**決定**を選び〔決定〕ボタンを押すと、登録道は使用されなくなります。

MEMO

登録道の道順を確認したいときは、**確認**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



登録道を逆の方向にたどるルートは設定できません。
登録道を使用する場合、ルートが1本だけ探索されます。
登録道を組み込んだ場合、通常よりもルート探索にかかる時間が長くなります。
登録道の走行中には、交通規制や渋滞は考慮されません。
登録道の最初と最後が立寄地として扱われるため、指定できる立寄地の数は3ヵ所になります。
登録道に到達する前にオートリルートが行われた場合、登録道の入り口までのルートが再探索されます。
登録道の走行中にリルート（オートリルートを含む）すると、登録道を使用しないルートが探索されることがあります。
登録道の走行中にリルートすると、探索に時間がかかることがあります。

Chapter 3

場所を探す / 登録する

この章の内容

名前を入力して探す	60
住所を指定して探す	62
電話番号を入力して探す	64
ジャンルを指定して探す	65
やりたいこと(テーマ)を指定して探す	69
近くのカソリンスタンドなどを探す	72
郵便番号を入力して探す	75
緯度経度を入力して探す	76
最近探した場所から探す	77
登録した場所から探す	78
検索におけるデータベースについて	80
友人宅などを登録する	81
自宅の場所を登録する	83
回避したい場所を登録する	84
携帯電話のデータを使って登録する	85

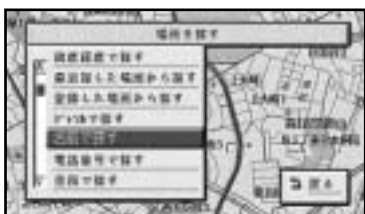
名前を入力して探す

例えば「ディズニーランド」なら「ていすにー」というように、会社やお店などの名前の読みを**ひらがな**で入力して場所を探すことができます。読みを全部入力する必要はなく、わかっている部分だけを入力します。1文字入力するごとに検索対象が絞られていきます。絞り込んだ検索対象をリスト表示させ、目的の場所をリストから選んでください。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **名前で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 探したい場所の読みを**ひらがな**で入力 (P.29) する



漢字・カタカナ・英数字・記号などの名前の施設を探すときも、**ひらがな**で入力します。名前は、部分一致する検索対象が80件以内になるまで、または最大10文字まで入力できます。

MEMO

濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。

「よ」「い」など小さいよみがなは、「よ」「い」などで代用できます。

読みをすべて入力する必要はありません。10キーで入力することもできます。

4. **リスト** を選び、〔決定〕ボタンを押す



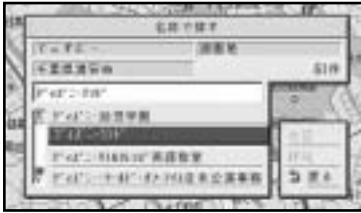
MEMO

ジャンル を選んで〔決定〕ボタンを押すと、ジャンルによる絞り込みができます。表示されたジャンル名を順次選んで〔決定〕ボタンを押していくと、検索対象が絞り込まれます。

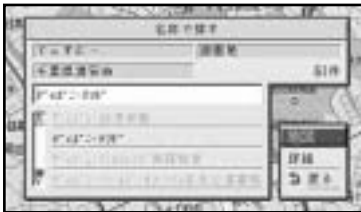
リスト を選んで〔決定〕ボタンを押すと、ジャンルで絞り込まれたリストが表示されます。

エリア を選んで〔決定〕ボタンを押すと、エリア(都道府県)による絞り込みができます。表示された都道府県名や市区町村名を順次選んで〔決定〕ボタンを押していくと、検索対象が絞り込まれます。**リスト** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、エリアで絞り込まれたリストが表示されます。

5. 探したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. **地図**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

詳細を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。**画像**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、その場所に設定された画像が表示されます。詳細情報が1画面に入りきれない場合、**次ページ**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、残りの情報を見ることができます。

インターネットに接続できる環境にしておくと、詳細情報で表示される**インターネット**を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、その施設に関連するホームページにアクセスできます（ダイレクトインターネットアクセス）。

発信を選んで〔決定〕ボタンを押すと、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは、「携帯電話を利用する」（P.149）をご覧ください。



名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、ジャンルやエリア（都道府県など）での絞り込みも可能になります。

部分一致（入力した文字の一部だけ一致する場所を検索）では検索対象が多すぎる場合、絞り込みができるまでの間は、自動的に完全一致（入力した文字が全て一致する場所を検索）での検索を行います。

部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている件数は、入力した文字の横に表示されます。

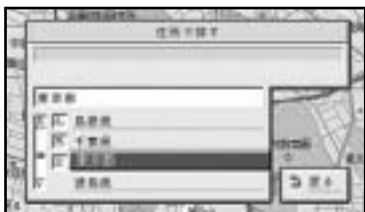
住所を指定して探す

探したい場所の住所がわかっているときは、住所を指定して目的地周辺の地図を呼び出します。シティマップ収録エリアでは、「丁目 番号」まで指定できます。ここでは、「東京都目黒区目黒1-4-1」の地図を呼び出す場合を例に説明します。

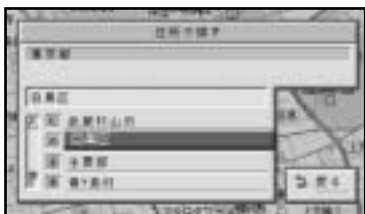
1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **住所で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



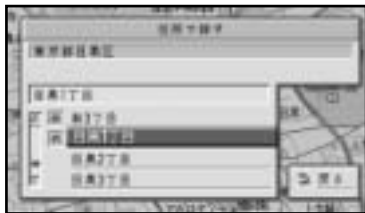
3. 探したい場所の都道府県名を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 探したい場所の市区町村名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 探したい場所の地名（丁目）を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 番地を入力し、**探す** を選び〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。



都道府県名、市区町村名、地名のリストでは、スケールコントローラーを「広域」側や「詳細」側に倒すと、50音の行(あいうえお...)をとばしながら選ぶことができます。主要部を選ぶと、代表地点の地図を表示します。

番地入力をせず、**探す**を選ぶと、丁目の代表地点の地図を表示します。

シティマップ収録エリア(P.307)では、番地、号まで指定することができます。(一部の都市で、号を指定できない場合があります。)

電話番号を入力して探す

電話番号を指定するだけで目的の場所付近の地図をすばやく呼び出せます。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **電話番号で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 10キーで探したい場所の電話番号を入力する
全桁入力すると、自動的に探し始めます。



このメッセージが表示されている間に〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

ジョイスティックで入力 (P.28) することもできます。

市外・市内局番以降、全桁入力する前に検索するときは、**探す** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

地図の画面で10キーの〔0〕を押すと、手順3の画面が表示されます (「10キーをカスタマイズする」(P.233) でキーを変更できます)。



市外・市内局番は必ず入力してください。その他の番号は全桁入力しなくても検索可能です。

該当する電話番号がディスクに収録されていない場合や、全桁入力しなかった場合は局番地域の市区町村役場を検索します。局番が複数の地域にまたがっている場合は、そのいずれかの市区町村役場を検索します。

ダイヤルQ2 (0990-)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する場所を登録してある場合は、検索することができます。(10桁入力までですので、携帯電話は対象外です。)

タウンページに登録されているフリーダイヤル (0120-) は、検索可能です。

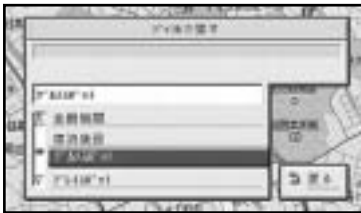
ジャンルを指定して探す

「スキー場」や「駅名」など、施設のジャンル分けによって検索対象を絞りこんでいき、目的の場所を探します。ここでは、洋食料理店を選んで地図を呼び出す場合を例に説明します。

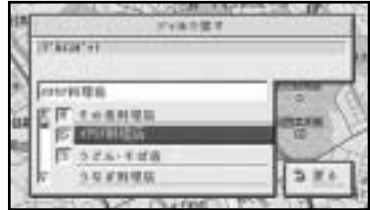
1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **ジャンルで探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



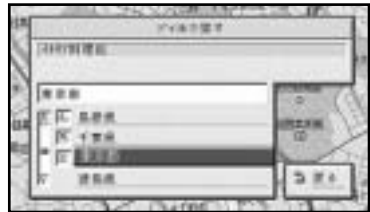
3. 探したい場所のジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す



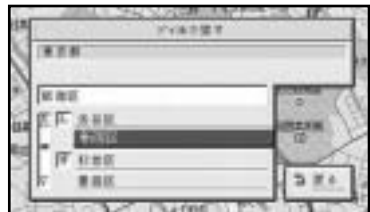
4. ジャンルの小分類を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 探したい場所がある都道府県名を選び、〔決定〕ボタンを押す



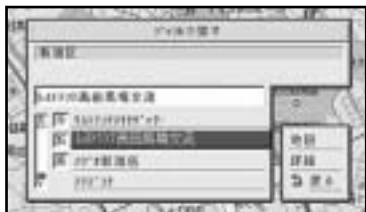
6. 探したい場所がある市区町村名を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

ジャンルがこれ以上細かく分類されていない場合は手順5に進んでください。ジャンルがさらに細かく別れている(小分類)場合、〔決定〕ボタンを押すと小分類のリストが表示されます。手順4に進んでください。

7. 目的の場所を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. **地図**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

詳細を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。**画像**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、その場所に設定された画像が表示されます。詳細情報が1画面に入りきらない場合、**次ページ**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、残りの情報を見ることができます。

MEMO

インターネットに接続できる環境にしておくと、詳細情報で表示される**インターネット**を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、その施設に関連するホームページにアクセスできます（ダイレクトインターネットアクセス）。

発信を選んで〔決定〕ボタンを押すと、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは、「携帯電話を利用する」（P.149）をご覧ください。



表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、目的地を含む地域を代表する地点の地図が、「～周辺」（市町村レベル）、「～付近」（～丁目レベル）というメッセージ付きで表示されます。一部の施設で、検索後に表示される位置と、地図上にその施設がある位置が異なることがあります。（例えば、高速道路の上り・下りで場所が大きく異なるサービスエリアなどは、上り・下りの中間点などが検索後の表示の際に使われます。）このような場合でも、ルート探索の際には、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが探索されます。（検索した施設には、ルート探索時に使われる位置データが、表示用の位置データとは別に含まれています。）したがって、その施設を目的地にしたり、場所登録したりするときは、表示された位置から地図を一切スクロールせずに〔決定〕ボタンを押してください。

検索できるジャンルの種類

このジャンルでは...	こんな場所が呼び出せます
交通機関	駅、交差点、高速道路施設（インターチェンジ、ランプ、ジャンクション、サービスエリア、パーキングエリア）空港、フェリーターミナル、道の駅
公共施設	国の機関、警察署、消防署、保健所、役所、郵便局
金融機関	都市銀行、地方銀行、第2地方銀行、その他金融機関、証券会社
宿泊施設	旅館、ホテル、ペンション、民宿、公共宿舎、ブティックホテル
グルメスポット	イタリア料理店、うどん・そば店、うなぎ料理店、お好み焼き店、おでん屋、海鮮料理店、割烹・懐石、カレー店、喫茶店、地ビール店、地ワイン店、寿司屋、ステーキハウス、スパゲティ専門店、中華料理店、てんぷら料理店、鳥料理店、とんかつ・串かつ料理店、なべ料理店、ピザハウス、ファーストフード、ファミリーレストラン、フランス料理店、焼肉・韓国料理店、洋食料理店、ラーメン店、和食料理店、その他料理店
プレイスポット	映画館、温泉、海水浴場、カラオケボックス、キャンプ場、ゲームセンター、寄席、公園、公営ギャンブル場（競艇場、競馬場、競輪場、オートレース場）、サウナ・ヘルスセンター、植物園、水族館、釣り堀、ディスコ、動物園、バスフィッシング、パチンコ、牧場、遊園地、ライブハウス、リゾート施設
スポーツスポット	競技場、ゴルフ場、ゴルフ練習場、スキー場、スケート場、体育館・アリーナ、テニスコート、トレーニングセンター、バッティングセンター、ビリヤード場、プール、ボウリング場、野球場、ヨットハーバー、レンタサイクル、その他スポーツ施設
文化スポット	教会、資料館、城・城跡、神社・寺、図書館、展示場、博物館、美術館、劇場・ホール、プラネタリウム・天文台、名所・旧跡
自動車関連施設	カー用品店、ガソリンスタンド、カーディーラー、自動車整備、洗車場、中古車販売、駐車場、レンタカー、ロードサービス
小売店	市場、衣料品店、お菓子・ケーキ店、お土産屋、おもちゃ屋、家具・インテリア店、家電店、くつ店、化粧品店、コンビニ、酒屋、雑貨店、CD・ビデオ店、自転車・バイク店、手・工芸品店、書店、スーパー、スポーツ用品店、ディスカウントストア、デパート、花屋・園芸店、パン店、プレイガイド、文房具店、ペットショップ、ホームセンター、めがね店、薬局・薬店、レンタルCD・ビデオ店、レンタルショップ

次ページに続く

Chapter 3 場所を探す / 登録する

このジャンルでは...	こんな場所が呼び出せます
病院	医院・診療所、眼科、外科、産婦人科、歯科、耳鼻咽喉科、小児科、総合病院、動物病院・獣医師、内科、皮膚科
教育施設	保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、各種専門学校、その他の学校
その他	観光案内、観光バス、結婚式場、斎場、峠、灯台、パイオニア及び関連会社、霊園



「その他」の峠など、自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所までのルートを探索するときは、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

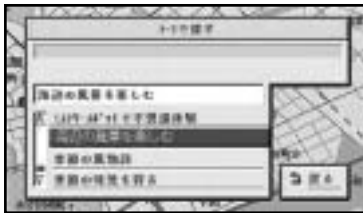
やりたいこと(テーマ)を指定して探す

「季節の味覚を狩る」「大自然の100選スポット」など、お好みのテーマを指定したあと都道府県、市区町村の順に指定して、目的の場所を絞り込んでいくことができます。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **テーマで探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



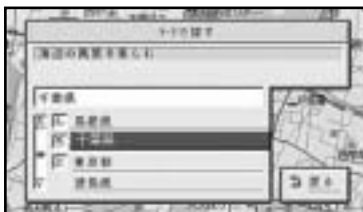
3. 目的のテーマを選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

テーマに小分類がある場合は、リストから目的の小分類を選び、〔決定〕ボタンを押してください。

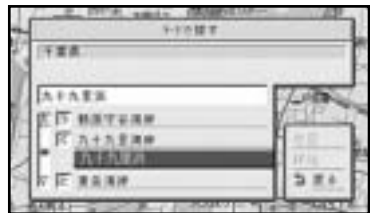
4. 自分の行きたい都道府県名を選び、〔決定〕ボタンを押す



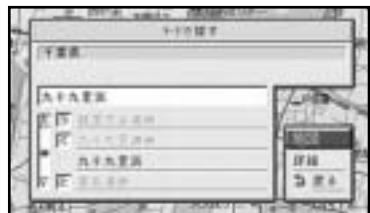
MEMO

市町村名のリストが表示された場合は、リストから自分の行きたい市町村名を選んで、〔決定〕ボタンを押してください。

5. 自分の行きたい場所を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. **地図** を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

詳細を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。**画像**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、その場所に設定された画像が表示されます。詳細情報が1画面に入りきらない場合、**次ページ**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、残りの情報を見ることができます。

発信を選んで〔決定〕ボタンを押すと、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは、「携帯電話を利用する」(P.149)をご覧ください。

インターネットに接続できる環境にしておくと、詳細情報で表示される**インターネット**を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、その施設に関連するホームページにアクセスできます(ダイレクトインターネットアクセス)。



表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、目的地を含む地域を代表する地点の地図が、「～周辺」(市町村レベル)、「～付近」(～丁目レベル)というメッセージ付きで表示されます。一部の施設で、検索後に表示される位置と、地図上にその施設がある位置が異なることがあります。(例えば、高速道路の上り・下りで場所が大きく異なるサービスエリアなどは、上り・下りの中間点などが検索後の表示の際に使われます。)このような場合でも、ルート探索の際には、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが探索されます。(検索した施設には、ルート探索時に使われる位置データが、表示用の位置データとは別に含まれています。)したがって、その施設を目的地にしたり、場所登録したりするときは、表示された位置から地図を一切スクロールさせずに〔決定〕ボタンを押してください。

検索できるテーマの種類

このテーマでは...	こんな場所が呼び出せます
アウトドアレジャー	キャンプ場、オートキャンプ場、牧場、釣り堀、バスフィッシング、川・野遊び、公園、都市公園
雨の日レジャー	映画館、カラオケ、ゲームセンター、ビリヤード場、ボウリング場
海辺の風景を楽しむ	白砂青松、渚
おすすめグルメ	ラーメン店、和食、洋食、中華料理店
季節の風物詩	紅葉名所、さくら名所、花のきれいなスポット、花火、祭り・イベント
季節の味覚を狩る	(春の味覚を狩る) いちご狩り、潮干狩り、ジャガイモ掘り、たけのご狩り、ワラビ狩り (夏の味覚を狩る) さくらんぼ狩り、しいたけ狩り、潮干狩り、ジャガイモ掘り、なし狩り、ぶどう狩り、プラム狩り、ブルーベリー狩り、もも狩り、ワラビ狩り (秋の味覚を狩る) かき狩り、キウイ狩り、くり拾い、さつまいも掘り、しいたけ狩り、なし狩り、ぶどう狩り、プル-ン狩り、まつたけ狩り、みかん狩り、山芋掘り、りんご狩り (冬の味覚を狩る) いちご狩り、キウイ狩り、みかん狩り、山芋掘り
全国巡礼めぐり	北海道三十三観音、津軽三十三観音、奥州三十三観音、最上三十三観音、会津三十三観音、関東八十八ヶ所、坂東三十三観音、秩父三十四観音、武蔵野三十三観音、安房三十四観音、鎌倉三十三観音、信濃三十三観音、伊豆横道三十三観音、尾張三十三観音、西国三十三観音、洛西三十三観音、中国三十三観音、出雲三十三観音、四国巡礼八十八ヶ所、九州西国観音巡礼
ショッピングモールでお買い物	ショッピングモール、駅ビル
大自然の100選スポット	自然百選、滝百選、名山百選、名木百選、森百選
日本一を探す	日本一スポット
ミステリースポットで不思議体験	ミステリースポット
夜景と星のきれいな場所	夜景、星のきれいなスポット
歴史探訪	城・城跡、名所、資料館、博物館、神社、寺

近くのガソリンスタンドなどを探す

近くにあるガソリンスタンドやコンビニを探して、ドライブ中にちょっと立ち寄るなど、現在地やスクロールした場所から約8km四方にある施設を最大100件まで検索できます（周辺検索）。検索した施設は、地図上にロゴマーク表示されるので目印にできます。



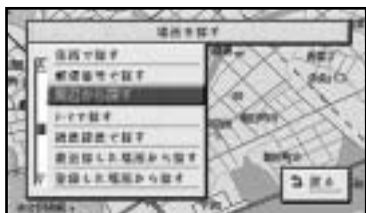
電源をOFFにすると検索した施設のロゴマーク表示は消えます。

周辺検索で指定できるジャンルは1つのみです。複数指定はできません。

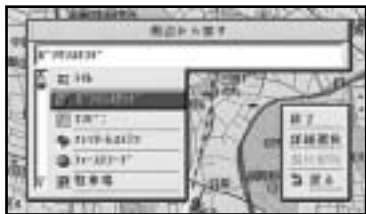
一部の地域で情報が収録されていないことにより、機能しないことがあります。

コンビニ、ガソリンスタンド、ATM、駐車場については、営業時間考慮データの検索のために時間がかかることがあります。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **周辺から探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 探したいお店のジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンドでは、営業時間を考慮して、現在利用できる施設と利用できない施設が区別されて表示されます（営業時間考慮検索）。

コンビニでは、酒を取り扱っている店が分るようになっています。

4. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだジャンルにチェックマークが付く

5. 探している施設が表示されるまで **次へ進む** または **前へ戻る** を選び、〔決定〕ボタンを押す



矢印が移動して、画面に店名が表示される。

MEMO

リモコンのスケールコントローラーを〔広域〕側に倒すと次の情報へ、〔詳細〕側に倒すと前の情報へ移ることができます。

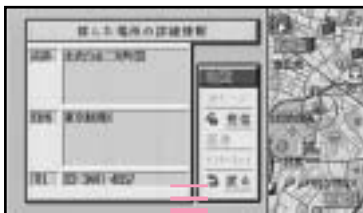
〔迂回〕ボタンを押し続けると、メニュー表示や他のマークが消え、矢印が示しているところが見やすくなります。

表示選択 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、手順3のジャンル指定の画面に戻ります。

6. **これを見る** を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. **地図** を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。



電源をOFFにすると、表示させたロゴマークは消えます。

店名まで細かく指定したいときは

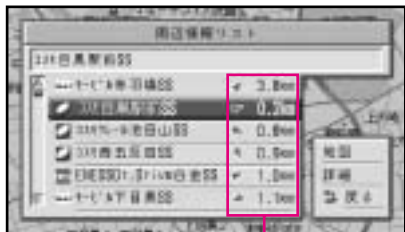
手順4で **詳細選択** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、会員カードを持っているお店など、特定のお店だけを探せます。



- 店名を選んで〔決定〕ボタンを押した後、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選んだお店だけが表示されます。
- 上の画面で **他選択** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、手順3のジャンル指定の画面に戻ります。

近い順に並んだ店名のリストから指定したいときは

手順5で **リスト** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、検索された周辺施設が近い順にリスト表示されます。



自転車マーク、または十字カーソルの位置からの方角と距離

- 上の画面で見たいお店を選んで〔決定〕ボタンを押した後、**地図** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、そのお店の地図が表示されます。
- **情報** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選んだお店の詳細情報が表示されます。

表示させたロゴマークを消すには

手順4で **選択解除** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、**周辺から探す** で表示させたロゴマークが地図上から消えます。

郵便番号を入力して探す

7桁の郵便番号を指定するだけで目的の場所付近の地図をすばやく呼び出せます。



郵便番号は、7桁すべて入力してください。

事業所などの郵便番号では、該当する場所の地図が表示されます。ただし、一部収録されていない番号もあります。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **郵便番号で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 10キーで探したい場所の郵便番号を全桁入力する
全桁入力すると、自動的に探し始めます。



郵便番号に該当する地域が表示されます。このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

ジョイスティックで入力 (P.28) することもできます。

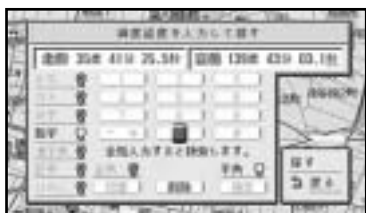
緯度経度を入力して探す

地図帳などで探したい場所の緯度・経度がわかっているときには、その値を指定して地図を呼び出すことができます。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **緯度経度で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 10キーで探したい場所の緯度と経度を入力する
全桁入力すると、自動的に探し始めます。



このメッセージが表示されている間に〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

ジョイスティックで入力（P.28）することもできます。

緯度・経度で検索できる範囲は、日本付近です。

本品は、日本測地系に対応しています。

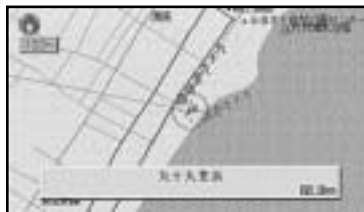
最近探した場所から探す

以前に調べた場所のデータが過去50件まで自動的に記憶されています。同じ場所をもう一度すばやく呼び出したいときに便利です。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **最近探した場所から探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 呼び出したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

最近探した場所までのルートですばやく探索させることができます。(P.47)

リストから最近探した場所を消したいときは

最近探した場所のリストから不要になった項目を消して、リストを整理することができます。操作方法は、「最近探した場所を消す」(P.193)をご覧ください。



以前に調べた場所が50件を超えると、自動的に古いものから消されて新しいものが記憶されます。

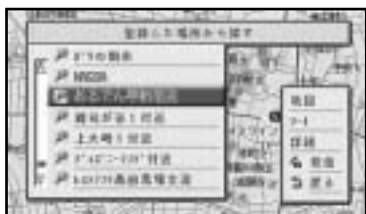
登録した場所から探す

よく行く友人宅やお気に入りのレストランなどをあらかじめ登録（P.81）しておけば、目的の地図をすばやく呼び出すことができます。

1. メインメニューの **場所** **探す** を選
2. **登録した場所から探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 呼び出したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す
4. **地図** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 呼び出したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻ります。

MEMO

登録した場所までのルートをすばやく探索させることができます。（P.47）

リストから登録した場所を消したいときは

不要になった場所のデータを消して、リストを整理することができます。操作方法は、「登録した場所を消す」（P.176）をご覧ください。

登録した場所のリストを並べ替える

手順3の操作で**ソート**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、リストを次のような順序に並べ替えることができます。

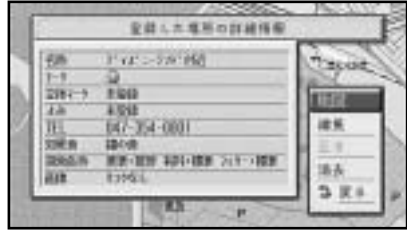


- 入力が新しい順（登録した時間順）
- 文字コード順
- 呼び出し頻度順
- マークの多い順
- 最近探した順
- マークの表の順
- よみ順

希望の並び順を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

登録した場所の詳細情報を見る

手順4の操作で**詳細**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録した場所の詳しい情報を見ることができます。



- 詳細情報画面で**編集**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報を変更できます（P.168）。
- 詳細情報画面で**画像**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、設定した画像を表示できます。
- 詳細情報画面で**消去**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、その登録した場所を消去できます（P.176）。

詳細情報を確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押してください。

登録した場所に電話をかける

携帯電話を接続していて、場所を登録するさいに電話番号を入力していれば、手順4の操作で**発信**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録した場所に電話をかけることができます。

検索におけるデータベースについて

検索のベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

NTTタウンページをもとに位置データの整備を行っていますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。

検索後の画面上のメッセージで、「～周辺」と表示される場合は市区町村レベルでの代表地点、「～付近」と表示される場合は丁目、街区レベルでの代表地点を表しています。

ピンポイント表示されない場所を目的地としてルートを設定した場合は、その施設から離れた場所が最終の案内地となる場合があります。

テーマ別検索などの自然物に関するデータについて

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。その場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

ドライブガイド検索のデータについて

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

電話番号検索のデータとしては、「タウンページ」約1100万件のデータと、訪問宅の約3000万件のデータが収録されています。

訪問宅の電話番号データに収録されていない場合は、町村丁目レベルの代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ピンポイントで表現できないような場合は、そのエリアの代表地点にロゴマークが表示されます。

営業時間考慮周辺検索について

営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ（am/pm、サンクス、スリーエフ、セブンイレブン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ローソン、サークルK、セイコーマートセブオン、スーパー、ココストア、ポプラ）・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日、振り替え休日には対応していません。

営業時間考慮周辺検索では、2002年10月から2003年9月までの1年間のカレンダーに基づいた休日データが収録されています。



本品に誤字、脱字、位置ずれなど表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。

友人宅などを登録する

気に入ったレストランや友人宅など忘れたくない場所にマークを付けて登録できます。ここでは、地図を使って場所を探し、登録する方法を説明します。

1. メインメニューの **場所** **登録する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 登録したい場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



2. **地図で探して登録する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. **登録** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

次の方法で場所を探すことも可能です。

画像で探して登録する : 画像から、その場所を探すとき (画像について詳しくは P.173)

探して登録する : 地名などで探すとき (P.60)

ここを登録する : すでに登録したい場所に十字カーソルを合わせてあるとき

メモリアルダイヤルから登録する : 携帯電話から転送した電話番号をもとにして場所を探すとき (P.85)



登録した場所のマーク

MEMO

登録する前に名前やマークなどを変更したいときは、メニューから変更したい項目を選んで〔決定〕ボタンを押します。詳しくは、168ページ以降の説明をご覧ください。



最大100ヶ所まで登録できます。

登録場所が100ヶ所を超えると登録できなくなります。新たに登録させたい場合は、登録した場所のリストから不要な場所を消してください。(P.176)

登録時には、自動的に「施設名や周辺の地名 + “付近” または “周辺”」という名前が付きます。また、施設名や周辺の地域などの代表地名が特でない所では、登録した時刻が名前になります。(**登録する** **探して登録する** で探した場所をそのまま登録するときは、“付近” や “周辺” は付きません。)

登録されると、地図上に表示されるマークは虫ピンのマークが付きます。

メモリダイヤルを使う場合、携帯電話の電話番号や対応する地点のデータがディスクに収録されていない電話番号からでも登録できます。

自動的に付けられた名前やマークは、わかりやすい名前やお好みのマークに変更できません。(P.168)

自宅の場所を登録する

本機に自宅の場所を登録しておくことで、ドライブ先から自宅へ帰る際、ルート設定が簡単にできるようになります。

1. 81ページの手順1～2の操作で、自宅のある場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す
2. 「**自宅**」で登録する を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **登録** を選び、〔決定〕ボタンを押す



自宅マーク



自宅登録の操作を行うと、「自宅」という名前と「じたく」というよみが自動的に入力されます（本機は、「じたく」というよみが登録された場所を自宅として認識します）。

自宅登録した場所には、自宅マークが設定されます。

自宅ルート探索時は、よみが「じたく」の登録地が対象となります。

よみを「じたく」で登録できるのは、1カ所のみです。

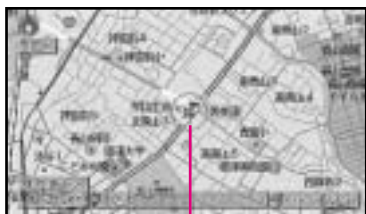
回避したい場所を登録する

工事中や通行止めなど、通りたくない場所があるときは、前もってその場所を「回避地」として登録しておくことができます。以降、ここで登録した場所を避けるルートが探索されます。

1. 81ページの手順1～2の操作で、回避地にしたい場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す
2. 「回避地」で登録するを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 登録を選び、〔決定〕ボタンを押す



回避地マーク



回避地は最大5ヶ所まで登録できます。回避地が5ヶ所を超えると登録できなくなります。新たに登録させたい場合は、登録した場所のリストから不要な回避地を消してください。(P.176)

回避地登録の操作を行うと、自動的に「回避地1」～「回避地5」という名前が入力されます。

回避地登録した場所には、回避地マーク(×)が設定されます。

回避地として登録した場所は、名前やマークを変えるなどの編集操作はできません。

ルート探索時に他に適切な道路の候補がない場合、回避地を通るルートが探索されることがあります。

大きな道路の交差点付近を回避地として登録しておく、その場所が回避されやすくなります。

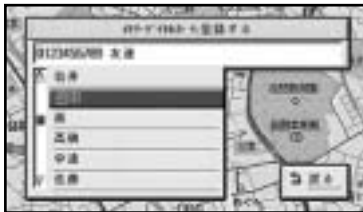
携帯電話のデータを使って登録する

携帯電話のメモリーに登録してある電話番号（メモリダイヤル）を本機に読み込んでおく（P.158）、その電話番号に相当する場所を探して登録することができます。

1. メインメニューの **場所** **登録する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **メモリダイヤルから登録する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 登録したい場所の電話番号を選び、〔決定〕ボタンを押す



選択した電話番号に該当する地図が表示されます。

MEMO

登録したい場所とは異なる場所の地図が表示された場合は、登録したい場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押します。

4. **登録** を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録した場所のマーク

MEMO

登録する前に名前やマークなどを変更したいときは、メニューから変更したい項目を選んで〔決定〕ボタンを押します。詳しくは、168ページ以降の説明をご覧ください。



メモリダイヤルの番号がディスクに収録されていない場合、手順3の操作でメッセージが表示されたあと、場所の検索方法を選ぶ画面になるので、別の方法を使って場所を検索してみてください。

相手先が携帯電話やPHSなど、移動通信端末の場合、場所の検索はできません。手順3の操作でメッセージが表示されたあと、場所の検索方法を選ぶ画面に戻ります。

該当する電話番号がディスクに収録されていない場合は、局番地域の主町村役場を検索します。局番が複数の地域にまたがっている場合は、そのいずれかの市区町村役場を検索します。

Chapter 4

案内中のルート

この章の内容

行き先までのルートを再探索する	88
渋滞などを迂回する	89
案内中のルートに立寄地を追加する	91
ルートの道順を確認する	93
案内中のルートを登録する	94
ルート案内を中止する	95

行き先までのルートを再探索する

ルート案内中に突然の工事のために回り道するなどして、大幅にルートを外れてしまった場合、今まで設定されていたルートをキャンセルして、ルートを再計算し、同じ行き先へ向かう新たなルートを探索することができます（全ルート再探索）。



ワンタッチで操作する

この場合は、最も効率のよいルートが1本だけ探索され、自動的に設定されます。

1. [リルート] ボタンを押す



探索し終わると、目的地までのルートが全ルート再設定され、自動的に地図画面に戻ります。



[リルート] ボタンによる全ルート再探索はスクロール画面やメニューが表示されているときは機能しません。[現在地] ボタンを押してから、操作を始めてください。ルート上を走行中でも、全ルート再探索を行うことができます（ただし、現状と同じルートが設定される場合があります）。すでに通過した立寄地は、ルートの再探索を行っても考慮されません。

メニューから操作する

この場合は、通常のルート探索と同様の操作になります。

1. メインメニューの案内中のルート

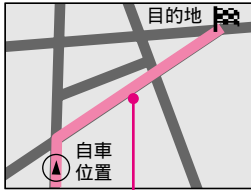
再び探索する を選び、[決定] ボタンを押す



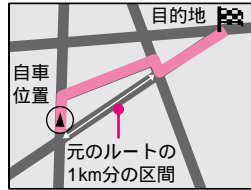
2. 35ページ手順3以降の操作を行い、ルート探索を開始する

渋滞などを迂回する

ルート案内中に前方の道路の渋滞などを迂回したいときには、ワンタッチでルートを修正できます。たとえば迂回距離を1kmにしたときは、案内中のルートの方前1km分を迂回する道が探索されます。



設定されているルート



迂回距離を1kmに指定した場合

ワンタッチで操作する

この場合は、最後にメニュー操作で指定した距離を迂回するルートが探索されます。

1. [迂回] ボタンを押す



探索し終わると、ルートが修正され、自動的に地図画面に戻る。

メニューから操作する

この場合は、距離を指定した迂回路探索ができます。

1. メインメニューの案内中のルート

迂回する を選び、[決定] ボタンを押す



2. 迂回させたい距離を選び、[決定] ボタンを押す





探索し終わると、ルートが修正され、自動的に地図画面に戻ります。



〔迂回〕ボタンによる迂回路探索は、スクロール画面やメニューが表示されているときには機能しません。〔現在地〕ボタンを押してから、操作を始めてください。ワンタッチで操作する場合、購入した直後の迂回距離は、1kmになります。迂回距離を変えたいときは、メニューから操作して迂回距離を選んでください。次回〔迂回〕ボタンを押したときは、ここで選んだ距離が適用されます。迂回する距離は、指定した距離と異なる場合があります。

案内中のルートに立寄地を追加する

ルート案内中、急にどこかに立ち寄る必要ができた場合は、案内中のルートに立寄地を追加して、ルートを引き直すことができます。立寄地は5ヵ所まで追加できますが、初めて追加する場合とそれ以降の場合とは、操作の流れが若干異なります。

最初の立寄地を追加する場合

1. メインメニューの **案内中のルート** **立寄地を加える** を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 50ページの手順3～8の操作で、立寄地を追加する
3. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

すでに立寄地を追加してある場合

1. メインメニューの **案内中のルート** **立寄地を加える** を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 目的地 / 立寄地リストの **追加** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 立寄地を追加する位置に矢印を合わせて、〔決定〕ボタンを押す



4. 50ページの手順3～4の操作で、追加する立寄地の場所を決める
5. **はい** を選び、〔決定〕ボタンを押す
6. 目的地 / 立寄地リストの **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す
7. 35ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

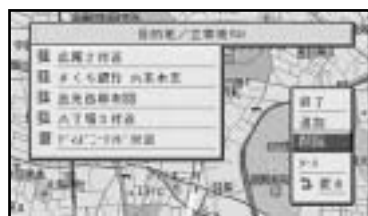
ルートから立寄地を削除する

立ち寄る必要がなくなった場合には、案内中のルートから立寄地を削除することができます。立寄地を削除すると、残った立寄地を通るルートに修正されます。

1. メインメニューの案内中のルート

立寄地を加えるを選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 目的地 / 立寄地リストの削除



3. 削除する立寄地を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 目的地 / 立寄地リストの終了

3.5 ページの手順 3 以降の操作で、ルート探索を開始する

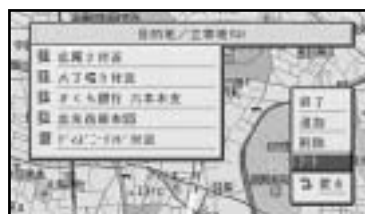
立ち寄り順序を替える

予定変更などで立ち寄る順序が変わった場合には、案内中のルートの立ち寄り順序を替えることができます。立ち寄り順序を替えると、その順序に従ったルートに修正されます。

1. メインメニューの案内中のルート

立寄地を加えるを選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 目的地 / 立寄地リストのソート



3. 53 ページ「立ち寄る順序を並べ替える」の手順 3 ~ 6 の操作で、立ち寄り順序を指定する

4. 目的地 / 立寄地リストの終了



5. 3.5 ページの手順 3 以降の操作で、ルート探索を開始する



案内中のルートでは、オートで並べ替えることはできません。

ルートの道順を確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路を使うときはその料金などの情報（ルートプロフィール）を表示できます。また、ルートをなぞるように地図を動かして、案内中のルートをひとつおき確認することも可能です（ルートスクロール）。

ルートプロフィールで確認する

1. メインメニューの **案内中のルートプロフィールで確認する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 先に進むときはジョイスティックを上、前に戻るときはジョイスティックを下に倒す
先の情報や前の情報に切り換わります。



3. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

ルートスクロールで確認する

1. メインメニューの **案内中のルートスクロールで確認する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 先に進むときはジョイスティックを上、前に戻るときは下に倒す
しばらく倒し続けてからジョイスティックを離すと、後は自動的にルートに沿って目的地までスクロールします。止めるときはジョイスティックを逆方向に倒してください。



3. 確認し終わったら、 **戻る** を選んで〔決定〕ボタンを押す

MEMO

〔決定〕ボタンを2秒以上長く押した場合も、スクロール画面に戻ります。



ドライバーズビューで表示している場合、ウィンドウマップをOFFにしていると、画面をスクロールできません。また、地図の縮尺を大きくしている場合、ルートの道塗りが道路からはみ出すことがあります。

案内中のルートを登録する

地図上に表示されたルートを本機に登録しておくことができます。登録したルートは、後で呼び出して、ルート案内に利用することができます。

1. メインメニューの案内中のルート

登録するを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **登録**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

名前を変更するを選んで〔決定〕ボタンを押すと、ルートの名前を入力（P.28）できます。

登録したルートを読み出すには

登録したルートは、いつでも必要に応じて呼び出して、ルート案内させることができます。（P.177）



ルートは、最大10本まで登録できます。

登録ルートが10本を超えると登録できなくなりますので、新たに登録させたい場合は、登録ルートのリストから不要なルートを消してください。（P.179）

登録時には出発地と目的地、立寄地の位置、探索条件の情報のみが保存されます。ルートを読み出した際は、この情報を元にルートが探索されます（登録時と異なる道順になる場合があります）。

登録道を使用したルートでは、使用した道路の情報も保存されます。ただし、該当する道路のデータを消去した場合には、そのルートを読み出しても指定した道路がルートに含まれません。（使用するディスクを変えた場合、ルートに使用した登録道の情報が消えることがあります。）

ルートの登録時には、自動的に「目的地付近の地名 + “付近”」という名前が付きます。この名前は任意に変更できます。（P.178）

ルート案内を中止する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

1. メインメニューの **案内中のルート**
消す を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。

（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）

ルート案内が終わったときは

目的地に到着した後で本機の電源を切ると、ルートの道塗りは自動的に消去されます。ただし、新しいルートを設定するまでの間、目的地マークはそのまま地図に残ります。目的地マークを消去したいときは、左の操作を行って消去することができます。

Chapter 5

VICS情報を利用する

この章の内容

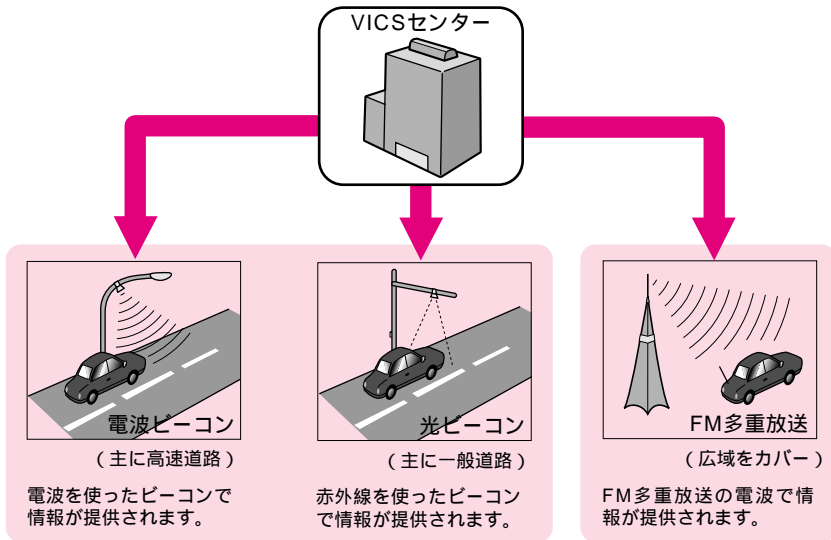
VICSとは	98
渋滞や交通規制などの地図情報を見る	100
VICS情報を簡易図形や文字で見る	104
ビーコンからの情報を見る	106
渋滞を考慮したルートを探索する	107
今いる地域以外の放送局を選局する	108
VICSセンターからの連絡を見る	111

VICSとは

VICS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見えることもできます。


VICS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICSセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報 (VICS情報) が提供されます。



ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICSの情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。本機にVICS用ビーコン受信機 (付属、または別売の「ND-B3」) を接続すると、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

 VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

渋滞情報（順調情報も含む） 旅行時間情報 交通障害情報
交通規制情報 駐車場情報

レベル3：地図

レベル2：簡易図形

レベル1：文字



ナビゲーションの地図上に、直接、道路交通情報を表示します。



簡単な地図イラストなどで、道路交通情報を表示します。



文字により、道路交通情報を表示します。

渋滞や交通規制などの地図情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報を、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示します。

VICS情報の表示例

- 渋滞： 一般道路(赤色に白い縁どり) / 高速道路(赤色に青い縁どり)
- 混雑： 一般道路(オレンジ色に白い縁どり) / 高速道路(オレンジ色に青い縁どり)
- 順調： 一般道路(明るいブルーに白い縁どり) / 高速道路(明るいブルーに青い縁どり)
- 規制区間表示： 黄色に黒い縁どり



VICS情報提供時刻表示：

- オレンジ： 情報が受信できている状態
- ブルー： 情報が受けられなくなって5分以上経過した状態
- - : - - : VICS情報が受信できない状態(受信開始時、または情報が受けられなくなって20分以上経過したとき。このときはVICS情報はクリアされる。)



本機の電源をONにした後、受信したVICS情報を表示するまで時間がかかる場合があります。

VICS情報を表示する設定にしているときは、VICSの規定により、道幅5.5m未満の道路（細街路）以外を走行中は、細街路を表示しません。

希望するエリアの放送が受信できていないときは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.108) をご覧になって、希望するエリアの放送局に切り換えてください。

ハイウェイマップでは高速道路の渋滞の道塗りは、白い縁どりで表示されます。

渋滞区間と規制区間が同区間の場合、渋滞・混雑の道塗りが規制区間の道塗りに隠されることがあります。このような場合に渋滞・混雑の道塗りを見るときは、「設定を変える VICS」メニューの「規制表示」(P.201) をOFFにしてください。

順調表示は、自転車位置周辺の表示のみになります。

VICS情報マークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。

 大型通行止め	 故障車	 作業	 路上障害
 チェーン規制	 凍結	 進入禁止	 入口制限
 通行止め・閉鎖	 事故	 工事中	 入口閉鎖
 片側交互通行	 対面通行	 車線規制	 徐行
 速度規制 (数字は制限速度)	 気象	 行事	 災害
 区間旅行時間	 火災	 原因なし	 駐車場閉
 駐車場 (空き：青、混雑：オレンジ、満車：赤、不明：黒)			

「VICS情報提供時刻表示」の内容

本機にVICS用ビーコン受信機が接続されている場合は、FM多重放送とビーコンのVICS情報の両方の提供時刻が同時に表示されます(ビーコンの提供時刻は、レベル3：地図情報を受信して少し経つと更新されます)。

本機のみで利用する場合は、FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます(約5分ごとに更新されます)。

一度に受信・表示できる情報について

VICS情報を本機のみで利用する場合は、「設定を変える VICS」メニューの「FM多重チューナーの設定」(P.201)を「VICS」または「VICS/D-GPSダブル」に設定します。「D-GPS」または「文字多重放送」にしているときは、FM多重チューナーはD-GPSまたはFM文字多重放送の情報だけを受信し、VICS情報は受信しません。このため、本機にVICS用ビーコン受信機が接続されていない場合は、VICS情報を見ることはできません。

「FM多重チューナーの設定」を「VICS/D-GPSダブル」に設定すると、VICSとD-GPSの両方の情報を切り換えながら受信し

ます。(VICS情報の更新間隔が長くなる場合があります。)

VICS用ビーコン受信機を接続した場合は、ビーコンからのVICS情報とFM多重放送によるVICS情報を同時に表示します。ただし、「順調表示」(P.201)をONに設定した場合は、地図上に道塗り表示する情報が多くなりすぎるのを防ぐため、道塗り情報についてはFM多重放送によるVICS情報だけを表示します(FM多重放送のVICS情報が受信できないときは、ビーコンの情報が受信できた時点でビーコンの情報をもとに道塗り表示します)。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.108)をご覧ください。受信中の放送局の受信感度を確認してください。

2つの放送エリアにまたがって走行しているときは

本機ではどのレベルの表示形態でも、現在地周辺のVICS情報を残しておきながら、別のエリアのVICS情報(隣接する都道府県など)を表示できるので、県境など2つの放送エリアをまたがって走行しても必要な情報を逃さず見ることができます。

渋滞情報自動案内について

ルート案内中に、ルート上の渋滞情報が自動的に音声案内されるように設定できます。リアルタイムルート（P.42）の結果、ルートが変わらなかった場合に渋滞が発生すると、「およそ3km先、渋滞が発生しています。」といった音声で、渋滞を案内します。

ルート上の渋滞情報を知りたいときは

〔案内〕ボタンを2秒以上長く押すと、ルート上で最も近い渋滞情報までの距離を音声で案内します。同時に渋滞情報付近の地図を表示します。

VICS情報マークの詳細を見る

1. メインメニューの**情報を見る**

VICS情報 を選び〔決定〕ボタンを押す



2. **地図情報** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **次に進む** または **前に戻る** を選び、〔決定〕ボタンを押す



矢印が移動して、画面にそのマークの詳細が表示される。

MEMO

〔迂回〕ボタンを押し続けると、メニュー表示や情報の表示が消え、矢印が示しているところが見やすくなります。

4. 情報を見終わったら、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す



特定の情報だけが知りたいときは

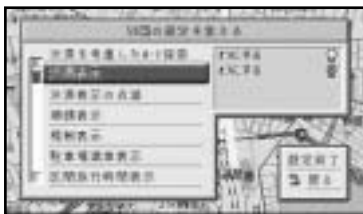
VICSの設定を変えることで、道路の渋滞情報だけを表示させたり、駐車場の空き状況だけを表示させたりできます。

1. メインメニューの「情報を見る」

VICS情報 を選び〔決定〕ボタンを押す

2. 「地図情報」を選び、〔決定〕ボタンを押す**3. 「設定」を選び、〔決定〕ボタンを押す****4. 設定を変えたい項目を選び、〔決定〕ボタンを押す**

各設定項目の詳細は、201ページの説明をご覧ください。

**MEMO**

〔決定〕ボタンを押すたびに項目右のランプが変わります。黄色で点灯させているときはON設定に、消灯させているときはOFF設定になります。

VICSの設定は、メインメニューの**「その他の操作」** **「設定を変える」** からでも操作できます (P.199)。

5. 「設定終了」を選び、〔決定〕ボタンを押す

VICS情報を簡易図形や文字で見る

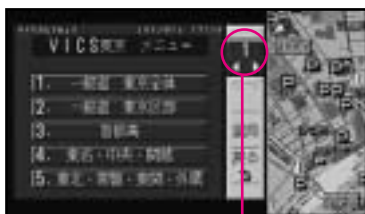
レベル2（簡易図形）やレベル1（文字）で表示されるVICS情報で、渋滞や規制情報などの概略を見ることができます。

簡易図形表示で見る

1. メインメニューの **情報を見る**
VICS情報 を選び〔決定〕ボタンを押す
2. **FM図形情報** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. ジョイスティックを左右に倒して見たい情報番号を選び、〔決定〕ボタンを押す



情報番号

4. **ページ** を選んでから、ジョイスティックを左右に倒して見たいページを選ぶ
 簡易図形による道路交通情報が表示されます。



放送局を切り換えたいときは

希望するエリアの放送が受信されていない、またはデータ受信待ちの画面が表示されていて受信感度が悪いときは、ジョイスティックを上下に倒して **選局** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



選局画面になりますので、希望する放送局を選局してください。選局のしかたは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.108)をご覧ください。

文字表示で見る

1. メインメニューの **情報を見る**

VICS情報 を選び〔決定〕ボタンを押す

2. **FM文字情報** を選び、〔決定〕ボタンを押す

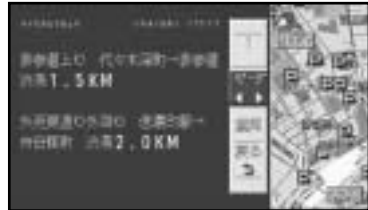


3. ジョイスティックを左右に倒して見たい情報番号を選び、〔決定〕ボタンを押す



情報番号

4. **ページ** を選んでから、ジョイスティックを左右に倒して見たいページを選ぶ 文字による道路交通情報が表示されます。



MEMO

VICS文字情報の表示は、画面上下で2ページ分を表示していますので、1回のページ変更操作により、画面の半ずつが送られます。

放送局を切り換えたいときは

希望するエリアの放送が受信されていない、またはデータ受信待ちの画面が表示されていて受信感が悪いときは、ジョイスティックを上下に倒して **選局** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



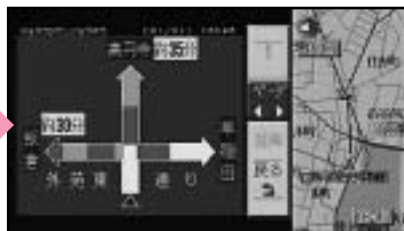
選局画面になりますので、希望する放送局を選局してください。選局のしかたは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.108)をご覧ください。

ビーコンからの情報を見る

VICS用ビーコン受信機を接続している場合には、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信したときに、自動的にその内容を画面に表示させることができます。(ビーコン文字図形表示)

ビーコン文字図形情報は、走行中の現在地画面とハイウェイモード画面で表示されます。

ビーコンの情報を受信すると



約15秒経つか、[戻る]ボタンを押すと、ビーコン文字図形表示が消える。

ビーコン情報を再表示させる

「ビーコン文字図形表示」が「しない」になっても、ビーコン情報が受信できていれば、受信した情報を表示できます。

1. メインメニューの **情報を見る**

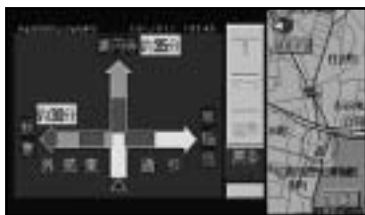
VICS情報 を選び [決定] ボタンを押す

2. **ビーコン図形情報** または

ビーコン文字情報 を選び、[決定] ボタンを押す



3. 確認し終わったら、[戻る] ボタンを押す



MEMO

ルートの交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。ビーコン文字図形表示をやめるときは、「設定を変える VICS」メニューの「ビーコン文字図形表示」(P.201)を「しない」にしてください。

渋滞を考慮したルートを探索する

VICS用ビーコン受信機を接続している場合には、ビーコンの渋滞情報を考慮して、目的地まで最短時間で到着できる可能性があるルートを探索するように設定できます。
(渋滞考慮ルート設定)

渋滞情報を受信したあと、ルート探索の操作 (P.35) を行うだけで、渋滞を考慮したルート探索が自動的に行われます。特別な操作は必要ありません。



通常のルート探索よりも、探索時間が長くなる場合があります。
渋滞を避けるルートがない場合があります。

MEMO

渋滞を考慮したルート探索は、「設定を変える ルート」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」(P.201) でON/OFFします。

「渋滞を考慮したルート探索」をONにすると、オートリルートやリアルタイムリルートの際にも渋滞が考慮されます。

今いる地域以外の放送局を選局する

VICS/FM多重放送は「東京の情報はVICS東京から」「埼玉の情報はVICSさいたまから」とエリアごとに分かれて放送されています。

購入直後の状態では、自車位置の情報をもとに、そのエリアで受信可能な放送局が自動的に選局されますから、通常は選局の操作は必要ありません（オート選局）。

希望するエリアの放送が受信されていないときや、受信中の放送局の受信感度が悪いときは、他の放送局を選局してください。

MEMO

お使いになるディスクの発売日以降に、FM多重放送によるVICS情報提供サービスが開始された放送局は、「シークで選ぶ」(P.109)や「マニュアルで選ぶ」(P.110)の方法で受信してください。

放送局の受信感度を確認する

現在受信している放送局の受信感度を確認することができます。

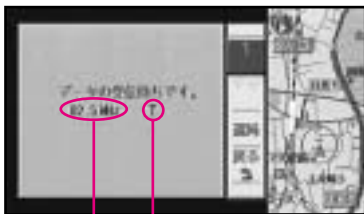
放送局選局画面



受信感度表示

VICS情報表示画面

データ受信待ちの状態では、次の画面が表示されます。



受信中の放送局 受信感度表示

受信感度表示：バーが多いほど受信感度が良好です。バーが2本以下の場合、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

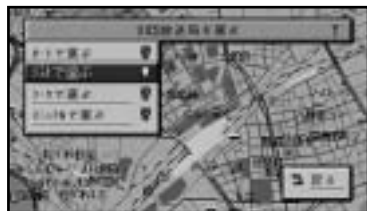
リストから選ぶ

VICS放送局の一覧から、受信する放送局を選ぶことができます。

1. メインメニューの **情報を見る**
VICS情報 を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **放送局選局** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **リストで選ぶ** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 受信したいVICS放送局名を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

自車位置に近い放送局だけがリストに表示されます。放送局によっては十分な受信感度が得られない場合があります。

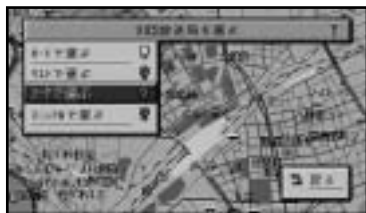
5. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



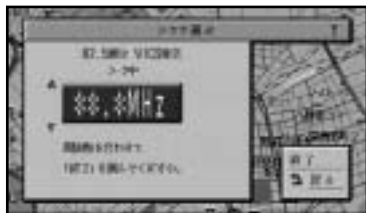
シークで選ぶ

受信状態のよい放送局を探して受信させることができます。

1. メインメニューの **情報を見る** **VICS情報** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **放送局選局** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **シークで選ぶ** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを上下に倒して周波数をシークする



感度の良い周波数を受信すると、シークが自動的に止まります。同じ操作を繰り返せば、周波数が順次切り換わります。

5. 希望の周波数になったら、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押す



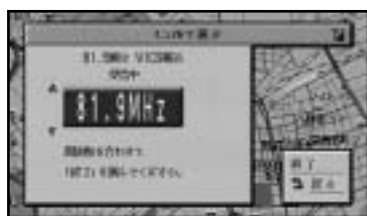
マニュアルで選ぶ

シークで選局できない放送局を選局したいときは、手動で選局できます。

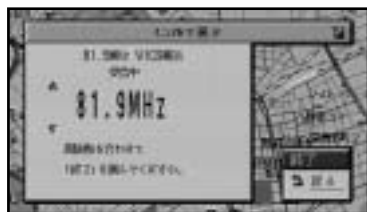
1. メインメニューの**情報を見る**
VICS情報を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **放送局選局**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **マニュアルで選ぶ**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを上下に倒して周波数を切り換える
倒し続けると連続して送られます。



5. 希望の周波数になったら、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押す



VICSセンターからの連絡を見る

情報提供時刻の変更やサービス内容のお知らせなど、VICSセンターからの連絡や案内用の番組を見ることができます。

1. メインメニューの**情報を見る**
VICS情報を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **VICSセンター情報**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す



データ受信中の画面が表示されたあと、VICSセンター情報の画面が表示されます。

MEMO

操作の詳細は、「VICS情報を簡易図形や文字で見える」(P.104)をご覧ください。

放送局を切り換えたいときは

希望するエリアの放送が受信されていない、またはデータ受信待ちの画面が表示されていて受信感度が悪いときは、ジョイスティックを上下に倒して**選局**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



選局画面になりますので、希望する放送局を選局してください。選局のしかたは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.108)をご覧ください。

Chapter 6

インターネットを利用する



AVIC-D6500では、ご利用できません。

この章の内容

インターネットを利用する前に	114
インターネット接続の準備をする	116
ホームページを見る	124
インターネットの基礎知識	136

インターネットを利用する前に

本機につないだデジタル携帯電話を使ってインターネットに接続し、さまざまな情報を利用することができます。

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピューターで構成されるネットワークのことです。当初はおもに学術情報を公開するために利用されていましたが、現在ではさまざまなジャンルの情報が提供されるようになり、必要な準備を整えれば誰でも利用できるまでに普及しています。

通常インターネットを利用する場合は、パソコンなどの情報端末と、これを電話回線につなぐための通信機器（データ通信機能を備えた電話機やモデムなど）を使います。電話回線を介してインターネットに接続し、情報のやり取りを行います。

このときインターネットへの接続サービスを提供し、インターネットへの窓口となるのが「インターネットサービスプロバイダー」（「プロバイダー」）です。利用者は直接には自分の契約しているプロバイダーに接続して、そこからさらにインターネットに接続することになります。

本機はインターネットを利用するための機能を備えています。本機に携帯電話をつないでインターネットに接続することにより、インターネットで公開されている情報を利用できるようになります。

インターネットを利用するまで

本機でインターネットを利用するまでには、次のような準備を行います。

1. インターネットサービスプロバイダーとの利用契約を行い、「接続ID」と「接続パスワード」などの情報を入力する
すでにプロバイダーと契約している場合は、必要な情報がそろっているかどうかを確認します。
2. 本機とデジタル携帯電話（9600bpsデータ通信機能に対応しているもの、または「cdmaOne™」携帯電話）をつないで利用できるようにする（P.150）
3. 116ページ以降の手順に従って、プロバイダーに接続するための設定を行う
4. 124ページ以降の手順に従って、インターネットに接続する

インターネットに接続してからの操作については、「ホームページを見る」（P.124）をご覧ください。

インターネットナビシステムとは

インターネットナビシステムはドライブに役立つ情報をクルマの中で見やすく表示・提供する無料の会員制サービスです。

自車位置や目的地とリンクしたリアルタイムな情報が入手でき、自宅のパソコンで目的地や経由地を登録して、インターネットナビシステム対応カーナビで呼び出すことが可能です。

インターネットナビシステムをお使いになるには

インターネットナビシステムに会員登録して、あらかじめ接続IDと接続パスワードを用意する必要があります。会員登録は、インターネットナビシステムのホームページよりお申し込みください。

インターネットナビシステムのご利用には、インターネットへ接続できる環境と個人用Eメールアドレスが必要となります。

インターネット接続に必要な通話料、インターネットプロバイダーの接続料は別途必要となります。

インターネットナビシステムは本田技研工業株式会社が運営しています。

ホームページ <http://www.internavi.ne.jp/>
インターネットナビ情報センター

お客様ご相談窓口

(受付時間 9時～12時、13時～17時/
但し、土・日・祝祭日・同社休業日は除く)

フリーダイヤル 0120-821439

FAXフリーダイヤル 0120-821285

MONET-iとは

MONET-i(モネアイ)は、ドライブに役立つ情報をクルマの中で見やすく表示・提供する会員制のサービスです。

携帯電話で直接モネ情報センターに接続するため、プロバイダーとの契約なしにMONETの情報を取得できます。また、モネ会員ならご家庭のパソコンでも情報を閲覧し、カーナビに送信することもできます。

MONET-iをお使いになるには

MONET-iのサービスをご利用になる場合は、MONET-iに入会して、あらかじめ接続IDと接続パスワードを用意する必要があります。

- ・MONET-iの新規受付は停止されました。
- ・詳しくはモネ・カスタマーセンターにお問い合わせください。

モネ・カスタマーセンター

全国共通フリーフォン 0070-800-773377

(携帯電話からは) 052-263-7737

(受付時間) 9:00～17:00(祝祭日を除く)

(FAX 情報162 プブツ)

287-052-263-7750-01

ホームページ <http://www.tms.ne.jp/>

MEMO

インターネットへの接続時間は、電話の受信状態や回線の混み具合によって異なります。

本機で表示できる画像データは、JPEG形式とGIF形式ですが、条件によっては表示できない場合もあります。また、フレームを使ったホームページやプラグインなどの利用を前提としたホームページやSSLを使用しているホームページも表示できません。

ホームページの運用・内容・情報の更新頻度などは、それぞれのホームページの主催者によって異なります。情報提供の中断、URLの変更などは、各ホームページの主催者にお問い合わせください。

インターネットに関する基本的な知識については、「インターネットの基礎知識」(P.136)をご覧ください。



通信後、電話が切れたこと(回線の切断)を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネット接続の準備をする

まず、インターネットシステムや一般のプロバイダーなどに接続するための設定を行います。通常は使い始めに一度設定するだけで、以降この操作を行う必要はありません。

プロバイダーへの入会後に送付される契約書や説明書には、次の情報が記載されています。設定を始める前に手元に用意して、これらの情報をすぐに確認できるようにしておきましょう。

接続ID

接続パスワード

プライマリ-DNSのIPアドレス

セカンダリ-DNSのIPアドレス

(プロバイダーから指示があった場合)

サブネットマスク

接続先(アクセスポイント)の電話番号

また、必要に応じて以下の情報も確認してください。

プロクシーサーバー名とポート番号

MEMO

上記の名称は、プロバイダーによって異なる場合があります。

NTT DoCoMoのインターネット接続サービスmopera「モペラ」、J-PHONEの「J-フォンアクセスインターネット」、auの「DA・RE・DE・MOインターネット」、ツーカーセルラー東京の「インターネットフリーウェイ」をご利用の場合は、上記の情報は必要ありません。

プロバイダーの説明書にサブネットマスクの情報が記載されていない場合は、設定の際画面に表示されているものを、そのまま使用してください。



プロバイダーによっては接続できない場合があります。

手順5の**リストから設定**でリストに表示されるプロバイダーは、2002年5月現在の調査によるものです。設定項目の内容(特に接続先電話番号)は変更になる可能性がありますので、自動入力後、ひと通りご確認ください。

プロバイダーを一覧から選ぶ

プロバイダーに関する多くの情報を自動入力できるので便利です。NTT DoCoMoのmopera「モペラ」「au」「J-PHONE」「ツーカーセルラー東京」をご利用の場合、こちらをご覧ください。

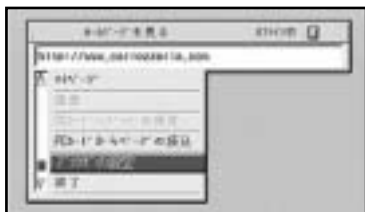
1. メインメニューの**情報を見る**

ホームページを

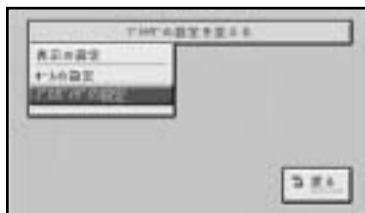
選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **ブラウザの設定**を選び、〔決定〕ボタンを押す



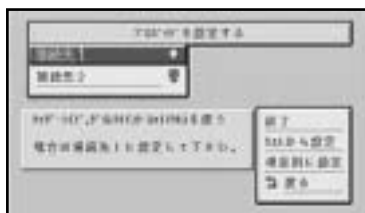
3. **プロバイダの設定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



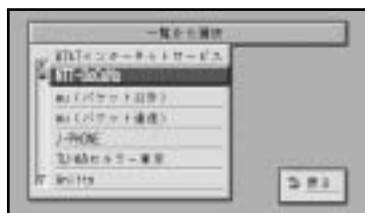
5. **リストから設定** を選び〔決定〕ボタンを押す



4. **接続先1** または **接続先2** を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 加入しているプロバイダーを選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

接続先1と2それぞれに異なるプロバイダーを指定することができます。気象情報を取得したり、探したお店などのホームページを見る場合は、自動的に**接続先1**で設定したプロバイダーに接続します。

2つめのプロバイダーを設定するときは、**接続先2**を選びます。

プロバイダーの使い分けについて詳しくは、「2つのプロバイダーを使い分けるときは」(P.123)をご覧ください。



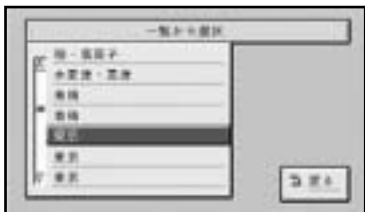
すでに設定を行った接続先を選択すると、前回設定した内容に上書きされるので注意してください。

MEMO

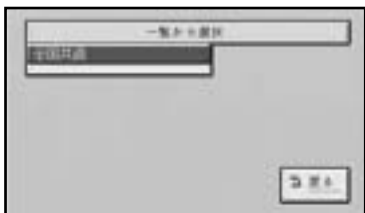
加入しているプロバイダーがリストになかったときは、**戻る**を選んで〔決定〕ボタンを押し、手順5の画面で**項目別に設定**を選んだあと、「プロバイダーの設定を手動で行う」(P.119)をご覧ください。

NTT DoCoMoの「モペラ」をご利用の場合は、「NTT DoCoMo」を選んでください。また、「MONET-i」をご利用の場合は「MONET-i」、auをご利用の場合は「au」、J-PHONEをご利用の場合は「J-PHONE」、ツーカーセルラー東京をご利用の場合は「TUKAセルラー東京」を選んでください。au(パケット以外)(インターネット接続サービス)「DA・RE・DE・MOインターネット」をご利用できるのは関東/中部エリアでご契約の方のみです。

7. 接続先（アクセスポイント）を選び、〔決定〕ボタンを押す



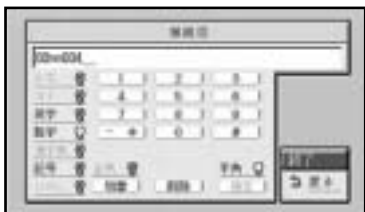
手順6で「NTT DoCoMo」「IDO」「J-PHONE」を選んだときは、次の画面になります。そのまま〔決定〕ボタンを押して、手順12に進んでください。「MONET-i」を選んだときは、次の画面で〔決定〕ボタンを押して、手順8に進みます。



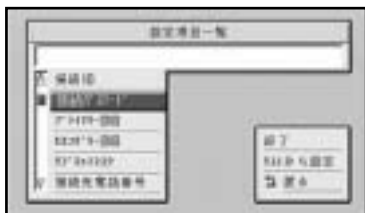
8. **接続ID**を選び、〔決定〕ボタンを押す



9. プロバイダー入会時に発行された接続IDを入力し、**終了**を選んで、〔決定〕ボタンを押す



10. **接続パスワード**を選び、〔決定〕ボタンを押す



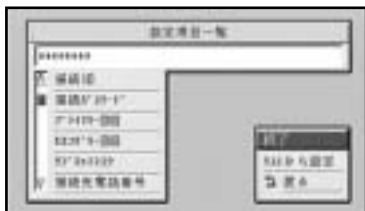
11. プロバイダー入会時に発行された接続パスワードを入力し、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押す

入力したパスワードは、画面に“*”で表示されます。

MEMO

接続IDと接続パスワード以外の項目は自動的に入力されています。設定内容を確認し、必要に応じて修正してください。

12. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



13. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「表示の設定」の詳細は、「ブラウザの表示を設定する」(P.123)をご覧ください。

「ホームの設定」の詳細は、「ホームの登録先を変える」(P.133)をご覧ください。

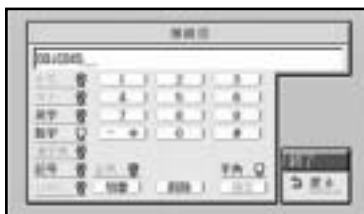
プロバイダーの設定を手動で行う

1. 117ページの手順5で **項目別に設定** を選び、〔決定〕ボタンを押す

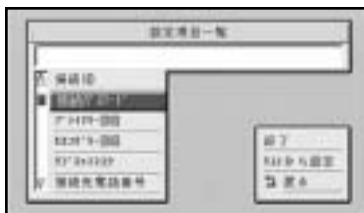
2. **接続ID** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



3. プロバイダー入会時に発行された接続IDを入力し、**終了** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



4. **接続パスワード** を選んで、〔決定〕ボタンを押す

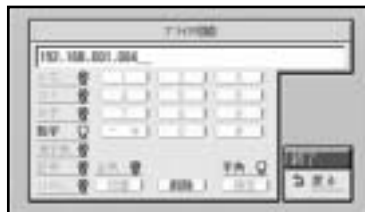


5. プロバイダー入会時に発行された接続パスワードを入力し、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す
入力したパスワードは、画面に“*”で表示されます。

6. **プライマリーDNS** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



7. プライマリーDNSのIPアドレスを入力し、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す



MEMO

IPアドレスは3桁ずつ入力します。3桁未満の数字があるときは、数字の前に0を加えて、3桁になるように入力してください。

例：192.160.2.255 の場合
 (正) 192.160.002.255
 (誤) 192.160.2.255

8. **セカンダリーDNS** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



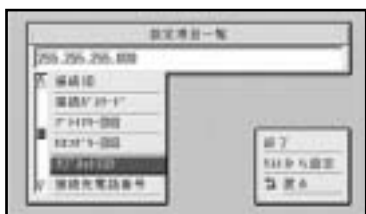
9. セカンダリーDNSのIPアドレスを入力し、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す

MEMO

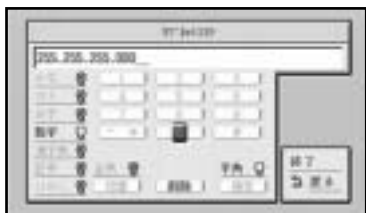
自動的にプライマリーDNSと同じIPアドレスが入力されます。プロバイダーからセカンダリーDNSのIPアドレスを指示されていないときは、ここはそのままにしておきます。

セカンダリーDNSのIPアドレスをプロバイダーから指示されているときは、自動入力されたものを削除してから入力し直してください。

10. **サブネットマスク** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



11. サブネットマスクを入力し、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「255.255.255.000」が自動的に入力されています。必要に応じて削除してから入力し直してください。プロバイダーの説明書にサブネットマスクの情報が記載されていない場合は、画面に表示されているものを、そのまま使用してください。

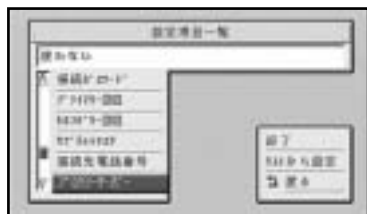
12. **接続先電話番号** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



13. 接続先（アクセスポイント）の電話番号を入力し、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す



14. **プロキシサーバー** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



15. プロクシーサーバーの設定として **使わない** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

プロクシーサーバーを利用する場合は、**使う** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。〔決定〕ボタンを押すたびに、ランプの点灯/消灯が切り換わります。設定方法は、「プロクシーサーバーの指定」(P.122)をご覧ください。

16. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



17. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



18. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「表示の設定」の詳細は、「ブラウザの表示を設定する」(P.123)をご覧ください。

「ホームの設定」の詳細は、「ホームの登録先を変える」(P.133)をご覧ください。

プロキシサーバーの指定

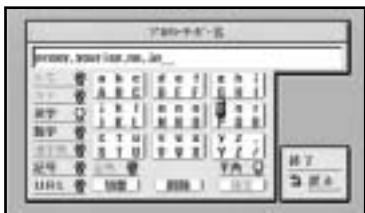
MEMO

プロキシサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダーの説明書をご覧ください。

1. 前ページの手順15で**使う**を選び、〔決定〕ボタンを押した後、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押す
2. **プロキシサーバー名**を選んで、〔決定〕ボタンを押す



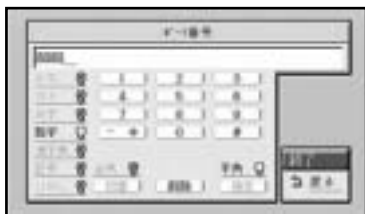
3. サーバー名を入力し、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押す



4. **ポート番号**を選んで、〔決定〕ボタンを押す



5. ポート番号を入力し、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「8080」が自動的に入力されています。必要に応じて削除してから入力し直してください。
プロバイダーの説明書にポート番号の情報が記載されていない場合は、画面に表示されているものを、そのまま使用してください。

6. 前ページの手順17以降の操作を行い、設定を終了する

ブラウザの表示を設定する

インターネットから送られてきた情報は、通常のナビゲーション画面とは異なる画面（「ブラウザ」と呼びます）に表示されます。ブラウザの設定は、利用状況に合わせて変更することもできます。

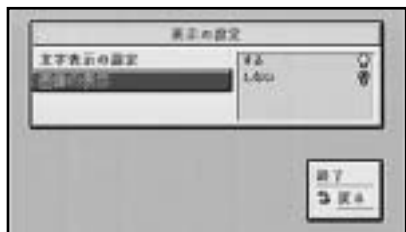
文字表示の設定

表示設定の **文字表示の設定** は通常「AUTO」に設定しておきます。「AUTO」では、ブラウザが日本語のコード体系を自動的に判別して、文字化け（日本語が変な文字に置き換わって表示されてしまう現象のこと）が起きないようにしてくれます。文字化けなどが起きたときは、**文字表示の設定** を選んで〔決定〕ボタンを押して、他の設定にしてみてください。



画像の表示

画像の表示 を選んだあと〔決定〕ボタンを押すたびに、画像の読み込みをする／しないが切り換わります。インターネットから画像の情報を読み込まないときは、通信時間が通常より短くなります。



2つのプロバイダーを使い分けるときは

本機では、2つのプロバイダーを使い分けることができます。

あらかじめそれぞれのプロバイダーについて接続先の設定を行っておくと、利用状況に応じて接続先を切り換えることができるため、接続先を変えるたびに接続設定をやりなおす必要がなくなります。



気象情報の取得（P.142）やダイレクトインターネットアクセス（P.125）の操作を行った場合、常に「接続先1」を利用します。

MEMO

接続先の設定については、「インターネット接続の準備をする」（P.116）をご覧ください。

接続するプロバイダーを選ぶ

1. インターネットメニューで **ブラウザ** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **プロバイダの設定** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 利用したい接続先を選び、〔決定〕ボタンを押す
4. **終了** を選び〔決定〕ボタンを押す
インターネットに接続すると、指定したプロバイダーに自動的に接続できるようになります。

ホームページを見る

インターネットを使って、さまざまな情報を手に入れることができます。



通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットに接続する

1. メインメニューの**情報を見る**

ホームページを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **接続開始**を選び、〔決定〕ボタンを押す



「ホーム」に登録されたホームページが表示されます。

MEMO

最初は、「ホーム」にcarrozzeria.comのトップページが登録されています。「ホーム」に登録されているページは変更することができます（P.133）。表示するホームページによっては、秒時計マークが表示され、読み込みに時間がかかることがあります。〔メニュー〕ボタンを押してインターネットメニューを表示し、読み込みを中止できます（P.127）。



接続中に5分以上、操作やデータのやり取りが行われなかった場合は、自動的に電話が切れます。電話が切れた後に、画面上で、カーソルが矢印から指マークに変わる場所（P.126）やボタンにカーソルを合わせて〔決定〕ボタンを押すと、「回線が切断されています。接続しますか？」というメッセージを表示します。再接続したいときは、**はい**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。接続IDとパスワードを登録していない場合には、接続設定を確認するメッセージが表示されます。〔メニュー〕ボタンを押してインターネットメニューを表示させ、プロバイダーの設定を行ってください（P.116）。

「cdmaOne™」携帯電話を使用してのデータ通信について

「cdmaOne™」携帯電話を使用しての PACKET 通信以外のデータ通信は、「PDC」携帯電話に比べて、通信時間がかかる場合があります。また、PacketOne64での通信も可能ですが、64kbpsの通信速度で通信は行われません。

本機に「cdmaOne™」携帯電話を接続するためには、別売のcdmaOne™用接続アダプター「CD-H1」が必要です。

「 は表示できません」というメッセージが表示されたら

ホームページによっては、画像や文字が多いために、ブラウザーに表示できない場合があります。このようなときは、画像の読み込みを行わない設定にすると、表示できる場合があります（P.123）。

探したい場所のホームページに接続する

場所 **探す**などで検索した施設の詳細

情報画面（P.79）から、**インターネット**を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、インターネットに接続し、その施設に関連するホームページにアクセスできます。（ダイレクトインターネットアクセス）



MEMO

本ディスクを使用してのダイレクトインターネットアクセスの通信サービスは、2003年9月までご利用いただけます。

画面を操作する

表示された情報を見ることはもちろん、パソコン用ブラウザーと同様に、リンク先のページを見たり、画面をスクロールさせることができます。

インターネットに接続されると、ブラウザー画面が表示され、画面上にカーソル（矢印または指マーク）が表示されます。ブラウザー画面を操作するときには、操作したい箇所までジョイスティックでカーソルを動かし、〔決定〕ボタンを押します。



カーソル

MEMO

〔メニュー〕ボタンを押すと、インターネットメニューが画面に表示されます。〔メニュー〕ボタンを押すたびに、メニューの表示とカーソルの表示が切り換わります。

リンク先のページを表示する

ジョイスティックでカーソルを動かし、下線の付いている項目（リンクといいます）に重ねて〔決定〕ボタンを押す



リンク先のページが表示されます。

MEMO

カーソルは、他のページへのリンクがあるときは指マークで、それ以外の部分では矢印になります。

画面にエラーメッセージが表示されたときは、〔メニュー〕ボタンを押してください。

画面をスクロールさせる

画面内に情報を表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。画面を表示させたい（スクロールさせたい）方向にジョイスティックを倒しつづけると、画面がスクロールします。

ジョイスティックを倒しながら〔決定〕ボタンを押すと、よりすばやく画面をスクロールさせることができます。



スクロールバー

ひとつ前の画面を表示させる

〔戻る〕ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。



ホームページ上で文字を入力する

ホームページ上に文字を入力できる欄があり、文字を入力する必要がある場合は、入力欄にカーソルを合わせて〔決定〕ボタンを押すと、文字入力の画面になります。文字入力後、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、入力欄に文字が入力されます。

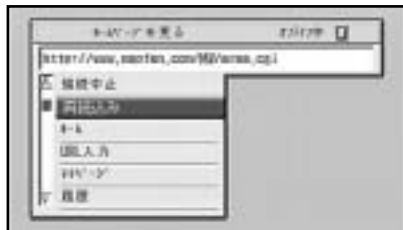


(例) Yahoo! JAPANの場合



画面が正しく表示されないときは

インターネットメニューの**再読み込み**を選んで〔決定〕ボタンを押して、データの再読み込みを行ってください。



データが再度読み込まれ、画面が更新されます。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

データの読み込みを中止する

インターネットメニューの**読み込み中止**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



データの読み込みが中止されます。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

ホームに戻る

インターネットメニューの **ホーム** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



「ホーム」に登録されたホームページが表示されます。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

「ホーム」に登録されているホームページを変更できます。操作方法は、「ホームの登録先を変える」(P.133)をご覧ください。

URLを指定してホームページを表示させる

1. インターネットメニューの **URL入力** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. URLを入力 (P.28) する



MEMO

入力画面左側の文字種を「URL」に切り換えたときは、「www.」などURLでよく使われる文字列が入力できます。

入力したURLを修正する方法については、「誤って入力した文字を削除する」(P.30)をご覧ください。

3. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す

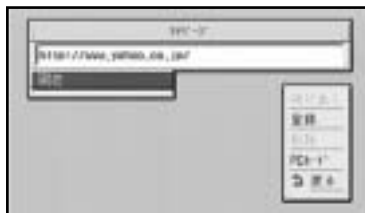


URLで指定したホームページが表示されます

気に入ったホームページを登録する

何度も繰り返し見るホームページは、「マイページ」として登録しておくことができます。登録しておく、簡単な操作でそのホームページを見ることができます。

1. 登録したいホームページを表示させる
2. インターネットメニューの **マイページ** を選び、〔決定〕ボタンを押す

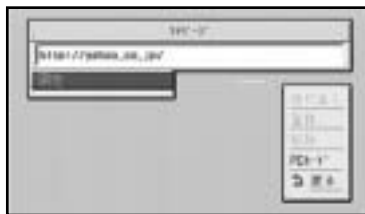


MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

3. **現在** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカード を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録したホームページのデータをPCカードに保存したり、保存しておいたデータを本機に読み込んだりすることができます。「登録したデータをPCカードに保存する」(P.194)をご覧ください。

4. **登録** を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **登録** を選び、〔決定〕ボタンを押す



表示中のホームページが登録されます。



最大20ページまで登録することができます。PCカードを使用した場合は、20ページを1グループとして、1024グループまで登録可能です。

MEMO

手順5の画面で **名前を変更する** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録するページの名前を変更できます。

手順5の画面で **URLを変更する** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録するURLを変更できます。



最大20ページまで登録できます。

CGI (P.137) を使用したホームページおよびURLが256文字を超えるホームページは登録できません。

登録したホームページを呼び出す

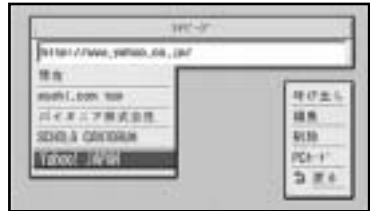
1. インターネットメニューの **マイページ** を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. 表示したいホームページを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **呼び出し** を選び、〔決定〕ボタンを押す



選択したホームページが表示されます。

登録したホームページを削除する

1. インターネットメニューの **マイページ** を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. 削除したいホームページを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **削除** を選び、〔決定〕ボタンを押す



表示中のホームページをPCカードに保存する

1. インターネットメニューの **PCカードへページの保存** を選び、〔決定〕ボタンを押す



PCカードにデータが保存されます。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

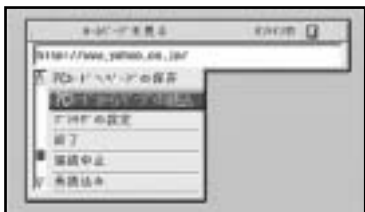
メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。



ページ内の画像はPCカードに保存されません。

PCカードに保存したホームページを表示する

1. インターネットメニューの
PCカードからページの読込を選び、
〔決定〕ボタンを押す

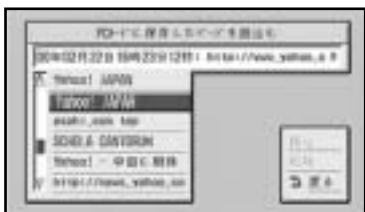


MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. ジョイスティックを上下に動かしてリストから見たいページを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **読込**を選び、〔決定〕ボタンを押す



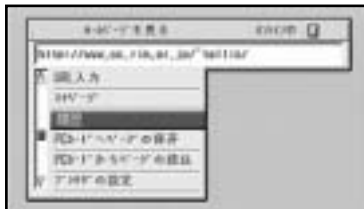
選択したホームページが表示されます。

MEMO

削除を選ぶと、指定したホームページのデータをPCカードから削除することができます。

以前見たことのあるホームページを表示する

1. インターネットメニューの**履歴**を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. ジョイスティックを上下に動かしてリストから見たいページを選び、〔決定〕ボタンを押す



選択したホームページが表示されます。



インターネット接続後に表示させたホームページのリストが最新のものから順に表示されます。

履歴には過去10件までのデータが保存されます。

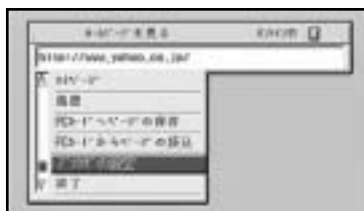
ホームの登録先を変える

「ホーム」に登録されているホームページを変更できます。

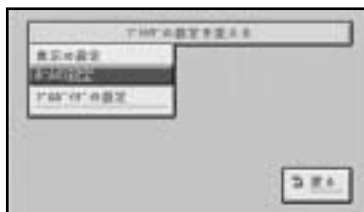
1. 「ホーム」に登録したいホームページを表示させる



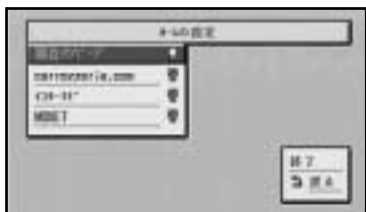
2. インターネットメニューの**ブラウザの設定**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **ホームの設定**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. **現在のページ** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

carrozzeria.com を選んで〔決定〕ボタンを押すと、carrozzeria.comのトップページに戻ります。

インターナビ を選んで〔決定〕ボタンを押すと、インターナビのトップページが「ホーム」に登録されます。

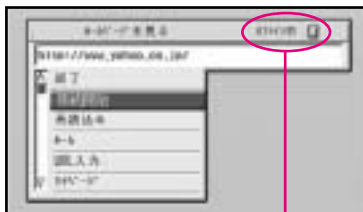
MONET を選んで〔決定〕ボタンを押すと、モネホームページのトップページが「ホーム」に登録されます。「MONET-i」を接続先として設定している場合に限り、モネホームページのトップページを表示させることができます。

5. **終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す



接続を解除する

1. インターネットメニューの **接続中止** を選び、〔決定〕ボタンを押す



オンラインからオフラインに変わる。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. インターネットメニューの **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



現在地画面に戻ります。

MEMO

〔現在地〕ボタンを押したあと、
はいを選んで〔決定〕ボタンを押しても、現在地画面に戻ります。



通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットの基礎知識

インターネットってなに？

世界各国のコンピューターを相互に接続した、世界規模のコンピューターネットワークシステムです。

インターネットで最も利用されているサービスは、Webサイトの閲覧や情報発信、電子メールによるメッセージ交換です。

企業や個人がWebサイトで発信した最新情報は、「Webブラウザ（ブラウザー）」というソフトでいつでも閲覧できます。また、電子メールの利用により、送り先の時間帯や距離を意識することなく、メッセージのやりとりが可能です。

プロバイダーってなに？

「インターネット接続サービスプロバイダー」の略で、インターネットに接続する環境（電話回線や通信設備など）を一般の利用者に提供する企業や組織のことです。「インターネットプロバイダー」「ISP」などと呼ばれることもあります。

利用者は、電話回線を通じてプロバイダーに接続することで、その先のインターネットを利用できます。

インターネットを見ているときは費用がかかるの？

携帯電話が接続されている時間分だけ、携帯電話の通話料とプロバイダーの接続料がそれぞれ課金されます。

携帯電話の通話料は通常の通話と同じですから、接続先（プロバイダーのアクセスポイント）によって料金が異なります。ただし、海外のホームページを見たからといって、国際電話料が課金されるわけではありません。

carrozzzeria.comってなに？

パイオニア株式会社が運営しているカーナビゲーションシステム用のホームページです。

位置情報（緯度経度）付きの施設の検索ができ、Webページ上から施設の登録や目的地設定ができます。URLは、「<http://www.carrozzzeria.com/>」です。

“http://”のhttpってなに？

インターネット上で、コンピューターどうしが各種情報を交換するために使用する共通のルールのことを「プロトコル」といいます。httpは、Webサイトの情報（ホームページ）をやりとりするためのプロトコルで、Hyper Text Transfer Protocolの略です。

Webブラウザはこのプロトコルを使ってWebサイトからデータを受信し、その結果を画面に表示させます。

「URL」ってなに？

Uniform Resource Locatorの略で、インターネット上で、情報のある場所を特定するための文字列のことです。URLには、情報の種類、サーバー名（ホスト名+ドメイン名）といった、インターネット上で情報を得るための文字列を記述します。

例えば、パイオニア株式会社のホームページから情報を得る場合には、URLとして、<http://www.pioneer.co.jp/> というように指定します。

「マイページ」ってなに？

繰り返し利用するWebページを本機のブラウザに登録しておく機能のことです。パソコン用のブラウザでいうところの「ブックマーク」「お気に入り」と同様の機能です。

繰り返しアクセスして情報を得たいWebページを「マイページ」として登録しておくことで、毎回URLを入力する手間を省くことができます。

「ホーム」ってなに？

接続開始時、最初に表示されるWebページのことです。

最初は、carrozzeria.comのトップページが登録されています（お好みのWebサイトに変更できます）。

また、他のWebページを表示中にインターネットメニューの**ホーム**を選んで〔決定〕ボタンを押しても、「ホーム」のWebページが表示されます。

メールアドレスってなに？

電子メールを送受信するときの宛先となる情報です。郵便物の住所のようなもので、「my_name@mail.abcd.ne.jp」などといった表記が「電子メールアドレス」です。インターネットシステムを利用しているときは、本機で電子メールの受信ができます。メールアドレス取得の具体的手続きなどは、「インターネットシステムお客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

「CGI」ってなに？

Common Gateway Interfaceの略で、ホームページ上で文字などの入力を行った結果をページに反映させるための機能を追加するためのものです。

たとえば、ホームページを見た人数を示す「カウンタ」や、ホームページ上にメッセージを書き込んで誰でも閲覧できるようにする「掲示板」などで、CGIが使われています。

「SSL」ってなに？

Secure Socket Layerの略で、インターネット上で安全に情報をやり取りできるようにするための技術のひとつです。SSLを利用して作られているホームページを見るためには、SSLに対応しているWebブラウザを用意する必要があります。（本機では、これらのページを表示させることはできません。）

Chapter 7

各種情報を利用する

この章の内容

気象情報を見る	140
FM文字放送の番組を見る	146

気象情報を見る

インターネット上の専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます（ウェザーライブ）。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

情報を取得する前に、携帯電話を接続してインターネットに接続するための準備を行ってください（P.116）。

天気予報の表示例

天気予報のデータの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気が、マークで表示されます（3時間毎の天気予報からいちばん近いものが表示されます）。また、スカイビュー、ナイアガラビュー、ドライバーズビュー表示時には空の色が天気予報に応じて変化します。



さらに、天気予報の詳細画面では、約2日分の予報まで細かく見ることができます。



アメダス情報の表示例

アメダス情報画面では十字カーソル位置に最も近いアメダス観測地点の情報が、文字と色分けされた四角形で地図上に表示されます。



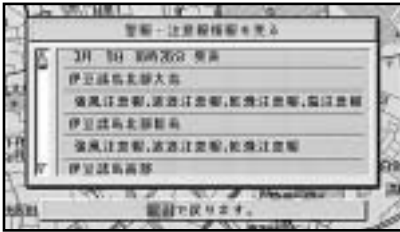
また、マルチビューコントローラーを上倒して地図を見る角度を変えるとアメダス情報を色分けされた棒グラフで見ることができます。



アメダス情報を現在地画面に表示することができません。アメダス情報を見たいときは、メニューから操作してください。（P.144）

警報・注意報の表示例

警報や注意報の発表時刻、該当地域、内容が表示されます。



ルートを設定すると

ルートを設定した直後に、“目的地付近の到着予想時刻頃の天気は晴れ、降水確率40%、気温25度の見込みです。”といった、目的地付近の到着予想時刻前後の天気は音声で案内されます。

MEMO

専用サーバーには約2日間の3時間毎の正時（降水確率、快適度、ワイパーの切り換えは6時間毎）の天気予報データと、毎正時ごとに観測され配信されるアメダスデータ、そして警報・注意報データが準備されています。天気予報データは毎日4:00と16:00に発表される（株）ウェザーラインの天気予報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります）。

天気予報の表示は、「設定を変える地図」メニューの「天気予報表示」（P.200）でON/OFFできます。

天気予報データについて詳しくは、「天気予報に関する注意事項」（P.304）をご覧ください。

アメダス情報について詳しくは、「アメダス情報について」（P.305）をご覧ください。



データが取得できていない場合は、気象情報は表示されません。

発表時刻から24時間経過すると、気象情報データは本機から削除されます。再度、専用サーバーからデータを取得してください。

本機をリセット（『スタートブック』）すると、取得した気象情報も消去されます。専用サーバーによる気象情報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。

本ディスクを使用してのウェザーライブの通信サービスは、2004年7月までご利用いただけます。

データを取得する

ここでは、天気予報のデータを取得する場合を例に説明します。

1. メインメニューの**情報を見る**

気象情報を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **データを取得する**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **天気予報**を選んで、〔決定〕ボタンを押し、右のランプを点灯させる



MEMO

アメダスのデータを取得したいときは、**アメダス情報**のランプを点灯させます。

警報・注意報のデータを取得したいときは、**警報・注意報**のランプを点灯させます。

4. **決定**を選び、〔決定〕ボタンを押す



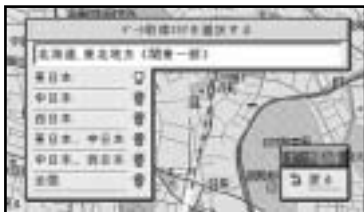
5. データを取得する地域を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

データ取得エリアについては、「天気予報に関する注意事項」(P.231)と「アメダス情報について」(P.305)をご覧ください。

6. **データ取得**を選び、〔決定〕ボタンを押す





受信し終わると、自動的に手順2の画面に戻ります。



通信後、電話が切れたこと(回線の切断)を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

MEMO

データを取得できなかった場合は、〔戻る〕ボタンを押して終了してください。

天気予報を見る

1. メインメニューの**情報を見る**

気象情報 を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. **天気予報を見る** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 気象状況を見たい地域まで地図をスクロールする

十字カーソル位置の天気予報時刻、降水確率、気温、快適度、ワイパーの切り換え(雨や雪の量) この色に合わせて地図が塗り分けられる。



現在の塗り分け、および降水確率・気温の対象となっている予報時刻が示される。 十字カーソルの位置の3時間おきの天気予報

MEMO

天気予報データがない地域は、地図がピンク色で塗られます。

快適度は、「暑い/やや暑い/快適/やや寒い/寒い/不明」の6段階で表示されます。

ワイパーは、「間欠、連続、高速、不要」、不明の場合は「****」の5段階で表示されます。

地図を2kmスケール以下で表示していた場合、縮尺が自動的に2kmスケールに変わります。

4. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す



天気予報時刻を選ぶ

天気予報の詳細画面で、地図の塗り分けや予報表示の対象となる時刻を選ぶことができます。

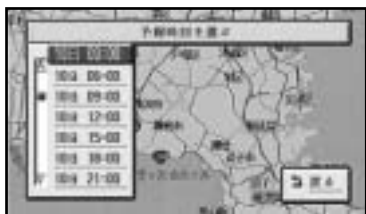
MEMO

天気予報の詳細画面（前ページ手順3の画面）で、〔オフフック/切替〕ボタンや〔オンフック/確定〕ボタンを押しても予報時刻を変更できます。

1. メインメニューの**情報を見る**
気象情報を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **天気予報時刻を選ぶ**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 予報時刻を選び、〔決定〕ボタンを押す



手順2の画面に戻ります。天気予報の詳細画面の時刻が、ここで設定した時刻になります。

アメダス情報を見る

1. メインメニューの**情報を見る**
気象情報を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **アメダス情報を見る**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 見たい情報を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

降水量、積雪量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選ぶことができます。選んだ情報が、地図上に色分けで表示されます。

4. アメダス情報の詳細を見たい地域にカーソルを移動する



カーソル位置付近にあるアメダス観測地点のすべての情報が、文字で表示される

MEMO

アメダスの文字情報では、降水量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選ぶと、これらすべての情報が表示されます。積雪量を選んだ場合は、積雪量の情報だけが表示されます。

MEMO

毎正時に観測された過去1時間以内のデータが配信されます。

降水量は0.5mm単位、気温は0.1単位、風向は16方位、風速は1m単位、日照時間は1分単位、積雪量は1cm単位で表示されます。

地図を10kmスケール以下で表示していた場合、縮尺が自動的に20kmスケールに変わります。

5. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

警報・注意報を見る

1. メインメニューの **情報を見る**

気象情報 を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. **警報・注意報を見る** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

強風、濃霧、雷、大雪、着雪、洪水、低温などの注意報および警報情報を見ることができます。

地震に関する情報ならびに津波に関する情報（注意報および警報など）のデータは、取得することができません。

3. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

FM文字放送の番組を見る

FM放送局の文字放送(例：見えるラジオ)を受信して、番組情報やニュース、天気予報などを見ることができます。

FM放送局を選ぶ

VICS放送局を選局する場合と同様の方法で放送局を選局することができます。ここでは「リストからFM放送局を選ぶ」方法を例に説明しています。それ以外の選局方法はP.108～110の説明を参考に操作してください。

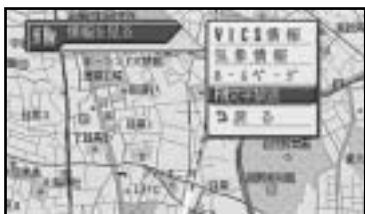
「リストからFM放送局を選ぶ」方法では、放送局の一覧から、受信する放送局を選ぶことができます。



自転車位置に近い放送局だけがリストに表示されます。放送局によっては十分な受信感度が得られない場合があります。

1. メインメニューの「情報を見る」

FM文字放送 を選び、「決定」ボタンを押す



2. **選局** を選び、「決定」ボタンを押す



3. **リストで選ぶ** を選び、「決定」ボタンを押す



受信感度表示：バーが多いほど受信感度が良好です。バーが2本以下の場合、受信に時間がかかったり、受信できないことがあります。

MEMO

次の方法で選局することも可能です。

シークで選ぶ (P.109)

マニュアルで選ぶ (P.110)

4. 受信したいFM放送局名を選び、「決定」ボタンを押す



5. 終了を選び、〔決定〕ボタンを押す



データの受信中の画面が表示されたあと、FM文字放送の画面が表示されます。

番組内容を現在地画面に表示させる

現在地画面で10キーの〔2〕を押すと、現在受信中のFM放送局がオンエアしている番組内容や曲名を現在地画面に表示させることができます（FM文字オンエア連動）。



番組を見る

1. メインメニューの「情報を見る」

FM文字放送を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

以降の操作は、「VICs情報」の「FM文字情報」を選んだ場合と同じです。操作の詳細は、「VICs情報を簡易図形や文字で見る」(P.104)をご覧ください。



VICS情報表示中にFM文字多重放送を受信すると、放送内容が表示されるまでに時間がかかることがあります。また、FM文字多重放送を表示後に再びVICS情報を表示する際も同様に時間がかかることがあります。

FM文字多重放送を表示中はVICS情報は更新されません。D-GPS情報を利用した測位も中断します。

FM文字多重放送を受信するために周波数を変更した場合、FM文字多重放送を終了すると、自動的にVICSまたはD-GPSの周波数に戻ります。(ただし、「設定を変える VICS」メニューの「FM多重チューナーの設定」を「文字多重放送」にしている場合は、そのままの周波数になります。)

Chapter 8

携帯電話を利用する



AVIC-D6500では、ご利用できません。

この章の内容

携帯電話を利用する前に	150
携帯電話を使う	152
ロードサービスを利用する	157
携帯電話のデータを利用する	158
短縮ダイヤルを使う	162
着信音量を調整する	164

携帯電話を利用する前に

デジタル携帯電話をつなぐと、本機の通信機能が利用できるようになります。

機器を準備する

通信機能を使うには、次の機器が必要です。
データ通信に対応したデジタル携帯電話
本機 デジタル携帯電話間の専用ケーブル (AVIC-D9500 / D7000では通信 / 音声認識キット「CD-HV100」(別売)をお使いください。「cdmaOne™」携帯電話をお使いの場合は、cdmaOne™用接続アダプター「CD-H1」(別売)をお使いください。)

本機と携帯電話をつなぐだけで、本機のリモコンや音声認識コントローラーで、電話の発信・着信の操作ができるようになります。また音声認識用のマイクを通してハンズフリー通話もできます。携帯電話のつなぎかたについて詳しくは、『取付説明書』をご覧ください。

MEMO

デジタル携帯電話でも、機種によっては使用できない場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。



通信後、電話が切れたこと(回線の切断)を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

MEMO

本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をつないだ場合、契約形態によっては携帯電話側で64kbpsのパケット通信または14.4kbps通信の両方を切り換えて利用できます。

携帯電話で通話するときは

ナビゲーション本体に携帯電話を接続してハンズフリー通話をするときには、携帯電話の着信音と通話相手の音声は組み合わせたTVモニターの内蔵スピーカーまたは受光部付スピーカー(付属、または別売の「CD-TS36」)からのみ出力されます。これらのスピーカーから、ナビゲーションの音声案内が出力される設定でお使いください。(カーステレオのスピーカーなどに通話相手の音声を出力することはできません。)
また、通話相手の音声が届きやすいように、着信 / 受信音量を調整してください(P.164)。



本機の電源ON / OFFに関係なく、携帯電話をつないだり、取り外したりできます。ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、通話中のとき以外は携帯電話の電源が一度OFFになります。(呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。)

ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、携帯電話の電源ボタンは機能しなくなります。(携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON / OFFに連動します。)

ナビゲーション本体から携帯電話への充電は行われません。



本機は、キャッチホンおよび三者通話サービスには対応していません。本機のリモコンではこれらの操作を行うことができませんので、携帯電話側で操作してください。なお、キャッチホンや三者通話サービスのご利用中に本機のリモコンを操作すると、通話が切れることがあります。(キャッチホン、三者通話サービスの詳細は、携帯電話の説明書をご覧ください。)

携帯電話側で着信音をOFFにしている場合、電話が着信すると“ブッ”という音が一度鳴って、着信を知らせます。

一部の携帯電話では、着信音がTVモニターの内蔵スピーカー受光部付きスピーカーから流れない場合があります。

「cdmaOne™」携帯電話をお使いで、インターネットの利用中に電話を着信した場合は、インターネットの接続を終了(P.134)してください。

携帯電話を使う

ナビゲーション本体にデジタル携帯電話を接続した場合には、本機のリモコンで電話をコントロールできます。

⚠️注意

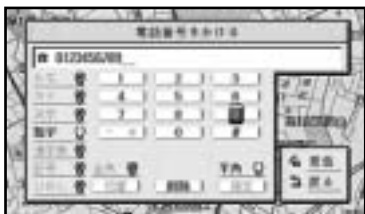
運転中は携帯電話の操作をしないでください。事故の原因となります。

MEMO

携帯電話の接続のしかたは、『取付説明書』をご覧ください。

電話をかける / 切る

1. [オフフック / 切替] ボタンを1回押す
2. もう一度 [オフフック / 切替] ボタンを押す
3. 10キーの [0] ~ [9] を押す



4. **発信** を選び、[決定] ボタンを押して電話をかける



5. 相手が出たら、話す
通話中は、画面右上に電話機のマークが表示されます。
6. 話し終わったら、[オンフック / 確定] ボタンを押して電話を切る

MEMO

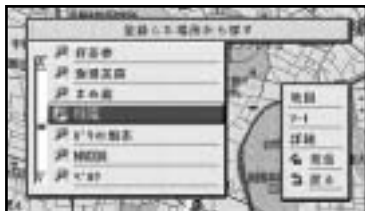
[オフフック / 切替] ボタンを押しても発信できます。
音声認識コントローラーの [発話] ボタンを押しても発信できます。

本機に登録された電話番号にかける

地図上の施設情報として電話番号が収録されている場合には、本機を電話帳代わりに利用することもできます。また、登録した場所に電話番号が入力されていれば、登録した場所のリストから相手を選び、電話をかけることもできます。

ここでは、登録した場所のリストから電話をかける操作を例に説明します。

1. 「登録した場所から探す」(P.78) の手順 1 ~ 2 の操作で、登録した場所のリストを表示させる
2. 電話の相手先となる地点名を選び、[決定] ボタンを押す



3. 発信を選び、〔決定〕ボタンを押す



詳細情報として入力されている電話番号にダイヤルを始めます。

ハンズフリーで通話する

本機と携帯電話を接続している場合には、電話がかかってきたときに電話の着信を案内する、以下の画面が表示され、同時に着信案内の音が流れます。



かけてきた相手の電話番号などが表示される

- 登録した場所に入力されている電話番号と一致した場合には、その場所の名前が表示されます。(画像を登録している場合は、画像も同時に表示されます。)

- メモリダイヤル(P.158)に登録されている電話番号と一致した場合、メモリダイヤルで登録した名前が表示されます。(登録してある場所とメモリダイヤルの電話番号が同じ場合は、登録した場所の名前が表示されます。)
- 登録した場所やメモリダイヤルに複数の電話番号がある場合、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されません。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 電話がかかってきたときに〔オフフック/切替〕ボタンを押すと、電話につながります。通話中に〔オンフック/確定〕ボタンを押すと電話が切れます。
- 電話がかかってきたときに〔オンフック/確定〕ボタンを押すと、応答保留することができます。応答保留中は〔オフフック/切替〕ボタンで電話につながり、〔オンフック/確定〕ボタンで電話が切れます。



電話がかかってくると、メニュー操作やルート探索中の動作などはすべて中断されて電話の着信画面になります。電話の通話操作・ハンズフリー通話をやめるには、「設定を変える その他」メニューの「電話操作ハンズフリー」(P.202)を「オフにする」に設定してください。(オフにしてもインターネットへの接続操作は行えます。)

音声認識コントローラーで操作する

電話がかかってきたときは、音声認識コントローラーでも電話を受けたり、切ったりすることができます。

- 電話がかかってきたときに〔発話〕ボタンを押すと、電話がつながります。通話中に〔発話〕ボタンを押すと電話が切れます。
- 電話がかかってきたときに〔訂正〕ボタンを押すと、応答保留することができます。応答保留中は〔発話〕ボタンで電話がつながり、〔訂正〕ボタンで電話が切れます。

最近通話した相手に電話をかける

本機を使って最近発信した電話番号と、最近着信した電話番号は、それぞれ10件まで保存されます（発信履歴／着信履歴）。ここから番号を選んで電話をかけることができます。

1. メインメニューの**その他の操作**

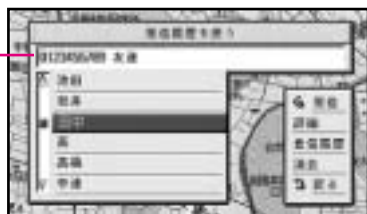
携帯電話を使うを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **発信・着信履歴を使う**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. リストから電話をかけたい相手を選び、〔決定〕ボタンを押す



選択している相手先の電話番号
発信履歴が表示されます。

着信履歴を見たいときは、**着信履歴**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

MEMO

リストには、登録した場所の名前（登録した場所にかけた場合）または携帯電話に登録したときの名前（携帯電話から本機に転送した電話番号にかけた場合）が表示されます。（登録されていない場合、名前かわりに電話番号が表示されます。また、複数の登録した場所に同じ番号で登録されている場合も同様です。）

メモリダイヤル（P.158）に登録されている電話番号と一致した場合、メモリダイヤルで登録した名前が表示されます。（登録してある場所とメモリダイヤルの電話番号が同じ場合は、登録した場所の名前が表示されます。）相手先で電話番号を非通知にしている場合、電話番号と名前かわりに「非通知」と表示されます。

詳細を選んで〔決定〕ボタンを押すと、発信した日時、相手先の電話番号、名前を見ることができます。

4. 発信を選び、〔決定〕ボタンを押す



指定した相手先の電話番号にダイヤルを始めます。



発信・着信した電話番号がそれぞれ10件を超えると、古いものから順に自動的に消去されます。

最近通話した電話番号を消す

発信・着信履歴に保存された電話番号を削除したいときは、次のように操作します。

1. メインメニューの**その他の操作**

携帯電話を使うを選び、〔決定〕ボタンを押す

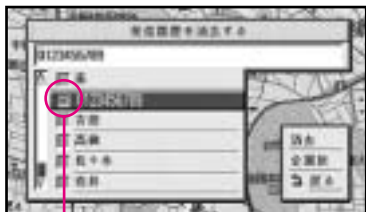
2. **発信・着信履歴を使う**を選び、〔決定〕ボタンを押す3. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

着信履歴を消したいときは、

着信履歴を選んで〔決定〕ボタンを押してから、操作を行ってください。

4. 消去したい項目を選び、〔決定〕ボタンを押す

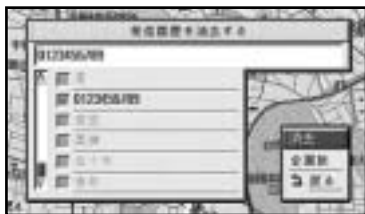


選択された項目にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは **全選択** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. **消去** を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）

ロードサービスを利用する

車が故障したときなど、ドライブ中にトラブルがあったときには、最寄りのJAFやレスキュー70のロードサービスに電話をかけることができます。

1. メインメニューの **その他の操作** **携帯電話を使う** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **ロードサービスを使う** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 利用したいロードサービスを選び、〔決定〕ボタンを押す



4. **発信** を選び、〔決定〕ボタンを押す



指定したロードサービスにダイヤルを始めます。

MEMO

レスキュー70は、翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

携帯電話のデータを利用する

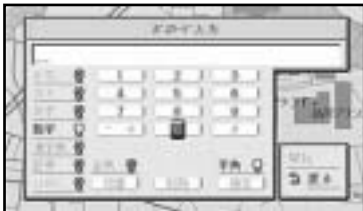
携帯電話に登録した電話番号(メモリダイヤル)などのデータを本機に転送して、本機から電話をかけたたり、場所を登録する際に利用したりすることができます。

携帯電話のデータを本機に転送する

1. メインメニューの **その他の操作**
携帯電話を使う を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **携帯電話から読み込む** を選び、〔決定〕ボタンを押す



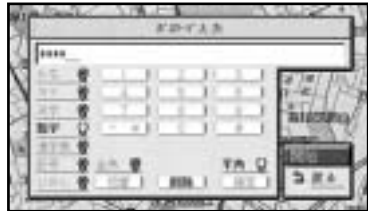
3. 携帯電話本体の操作用の暗証番号を入力 (P.28) する



MEMO

携帯電話の事業者によっては、携帯電話の暗証番号に電話機本体の各種機能を実行するためのものと、「留守番電話サービス」など、通信会社で提供している各種サービスを一般電話から利用するためのもの(携帯電話契約時に登録した暗証番号)の2種類がある場合があります。ご使用の携帯電話によっては、暗証番号のどちらを入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できない場合は、もう一方の暗証番号を入力してください。誤った暗証番号を入力すると、番号が違うことを知らせるメッセージが表示されたあと、入力画面に戻ります。

4. **開始** を選び、〔決定〕ボタンを押す



携帯電話からデータが転送されます。〔戻る〕ボタンを押すことで、データの転送を中止することができます。(中止するまでに転送されたデータは、本機に保存されています。)

MEMO

転送に失敗した場合は、転送失敗を伝えるメッセージが表示されます。ケーブルの接続を確認して、もう一度やり直してみてください。



最大500件までのデータを一括転送できます。

転送する件数が多い場合、すべてのデータを転送するまでに5分から10分かかることがあります。

転送した件数が多いときは、リストを表示させるのに時間がかかる場合があります。

保存されるデータは、メモリダイヤルの名前、よみ、電話番号、グループ名、グループ番号の5つです。

保存される情報の数や文字数は、携帯電話の機種によって異なります。

メモリダイヤルの転送を行うと、前回転送したデータはすべて削除されます。

携帯電話のシークレット機能を使って登録したメモリダイヤルも一緒に転送されます。

MEMO

メモリダイヤルは、短縮ダイヤルに登録することができます。

転送されたよみを使って、音声操作で電話をかけることができます (P.260)。

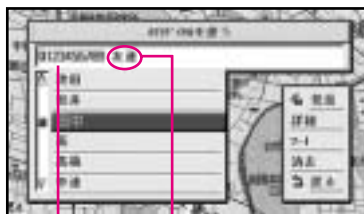
転送された電話番号を使って、場所を登録することができます (P.85)。

メモリダイヤルに電話をかける

1. メインメニューの **その他の操作** **携帯電話を使う** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **メモリダイヤルを使う** を選び、〔決定〕ボタンを押す



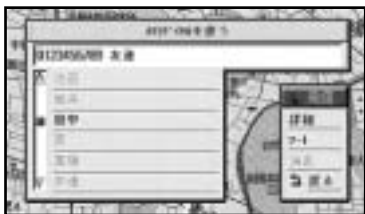
3. リストから目的の相手を選び、〔決定〕ボタンを押す



電話番号 グループ名

携帯電話から読み込んだ名前が表示される

4. 発信を選び、〔決定〕ボタンを押す



指定した相手先の電話番号にダイヤルを始めます。

メモリダイヤルのリストを並べ替える

手順4の操作で**ソート**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、リストを次のような順序に並べ替えることができます。



- グループ順
- メモリ番号順
- よみ順
- 電話番号順



メモリダイヤルの件数が多い場合、リストの並べ替えに時間がかかることがあります。

メモリダイヤルの詳細情報を見る

手順4で**詳細**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、グループ番号、グループ名、名前、よみ、電話番号、メモリー番号を見ることができます。

MEMO

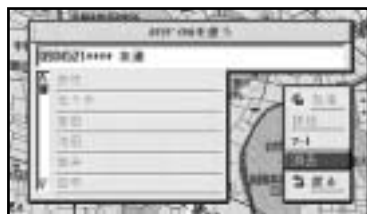
携帯電話側でグループ分けされていない電話番号は、グループ番号「000」で読み込まれます。

グループは20件まで読み込むことができます。グループが20件以上ある場合は、グループ番号は読み込まれますが、読み込まれないグループ名があります。

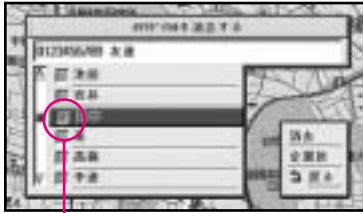
リストからメモリダイヤルを消す

不要になったメモリダイヤルは、消去することができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
携帯電話を使うを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **メモリダイヤルを使う**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 消去したい項目を選び、〔決定〕ボタンを押す



選択された項目にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは **全選択** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. **消去** を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）

誤って必要なメモリダイヤルを消してしまったら

消去した後何らかの操作をすると、消してしまったメモリダイヤルは元に戻りません。もう一度携帯電話からデータを転送してください。

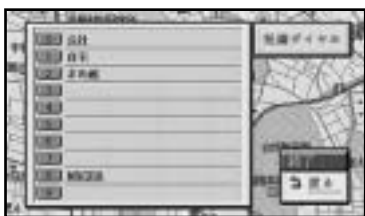
短縮ダイヤルを使う

登録した場所の電話番号、メモリダイヤルの番号を、短縮ダイヤルとして登録することができます。

短縮ダイヤルに登録する

ここでは友人の家など、登録してある場所の電話番号の場合を例に説明します。

1. メインメニューの **その他の操作** **携帯電話を使う** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **短縮ダイヤルを設定する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



現在10キーに割り当てられている電話番号が表示されます。

3. 登録したい番号に該当する10キーを押す

MEMO

短縮ダイヤルを解除するときは、解除したい短縮番号と同じキーを押します。

4. **登録した場所** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

メモリダイヤル を選ぶとメモリダイヤルのリストが表示されます。

5. ジョイスティックを上下に動かして短縮ダイヤルを割り当てたい電話番号を選び、〔決定〕ボタンを押す



現在選択されている短縮ダイヤルの番号（すでに設定されている場合に表示される）

MEMO

電話番号が登録されていないものは、グレー表示されます。
〔決定〕ボタンを押すごとに、ランプが点灯/消灯し、短縮ダイヤルの設定/解除が切り換わります。

6. **設定**を選び、〔決定〕ボタンを押す7. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す

引き続き短縮ダイヤルを登録する場合は、手順3～6を繰り返してください。

短縮ダイヤルを解除する

手順3で解除したい短縮番号と同じキーを押した後、手順5で目的の電話番号を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録した短縮ダイヤルを解除することができます。

MEMO

短縮ダイヤルに設定したもとのデータ（登録した場所、メモリダイヤル）が消去されると、設定が自動的に解除されます。

設定しているもとのデータ（登録した場所）を編集すると、自動的に設定内容が変わります。

短縮ダイヤルで電話をかける / 切る

1. 〔オフフック / 切替〕ボタンを1回押す
2. かけたい相手の短縮番号を10キーの〔0〕～〔9〕で押す
3. 相手が出たら、話す
4. 話し終わったら、〔オンフック / 確定〕ボタンを押して電話を切る

受話・着信音量を調整する

携帯電話の着信音量と受話音量を調整することができます。
ここでは、受話音量を調整する場合を例に説明します。

1. メインメニューの **その他の操作**
携帯電話を使う を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **音量を調整する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. ジョイスティックを上下に倒して音量を調整して、〔決定〕ボタンを押す



操作が終わったら、必ず〔決定〕ボタンを押してください。〔決定〕ボタンを押さないと、変更内容が記憶されません。

MEMO

着信音量を調整する場合は、**着信音量**を選んで〔決定〕ボタンを押し、着信音量の調整画面に切り換えてから操作してください。

着信中は10キーの〔1〕と〔3〕で着信音量を調整できます。

〔1〕：着信音量が小さくなる

〔3〕：着信音量が大きくなる

Chapter 9

その他の操作

この章の内容

指定したロゴマークを地図上に表示する	166
登録した場所の情報を編集する	168
登録したルートを編集する	177
走行軌跡を登録・編集する	180
ルートに使いたい道を登録・編集する	186
学習した道を再学習させる	191
最近探した場所を編集する	192
登録したデータをPCカードで管理する	194
ナビゲーションの設定を変える	199
ナビゲーションの設定一覧	200
設定の詳細	203
ハードウェアの調整を行う	215
自転車位置のずれを修正する	217
ナビゲーションの状態を画面で見る	218
外部カメラを使う	225

指定したロゴマークを地図上に表示する

指定したロゴマーク（ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどのマーク）を常に地図上に表示させておくことができます。特定の施設だけを選んだり、複数種類の施設を同時に表示させることもできます。（リアルタイムロゴマーク表示）

1. メインメニューの **その他の操作** **ロゴマークを選ぶ** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. ジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. ジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す
複数のジャンルを選択できます。項目右のランプを黄色で点灯させるとON設定、消灯させるとOFF設定になります。また、詳細選択（P.167）をした場合は、橙色で点灯します。



地図上にロゴマークが表示されます。

MEMO

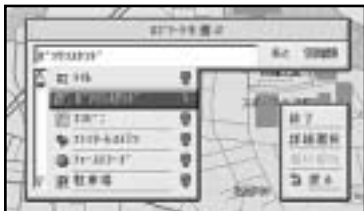
ジャンルごとに表示をON / OFFすると、そのジャンルに含まれるすべての詳細項目がON / OFFされます。

「詳細選択」で特定のお店を指定することで、より多くのジャンルのロゴマークを表示できます。

選択解除 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、すべてOFF設定になります。

特定のお店を指定する（詳細選択）

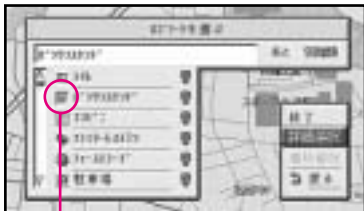
1. メインメニューの **その他の操作** **ロゴマークを選ぶ** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. ジャンルを選ぶ



MEMO

このときに〔決定〕ボタンを押してランプを点灯させると、手順4に進んだときに全ての店名がON設定になります。

3. **詳細選択** を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだジャンルにチェックマークが付く

4. 店名を選び、〔決定〕ボタンを押す
複数の店名を選べます。項目右のランプを黄色で点灯させるとON設定、消灯させるとOFF設定になります。



MEMO

選択解除 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、すべてのロゴマークがOFF設定になります。

5. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

他選択 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。



操作が終わったら、必ず**終了**を選んでください。**終了**を選ばないと、変更内容が記憶されません。
詳細選択を行うと合計99項目までのロゴマークを表示できます。

登録した場所の情報を編集する

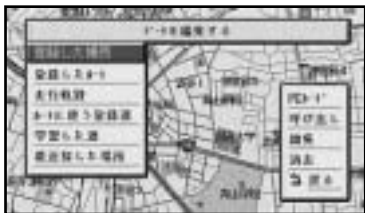
登録した場所の名前、マーク、よみ、電話番号、効果音といった詳細情報は、後から変更することができます。これらの詳細情報を設定しておく、登録した場所を地図で確認したり、登録した場所に電話をかけたりといったことがスムーズにできるようになります。

登録した場所を呼び出す

1. メインメニューの **その他の操作** **データを編集する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **登録した場所** を選び、〔決定〕ボタンを押す



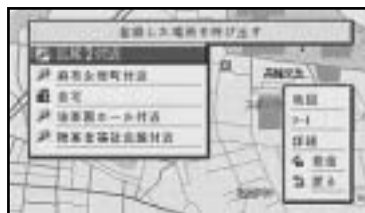
3. **呼び出し** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカード を選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. 表示させたい登録地をリストから選び、〔決定〕ボタンを押す



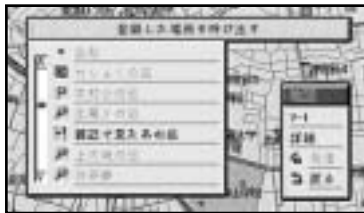
MEMO

ソート を選んで〔決定〕ボタンを押すと、リストを並べ替えることができます。

詳細 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

発信 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは「携帯電話を利用する」(P.149)をご覧ください。

5. **地図** を選び、〔決定〕ボタンを押す



選択した場所の地図が表示されます。

名前を変更する

1. メインメニューの **その他の操作** **データを編集する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **登録した場所** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **編集** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカード を選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。
(P.194)

4. 変更したい登録地をリストから選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **名前を変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力 (P.28) し、**終了** を選んで〔決定〕ボタンを押す
7. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



操作が終わったら、必ず **終了** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

終了 を選んで〔決定〕ボタンを押さないと、変更内容が記憶されません。名前は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

MEMO

手順6で名前を全てひらがなで入力すると、よみも自動的にその名前で入力されます。

マークを変更する

2D地図上に表示されるマークを変更できます。

1. 169ページの手順1から4までの操作で、マークを変更する場所を決める
2. **マークを変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 新しいマークを選び、〔決定〕ボタンを押す



4. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す

登録した場所の名前を地図上に表示させる

以下のマークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名前も地図上に表示されます。



このマークを指定する

立体マークを変更する

立体マークを設定しておくとし、3D地図のときに立体的なマークで表示されます。

1. 169ページの手順1から4までの操作で、立体マークを変更する場所を決める
2. **立体マークを変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 新しい立体マークを選び、〔決定〕ボタンを押す

項目のランプを黄色で点灯させます。設定を取り消すときは、ランプを消灯させます。



4. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す
5. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



立体マークを設定していないときは、2D地図と同じマークで表示されます。立体マークを狭いエリアに数多く登録すると、3D地図表示でのスクロールなどの反応が遅くなります。

よみを変更する

よみを設定しておくと、音声操作の際にそのよみで登録地を呼び出せるようになります。

- 169ページの手順1から4までの操作で、よみを変更する場所を決める
- よみを変更する**を選び、〔決定〕ボタンを押す



- よみを入力（P.28）し、**終了**を選んで、〔決定〕ボタンを押す
- 終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

10キーの〔6〕を押すと、名前のリストをよみで表示させることができます。同じ操作で名前の表示に戻ります。



全角で10文字まで登録できます。
よみは、音声操作で呼び出すために使用します。音声操作を行わない場合、よみは不要です。
「ん」「っ」など日本語として発声できないよみは付けないください。
「げんざいち」など、音声認識語（P.241）と同じよみは付けないください。誤動作の原因になります。

電話番号を変更する

電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、簡単にその場所に電話をかけられます。



AVIC-D6500では、携帯電話は接続できません。

- 169ページの手順1から4までの操作で、電話番号を変更する場所を決める
- 電話番号を変更する**を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 10キーで番号を入力（P.28）し、**終了**を選んで、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

数字は11桁まで、ハイフンは2つまで入力することができます。
ジョイスティックで入力することもできます。

- 終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



ジャンル検索などで呼び出した施設などをそのまま登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。

効果音を変更する

効果音を設定しておくことで、登録した場所に自転車マークが近づいたときに効果音が鳴ります。注意を要する場所に設定しておくことで便利です。

- 169ページの手順1から4までの操作で、効果音を変更する場所を決める
- 効果音を変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 効果音を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 決定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

試聴 を選んで〔決定〕ボタンを押すと、効果音を聞くことができます。

- 終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す

効果音の鳴りかた

- 効果音を設定した登録地が、自転車マークから500m未満になると効果音が鳴ります。
- 登録地が複数ある場合は、最も近い場所の効果音が鳴ります。
- 効果音が鳴っているときに〔戻る〕ボタンを押すと、効果音が止まります。
- 効果音よりも、ETC、ルート、VICCSの音声案内が優先されます。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源をON/OFFしないと同一場所の効果音は鳴りません。

画像を変更する

画像を設定しておく、自転車マークが登録した場所に近づいたときにその画像を表示させることができます。また、デジタルカメラなどで撮影した画像を設定することもできます（デジカメリンク）。



AVIC-D6500 / D7000では、あらかじめディスクに収録されている画像のみ設定できます。（PCカードに保存した画像は設定できません。）

デジタルカメラなどで撮影した画像を設定するには、ナビゲーション本体に画像が保存されているPCカードをセットしてください。また、画像を設定してある場所に近づいたときに画像を表示させるには、その画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしたままにしておく必要があります。

対応している画像形式は、デジタルカメラのexif形式および一般のjpeg形式の画像のみです。さらにファイル名として半角英数字で8文字以内 + “.jpg” の拡張子（xxxxxxx.jpg）のファイルのみがナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。

ディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が100個を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されない場合があります。その場合は、ディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計を100個以内になるように、PCカード内の画像ファイル数を減らしてください。

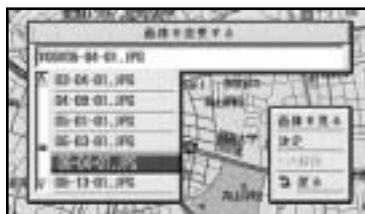
PCカード内に「MAP」または「SRAM-IMG」という名称のフォルダ（ディレクトリ）を作成した場合、その中に保存された画像ファイルは、画像リストで非表示となります。

PCカード内には9階層までフォルダ（ディレクトリ）を作成できます。

1. 169ページの手順1から4までの操作で、画像を変更する場所を決める
2. **画像を変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 画像を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカードをセットしている場合は、PCカード内の “.jpg” ファイルもリストに表示されます。

4. **決定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

手順4で **画像を見る** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選んだ画像を確認できます。

手順4で **リンク解除** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、画像がない設定になります。

5. **画像のみ** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

あらかじめディスクに収録されている画像の中には、位置情報（緯度・経度）も合わせて記録されているものがあります。このような画像で、**この位置を使う** を選んで〔決定〕ボタンを押すと、画像に記録されている位置に変更されます。

6. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



画像を設定（または変更）する操作を行った後、“**を編集しました。**” というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている間に、本機の電源を切ったり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

画像表示のされかた

- 画像を設定した登録地が、自転車マークから500m未満になると画像が表示されます。
- 登録地が複数ある場合は、最も近い場所の画像が表示されます。
- 距離が500m以上になったとき、または〔戻る〕ボタンを押すと、画像が消えます。
- 画像表示よりも、ルート、VICSの割込表示が優先されます。
- 一度画像の表示が終わると、30分経過するか、本機の電源をON/OFFしないと画像は表示されません。

位置情報が記録されている画像を新しく登録するときは

位置情報（緯度・経度）が記録されている画像をメインメニューの**場所** **登録する** **画像で探して登録する** で登録すると、自動的に画像に記録された位置とその画像がリンクされた状態で登録されます。

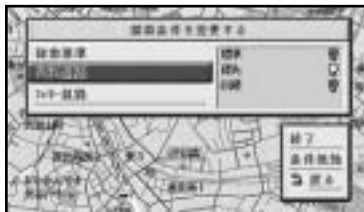
探索条件を変更する

登録した場所を行き先（または立寄り地）にした場合に、ここで設定した条件でその場所までのルートが探索されます。ルート設定時に探索条件を毎回設定する手間が省けます。

1. 169ページの手順1から4までの操作で、探索条件を変更する場所を決める
2. **探索条件を変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 条件（この例では**有料道路**）を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

〔決定〕ボタンを押すごとに、項目右のランプの点灯/消灯が切り換わります。この例では、**有料道路**の「優先」が選ばれています（ランプが黄色く点灯）。

4. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す

探索条件の設定を無効にする

手順3で**条件無効**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、設定した探索条件を無効にすることができます。

位置を移動する

- 169ページの手順1から4までの操作で、位置を変更する場所を決める
- 場所を移動する**を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 移動先に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



- 終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す

登録した場所を消す

不要になった場所を消去して、データを整理することができます。

1. メインメニューの **その他の操作** **データを編集する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **登録した場所** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **消去** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカード を選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. 消去したい場所を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだ登録地名にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときには **全選択** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。(もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。)

5. **消去** を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間(約8秒間)は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。(〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。)

必要な場所を誤って消去してしまったら
消去した後何らかの操作をすると、消してしまった場所は元に戻りません。消してしまった場所に十字カーソルを合わせ、もう一度登録の操作(P.81)を行ってください。

登録したルート編集する

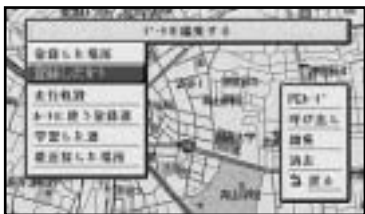
登録したルート呼び出して、ルートを設定するときに利用できます。また、間違っただ名前前で登録したときや、ルートが増えて区別しづらくなったときには、ルートの名前を変えたり、不要なルート消去することができます。

登録したルート呼び出す

1. メインメニューの **その他の操作**
データを編集する を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **登録したルート** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **呼び出し** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカード を選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。
(P.194)

4. ルート名を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録したときの目的地に向けたルートが探索されます。探索が終わると、ルートが自動的に設定されます。



登録したときの探索条件で再探索されます。

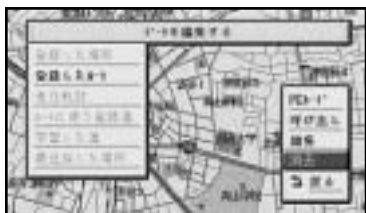
ルートが再探索されるため、設定までに時間がかかります。

登録したルート呼び出すと、そのときの交通状況にあったルートが再探索されるため、登録したときの道順どおりにはならないことがあります。

登録したルートを消す

不要になったルートが消去して、データを整理することができます。

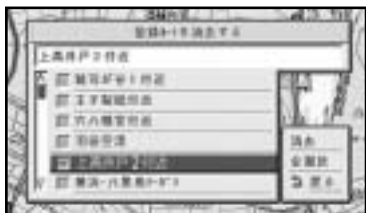
1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、「決定」ボタンを押す
2. **登録したルート**を選び、「決定」ボタンを押す
3. **消去**を選び、「決定」ボタンを押す



MEMO

PCカードを選んで「決定」ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. 消したいルート名を選び、「決定」ボタンを押す

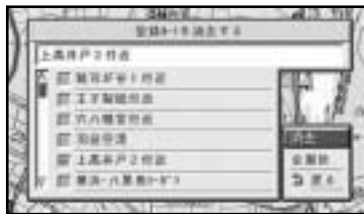


選んだルート名にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは**全選択**を選んで「決定」ボタンを押してください。(もう一度「決定」ボタンを押すと、選択が解除されます。)

5. **消去**を選び、「決定」ボタンを押す



このメッセージが表示されている間(約8秒間)は、「戻る」ボタンを押すことで、消去を取り消すことができます。(「現在地」ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。)

必要なルートを選んで消去してしまったら
消去した後何らかの操作をすると、消してしまったルートは元に戻りません。もう一度ルート探索(P.35)の操作後、登録の操作(P.94)を行ってください。

名前を変更する

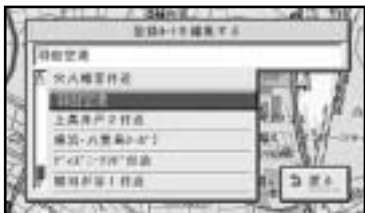
1. メインメニューの **その他の操作** **データを編集する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **登録したルート** を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **編集** を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカード を選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. ルート名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **名前を変更する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力 (P.28) し、**終了** を選んで、〔決定〕ボタンを押す



7. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す



操作が終わったら、必ず **終了** を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

終了 を選ばないと、変更内容が記憶されません。

名前は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

走行軌跡を登録・編集する

本機では、実際に走行してきた道のり（走行軌跡といいます）を自動的に記録しています。走行軌跡は画面上に白い点で表示されます。記録された軌跡が一定の長さに達すると、古いほうから順に消去されていきます。

走行軌跡を残しておきたいときは、都合のよいときに走行軌跡の必要な部分を本機に登録しておきましょう。全軌跡を登録することも可能です。

間違った名前で登録したり、走行軌跡の登録数が増えて区別しにくくなったときには、走行軌跡の名前を変えたり、不要になった走行軌跡を消去できます。

エンドレスファイルについて

走行軌跡は、「エンドレスファイル」というメモリー領域に記録されていきます。

走行軌跡を後から参照する際は、エンドレスファイルに記録された走行軌跡の必要部分を、エンドレスファイルから切り出して本機に登録する必要があります。

走行軌跡の利用例

登録された走行軌跡は、次のようにして利用できます。

- ルートを設定せずに目的地まで行ったときや、入り組んだ道を走ったときの帰り道など、道順を後から参照できます。



走行軌跡は約50mごとに記録されます。走行軌跡が一定の長さ（約200km）に達すると、古い軌跡から順に消去されます。登録できる走行軌跡は、メモリーの使用量によって変化します（インターネットの設定および登録内容、ルートに使う登録道と共用しています）。最大約500km（エンドレスファイルを含む）を登録できます。最大20ファイルに分割して登録できます。

走行軌跡を登録する

1. メインメニューの**その他の操作**

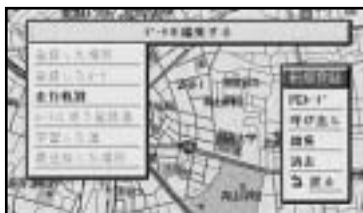
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **走行軌跡**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **新規登録**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカードを選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. 登録する範囲の始点をジョイスティックで選び、〔決定〕ボタンを押す
 エンドレスファイルに記録されている走行軌跡の終点付近が表示されるので、目的の位置まで十字カーソルを移動します。



MEMO

先に進むときはジョイスティックを上、前に戻るときはジョイスティックを下に倒してください。

5. 終点をジョイスティックで選び、〔決定〕ボタンを押す



6. **登録**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間(約8秒間)は、〔戻る〕ボタンを押すことで登録を取り消すことができます。(〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。)

走行軌跡を呼び出す

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **走行軌跡**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **呼び出し**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカードを選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. 走行軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **地図**を選び、〔決定〕ボタンを押す



手順4で選んだ走行軌跡が地図画面に表示されます(エンドレスファイルの走行軌跡と置き換わります)。

走行軌跡の記録を再開する

登録した走行軌跡を表示させている間は、走行してもエンドレスファイルに走行軌跡が記録されません。

エンドレスファイルへの記録を再開するときは、ここで説明した操作をもう一度行い、手順4で「エンドレスファイル」を選んでください。

走行軌跡を確認する

手順5で**確認**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選択した走行軌跡に沿って地図を動かしながら確認することができます。

先に進むときはジョイスティックを上へ、前に戻るときはジョイスティックを下に倒してください。



確認が終わったら、〔戻る〕ボタンを押してください。

名前を変更する

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **走行軌跡**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **編集**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカードを選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。(P.194)

4. 名前を変更したい走行軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **名前を変更する**を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力(P.28)して**終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

名前をすべてひらがなで入力すると、よみも自動的にその名前が入力されます。

7. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間(約8秒間)は、〔戻る〕ボタンを押すことで編集を取り消すことができます。(〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。)



操作が終わったら、必ず**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

終了を選ばないと、変更内容が記憶されません。

名前は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

走行軌跡を消す

不要になった走行軌跡を消去して、データを整理することができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **走行軌跡**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカードを選んで〔決定〕ボタンを押すと、PCカードにデータを保存したり、保存したデータの読み込み、消去を行ったりすることができます。（P.194）

4. 消去したい走行軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだ走行軌跡名にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは**全選択**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。（もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。）

確認を選んで〔決定〕ボタンを押すと、走行軌跡を地図で確認することができます。（P.182）

地図上で記録している走行軌跡を消去したいときは、**エンドレスファイル**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す

このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）

必要な走行軌跡を消してしまったら

走行軌跡を消去したあと何らかの操作をすると、消してしまった走行軌跡は元に戻りません。

ルートに使いたい道を登録・編集する

よく通る道や気に入っている道などを登録しておいて、ルート探索時にその道を通るように指定することができます。

ルートに使いたい道を登録する

道路は交差点ごとに区切られています。ジョイスティックで、道路を進みたい順番にひとつずつ選んでいきます。

1. メインメニューの**その他の操作**

データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **ルートに使う登録道**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **新規登録**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 指定したい道路の付近まで十字カーソルを移動して、〔決定〕ボタンを押す



現在選んでいる道路が紫色で表示される

MEMO

十字カーソルが高速道路付近にある場合などに、選んだ道路が有料道路上にあるかどうかを確認するメッセージが表示されることがあります。**はい**か**いいえ**を選択してから先に進みません。

5. ジョイスティックを上動かして、次に進む道を指定していく

MEMO

進行方向を変えたいときは、ジョイスティックを左右に動かします。ジョイスティックを下に倒すと、一区画ずつ元に戻るができます。

6. 最後の道路まで指定したら、〔決定〕ボタンを押す



残りの区画数



最後に指定した道路付近の地名が表示される



ルートに使う登録道に登録できるのは5本までです。

道路は交差点から交差点までを単位に、いくつかの区画に分けられています。登録道には、一度に100区画までを指定できます。

場合によっては、100区画まで指定できないことがあります。

一方通行の道路で逆方向の指定はできません。

ディスクのバージョンを変更した場合、古いバージョンのディスクを使用して登録したデータは利用できなくなります。その場合は、登録しなおしてください。時間規制は考慮していません。

登録道を地図で確認する

登録道を地図で確認することができます。

1. メインメニューの **その他の操作**

データを編集する を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. **ルートに使う登録道** を選び、〔決定〕ボタンを押す

3. **呼び出し** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 道路名を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録道の始点付近の地図が表示される
選択した登録道に沿って地図を動かしながら確認できるようになります。先に進むときはジョイスティックを上、前に戻るときはジョイスティックを下に倒してください。確認が終わったら、〔戻る〕ボタンを押してください。

名前を変更する

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **ルートに使う登録道**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **編集**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 名前を変更したい登録道を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. **名前を変更する**を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力(P.28)して**終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間(約8秒間)は、〔戻る〕ボタンを押すことで編集を取り消すことができます。(現在地ボタンを押したりジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。)



操作が終わったら、必ず**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

終了を選ばないと、変更内容が記憶されません。

名前は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

登録道を消す

不要になった登録道を消去して、データを整理することができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **ルートに使う登録道**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 消去したい登録道を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだ登録道にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは**全選択**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。（もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。）

確認を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録道を地図で確認することができます。（P.187）

5. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）



案内中のルートや登録したルートに登録道が組み込まれている場合、その登録道を消去することはできません。消去するには、案内中のルートや登録したルートを消去してから、登録道を消去してください。

必要な登録道を誤って消去してしまったら

消去した後何らかの操作をすると、消してしまった登録道は元に戻りません。もう一度登録の操作（P.186）を行ってください。

学習した道を再学習させる

ドライバーがふだんの道を通っているかを、本機は自動的に学習しています。ほかに効率の良い道を見つけたときなどは、この学習結果を一度消去して、学習し直すことができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **学習した道**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **再学習**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで再学習を取り消すことができます。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）

最近探した場所を編集する

不要になった場所は、最近探した場所のリストから消去することができます。

最近探した場所を地図で確認する

最近探した場所のデータを削除する前に、あらかじめ地図で確認しておくことができます。

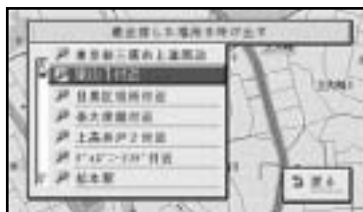
1. メインメニューの **その他の操作** **データを編集する** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **最近探した場所** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **呼び出し** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 最近探した場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



最近探した場所の地図が表示されます。

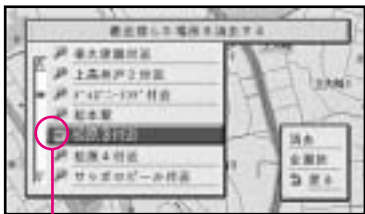
最近探した場所を消す

不要になった場所を消去して、データを整理することができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **最近探した場所**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 消去したい場所を選び、〔決定〕ボタンを押す

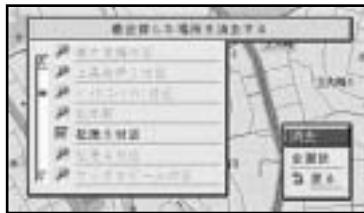


選んだ名前にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは**全選択**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。（もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。）

5. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除されます。）

必要な場所を誤って消してしまったら
消去した後何らかの操作をすると、消してしまった場所は元に戻りません。また、データが50件以上になると古いものから順に削除されるので、必要に応じて登録の操作を行ってください。

登録したデータをPCカードで管理する

ナビゲーション本体にPCカードスロットがある場合には、登録した場所、ルート、走行軌跡、マイページ、画像をPCカード「CNFC-8M」(別売)に保存できます。保存したデータはいつでも呼び出し、編集できます。



AVIC-D7000 / D6500では、ご利用できません。

データの読み書き中に本機の電源をOFFにしたり、ディスクを取り出したりしないでください。データの読み書き中に本機の電源がOFFになると、処理が中断されてしまい、データが消去されたり、カードから読み込めなくなったり、リスト表示されなくなる場合があります。

データの読み書き中に、車のエンジンスイッチをOFFにしたり、エンジンをかけたりしないでください。本機の電源がOFFになってしまいます。

データをPCカードに保存する

本機に登録されたデータをPCカードに保存するには、次の手順で操作します。

例) 登録した場所を保存する場合

1. メインメニューの**その他の操作**

データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す



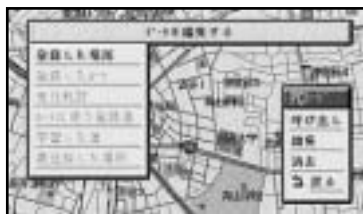
2. **登録した場所**を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

ここで**登録したルート** **走行軌跡**を選ぶと、手順4ではそれぞれのデータを選ぶための画面が表示されます。

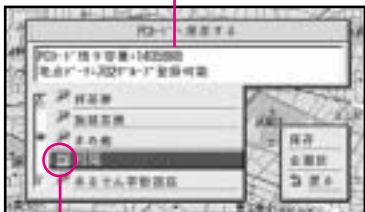
3. **PCカード**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. **カードへ保存する** を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. カードへ保存したいデータを選び、〔決定〕ボタンを押す
PCカードの残り容量の目安が表示される

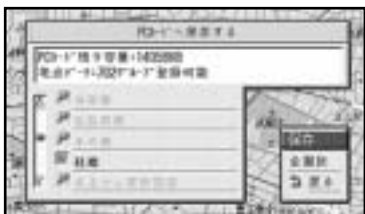


選んだデータにチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて保存するときは**全選択**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。

6. **保存** を選び、〔決定〕ボタンを押す



走行軌跡、ルートの場合、すぐにデータの保存が始まります。保存が終わったら、手順8に進んでください。

7. 登録した場所の保存先（グループ名）を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

登録した場所を初めて保存するとき、または別のグループに保存したいときは、**新規グループ**を選んで〔決定〕ボタンを押した後、グループ名を入力（P.28）し、**終了**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。地点の保存が始まります。

8. 〔決定〕ボタンを押す



地点の保存が始まります。

MEMO

マイページの保存と読み込みについては131ページをご覧ください。PCカード内にデジタルカメラのexif形式および一般のjpeg形式の画像を保存しておき、登録した場所に近づいたときにその画像を表示させることができます。（P.173）

登録した場所とマイページの保存先について

登録した場所とマイページは、PCカード内に作成されたグループ単位で保存されます。登録した場所は、1つのグループに、最大100地点まで保存できます。マイページは、1つのグループに最大20ページまで保存できます。

画像を登録した場所の保存について

画像を登録した場所を保存するときには、その画像が保存されているPCカードをお使いください。それ以外のPCカードに保存すると画像とのリンクが解除され、画像がない設定で保存されます。

PCカードのデータを読み込む

PCカードに保存されたデータを本機に読み込むには、次の手順で操作します。

例) 登録した場所を読み込む場合

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **登録した場所**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **PCカード**を選び、〔決定〕ボタンを押す
4. **カードから読み込む**を選び、〔決定〕ボタンを押す

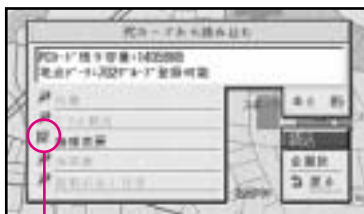


走行軌跡、ルートの場合、手順6に進んでください。

5. 読み込み元のグループ名を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. カードから読み込みたいデータを選び、〔決定〕ボタンを押す

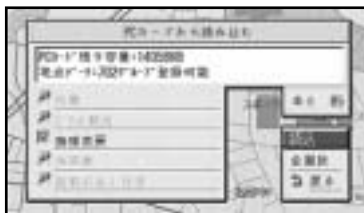


選んだデータにチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて読み込むときは**全選択**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。(もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。)

7. **読み込む**を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す

PCカードのデータを消去する

不要になったPCカード内のデータを消去するには、次の手順で操作します。

例) 登録した場所を消去する場合

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集するを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **登録した場所**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **PCカード**を選び、〔決定〕ボタンを押す
4. **カード内のデータを消去する**を選び、〔決定〕ボタンを押す

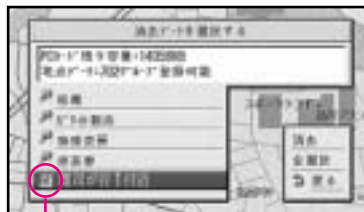


走行軌跡、ルートの場合、手順6に進んでください。

5. 消去したい地点が保存されたグループ名を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 消去したいデータを選び、〔決定〕ボタンを押す

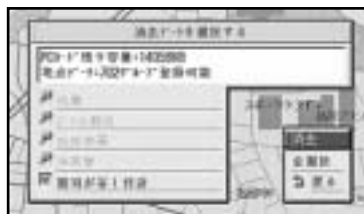


選んだデータにチェックマークが付く

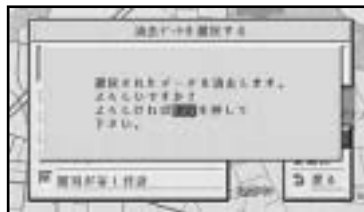
MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは**全選択**を選んで〔決定〕ボタンを押してください。(もう一度〔決定〕ボタンを押すと、選択が解除されます。)

7. **消去**を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. 消去してもよければ〔決定〕ボタンを押す



〔決定〕ボタンを押すと、データ消去中であることを知らせるメッセージが表示されたあと、現在地画面に戻ります。消去をやめるときは、〔決定〕ボタンを押す前に〔戻る〕ボタンを押してください。

9. **終了** を選び、〔決定〕ボタンを押す

必要なデータを誤って消してしまったら
 消してしまったデータは元に戻りません。
 もう一度本機からPCカードへデータを保存
 し直してください（P.194）。
 本機にデータが残っていない場合は、もう
 一度データの登録からやり直してください。

PCカードを初期化する

不要になったデータを消去して、PCカード
 を初期化することができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
データを編集する を選び、〔決定〕ボタ
 ンを押す
2. **登録した場所** を選び、〔決定〕ボタ
 ンを押す

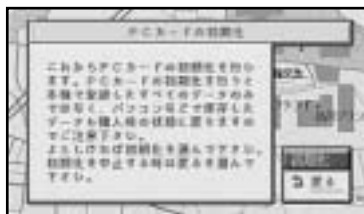
MEMO

登録したルート、**走行軌跡** を選ん
 だ場合も、同じように操作することが
 できます。

3. **PCカード** を選び、〔決定〕ボタンを
 押す
4. **カードを初期化する** を選び、〔決定〕
 ボタンを押す



5. 初期化してもよければ、**初期化** を選
 び、〔決定〕ボタンを押す



〔決定〕ボタンを押すと、PCカードが
 初期化され、現在地画面に戻ります。
 初期化をやめるときは、〔決定〕ボタ
 ンを押す前に〔戻る〕ボタンを押して
 ください。

ナビゲーションの設定を変える

オートリルトのON / OFF、現在地表示のしかたなど、ナビゲーションの機能やさまざまな情報の表示のしかたを、好みの設定に変更することができます。

ナビゲーションの設定には、大きく分けると7種類あります。ここではそのうち、4種類を説明します。

地図に関する設定 ルートに関する設定
VICSに関する設定 その他の設定

これらのメニュー項目はどれも、同じ要領で操作できます。ここでは、「地図」メニューで「現在地情報の表示」を「現在地名」から「緯度経度」に変えることを例にして操作を説明します。

1. メインメニューの**その他の操作**

設定を変える を選び、〔決定〕ボタンを押す



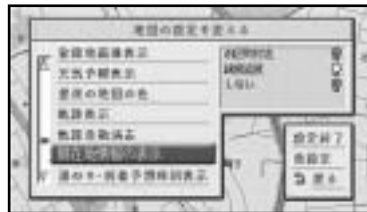
2. **地図** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 設定を変えたい項目（この例では**現在地情報の表示**）を選ぶ



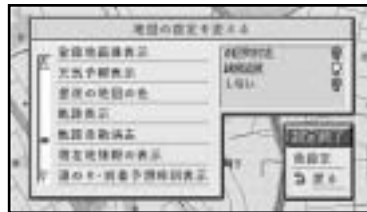
4. 〔決定〕ボタンを押して、項目右のランプ（この例では**緯度経度**）を点灯させる



MEMO

〔決定〕ボタンを押すごとに、項目右のランプの点灯 / 消灯が切り換わります。黄色で点灯させるとON設定に、消灯させるとOFF設定になります。他の項目も変更したいときは、手順3～4の操作を繰り返してください。

5. 変更し終わったら**設定終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



必ず**設定終了**または**他設定**で終了してください。それ以外では変更内容が記憶されません。

ナビゲーションの設定一覧

「地図」メニュー

項目	選択肢（色は購入直後の設定）
オートフリーズーム	[オンにする] [オフにする]
交差点案内表示	[拡大図] [ドライバーズビュー]
2D地図の回転	[ヘディングアップ] [ノースアップ] [ヘディングレフト] [ヘディングライト]
ノースアップフロントワイド	[オンにする] [オフにする]
3D地図の回転	[ヘディングアップ] [目的地アップ]
立体ランドマーク表示	[オンにする] [オフにする]
シティマップ	[オンにする] [オフにする]
ビジュアルシティマップ	[オンにする] [オフにする]
ドライバーズビュー	
ウインドウマップ	[オンにする] [オフにする]
登録地画像表示	[オンにする] [オフにする]
天気予報表示	[オンにする] [オフにする]
昼夜の地図の色	[時刻で切り替え] [イルミで切り替え] [常に昼の色]
軌跡表示	[オンにする] [オフにする]
軌跡自動消去	[パワーオフにする時] [しない]
現在地情報の表示	[市区町村名] [緯度経度] [しない]
道のり・到着予想時刻表示	[目的地] [立寄地]
ハイパーツインスクロール	[オンにする] [オフにする]
ルートインフォメーション	[オンにする] [オフにする]
自動地下駐車場マップ	[オンにする] [オフにする]
方面案内表示	[オンにする] [オフにする]
スクロール方面表示	[オンにする] [オフにする]

AVIC-D6500では、ご利用できません。

「ルート」メニュー

項目	選択肢（色は購入直後の設定）
ルート探索の候補数	[6] [1]
ルート探索基準	[推奨] [距離優先]
有料道路	[標準] [優先] [回避]
フェリー航路	[標準] [優先] [回避]
オートリルート	[オンにする] [オフにする]
リアルタイムリルート	[オンにする] [オフにする]
ルートインフォメーション	[オンにする] [オフにする]
交差点案内表示	[拡大図] [ドライバーズビュー]
高速施設のイラスト表示	[オンにする] [オフにする]
学習ルート探索	[オンにする] [オフにする]
登録地のルート探索条件	[使う] [使わない]
オートフリーズーム	[オンにする] [オフにする]
道のり・到着予想時刻表示	[目的地] [立寄地]
予想時刻速度（一般道）	[20km/h] [30km/h] [40km/h]
予想時刻速度（有料道）	[60km/h] [80km/h] [100km/h]
渋滞を考慮したルート探索	[オンにする] [オフにする]
方面案内表示	[オンにする] [オフにする]

「VICS」メニュー

項目	選択肢（色は購入直後の設定）
渋滞表示	[オンにする] [オフにする]
渋滞表示の点滅	[オンにする] [オフにする]
順調表示	[オンにする] [オフにする]
規制表示	[オンにする] [オフにする]
駐車場満車表示	[オンにする] [オフにする]
区間旅行時間表示	[オンにする] [オフにする]
ビーコン文字図形表示	[文字・図形] [図形] [しない]
FM多重チューナーの設定	[VICS] [D-GPS] [VICS/D-GPSダブル] [文字多重放送]
渋滞を考慮したルート探索	[オンにする] [オフにする]

「その他」メニュー

項目	選択肢 (色は購入直後の設定)
デモ走行	[オンにする] [オフにする]
地図情報の網かけ表示	[オンにする] [オフにする]
時計表示	[デジタル] [アナログ] [しない]
センサーメモリー切替	[メモリー1] [メモリー2]
TV走査方式	[インターレース] [ノンインターレース]
FM多重チューナーの設定	[VICS] [D-GPS] [VICS/D-GPSダブル] [文字多重放送]
オート発話スタンバイ	[オンにする] [オフにする]
ボイスヘルプ	[発話ボタンで表示] [ボイスコマンドで表示]
オーディオミュート	[ガイド・電話・認識] [電話・認識] [しない]
音声認識ノイズマイク	[オンにする] [オフにする]
電話操作ハンズフリー ¹	[オンにする] [オフにする]
セーフティー インフォメーション	[オンにする] [オフにする]
サウンドトラップ	[オンにする] [オフにする]
使用する携帯電話 ²	[cdmaOne] [その他 (PDC)]
外部カメラ ³	[後方監視カメラとして使う] [側方監視カメラとして使う] [接続無し]
オービスポイント ⁴	[全ポイント] [高速道のみ] [一般道のみ] [オフにする]

1～2 AVIC-D6500では、ご利用できません。

3 AVIC-D6500/D7000では、ご利用できません。

4 オービスポイントを案内させるには、別売のオービスROM「CNAD-OP03D」(株式会社三栄書房)が必要です。(P.310)

設定の詳細

「地図」メニューの内容

オートフリーズーム

現在地と次の案内地点（または目的地）を常に画面内に表示しながら、自動的にズームアップするかどうかを設定します。

オンにする.....オートフリーズームが機能します。

オフにする.....オートフリーズームは機能しません。

交差点案内表示

ルート案内時、交差点に近づいた際に表示される案内図の種類を設定します。

拡大図.....平面的な交差点拡大図を表示します。

ドライバズビュー.....交差点付近を立体的に表現した案内図で表示します。

2D時地図の回転

ノーマルビュー表示時の地図回転の方法を設定します。

ヘディングアップ.....進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。

ノースアップ.....常に北が上になるように地図が表示されます。

ヘディングレフト.....進行方向が常に左になるように表示されます。

ヘディングライト.....進行方向が常に右になるように表示されます。

ノースアップフロントワイド

ノースアップ時に自動的に進行方向の状況がよく見える「フロントワイド」表示にするかどうかを設定します。

オンにする.....ノースアップフロントワイドが機能します。

オフにする.....ノースアップフロントワイドは機能しません。

3D時地図の回転

スカイビューなどの3D地図表示時の地図回転の方法を設定します。

ヘディングアップ.....進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。

目的地アップ.....目的地が常に上になるように地図が表示されます。ルート未設定時には「ヘディングアップ」と同じになります。

立体ランドマーク表示

スカイビューなどの3D地図表示時、目印になる建物を立体ランドマークで表示するかどうかを設定します。

オンにする 立体ランドマークを地図上に表示します。

オフにする 立体ランドマーク表示はされません。

シティマップ

詳細市街地図収録エリアを100mスケールより詳細な地図で表示した際、市街地図を表示するかどうかを設定します。

オンにする 市街地図が表示されます。

オフにする 通常の地図が表示されます。

ビジュアルシティマップ

市街地図をスカイビューなどの3D地図で表示した際、建物を立体的に表示するかどうかを設定します。

オンにする 市街地図の建物が立体的に表示されます。

オフにする 市街地図の建物が平面的に表示されます。

ドライバーズビューウインドウマップ

ドライバーズビューのとき、画面を分割して地図画面（ウインドウマップ）を表示するかどうかを設定します。

オンにする 画面の左側にウインドウマップが表示されます。

オフにする ウインドウマップは表示されません。

登録地画像表示

登録した場所に近づいた際、詳細情報としてあらかじめ設定しておいた画像を表示するかどうかを設定します。

オンにする 登録した場所に近づいた際、設定しておいた画像が表示されます。

オフにする 登録地画像表示はしません。

天気予報表示

天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内したりするかどうかを設定します。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

オンにする 地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。

オフにする 地図上の天気予報表示、ルート設定時の天気予報音声案内はしません。

昼夜の地図の色

地図の配色が切り換わるタイミングを設定します。

時刻で切り替え 日没 / 日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。

イルミで切り替え スモール灯のON / OFFで画面の配色が切り換わります。

常に昼の色 常に昼画面のままです。

軌跡表示

走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。

オンにする 実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。

オフにする 走行軌跡は表示されません。

軌跡自動消去

走行軌跡を消去するタイミングを設定します。

パワーオフにする時 本機の電源を切ると走行軌跡が自動的に消去されます（登録した走行軌跡は消えませんが）。

しない 走行軌跡の自動消去はしません。

現在地情報の表示

現在地表示の内容を設定します。

市区町村名 現在地を市区町村名で表示します。

緯度経度 現在地を緯度経度で表示します。（本品は日本測地系に対応しています。）

しない 現在地表示がOFFになります。

道のり・到着予想時刻表示

ルート設定時に表示される距離・到着予想時刻の対象となるポイントを設定します。

目的地 目的地までの距離と到着予想時刻を表示します。

立寄地 次の立寄地までの距離と到着予想時刻を表示します。

ハイパーツインスクロール

ハイパーツインスクロール（P.11）をするかどうかを設定します。

オンにする ハイパーツインスクロールが機能します。

オフにする ハイパーツインスクロールは機能しません。

ルートインフォメーション

ルート設定時、ルートインフォメーション（P.38）を表示するかどうかを設定します。

オンにする ルート設定時に、ルートインフォメーションが表示されます。

オフにする ルートインフォメーションは表示されません。

自動地下駐車場マップ

ディスクに収録されている地下駐車場に入ったとき、自動的に地下駐車場内の地図を表示するかどうかを設定します。

オンにする 地下駐車場マップを自動的に表示します。

オフにする 地下駐車場マップは自動的に表示されません。

方面案内表示

一般道で大きな交差点に近づいたとき、道路標識の形式のイラストを画面に表示して、方面案内を行うかどうかを設定します。

オンにする 交差点で方面案内を表示します。

オフにする 方面案内は表示されません。

スクロール方面表示

地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面（500mスケール未満の詳細地図では市区町村名が、500mスケール以上2kmスケール未満の地図では都道府県名が表示されます）を表示するかどうかを設定します。

オンにする スクロール中、方面案内が表示されます。

オフにする 方面案内は表示されません。

「ルート」メニューの内容

ルート探索の候補数

ルート探索時に表示される候補ルートの本数を設定します。

6 ルート探索時に最大6本まで候補ルートを探します。

1 1本だけの探索で候補ルートの探索はしません。

ルート探索基準

ルートの探索条件を設定します。探索されるルートが1本のときに有効になります。(6本のときは、ここでの条件を変えたルートが候補ルートになります。)

推奨 探索する際、おおすすめの基準でルートを探します。

距離優先 距離を優先してルートを探します。

有料道路

ルートの探索条件を設定します。探索されるルートが1本のときに有効になります。(6本のときは、ここでの条件を変えたルートが候補ルートになります。)

標準 有料道路を標準的な基準で採用します。

優先 有料道路を優先的に採用します。

回避 有料道路をなるべく使用しないようにします。

フェリー航路

ルートの探索条件を設定します。探索されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。

標準 フェリー航路を標準的な基準で採用します。

優先 フェリー航路を優先的に採用します。

回避 フェリー航路をなるべく使用しないようにします。

オートリルート

ルートから外れた際、自動的にリルートを行うかどうかを設定します(P.42)。

オンにする オートリルートが機能します。

オフにする オートリルートはしません。

リアルタイムリルート

交通状況の変化に応じて自動的にリルートを行うかどうかを設定します(P.42)。また、ONにしている場合、渋滞情報が自動的に案内されるようになります。

オンにする リアルタイムリルートが機能します。

オフにする リアルタイムリルートは機能しません。

ルートインフォメーション

「地図」メニューの「ルートインフォメーション」と同じです。

交差点案内表示

「地図」メニューの「交差点案内表示」と同じです。

高速施設のイラスト表示

都市高速を使うルートの案内時、都市高速出口やジャンクションなどに近づいた際、高速道路施設のイラストを表示するかどうかを設定します。

オンにする.....高速施設のイラストを表示します。

オフにする.....高速施設のイラストは表示しません。

学習ルート探索

ルート探索時、よく通る道をルートの一部に使う「学習ルート探索」(P.55)ができるようにするかどうかを設定します。

オンにする.....学習ルート探索が機能します。

オフにする.....学習ルート探索は機能しません。

登録地のルート探索条件

登録した場所を目的地や立寄地にした際、詳細情報としてあらかじめ設定しておいた探索条件をもとに、ルート探索を行うかどうかを設定します。

使う.....登録した場所の詳細情報に設定された探索条件をもとに、ルート探索が行われます。

使わない.....詳細情報に設定された探索条件は使いません。

オートフリーズーム

「地図」メニューの「オートフリーズーム」と同じです。

道のり・到着予想時刻表示

「地図」メニューの「道のり・到着予想時刻表示」と同じです。

予想時刻速度（一般道）

一般道走行時の、到着予想時刻を計算する際の基準となる速度を設定します。

20km/h.....平均速度20km/hとして到着予想時刻を計算します。

30km/h.....平均速度30km/hとして到着予想時刻を計算します。

40km/h.....平均速度40km/hとして到着予想時刻を計算します。

予想時刻速度（有料道）

有料道路走行時の、到着予想時刻を計算する際の基準となる速度を設定します。

60km/h.....平均速度60km/hとして到着予想時刻を計算します。

80km/h.....平均速度80km/hとして到着予想時刻を計算します。

100km/h.....平均速度100km/hとして到着予想時刻を計算します。

渋滞を考慮したルート探索

VICSのビーコン情報をもとに、渋滞を避けたルートを探査するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコン受信機（付属、または別売の「ND-B3」）を接続時のみ有効です。

オンにする 渋滞を避けるルートが探索されます。

オフにする 渋滞していないことがわかっている場合など、渋滞情報を考慮する必要がないときに指定します。

方面案内表示

「地図」メニューの「方面案内表示」と同じです。

「VICS」メニューの内容

渋滞表示

渋滞している道路の道塗りをを行うかどうかを設定します。

オンにする VICS情報をもとに、渋滞している道路を道塗り表示します。

オフにする 渋滞の道塗り表示はされません。

渋滞表示の点滅

渋滞している道路の道塗りを点滅させるかどうかを設定します。「順調表示」が「オンにする」に設定されているときは、常に点滅します。

オンにする 渋滞表示を常時点滅させて表示します。

オフにする 渋滞表示を点滅させません。

順調表示

交通状況が順調なことを示す「順調表示」を行うかどうかを設定します。

オンにする VICS情報をもとに、交通が順調な道路を道塗り表示します。

オフにする VICS情報の順調表示はしません。

規制表示

交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。

オンにする 交通規制の情報をマークで表示します。

オフにする 規制のマークおよび規制区間表示はしません。

駐車場満車表示

駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。

オンにする 駐車場の満空情報をマークで表示します。

オフにする VICS情報の駐車場表示はしません。

区間旅行時間表示

区間旅行時間に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。

オンにする 旅行時間をマークで表示します。

オフにする VICS情報の旅行時間表示はしません。

ビーコン文字図形表示

受信したビーコンの情報をすぐに表示するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコン受信機（付属、または別売の「ND-B3」）を接続時のみ有効です。

文字・図形 ビーコン情報を文字表示（レベル1）と図形表示（レベル2）のどちらかで案内します。都市高速や一般道路を走行しているときはこの設定が便利です。

図形 ビーコン情報を図形表示（レベル2）のみで案内します。都市間高速を走行しているときはこの設定が便利です。

しない ビーコン情報の案内はしません。

FM多重チューナーの設定

内蔵のFM多重チューナーの使われかたを設定します。

VICS VICS情報の受信のみに使います。

D-GPS D-GPSの受信のみに使います。

VICS/D-GPSダブル VICSとD-GPSを時分割して同時に使います。VICSのみの設定時よりも交通情報の更新が遅くなることがあります。

文字多重放送 FM文字放送の受信のみに使います。

渋滞を考慮したルート探索

「ルート」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」と同じです。

「その他」メニューの内容

デモ走行

店頭用デモンストレーション機能です（ルートが設定されているときのみ有効です）。通常は使わないでください。この機能を使うと一時的に測位精度が低下する場合があります。

オンにする.....この設定にすると、案内中のルートに沿ってデモ走行が行われます。

オフにする.....デモ走行を解除します。

地図情報の網かけ表示

現在地名表示などの背景を網かけ表示するか透明にするかを設定します。

オンにする.....現在地名表示などの背景が網かけ表示されます。

オフにする.....組み合わせたTVモニターにより、現在地名表示が見にくいときに設定します。

時計表示

画面に表示される時計の種類を設定します。（ドライバーズビューでは、アナログに設定してもデジタルになります。また、ハイウェイモードでは時計は表示されません。）

デジタル.....デジタル時計を表示します。

アナログ.....アナログ時計を表示します。

しない.....時計は表示しません。

センサーメモリー切替

センサーの学習結果が保存されるメモリーを切り換えます。

メモリー1.....学習結果がメモリー1に保存されます。年間を通じて同じタイヤで走行する場合には設定を変える必要はありません。

メモリー2.....学習結果がメモリー2に保存されます。冬期にスタッドレスタイヤへ交換した場合など、メモリー1とはサイズの異なるタイヤにしたときに選ばます。

MEMO

メモリー2を初めて使うときは、必ずメモリー2のリセット操作を行ってください。操作方法は、「タイヤを交換したときや本体の設置場所を変更したときは」(P.297)をご覧ください。

TV走査方式

本機に接続したワイドTVモニターの種類に応じて、走査方式を設定します。

インターレース.....他社製ワイドTVモニターを接続したときに設定します。

ノンインターレース.....パイオニア製ワイドTVモニターを接続したときに設定します。また、他社製ワイドTVモニターを接続した際、画面がぼけて見にくいときに設定します。

FM多重チューナーの設定

「VICS」メニューの「FM多重チューナーの設定」と同じです。

オート発話スタンバイ

音声操作の方式を設定します。AVIC-D9500 / D7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

AVIC-D6500の場合は、音声認識キット「CD-V100」(別売)を接続時のみ有効です。

オンにする.....音声認識コントローラーの〔発話〕ボタンを1回押した後、連続して音声認識語を発話できます。

オフにする.....発話ごとに〔発話〕ボタンを押す方法で音声操作を行います。

ボイスヘルプ

音声操作中、音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を常に表示するかどうかを設定します。AVIC-D9500 / D7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

AVIC-D6500の場合は、音声認識キット「CD-V100」(別売)を接続時のみ有効です。

発話ボタンで表示.....音声操作中は常にボイスヘルプが表示されます。(ただし走行中は表示されません。)

ボイスコマンドで表示.....“ボイスヘルプ”と発話した時点で、ボイスヘルプが表示されます。

オーディオミュート

パイオニア製ミュート端子付きカステレオと組み合わせているときに、自動的にオーディオの音量を下げるタイミングを設定します。AVIC-D9500 / D7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

AVIC-D6500の場合は、音声認識キット「CD-V100」(別売)を接続時のみ有効です。

ガイド・電話・認識.....ナビゲーションの音声案内中、通話中、音声操作中のどのタイミングでも、自動的にオーディオの音量が下がります。

電話・認識.....通話中、または音声操作中のタイミングで、自動的にオーディオの音量が下がります。

しない.....オーディオミュートはしません。

音声認識ノイズマイク

本体内蔵の専用ノイズマイクを使うかどうかを設定します。AVIC-D9500 / D7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

AVIC-D6500の場合は、音声認識キット「CD-V100」(別売)を接続時のみ有効です。

オンにする.....ノイズマイクによってロードノイズなどの雑音が打ち消されます。本体の設置場所によっては本来の発話をノイズとして拾ってしまい、認識率が下がることがあります。その場合は「オフにする」にしてください。

オフにする.....ノイズマイクは使いません。

電話操作ハンズフリー

携帯電話を接続した際、本機の音声認識用マイク・スピーカーを電話のハンズフリー用としても利用するかどうかを設定します。また、リモコンで電話をかける・切るなどの操作を行うかどうかを設定します。AVIC-D9500 / D7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

- オンにする.....本機の音声認識用マイク・スピーカーを携帯電話のハンズフリー用としても利用できるようになります。
- オフにする.....携帯電話のハンズフリー用には利用しません。リモコンでの電話操作もできなくなります。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

セーフティーインフォメーション

危険箇所やライト点灯のタイミングなど、安全に関する情報を音声で案内するかどうかを設定します。

- オンにする.....安全に関する情報を案内します。
- オフにする.....安全に関する情報は案内されません。

サウンドトラップ

レジャー施設や観光スポットなどの100m以内に近づくと、その地点に合わせた効果音が流れ、画面ではその場所にマークが表示されます。

- オンにする.....特定の地点に近づくと、効果音が流れます。
- オフにする.....効果音を流しません。

使用する携帯電話

お使いの携帯電話が「cdmaOne™」かどうかを設定します。

- cdmaOne.....「cdmaOne™」携帯電話をお使いの場合は、こちらを選びます。
- その他 (PDC).....「cdmaOne™」以外の携帯電話をお使いの場合はこちらを選びます。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

外部カメラ

別売の外部カメラを本機に接続している場合、外部カメラの映像を自動で切り換えるか、手動で切り換えるか、あるいはカメラを接続しないかを設定します。

後方監視カメラとして使う車のシフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると、外部カメラの映像が自動的に画面に表示されます。

側方監視カメラとして使う外部カメラの映像に手動で切り換えたいときに選択します。

接続無しカメラを接続していないときは、この設定を選んでください。



「バック信号入力」にバックランプの+側リード線を接続して、本機の3Dハイブリッドセンサーを初期化したあと、一度シフトレバーを「R」(リバース)の位置にして、車が後進した状態を学習させるまでは、「後方監視カメラとして使う」は選択できません。AVIC-D6500 / D7000では、ご利用できません。

オービスポイント

道路上にあるオービスポイントを案内するかどうかを設定します。

全ポイント全ての道路で、オービスポイントを案内します。

高速道のみ高速道路走行中のみ、オービスポイントを案内します。

一般道のみ一般道走行中のみ、オービスポイントを案内します。

オフにするオービスポイントは案内されません。



オービスポイントを案内させるには、別売のオービスROM「CNAD-OP03D」(株式会社三栄書房)が必要です。(P.310)

ハードウェアの調整を行う

音量を調整する

ルートの音声案内が小さくて聞こえにくい場合には、音量調整を行ってください。

1. メインメニューの **その他の操作** **設定を変える** を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **ハードウェア** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **音量設定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを上下に倒して音量を調整して、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

リモコン設定スイッチの設定によっては、リモコンのVOLツマミでも調整できます。(『スタートブック』)
音量は10段階(0~9)で調整できます。



操作が終わったら、必ず〔決定〕ボタンを押してください。〔決定〕ボタンを押さないと、変更内容が記憶されません。

TVモニターの表示位置を調整する

TVモニターの表示位置がずれているときは、表示位置を調整してください。

1. メインメニューの**その他の操作**
設定を変えるを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **ハードウェア**を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. **画面表示位置設定**を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを倒してワクで囲まれている映像が画面の中央にくるように調整し、〔決定〕ボタンを押す



操作が終わったら、必ず〔決定〕ボタンを押してください。〔決定〕ボタンを押さないと、変更内容が記憶されません。調整の結果、極端にずらして調整すると画面の一部が表示されなくなります。赤い枠線が表示されますので、その線を超えない範囲で調整してください。パイオニア製のTVモニターで、表示位置が自動的に調整されるものと組み合わせた場合、このメニューは選べません。

自転車位置のずれを修正する

マップマッチングは「車は道路上を走るもの」という考え方を基本にしています。このため、地図上の道路データと実際の道路の形状が異なっている場合や、複数の道路が近接している場合などでは、実際に走っているのとは異なる道路に自転車マークが表示されてしまうことがあります。

間違った位置に自転車マークがあるときは、正しい位置に補正することができます。自転車位置を正確に修正するために、自転車位置修正は停車中に行ってください。

1. メインメニューの**その他の操作**
設定を変えるを選び、〔決定〕ボタンを押す

2. **自転車位置**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 自分の車がいる道路に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを左右に動かして自転車マークの方位を合わせ、〔決定〕ボタンを押す



ナビゲーションの状態を画面で見る

走行中のセンサー状態、GPS衛星の受信状態、センサーの学習状況、配線の接続状態を画面に表示させ、ナビゲーションの状態を画面で見ることができます。

走行状態画面を見る

接続や学習の状態を、走行しながら確認することができます。この機能は、自転車位置精度不良などの場合に、走行中の各種接続やセンサーの状態をモニターすることを目的としています。

警告

走行状態の確認は必ず同乗者が行き、運転者は運転に専念してください。

注意

速度の表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと、くい違っていることがあります。



電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていない場合、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出しません。

トリップおよびパルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算しない場合があります。

センサー未学習状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。

本機の電源をOFFにしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。

1. メインメニューの**その他の操作**

情報画面を見るを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **走行状態**を選び、〔決定〕ボタンを押す



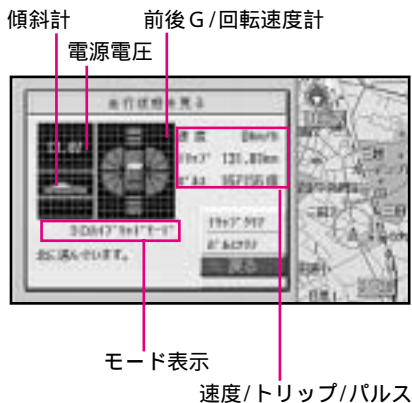
3. 走行を始めてセンサー状態を確認する画面の詳細は、「走行状態画面の見かた」(次項)をご覧ください。

MEMO

走行中には10キー操作で走行状態画面を表示させることができます。(ダイレクトキー機能：P.232)

4. 確認し終わったら、**戻る**を選び、〔決定〕ボタンを押す

走行状態画面の見かた



電源電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。（最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。）

傾斜計：現在本機が認識している上り坂、下り坂を7段階（上3段、下3段）で表示します。

モード表示：現在の走行モード（3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード）とメッセージを表示します。

前後 G / 回転速度計：現在本機が認識している前後 G の強さをバーで、左右の回転速度を扇で表示します。前後 G の強さ、左右の回転速度をそれぞれ7段階（前後各3段、左右各3段）で表示します。

速度/トリップ/パルス：現在本機が認識している速度、トリップ、パルス数の積算を表示します。

MEMO

トリップクリアまたは**パルスクリア**を選んで〔決定〕ボタンを押すと、積算された数字がクリアされます。

衛星測位状態画面を見る

GPS衛星の受信状態を表示して、測位状態を確認することができます。

1. メインメニューの**その他の操作****情報画面を見る**を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **衛星測位状態**を選び、〔決定〕ボタンを押す



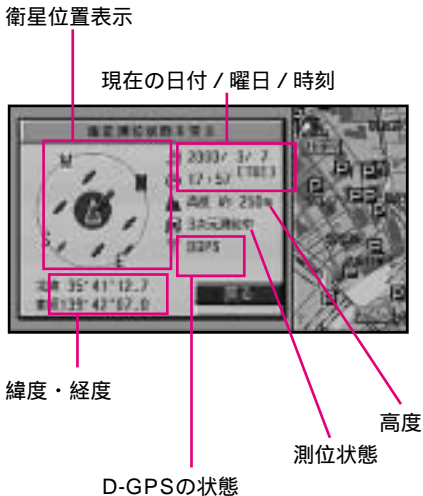
3. 測位状態を確認する
画面の詳細は、「衛星測位状態画面の見かた」（次項）をご覧ください。
4. 確認し終わったら、**戻る**を選び、〔決定〕ボタンを押す



GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

高度はGPSの情報から求められているので、数十m～数百mの誤差があります。

衛星測位状態画面の見かた



衛星位置表示：自車位置（赤い三角形のマーク）を中心に、現在電波を受信できているGPS衛星の位置を示します。円の中心付近から見ていろいろな方向の衛星の電波を受信できているときほど、正確な測位が可能です。測位に使っている衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できない衛星は黒で、それぞれ表示されます。

緯度・経度：現在地の緯度と経度です。測位できないときは、最後に測位したときの緯度と経度が表示されます。

高度：現在の高度を示します。高度を計算できなかった場合には、最後に測位したときの高度が表示されます。（この表示はGPS測位により得られた高度をそのまま表示しており、誤差が含まれているため、実際の高度とは異なります。）

測位状態：現在の測位状態を示します。「3次元測位中」「2次元測位中」「未測位」などと表示されます。

D-GPSの状態：FM多重チューナーでD-GPS情報を受信していると、アンテナのマークが橙色で表示されます。（D-GPS情報が受信できない場合、黒く表示されます。）また、D-GPS情報を利用して測位しているときには「D-GPS」と黒く表示されます。（D-GPS情報を利用していない場合、グレーで表示されます。）

センサー学習状況画面を見る

センサーでどのくらい学習が進んでいるかを画面で確認できます。

1. メインメニューの**その他の操作** **情報画面を見る**を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **センサー学習状況**を選び、〔決定〕ボタンを押す

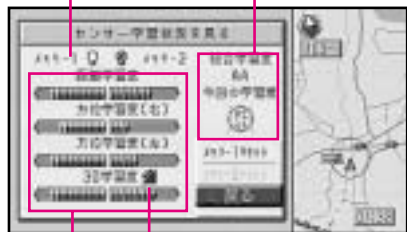


3. センサーの学習状況を確認する
画面の詳細は、「センサー学習状況画面の見かた」（次項）をご覧ください。
4. 確認し終わったら、**戻る**を選び、〔決定〕ボタンを押す

センサー学習状況画面の見かた

メモリー1 / メモリー2

総合学習度 / 今回の学習度



車両姿勢表示

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度

メモリー1 / メモリー2：項目横のランプが黄色で点灯している方が現在学習結果を保存しているセンサーメモリーです。

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度：距離・方位 (左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかを示しています。バーが端までいっぱいになると、学習の度合いが最高になります。向かって左側のバーがメモリー1の学習状況です。右側がメモリー2の学習状況です。

車両姿勢表示：現在傾斜を上っているのか下っているのか、または平地にいるのが表示されます。

総合学習度：現在のセンサーメモリーに対する、学習状況の総合評価 (10段階：SSS、SS、S、AAA、AA、A、B、C、D、E) です。

今回の学習度：今回、本機の電源を入れ、動かし始めてからどのくらい学習できたかを示しています (3段階)。



傾斜 (3D) 学習度が表示されていないときは、車速パルスが正しく取れていません。電源コードの車速信号入力 (ピンクリード線) が正しく接続されていないことが考えられます。車速信号入力の接続を確認後、センサーのリセットをやり直してください。(P.298)

MEMO

メモリー1とメモリー2の切り換えは、「設定を変える その他」メニューの「センサーメモリー切替」(P.211)で行います。

メモリー1リセット、**メモリー2リセット**

の使いかたは、「タイヤを交換したときや本体の設置場所を変更したときは」(P.297)をご覧ください。

配線の接続状態を確認する

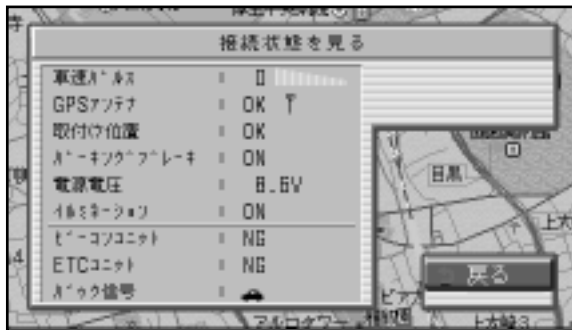
配線が正しく接続されているか、専用の接続状態画面で確認することができます。

1. メインメニューの**その他の操作**
情報画面を見るを選び、〔決定〕ボタンを押す
2. **接続状態**を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 接続状態を確認する
画面の詳細は、「接続状態画面の見かた」(次項)をご覧ください。
4. 確認し終わったら、**戻る**を選び、〔決定〕ボタンを押す

接続状態画面の見かた



車速パルス：現在本機が認識している車速パルスの数を示しています。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発音音がして、数字とともに変化します。車速パルスの確認は、安全な場所で、低速（時速5km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を示しています。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

その右側に表示されているアンテナのイラストはGPS衛星の電波をどの程度強く受信できているかを示しています。バーが多いほど受信感度が良好です。バーの数が少ない場合は、GPSアンテナの設置場所を電波の受信しやすい車のルーフやトランクリッドなどに変えてみてください。

取付け位置：本機の設置状態を示しています。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、『取付説明書』をご覧ください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキの状態を示しています。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキを操作してみて正しく表示していることを確認してください。

電源電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11～15Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を確認してください。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション：イルミネーションの状態を示しています。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。ライトの点灯/消灯を正しく表示していることを確認してください。

ビーコンユニット：VICS用ビーコン受信機（付属または別売の「ND-B3」）の接続状態を示しています。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、VICS用ビーコン受信機の接続状態を確認してください。

ETCユニット：ETCユニット「ND-ETC2」の接続状態を示しています。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、ETCユニットの接続状態を確認してください。

バック信号：バック信号入力の接続状態を示しています。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にするとマークが左右反転します。ブレーキペダルを踏んでシフトレバーを操作してみて、正しく表示していることを確認してください。

この接続は車の前進/後退を判断するためのもので、必ず接続してください。接続しないと正確な位置精度を保証できません。

外部カメラを使う

別売の外部カメラなどを接続すると、車の後方や後部座席などの状態を画面に表示させることができます。駐車場などで後退するときなどに便利です。



AVIC-D6500 / D7000では、ご利用できません。

外部カメラをご利用になるためには、本機の3Dハイブリッドセンサーをリセットしたあと、一度シフトレバーを「R」(リバース)の位置にして、車が後進した状態を学習させる必要があります。

3Dハイブリッドセンサーのリセットを行い、車が後進した状態を学習させていない場合、シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしても、外部カメラの映像には切り換わりません。

外部カメラを後方監視カメラとして使う場合は、バック信号の接続が必要ですので必ず接続してください。

バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の取付説明書、または「CD-BL60」に付属の説明書をご覧ください。

AVIC-D9000/D9500の場合は、別売のバック信号入力用コード「CD-BL60」をご使用ください。

MEMO

外部カメラの映像は、ナビゲーション本体のRCA拡張ビデオ入力端子 (EXTEN VIDEO IN) へ接続してください。RCA拡張ビデオ入力端子については、ナビゲーション本体の取付説明書をご覧ください。

外部カメラの接続のしかたは、外部カメラの説明書をご覧ください。

車のギアと連動させるには

車のシフトレバーの動きと外部カメラを連動させるかどうかを選ぶことができます。「その他」メニューの「外部カメラ」(P.214)の設定を「後方監視カメラとして使う」にしている場合、車のシフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると、自動的に外部カメラの映像に切り換わります。

手動で画面を切り換えるには

「その他」メニューの「外部カメラ」(P.214)の設定を「側方監視カメラとして使う」にすると、手動で外部カメラの映像に切り換えられるようになります。

1. メインメニューの**その他の操作**
外部カメラを使うを選び、〔決定〕ボタンを押す
外部カメラの映像に切り換わります。
〔戻る〕ボタンまたは〔現在地〕ボタンを押すと。通常の画面に戻ります。

Chapter 10

ショートカットメニュー・ダイレクトキー

この章の内容

ショートカットメニューを使う	228
ダイレクトキーを使う	232
10キーをカスタマイズする	233
10キーに割り当て可能な機能の一覧	235

ショートカットメニューを使う

本機には、〔メニュー〕ボタンを押して表示されるメインメニューのほかに、比較的利用頻度の高い機能だけを集めたメニューも用意されています。これを「ショートカットメニュー」といいます。

メニューを表示させる

ショートカットメニューを表示させる

1. 地図画面が表示されているときに〔決定〕ボタンを押す
地図画面の状況に応じて以下のようなメニューが表示されます。



スクロール中

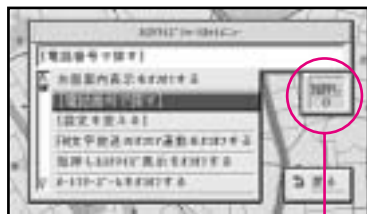


案内中のルートがあるとき

カスタマイズショートカットメニューを表示させる

リモコンの10キーに割り当てられている機能をメニューとして表示させることができます。

1. 地図画面が表示されているときに〔決定〕ボタンを2秒以上長く押す



選んでいるメニューが割り当てられている10キー

MEMO

〔決定〕ボタンを押して、選んでいるメニューの操作を実行することもできます。

このメニューの詳細は、「ダイレクトキーを使う」(P.232)をご覧ください。

ここの情報を見る

ショートカットメニューの **ここの情報を見る** を選ぶと、十字カーソルを合わせた場所の各種情報を表示します。VICS情報マークや、登録した場所のマークに十字カーソルを合わせると、詳細情報を見ることができます。マークのない場所では、その場所付近の地名などが表示されます。

1. 情報を見たいマークに十字カーソルを合わせる



2. 「決定」ボタンを押して、ショートカットメニューを表示させる

3. **この情報を見る** を選び、「決定」ボタンを押す



MEMO

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリストが表示されます。その中から情報を見たい場所を選んでください。

ルート関連のマークに合わせたときは
 ルート関連のマーク（出発地、案内地点、立寄地、目的地）に十字カーソルを合わせて、ショートカットメニューを表示させ、**この情報を見る** を選んで「決定」ボタンを押すと、ルートスクロールモード（P.93）に切り換わります。

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリストの中に「出発地」「案内ポイント」「立寄地」「目的地」などと表示されます。

高速道路上の情報マークに合わせたときは

高速道路上の情報マークに十字カーソルを合わせて、ショートカットメニューを表示させ、**この情報を見る** を選んで「決定」ボタンを押すと、ハイウェイモードに切り換わります（P.21）。

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリストの中に「ハイウェイモード」と表示されます。

VICS情報マークに合わせたときは

VICS情報マークに十字カーソルを合わせて、ショートカットメニューを表示させ、**この情報を見る** を選んで「決定」ボタンを押すと、VICS情報が表示されます（P.102）。

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリストの中に「VICS情報」と表示されます。

建物のイラストに合わせたときは

シティマップ（P.13）やビジュアルシティマップ（P.13）の表示中に、グレー以外の色で表示されている建物のイラストに十字カーソルを合わせてショートカットメニューを表示させ、**この情報を見る** を選んで「決定」ボタンを押すと、その建物の情報が表示されます。（ドライバーズビューで（P.15）ウィンドウマップをOFFにしている場合、建物の情報を見ることはできません。）

ここへ行く

ショートカットメニューの**ここへ行く**を選ぶと、十字カーソルを合わせた場所を行き先としてルートを探します。

1. 行き先にしたい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定] ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. **ここへ行く** を選び、[決定] ボタンを押す



もっとも効率のよいルート1本だけが探索され、自動的に設定されます。

案内中のルートがあるときにこの操作を行うと、十字カーソルを合わせた場所を目的地とする新しいルートが探索されます。

すでに立寄地が設定されているルートでは、この操作を行うと、すでに設定されている立寄地はすべて削除されます。

ここへ立ち寄る

ショートカットメニューの**ここへ立ち寄る**を選ぶと、十字カーソルを合わせた場所に立ち寄るルートを探します。

1. 立寄地にしたい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定] ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. **ここへ立ち寄る** を選び、[決定] ボタンを押す



案内中のルートが、十字カーソルを合わせた場所を最初の立寄地としたルートに修正されます（最終的な行き先は変更されません）。



ルートが設定されていない場合や、すでに立寄地が5ヶ所設定されている場合には、この操作はできません。

ここを登録する

ショートカットメニューの**ここを登録する**を選ぶと、十字カーソルを合わせた場所を登録します。名前は十字カーソル付近の地名になり、マークは虫ピンで登録されます。

1. 登録したい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定] ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. **ここを登録する** を選び、[決定] ボタンを押す



MEMO

登録した場所の名前やマークを変えたいときは、「登録した場所の情報を編集する」(P.168)をご覧ください。

この周辺を探す

ショートカットメニューの**この周辺を探す**を選ぶと、「周辺から探す」(P.72)の画面が表示されます。目的のジャンルやお店を十字カーソルを合わせた場所付近から探して、地図上にロゴマークを表示させることができます。

1. お店を探したい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定] ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. **この周辺を探す** を選び、[決定] ボタンを押す



4. 72ページの手順3以降の操作で目的のジャンルやお店を探す



ここで表示させたロゴマークは、電源をOFFにすると消去されます。

ルートスクロール

ショートカットメニューの**ルートスクロール**を選ぶと、ルートスクロールモード (P.93) に切り換わり、ジョイスティックの上下の操作でルートの道順を確認することができます。



この項目は、ルート案内中の現在地画面で、自車マークがルート上を走行中のときのみ表示されます。

ルート案内中の現在地画面でも、自車マークがルート上にないときは**ルートスクロール**がグレー表示になり選べません。

ダイレクトキーを使う

リモコンの10キー、〔案内〕ボタン、〔リルート〕ボタン、〔迂回〕ボタンには、次の機能が割り当てられています。これらのボタンを総称して、「ダイレクトキー」といいます。ダイレクトキーを押すと、割り当てられた機能がワンタッチで動作します。

10キーに割り当てられた機能

このキーを...	短く押すと...	2秒以上長く押すと...
〔0〕キー	[電話番号で探す]	[名前で探す]
〔1〕キー	[設定を変える]	[その他の設定を変える]
〔2〕キー	FM文字放送のオンエア連動をオンオフする	-
〔3〕キー	短押しカスタマイズ表示をオンオフする	長押しカスタマイズ表示をオンオフする
〔4〕キー	オートフリーズームをオンオフする	-
〔5〕キー	ルートインフォメーションをオンオフする	方面案内表示をオンオフする
〔6〕キー	リアルタイムリルートをオンオフする	-
〔7〕キー	[衛星測位情報を見る]	-
〔8〕キー	[走行状態を見る]	-
〔9〕キー	[センサー学習状況を見る]	-
〔*〕キー	ロゴマークをオンオフする	-
〔#〕キー	[ロゴマークを選ぶ]	-

MEMO

割り当てられた機能の〔 〕は、ナビゲーションのメニュー画面や操作画面、情報画面を表示させることを表しています。

10キーの機能割り当ては変更することができます。詳しくは、「10キーをカスタマイズする」(P.233)をご覧ください。

その他のキー（10キー以外のダイレクトキー）に割り当てられた機能

このキーを...	短く押すと...	2秒以上長く押すと...
〔案内〕ボタン	リクエスト案内	渋滞リクエスト案内
〔リルート〕ボタン	全ルート再探索	自宅ルート探索
〔迂回〕ボタン	迂回路探索	地図上の文字の一時消去



ハイウェイモードのときは10キーでの操作はできません。

10キーをカスタマイズする

ダイレクトキーのうち、10キーの機能割り当て(P.235)を変更することができます。

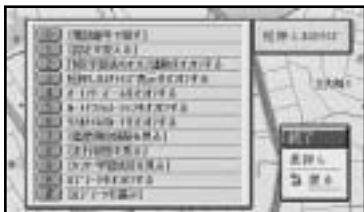
1. メインメニューの**その他の操作**

設定を変えるを選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **10キーカスタマイズ**を選び、〔決定〕

ボタンを押す



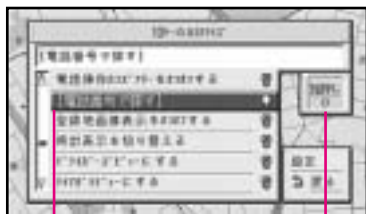
現在10キーを短く押した場合に割り当てられている機能が表示されます。

MEMO

メッセージは約4秒後に自動的に消えます。

長押しを選んで〔決定〕ボタンを押すと、長押しに設定されている機能が表示されます。

- 設定を変更したい10キーを押す
短く押した場合は短押しの際の機能を、長く押した場合は長押しの際の機能を割り当てられます。



すでに機能が割り当てられているキーの場合、その機能が選択された状態の表示になる。

選択している機能が別のキーに割り当てられている場合はそのボタンが表示される。

- ジョイスティックを上下に動かして割り当てたい機能を選び、〔決定〕ボタンを押す



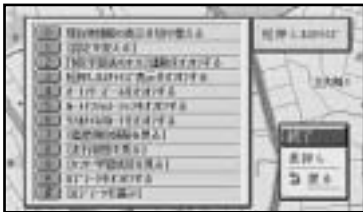
MEMO

〔決定〕ボタンを押すたびに、ランプが点灯／消灯します。

5. ランプを点灯させた後、**設定**を選んで〔決定〕ボタンを押す

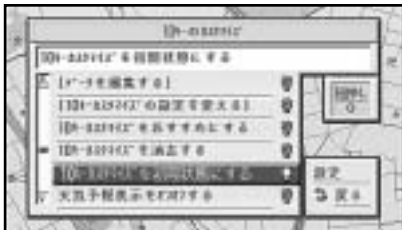


6. **終了**を選び、〔決定〕ボタンを押す



購入直後のキー割り当てに戻す

前ページで説明した操作で「カスタマイズを初期状態にする」を選んで設定した後、そのキーを押すと、10キーの機能が購入直後の割り当てに変更されます。



MEMO

初期状態の割り当てについては、「10キーに割り当て可能な機能の一覧」(P.235)をご覧ください。

おすすめのキー割り当てに変更する

前ページで説明した操作で「カスタマイズをおすすめにする」を選んで10キーを押すと、10キーの機能がおすすめの割り当てに変更されます。



MEMO

おすすめの割り当てについては、「おすすめのキー割り当て」(P.239)をご覧ください。

車載のオートアンテナを上下する

FM多重用アンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続している場合は、10キーカスタマイズで「オートアンテナを上下する」を10キーのいずれかに割り当てて、オートアンテナを上下させてください。

MEMO

割り当てた10キーを押してオートアンテナを上げると、ナビゲーションの電源ON/OFFに連動して、オートアンテナが上下するようになります。(もう一度割り当てた10キーを押すと、手動で下げることができます。)

10キーに割り当て可能な機能の一覧

機能	内容
ここの天気を読み上げる	現在地、または十字カーソルを位置の天気予報を音声で案内する。
ノースアップで25mスケールにする	25mスケール、2D、北上する。(デジタル拡大のときはできない旨を表示する。
シティマップをオンオフする	市街地図とデジタル拡大の切り替え機能をオンオフする。
ビジュアルシティマップをオンオフする	市街地図で3D表示の時の建物立体表示をオンオフする。
ハイパーツインスクロールをオンオフする	ハイパーツインスクロールの動作をオンオフする。
登録地画像表示をオンオフする	登録地画像表示をオンオフする。
天気予報表示をオンオフする	地図上の天気予報表示(マーク)をオンオフする。
[気象情報データを取得する]	気象情報データ取得画面へ遷移する。
電話操作ハンズフリーをオンオフする	携帯電話のハンズフリー機能をオンオフする。
10mスケールにする	地図のスケールを10mにする。
25mスケールにする	地図のスケールを25mにする。
50mスケールにする	地図のスケールを50mにする。
100mスケールにする	地図のスケールを100mにする。
200mスケールにする	地図のスケールを200mにする。
500mスケールにする	地図のスケールを500mにする。
1kmスケールにする	地図のスケールを1kmにする。
2kmスケールにする	地図のスケールを2kmにする。
5kmスケールにする	地図のスケールを5kmにする。
10kmスケールにする	地図のスケールを10kmにする。
20kmスケールにする	地図のスケールを20kmにする。
50kmスケールにする	地図のスケールを50kmにする。
100kmスケールにする	地図のスケールを100kmにする。
200kmスケールにする	地図のスケールを200kmにする。
500kmスケールにする	地図のスケールを500kmにする。
2D地図の回転を切り替える	2D時地図回転の方法をヘディングUP、ノースUP、ヘディングL、ヘディングRに切替える。
3D地図の回転を切り替える	3D時地図回転の方法をヘディングUP、目的地UPに切替える。

次ページに続く

機能	内容
FM文字放送のオンエア運動をオンオフする	FM文字放送のオンエア運動画面をオンオフする。走行中画面のみ使用可能。
[FM文字放送を見る]	FM文字放送を見る画面に遷移する。
FM多重チューナー設定を切り替える	受信方法をVICS、D-GPS、V/Dダブルに切替える。
[VICS FM図形情報]	VICS情報のFM図形情報を見る画面に遷移する。
[VICS FM文字情報]	VICS情報のFM文字情報を見る画面に遷移する。
[VICS 地図情報]	VICS情報の地図情報を見る画面に遷移する。
[VICSの設定を変える]	VICSの設定を変える画面に遷移する。
[VICS 放送局を選ぶ]	VICS放送を選局する画面に遷移する。
地図情報の網掛け表示をオンオフする	地図画面上の上書き情報の文字を網掛け表示する機能をオンオフする。
[案内中のルートを再び探索する]	案内中のルートを再探索する画面に遷移する。
[行き先を探す]	行き先を探す画面に遷移する。
[衛星測位情報を見る]	衛星測位情報画面に遷移する。
オートアンテナを上下する	オートアンテナを上げる下げるに切替える。
オートフリーズームをオンオフする	自動的に自車位置と次の案内地が収まるスケールにする機能をオンオフする。
オートリルートをオンオフする	ルートから外れると自動的にリルートが行われる機能をオンオフする。
規制表示をオンオフする	交通規制がある場所のマーク表示をオンオフする。
[走行軌跡を消去する]	走行軌跡を消去する画面に遷移する。
道のり・到着予想時刻表示を切り替える	距離と到着予想時刻の表示方法を目的地、立寄地に切替える。
区間旅行時間表示をオンオフする	区間旅行時間のマーク表示をオンオフする。
現在の日付を読み上げる	現在の日付を音声で読み上げる。
現在地情報の表示を切り替える	現在地の表示の仕方を、現在地名、緯度経度、しないに切替える。
現在の時刻を読み上げる	現在の時刻を音声で読み上げる。
高速施設のイラスト表示をオンオフする	案内の対象となった高速道路施設のイラストの表示をオンオフする。
[自車位置の設定を変える]	自車位置の設定画面に遷移する。
自車方位を反転する	自車の向いている方向を180°変更する。

次ページに続く

機能	内容
渋滞を考慮したルート探索をオンオフする	VICS情報を基に渋滞路を避けたルート検索を行う機能をオンオフする。
渋滞情報表示の点滅をオンオフする	渋滞表示の常時点滅表示をオンオフする。
渋滞情報表示をオンオフする	渋滞している道路の道塗り表示をオンオフする。
順調表示をオンオフする	交通状況の順調表示をオンオフする。
スカイビューにする	地図の表示方法をスカイビューにする。
[設定を変える]	ナビの設定を変える画面に遷移する。
[センサー学習状況を見る]	センサー学習状況画面に遷移する。
[走行状態を見る]	走行状態表示画面に遷移する。
[その他の設定を変える]	その他の設定を変える画面に遷移する。
短押しカスタマイズ表示をオンオフする	10キー短押しコマンドの一覧表示をオンオフする。
[地図の設定を変える]	地図の設定を変える画面に遷移する。
駐車場満車表示をオンオフする	駐車場の空き状況のマーク表示をオンオフする。
ツインビューにする	地図の表示方法をツインビューにする。
[データを編集する]	登録地点の情報などのデータを編集する画面に遷移する。
[10キーカスタマイズの設定を変える]	10キーをカスタマイズする画面に遷移する。
[電話番号で探す]	電話番号で探す画面に遷移する。
時計表示を切り替える	時計表示を、デジタル、アナログ、しないに切替える。
ニアガラビューにする	地図の表示方法をニアガラビューにする。
長押しカスタマイズ表示をオンオフする	10キー長押しコマンドの一覧表示をオンオフする。
ノーマルビューにする	地図の表示方法をノーマルビューにする。
[ハードウェアの設定を変える]	ハードウェアの設定画面に遷移する。
ハイウェイマップにする	地図の表示方法をハイウェイマップにする。
ハイウェイモードにする	地図の表示方法をハイウェイモードにする。
[場所を探す]	場所を探す画面に遷移する。
[名前で探す]	名前で探す画面に遷移する。
ビーコンの最新情報を見る	ビーコンの情報を見る画面に遷移する。
[VICSビーコン図形情報]	ビーコンの図形情報を見る画面に遷移する。

次ページに続く

機能	内容
[VICスビーコン文字情報]	ビーコンの文字表示を見る画面に遷移する。
ビーコン文字図形表示を切り替える	ビーコン文字図形表示を、文字・図形、図形、しないに切替える。
リアルタイムリルートをオンオフする	交通状況に応じて自動的にリルートが行われる機能をオンオフする。
立体ランドマーク表示をオンオフする	3D時の立体ランドマーク表示をオンオフする。
ルートインフォメーションをオンオフする	案内中のルートの詳細情報表示をオンオフする。
[ルートの設定を変える]	ルートの設定を変える画面に遷移する。
[ログマークを選ぶ]	地図上に表示させるログマークを選ぶ画面に遷移する。
ログマークをオンオフする	地図上に表示させるログマークをオンオフする。
[コスチュームを見る]	ナビ子のコスチュームを見る画面に遷移する。
走行軌跡のエンドレスファイルを消去する	軌跡のエンドレスファイルを消去する。
ここの天気予報を見る	現在地、または十字カーソル位置の天気予報画面を表示する。
[アメダス情報を選ぶ]	アメダス情報を選択する画面へ遷移する。
ここの雨量を見る	現在地または十字カーソル位置の雨量情報表示画面に遷移する。
ここの積雪量を見る	現在地または十字カーソル位置の積雪量情報表示画面に遷移する。
ここの風向・風速を見る	現在地または十字カーソル位置の風向・風速情報表示画面に遷移する。
ここの気温を見る	現在地または十字カーソル位置の気温情報表示画面に遷移する。
ここの日照時間を見る	現在地または十字カーソル位置の日照時間情報表示画面に遷移する。
10キーカスタマイズを初期状態にする	カスタマイズ機能の割り当てを出荷時に戻す。
10キーカスタマイズをおすすめにする	10キーをお勧めのカスタマイズにする。
ドライバーズビューにする	地図の表示方法をドライバーズビューにする。

次ページに続く

機能	内容
ルート探索の候補数を切り替える	ルート探索候補数を、1本、6本に切り替える。
10キーカスタマイズを消去する	10キーカスタマイズ設定をすべて消去する。
方面案内表示をオンオフする	方面案内表示をオンオフする。
スクロール方面表示をオンオフする	スクロール方面表示をオンオフする。
外部カメラを切り替える	外部カメラの設定を、後方監視用として使う、側方監視用として使う、接続なし、に切り替える。
[携帯電話音量を調整する]	通話音ボリューム調整画面に遷移する。

おすすめのキー割り当て

このキーを...	短く押すと...	2秒以上長く押すと...
[0]キー	[電話番号で探す]	[名前で探す]
[1]キー	[設定を変える]	[データを編集する]
[2]キー	FM文字放送のオンエア連動をオンオフする	-
[3]キー	短押しカスタマイズ表示をオンオフする	長押しカスタマイズ表示をオンオフする
[4]キー	オートフリーズームをオンオフする	渋滞を考慮したルート探索をオンオフする
[5]キー	ルートインフォメーションをオンオフする	方面案内表示をオンオフする
[6]キー	リアルタイムリルートをオンオフする	-
[7]キー	[衛星測位情報を見る]	規制表示をオンオフする
[8]キー	[走行状態を見る]	順調表示をオンオフする
[9]キー	[センサー学習状況を見る]	渋滞情報表示の点滅をオンオフする
[*]キー	-	-
[#]キー	-	-

Chapter 11

音声で操作する

この章の内容

音声操作のポイント	242
地図を操作する	248
地図上の情報を確認する	249
場所を探す	251
ルートを探索する	255
ルートを修正する・消す	258
テレビを操作する	259
電話を操作する	260
気象情報を利用する	262
10キーを操作する	263
検索できるジャンルの種類	264
検索できる観光地の種類	267
住所やインターチェンジの読みかた	274
施設名の読みかた	275
都道府県名の読みかた	276
音声操作の設定を変える	278

音声操作のポイント

本機では、いろいろな機能を音声で操作することができます。音声で操作するときは、次のポイントを押えて操作してください。



AVIC-D9500 / D7000で音声操作を行うには、通信 / 音声認識キット「CD-HV100」(別売)が必要です。

AVIC-D6500で音声操作を行うには、音声認識キット「CD-V100」(別売)が必要です。

正しく発話を認識させるには

発話を正しく認識させるために、以下の点に留意してください。

カーステレオの音量を下げる

発話以外の音があると、認識されにくくなったり、誤認識の原因になります。例えば、ラジオからの音声、音声認識語と誤認識されることも考えられます。

自動車の窓は閉めておく

カーステレオの音と同様、風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因となるので、自動車の窓は必ず閉めてください。

マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける

発話した声をマイクが十分に拾うよう、マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。発話時に姿勢を変えると、使いにくいだけでなく、安全な走行にも支障があります。十分留意して、マイクの取付位置を決めてください。

マイクの取り付けかたについては、『取付説明書』をご覧ください。

MEMO

バイオニア製ミュート端子付きカーステレオをお使いの場合は、発話の際、自動的に音量を下げるすることができます。

「設定を変える その他」メニューの「音声認識ノイズマイク」(P.212)の設定をONにすることで、路面から拾う雑音(ロードノイズ)などを打ち消せます。

はっきりと明瞭に発話する

早口になったり、口ごもったりしないよう、はっきりと、明瞭に発話してください。マイクが適切な位置に取り付けられていれば、大きな声を出す必要はありません。

音声認識語を正しく発音する

にぎらないはずの音をごって発話すると、正しく認識されない原因となります。また、読み方のルール(P.208)に沿わない発話も正しく認識されないことがあります。



ハイウェイモードのときは発話できる音声認識語が制限されます。場所を探すなどの音声操作はできません。ハイウェイモード以外の地図表示にしてから発話してください。(地図の表示方法を変える音声認識語はハイウェイモードでも発話できます。)

音声案内中は発話しない

本機から、案内の音声や応答メッセージが出ているときは、発話しないでください。

音声操作の流れ

音声操作は、基本的に次のような流れで進められていきます。

1. [発話] ボタンを押して、音声で操作できる状態にする
2. 音声認識語を発話する
通常発話モード：[発話] ボタンを押す
施設名ダイレクトスタート：[発話] ボタンを2秒以上長く押す
3. ナビゲーションが応答メッセージを返す
4. 必要に応じて他の認識語を発話する
5. 指定した操作が実行される

操作の基本的な流れは、リモコンを使って行うメニュー操作とほぼ同じです。ただし、操作の目標となる施設などがあらかじめ決まっている場合は、先に施設名などを発話して指定してから操作を始めます。この操作方法を「施設名ダイレクトスタート」(P.245)と呼びます。これに対して、通常の流れで操作を行う場合を「通常発話モード」(P.244)と呼んで、区別しています。

ここでは、音声認識語を発話して本機とやり取りをしながら、音声で操作していく方法を説明します。音声操作では、地図の操作、ルート探索、場所の検索、TVの操作、携帯電話の操作などを行うことができます。

発話するタイミング

発話するときは、“プツ”と音が鳴って画面左下のキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢(首をかしげていない状態)のときは、[発話]ボタンを押すと、首をかしげて発話できる状態になります。



この状態のときに発話してください。



この状態のときは発話できません。

音声操作に慣れるまで、停車状態で練習し、“プツ”という音とキャラクターがマイクを差し出すタイミングをつかんでください。走行時には、“プツ”という音をきっかけに発話してください。

ジャンル名を指定するときは

音声操作で発話できるジャンル名はいくつかのジャンル(サブジャンル)に分かれています。例えば“交通機関” “高速道路” “インターチェンジ”といった具合に、ジャンル名を順番に発話してください。発話できるジャンルの種類について詳しくは、「検索できるジャンルの種類」(P.264)をご覧ください。

発話できる言葉がわからないときは、停車しているときは、音声操作を始めると、画面にそのときに発話できる音声認識語の一覧「ボイスヘルプ」が表示されます。



操作に慣れないうちは、安全な場所に停車して、ボイスヘルプに表示された音声認識語を参考にして発話してください。なお、走行中は画面上には表示されませんが、「ボイスヘルプ」と発話すると、発話できる言葉をナビゲーションが音声で読み上げてくれます。(停車中でも音声での読み上げは行われます。)

MEMO

“次のページ”や“前のページ”と発話するか、マルチビューコントローラーを左右に倒すとページ送りができます。また、ナビゲーションがそのページの内容を音声で読み上げます。ボイスヘルプに表示されなくても、発話できる言葉もあります。ボイスヘルプを一時的に消したいときは、“地図にする”と発話してください。もう一度表示させたいときは、“ボイスヘルプ”と発話してください。操作に慣れてボイスヘルプを見る必要がなくなったときは、「設定を変える その他」メニューの「ボイスヘルプ」(P.212)を「ボイスコマンドで表示」に設定すると表示されなくなります。この場合、“ボイスヘルプ”と発話したときだけ表示されます。

先に音声認識語を発話してから操作を進める「通常発話モード」

〔発話〕ボタンを短く1回押して音声操作を始めると、先に音声認識語を発話してから操作を進める「通常発話モード」での音声操作になります。

1. 〔発話〕ボタンを短く1回押す

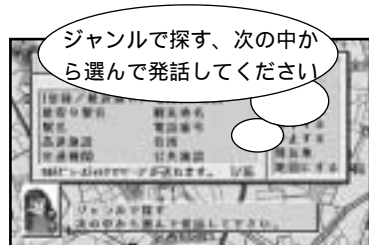
画面上に女性キャラクターが表示されます。“ブツ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話を受け付け可能な状態になります。



MEMO

操作の際は、“ブツ”という音をきっかりに発話してください。

2. “ブツ”と音が鳴ったら、“ジャンルで探す”などの音声認識語をマイクに向かって発話する



MEMO

ナビゲーションが応答メッセージを返している間でも、〔発話〕ボタンを押すと発話できます。(応答メッセージが中断されて、“ブツ”と音が鳴ります。)

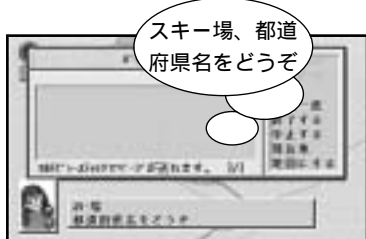
3. “ブツ”と音が鳴ったら、ジャンル名を発話する（例：“スポーツスポット”）



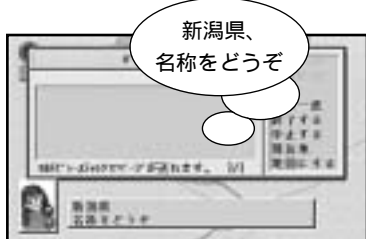
MEMO

手順3のジャンル名をとばし、手順4のジャンル名を発話して操作することもできます。

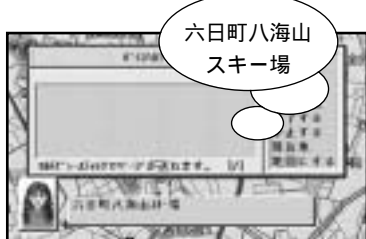
4. “ブツ”と音が鳴ったら、次のジャンル名を発話する（例：“スキー場”）



5. “ブツ”と音が鳴ったら、都道府県名を発話する（例：“新潟県”）



6. “ブツ”と音が鳴ったら、施設名を発話する（例：“六日町八海山スキー場”）



目的の場所の地図が表示されます。

先に施設名などを発話してから操作を進める「施設名ダイレクトスタート」

〔発話〕ボタンを2秒以上長く押し、音声操作を始めると、先に施設名を発話してから操作を進める「施設名ダイレクトスタート」での音声操作になります。

施設名ダイレクトスタートでは、最後に「ここへ行く」「ここを登録する」「ここへ電話をかける」の中から、施設に対して行いたい操作を発話します。

1. [発話]ボタンを2秒以上長く押す

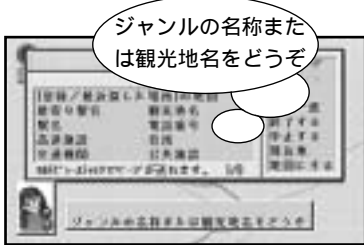
画面上に女性キャラクターが表示されます。“プッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしたら、発話を受け付け可能な状態になります。



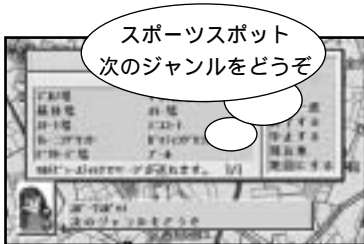
MEMO

操作の際は、“プッ”という音をきっかけに発話してください。

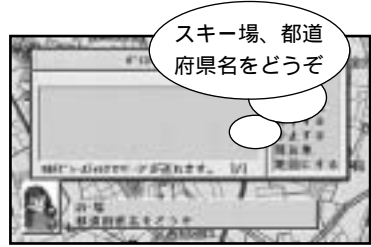
2. “プッ”と音が鳴ったら、施設名をマイクに向かって発話する（例：“六日町八海山スキー場”）



3. “プッ”と音が鳴ったら、ジャンル名を発話する（例：“スポーツスポット”）



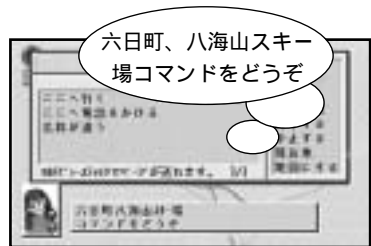
4. “プッ”と音が鳴ったら、次のジャンル名を発話する（例：“スキー場”）



MEMO

手順3のジャンル名をとばし、手順4のジャンル名を発話して操作することもできます。

5. “プッ”と音が鳴ったら、都道府県名を発話する（例：“新潟県”）



6. “プッ”と音が鳴ったら、“ここへ行く”などの音声認識語を発話する



ルート探索が始まります。

MEMO

施設名ダイレクトスタートの場合、ナビゲーションが「コマンドをどうぞ」と聞いてきたときに、「名称が違う」と発話するか、「発話」ボタンを2秒以上長く押すことで、最初に発話した施設名を発話し直すことができます。

ナビゲーションが認識した言葉が発話した言葉と違っていたときは

「千葉県」「滋賀県」「佐賀県」のように発音が似ている地名では、「千葉県」と発話しているのに「滋賀県」と認識されることがあります。

このような場合は〔訂正〕ボタンを押すと、ナビゲーションが、誤認識した言葉と第2候補を自動的に入れ換えて応答メッセージを返してきます。

第2候補が正しければ、そのまま次の発話へ進んでください。第2候補も間違っているときは、もう一度〔訂正〕ボタンを押して発話し直してください。

MEMO

第2候補がない場合もあります。その場合は、〔訂正〕ボタンを押した後、発話し直してください。

誤認識した言葉は一時的に認識候補から外されるので、正しく認識しやすくなります。

県名は、「千葉県」「関東の千葉県」というように、より認識しやすい言葉に言い換えることができます。「都道府県名の読みかた」(P.276)をご覧ください。

〔訂正〕ボタンを押すかわりに「違う」と発話しても、同じ操作を行えます。

言い間違えた場合など、直前の操作に戻りたいときは

“戻る”と発話してください。直前の画面に戻り、次の発話待ちの状態になります。

応答メッセージを聞き逃したときは

“もう一度”と発話してください。直前の応答メッセージが繰り返されます。

操作を途中でやめたいときは

“終了する”または“中止する”と発話してください。地図画面に戻ります。

MEMO

リモコンの〔メニュー〕ボタンや〔現在地〕ボタンを押しても、音声操作を中止して地図画面に戻ることができます。

“基本の操作”と発話すると、上記のような音声操作の基本となる言葉(“次のページ”、“違う”、“もう一度”、“終了する”、“中止する”、“現在地”、“地図にする”)をナビゲーションが読み上げてくれます。

ETCの音声案内が流れてきたら

本機にETCユニット「ND-ETC2」を接続して、ETC(自動料金収受システム)を利用している場合、高速道路の入り口や出口付近などでETCの音声案内が流れます。

音声認識操作を行っているときにETCの音声案内が流れてくると、音声認識はいったん中断され、発話を受け付けられない状態になります。また、キャラクターのイラストが一時的に縮小表示に変わります。

ETCの音声案内が終了すると、音声操作が可能な状態に戻ります。画面左下にキャラクターが表示されたら、発話ボタンを押して通常どおり音声操作を続けてください。

地図を操作する

[発話] ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

こんなときには	このように発話してください
[現在地画面の表示]	
現在地の地図にする	“ 現在地にする ”または“ 現在地 ”
[地図の操作全般]	
地図を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ 地図を変える ”
[地図縮尺の変更]	
地図縮尺を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ スケール変更 ”
詳細な地図にする	“ 詳細 ”
広域の地図にする	“ 広域 ”
10mスケールの地図で表示する	“ 10メートルスケール ”
25mスケールの地図で表示する	“ 25メートルスケール ”
50mスケールの地図で表示する	“ 50メートルスケール ”
100mスケールの地図で表示する	“ 100メートルスケール ”
200mスケールの地図で表示する	“ 200メートルスケール ”
500mスケールの地図で表示する	“ 500メートルスケール ”
1kmスケールの地図で表示する	“ 1キロメートルスケール ”
2kmスケールの地図で表示する	“ 2キロメートルスケール ”
5kmスケールの地図で表示する	“ 5キロメートルスケール ”
[地図のスクロール]	
地図をスクロールする音声認識語を順番に読み上げる	“ 地図を動かす ”
上方向にスクロールする	“ 上スクロール ”
下方向にスクロールする	“ 下スクロール ”
左方向にスクロールする	“ 左スクロール ”
右方向にスクロールする	“ 右スクロール ”
[地図の表示方法の変更]	
地図の表示方法を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ ビューを変える ”
地図の表示方法を順番に切り替える	“ ビュー切り替え ”
ノーマルビューに切り替える	“ ノーマルビュー ”
スカイビューに切り替える	“ スカイビュー ”
ナイアガラビューに切り替える	“ ナイアガラビュー ”
ツインビューに切り替える	“ ツインビュー ”
ドライバーズビューに切り替える	“ ドライバーズビュー ”
ハイウェイモードに切り替える(高速道路走行中のみ)	“ ハイウェイモード ”
ハイウェイマップに切り替える	“ ハイウェイマップ ”
[地図の回転]	
地図の回転を行って北上表示に固定し、 25mスケールの地図で表示する	“ ノースアップで 25メートルスケールにする ”

地図上の情報を確認する

[発話]ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

VICS情報を確認する

渋滞などの情報を見る

“ビックス地図情報”と発話すると、「車両事故のため、一車線規制です」など、地図上に表示されているVICS情報の詳細が案内されます。“次へ進む”や“前へ戻る”で別の情報が案内されます。また、ルートを設定しているときは、“渋滞案内”と発話すると、「およそ5km先、渋滞が発生しています」など、ルート上の渋滞状況が案内されます。

VICSの図形情報や文字情報を見る

“エフエム図形情報”などと発話すると、VICSの図形情報や文字情報の表示画面に切り換わります。以降、リモコンの操作でVICS情報を確認してください。

VICS放送局を選局する

“ビックス放送局”と発話すると、「ビックスの放送局名をどうぞ」と応答メッセージが返されます。“ビックス横浜”など放送局名を発話すると、指定したVICS放送局が選局されます。



VICS放送局選局の設定を「オート」にしているときは、放送局の選局はできません。

こんなときには	このように発話してください
[VICS情報全般]	
VICS情報に関する音声認識語を順番に読み上げる	“ビックス情報を使う”
[VICS地図情報]	
地図上のVICS情報の詳細を知りたい	“地図情報”または“レベルスリー”
・ 次のVICS情報が知りたい	“次へ進む”
・ 前のVICS情報が知りたい	“前へ戻る”
・ 通常の地図画面に戻りたい	“終了する”
[VICS図形・文字情報]	
FMの図形情報が知りたい	“エフエム図形情報”または“レベルツー”
FMの文字情報が知りたい	“エフエム文字情報”または“レベルワン”
ビーコンの図形情報が知りたい	“ビーコン図形情報”
ビーコンの文字情報が知りたい	“ビーコン文字情報”
[VICS放送局の選局]	
VICS放送局を違う放送局に変えたい	“ビックス放送局” 以降、VICS放送局名を発話“ビックス横浜”(例)
[渋滞案内]	
ルート上の先の渋滞を知りたい	“渋滞案内”

最寄りの高速道路施設までの距離を確認する

ハイウェイモードで次のように発話すると、最寄りの高速道路施設までの距離が案内されます。(案内例：次のインターチェンジまで、およそ kmです。)

こんなときには	このように発話してください
インターチェンジまでの距離が知りたい	“インターチェンジ”
サービスエリアまでの距離が知りたい	“サービスエリア”または“パーキングエリア”
ジャンクションまでの距離が知りたい	“ジャンクション”
料金所までの距離が知りたい	“料金所”

現在の日時を確認する

現在時刻「午前 時 分」や、今日の日付「 月 日」を音声で案内させることができます。

こんなときには	このように発話してください
現在時刻が知りたい	“今、何時”または“ナビゲーションクロック”
今日の日付が知りたい	“今日、何日”または“ナビゲーションカレンダー”

地図を確認しやすいようにボイスヘルプの表示を消す

ボイスヘルプの表示で地図上の情報が確認できないようなときは、次のように発話して、ボイスヘルプを消してください。

こんなときには	このように発話してください
ボイスヘルプを消したい	“地図にする”
ボイスヘルプが見たい、聞きたい	“ボイスヘルプ”または“わからない”

場所を探す

近くのガソリンスタンドなどを探す

周辺検索で近くのガソリンスタンドなどを探します。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. 「発話」ボタンを押して、「周辺を探す」と発話する
2. “プッ”と音が鳴ったら、「ガソリンスタンド」などのジャンル名を発話する指定したジャンルのお店の名前とそこまでの距離が案内されます。

MEMO

手順2で“出光”などのサブジャンル名を発話することもできます。

「発話」ボタンを押して“周辺の(ジャンル名)”と発話しても、同様の操作を行うことができます。

発話可能なジャンル名については、「検索できるジャンルの種類」(P.264)をご覧ください。

他のお店の情報が知りたいときは、“次へ進む”または“前へ戻る”と発話します。

案内されたお店までのルートを探索したいときは、“ここへ行く”と発話します。発話できる言葉が分からないときは、“ボイスヘルプ”と発話します。

通常の地図画面に戻りたいときは、“終了する”と発話します。

住所を指定して探す

住所から場所を呼び出します。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. 「発話」ボタンを押して、“住所”と発話する
2. “プッ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する
3. “プッ”と音が鳴ったら、地名(丁目)を発話する

MEMO

都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

最寄り駅を指定して施設を探す

最寄り駅を指定して、周辺の施設などを探します。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. 「発話」ボタンを押して“最寄り駅”と発話する
2. “プッ”と音が鳴ったら、都道府県名を発話する
3. “プッ”と音が鳴ったら、“越後湯沢”などの駅名を発話する
4. “プッ”と音が鳴ったら、“GALA湯沢”などの名称を発話する指定した名称と、そこまでの距離が表示されます。

観光地を指定して施設を探す

観光地を指定して施設を探します。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して“観光地”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、目的の観光地名を発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、“華厳の滝”などの名称を発話する

施設名(ジャンル)で場所を探す

ここでは、高速道路のインターチェンジを指定する方法を例に説明します。「通常発話モード」(P.244)、「施設名ダイレクトスタート」(P.245)のどちらでも操作することができます。

通常発話モードの場合

1. [発話]ボタンを押して、“ジャンルで探す”と発話する

MEMO

ナビゲーションが応答メッセージを返している間でも、[発話]ボタンを押すと発話できます。(応答メッセージが中断されて、“ブツ”と音が鳴ります。)

2. “ブツ”と音が鳴ったら、“交通機関”と発話する

MEMO

手順2のジャンル名をとばし、手順3のジャンル名を発話しても操作することができます。

3. “ブツ”と音が鳴ったら、“高速施設”と発話する

4. “ブツ”と音が鳴ったら、“横浜町田インターチェンジ”などの施設名を発話する

MEMO

周辺検索で使用するジャンル名(P.266)を発話することもできます。このとき、“周辺検索で探します”という応答メッセージが流れます。

“インターチェンジ”、“サービスエリア”、“ジャンクション”は、必ず名称に付けて発話してください。ただし、次のような言い換えも可能です。

“ランプ”

“インターチェンジ”

“パーキングエリア”

“サービスエリア”

発話可能なジャンル名については、「検索できるジャンルの種類」(P.264)をご覧ください。

施設名ダイレクトスタートの場合

1. [発話]ボタンを2秒以上長く押して、“横浜町田インターチェンジ”などの施設名を発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“交通機関”と発話する

MEMO

手順2のジャンル名をとばし、手順3のジャンル名を発話しても操作することができます。

3. “ブツ”と音が鳴ったら、“高速施設”と発話する
4. “ブツ”と音が鳴ったら、“ここへ行く”など、行いたい操作を発話する

MEMO

施設名ダイレクトスタートでは、最後に“ここへ行く”、“ここを登録する”、“ここへ電話をかける”の中から、施設に対して行いたい操作を発話します。施設名ダイレクトスタートの場合、ナビゲーションが「コマンドをどうぞ」と聞いてきたときに、“名称が違う”と発話するか、〔発話〕ボタンを2秒以上長く押すことで、最初に発話した施設名を発話し直すことができます。発話可能なジャンル名については、「検索できるジャンルの種類」(P.264)をご覧ください。

電話番号から場所を探す

電話番号から場所を探すときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. 〔発話〕ボタンを押して、“電話番号”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

MEMO

市内局番まで発話して最後に“終了する”と発話すると、その局番地域の代表地点を中心とした地図が表示されます。

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

登録した場所の携帯電話の番号は、090および070から始まる番号のみ呼び出すことができます。

登録した場所を探す

登録した場所を探すときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。



登録した場所に入力したよみを元にその場所が検索されます。よみの付けかたは、「よみを変更する」(P.171)をご覧ください。よみが入力されていない場所は検索の対象になりません。

1. 〔発話〕ボタンを押して、“ の地図 ”と発話する
場所の名前(よみ)に“ の地図 ”という言葉をつけ加えて発話してください。

MEMO

登録した場所のよみが分からなくなったときは、“登録した場所のよみ”と発話してください。停車中であれば、登録した場所のよみの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがあるときは、“次のページ”や“前のページ”と発話するとページ送りできます。

最近探した場所を探す

最近探した場所を探すときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。



音声操作で検索可能なジャンルを以前に検索し、まだ最近探した場所のリストに残っている場所が検索の対象です。

よみとして認識されるのは10文字までです。

1. [発話]ボタンを押して、“ の地図 ” と発話する
場所の名前(よみ)に“ の地図 ”という言葉
を付け加えて発話してください。

MEMO

最近探した場所のよみが分からないときは、“最近探した場所のよみ”と発話してください。停車中であれば、最近探した場所のよみの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがあるときは、“次のページ”や“前のページ”と発話するとページ送りできます。

探した場所を行き先にする

行き先にするときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. 検索で地図を呼び出した後や、地図をスクロールした後に、“ここへ行く”と発話する
十字カーソルの場所までのルートが探索されます。

探した場所を登録する

場所を登録するときは、「通常発話モード」(P.244)、「施設名ダイレクトスタート」(P.245)のどちらでも操作することができます。

通常発話モードの場合

1. 検索で地図を呼び出した後や、地図をスクロールした後に、“ここを登録する”と発話する
十字カーソルの場所が登録されます。

MEMO

現在地を登録したい場合は、現在地図画面で、“ここを登録する”と発話してください。

施設名ダイレクトスタートの場合

1. [発話]ボタンを2秒以上長く押して、“東京ディズニーランド”などの施設名を発話する
2. “プツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
3. “プツ”と音が鳴ったら、“ここを登録する”と発話する

探した場所に立ち寄る

探した場所に立ち寄るときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. 検索で地図を呼び出した後や、地図をスクロールした後に、“ここへ立ち寄る”と発話する
十字カーソルの場所に立ち寄るルートが探索されます。

ルートを探索する

音声操作で、行き先までのルート探索を行うことができます。ルート探索が終了すると、行き先までのおおよその距離と所要時間が案内されます。

ルートを探索する

ここでは、東京ディズニーランドに行くルートを探索する方法を例に説明します。「通常発話モード」(P.244)、「施設名ダイレクトスタート」(P.245)のどちらでも操作することができます。



住所を指定して場所を探す場合には、通常発話モードのみ操作できます。

もっとも効率のよいルート1本だけが探索され、自動的に設定されます。

通常発話モードの場合

1. 「発話」ボタンを押して、“行き先を探す”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“ジャンル”と発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、“プレイスポット”と発話する

MEMO

手順3のジャンル名をとばし、手順4のジャンル名を発話して操作することもできます。

4. “ブツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
5. “ブツ”と音が鳴ったら、“東京ディズニーランド”と発話する
行き先が設定され、自動的にその場所までのルートが探索されます。ルートの探索が終わると、自動的にルートが設定されます。

MEMO

手順1から4までのかわりに、「発話」ボタンを押して、“遊園地に行き先にする”と発話して操作することもできます。

行き先の探し方については、「場所を探す」(P.59)ときの操作を参考にしてください。

施設名ダイレクトスタートの場合

1. 「発話」ボタンを2秒以上長く押して、“東京ディズニーランド(施設名)と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“プレイスポット”と発話する

MEMO

手順2のジャンル名をとばし、手順3のジャンル名を発話して操作することもできます。

3. “ブツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
4. “ブツ”と音が鳴ったら、“ここへ行く”と発話する
行き先が設定され、自動的にその場所までのルートが探索されます。ルートの探索が終わると、自動的にルートが設定されます。

自宅へ帰るルートを探索する

自宅へ帰るルートを探索するときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

- 1.〔発話〕ボタンを押して、“行き先を探す”と発話する
2. “ブッ”と音が鳴ったら、“自宅”と発話する
自宅に帰るルートが自動的に探索されます。探索し終わると、自動的に最適なルートが設定されます。

MEMO

あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。登録のしかたは、「自宅の場所を登録する」(P.83)をご覧ください。

手順1と2のかわりに、〔発話〕ボタンを押して、“自宅へ帰る”と発話することもできます。

登録した場所を行き先にする

登録した場所を行き先にするときは、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

- 1.〔発話〕ボタンを押して、“行き先を探す”と発話する
2. “ブッ”と音が鳴ったら、“(登録した場所のよみ)”と発話する
登録した場所が行き先に設定され、自動的にその場所までのルートが探索されます。探索し終わると、自動的に最適なルートが設定されます。

MEMO

手順1と2のかわりに、〔発話〕ボタンを押して、“(登録した場所のよみ)を行き先にする”と発話することもできます。

近くのガソリンスタンドなどへ行く

周辺検索で近くのガソリンスタンドなどを探し、そこまでのルートを探索します。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

- 1.〔発話〕ボタンを押して、“行き先を探す”と発話する
2. “ブッ”と音が鳴ったら、“周辺”と発話する
3. “ブッ”と音が鳴ったら、“ガソリンスタンド”などのジャンル名を発話する
4. 施設周辺の地図が表示されたら、“終了する”と発話する
指定した施設が行き先に設定され、自動的にその場所までのルートが探索されます。探索し終わると、自動的に最適なルートが設定されます。

MEMO

他のお店の情報が知りたいときは、“次へ進む”または“前へ戻る”と発話します。

ジャンル名の代わりに、“出光”や“シェル”などのサブジャンル(店名など)を直接発話することもできます。

ルートを確認する

設定したルートの道順を確認したり、次の案内地点までの距離や先の渋滞などを確認することができます。これらの操作は、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

ルートの道順を確認する

ルートが設定されているときに“ ルートを確認 ”と発話すると、ルートプロフィール(P.93)が表示されます。以降、リモコンの操作でルートを確認してください。

次の案内地点までの距離を確認する

ルートが設定されているときに“ 次の案内 ”と発話すると、「およそ1km先、右方向です」など、案内地点までの距離や曲がる方向が案内されます。

先の渋滞状況などを確認する

ルートが設定されているときに“ 渋滞案内 ”と発話すると、VICS情報が受信できていれば、「およそ5km先、渋滞が発生しています」など、ルート上の渋滞状況が案内されます。また、案内地点の地図も表示されます。

こんなときには	このように発話してください
ルートの道順を確認したい	“ ルートを確認 ”
次の案内地までの距離が知りたい	“ 次の案内 ”
ルート上の先の渋滞を知りたい	“ 渋滞案内 ”

ルートを修正する・消す

ルートが設定されているときに次のように発話すると、ルートの再探索が始まります。探索し終わると、自動的に最適なルートが設定されます。また、案内中のルートを消すこともできます。

[発話]ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.244)で操作します。



立寄地を設定していて、立寄地ごとに条件指定を行っている場合に[探索条件を変えて再探索する]と、次の立寄地(または目的地)までの条件が変更されます。

こんなときには	このように発話してください
[ルートを変える全般]	
ルートを变える音声認識語を順番に読み上げる	“ルートを变える”
[ルートを再探索する]	
案内中のルートを再探索する	“再探索”または“リルート”
[探索条件を変えて再探索する]	
探索条件を变える音声認識語を順番に読み上げる	“探索条件”
標準的な探索条件で探索するとき	“探索推奨”
距離優先で探索するとき	“距離優先”
有料道路を標準的に使いたいとき	“有料標準”または“高速標準”
有料道路をできるだけ使いたいとき	“有料優先”または“高速優先”
有料道路をできるだけ使いたくないとき	“有料回避”または“高速回避”
フェリー航路を標準的に使いたいとき	“フェリー標準”
フェリー航路をできるだけ使いたいとき	“フェリー優先”
フェリー航路をできるだけ使いたくないとき	“フェリー回避”
[迂回ルートを探索する]	
迂回ルートを探索する音声認識語を順番に読み上げる	“迂回する”
1キロ迂回するルートを探索する	“1キロ迂回”
2キロ迂回するルートを探索する	“2キロ迂回”
5キロ迂回するルートを探索する	“5キロ迂回”
10キロ迂回するルートを探索する	“10キロ迂回”
[ルートの消去]	
案内中のルートを消す	“ルート消去”

テレビを操作する

パイオニア製のワイドTVモニターを組み合わせている場合には、テレビの操作を行うことができます。テレビの操作を行うときは、〔発話〕ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.244)で操作します。



組み合わせるTVモニターによっては、一部説明と動作が異なったり、機能しない場合があります。

「AVX-P7000CD」では、ここで説明している操作を行うことはできません。ナビゲーションの音声ソースが“テレビ”になっていないときは、テレビの選局操作はできません。最初に“テレビ音声にする”と発話して、音声ソースを“テレビ”にしてください。チャンネルを選局する際、テレビ局名やチャンネル番号で指定できるのは、チャンネルリストに表示されるチャンネルのみです。

TVモニター側でビデオに切り換わる設定になっていないときは、ビデオの映像には切り換わりません。

こんなときには	このように発話してください
〔テレビ操作全般〕	
テレビ操作に関する音声認識語を順番に読み上げる	“テレビを使う”
〔映像・音声の操作〕	
ナビゲーションの音声ソースをOFFにする	“オーディオオフ”または“音を消す”
ナビゲーションの音声ソースをテレビにする	“テレビ音声にする”または“テレビにする”
映像を順番に切り換える ⁴	“画面を変える”または“ブイチェンジ”
ナビゲーションの映像を見る ⁴	“ナビゲーションにする”または“ナビにする”
テレビの映像を見る ⁴	“テレビ画面にする”
ビデオの映像を見る ¹	“ブイティーアール画面にする”
2画面表示にする ¹	“2画面にする”または“ピー サイド ピー”
1画面表示にする ¹	“1画面にする”または“ピー サイド ピー解除”
親子画面表示にする ²	“親子画面にする”または“ピー イン ピー”
〔選局操作〕	
他のチャンネルに切り換える	“次の放送局”または“前の放送局” “エヌエイチケー総合(例)(テレビ局名指定)” “4チャンネル(例)(チャンネル番号指定)”
チャンネルリストを表示する	“チャンネルリスト”
チャンネルを12分割画面で表示する ³	“メモリーリスト”

1 「AVIC-D9900」「AVIC-D9900V」「AVIC-D9500」「TV-W8800」「TV-W8000」の機能

2 「TV-W8000」の機能

3 「TV-W8000」「TV-W818」の機能

4 「AVIC-D9900」「AVIC-D9900V」「AVIC-D9500」「AVIC-D6500」「TV-W8800」「TV-W8000」の機能

電話を操作する

携帯電話を接続している場合には、音声操作で電話をかけることができます。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

検索した施設に電話をかける

「施設名ダイレクトスタート」(P.245)で検索した施設に電話番号情報が収録されている場合は、電話をかけることができます。



「通常発話モード」(P.244)では操作できません。

1. [発話]ボタンを2秒以上長く押して、“ユニバーサルスタジオジャパン”などの施設名を発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、“ここへ電話をかける”と発話する
4. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

MEMO

手順1から3までのかわりに、[発話]ボタンを押して、“遊園地へ電話をかける” “ユニバーサルスタジオジャパン”と発話することもできます。

登録した場所に電話をかける

登録した場所に電話番号とよみがなを入力している場合は、音声操作で電話をかけることができます。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“電話をかける”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、登録した場所の名前(よみ)を発話する
3. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

MEMO

手順1と2のかわりに、[発話]ボタンを押して、“(登録した場所のよみ)へ電話をかける”と発話することもできます。
“電話をかける”は、“オートダイヤル”とも発話できます。

電話番号を発話して電話をかける

電話番号を発話して電話をかけることができます。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“電話をかける”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“電話番号”と発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する
4. “ブツ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する
5. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

MEMO

手順1と2のかわりに、[発話]ボタンを押して、“電話番号でかける”と発話することもできます。

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

携帯電話に電話をかける場合は、090および070から始まる番号のみ発話することができます。

メモリダイヤルに電話をかける

携帯電話から本機に転送した番号(メモリダイヤル)に電話をかけることができます。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“電話をかける”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“メモリダイヤル”と発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、メモリダイヤルに割り当ててある名前(よみがな)を発話する
4. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

MEMO

手順1と2のかわりに、[発話]ボタンを押して、“メモリダイヤルでかける”と発話することもできます。

フリーダイヤルに電話をかける

フリーダイヤルを発話して電話をかけることができます。「通常発話モード」(P.244)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“電話をかける”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“フリーダイヤル”と発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、“0120-
(0120に続く3桁)”と発話する
4. “ブツ”と音が鳴ったら、残りの3桁を発話する
5. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

気象情報を利用する

携帯電話を接続している場合には、音声操作で気象データを取得したり、気象情報を読み上げさせたりすることができます。

気象データを取得する

本機につないだ携帯電話を使ってインターネットに接続し、気象情報のデータを取得します。

1. [発話] ボタンを押して、“ウェザーライブを使う”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“気象情報を取得する”と発話する

MEMO

手順1と2のかわりに、[発話] ボタンを押して、“気象情報を取得する”と発話することもできます。

気象情報を聞く

現在地周辺や、カーソル位置、および目的地周辺の気象情報を読み上げます。

1. [発話] ボタンを押して、“ウェザーライブを使う”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“ここの天気予報”と発話する

現在地または十字カーソルがある位置の天気予報、降水確率、予想気温を読み上げます。

MEMO

ルートが設定されている場合に“目的地の天気予報”と発話した場合、目的地付近の天気予報、降水確率、予想気温を読み上げます。

手順1と2のかわりに、[発話] ボタンを押して、“ここの天気予報”と発話することもできます。

10キーを操作する

「10キー」に設定されている機能(P.233)を音声で操作するとき、〔発話〕ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.244)で操作します。

現在地画面またはスクロール画面で、“カスタマイズシャープ”など「カスタマイズ」の言葉に10キーの名前を付け加えて発話するか、“10キーカスタマイズ”と発話したあと、“名前で探す”などのカスタマイズした操作の名称を発話してください。

こんなときには	このように発話してください
〔1〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズいちばん”
〔2〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズにばん”
〔3〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズさんばん”
〔4〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズよんばん”
〔5〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズごばん”
〔6〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズろくばん”
〔7〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズななばん”
〔8〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズはちばん”
〔9〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズきゅうばん”
〔0〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズゼロばん”
〔#〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズシャープ”
〔*〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズこめ”または“カスタマイズアスタリスク”、“カスタマイズアスター”

検索できるジャンルの種類

ジャンル名の指定のしかた（ジャンルで探す場合）

施設名ダイレクトスタートや、行き先をジャンルで探すときは、次のジャンル名を発話できます。音声操作で発話で切るジャンル名はいくつかのジャンル（サブジャンル）に分かれています。例えば“交通機関” “高速道路” “インターチェンジ”といった具合に、ジャンル名を順番に発話してください。（“ボイスヘルプ”と発話すると、ナビゲーションが次に発話できるジャンル名を読み上げてくれます。）

ジャンル名	読みかた
住所	“じゅうしょ”
交通機関	“こうつうきかん”
駅名	“えきめい”
高速道路（有料道路）	“こうそくどうろ”
インターチェンジ	“インターチェンジ”
サービスエリア	“サービスエリア”
パーキングエリア	“パーキングエリア”
ジャンクション	“ジャンクション”
ランプ	“ランプ”
交差点（県別）	“こうさてん”
空港	“くうこう”
フェリーターミナル	“フェリーターミナル”
道の駅	“みちのえき”
公共施設	“こうきょうしせつ”
役所	“やくしょ”
警察署	“けいさつしょ”
宿泊施設	“しゅくはくしせつ”
公共宿舎	“こうきょうしゅくしゃ”
ペンション	“ペンション”
ホテル	“ホテル”
民宿	“みんしゅく”
旅館	“りょかん”
プレイスポット	“プレイスポット”
映画館	“えいがかん”
キャンプ場	“キャンプじょう”
公園	“こうえん”
公営ギャンブル場	“こうえいギャンブルじょう”
競艇場	“きょうていじょう”
競馬場	“けいばじょう”
競輪場	“けいりんじょう”
オートレース場	“オートレースじょう”
植物園	“しょくぶつえん”
水族館	“すいぞくかん”
釣り堀	“つりぼり”
動物園	“どうぶつえん”

ジャンル名	読みかた
	遊園地 “ゆうえんち”
	リゾート施設 “リゾートしせつ”
スポーツスポット	“スポーツスポット”
	競技場 “きょうぎじょう”
	ゴルフ場 “ゴルフじょう”
	ゴルフ練習場 “ゴルフれんしゅうじょう”
	スキー場 “スキーじょう”
	スケート場 “スケートじょう”
	テニスコート “テニスコート”
	トレーニングセンター “トレーニングセンター”
	バッティングセンター “バッティングセンター”
	ビリヤード場 “ビリヤードじょう”
	プール “プール”
	ボウリング場 “ボウリングじょう”
	野球場 “やきゅうじょう”
	ヨットハーバー “ヨットハーバー”
	レンタサイクル “レンタサイクル”
	その他スポーツ施設 “そのたスポーツしせつ”
文化スポット	“ぶんかスポット”
	城・城跡 “しろしろあと”
	博物館 “はくぶつかん”
	美術館 “びじゅつかん”
	プラネタリウム・天文台 “プラネタリウムてんもんだい”
	名所・旧跡 “めいしょきゅうせき”
自動車関連施設	“じどうしゃかんれんしせつ”
	カー用品店 “カーようひんでん”
病院	“びょういん”
	医院・診療所 “いいんしんりょうじょ”
	眼科 “がんか” または “めいしゃ”
	外科 “げか”
	産婦人科 “さんぷじんか”
	歯科 “しか” または “はいしゃ”
	耳鼻咽喉科 “じびいんこうか”
	小児科 “しょうにか”
	総合病院 “そうごうびょういん”
	動物病院・獣医師 “どうぶつびょういん” または “じゅういし”
	内科 “ないか”
	皮膚科 “ひふか”
教育施設	“きょういくしせつ”
	保育園 “ほいくえん”
	幼稚園 “ようちえん”
	小学校 “しょうがっこう”
	中学校 “ちゅうがっこう”
	高校 “こうこう”
	大学 “だいがく”
	各種専修学校 “かくしゅせんもんがっこう” または
	“せんしゅうがっこう” または
	“せんもんがっこう”
	その他の学校 “そのたのがっこう”

ジャンル名の指定のしかた（周辺を探す場合）

“周辺を探す”と発話したときや、行き先を周辺で探すときは、次のジャンル名が発話できます。

ジャンル名	読みかた
駅	“えき”
ガソリンスタンド	“ガソリンスタンド”または“スタンド”
コンビニ	“コンビニエンスストア”または“コンビニ”
ファミリーレストラン	“ファミリーレストラン”または“ファミレス”
ファーストフード	“ファーストフード”
駐車場	“ちゅうしゃじょう”
カー用品店	“カーようひんてん”または“カーようひん”
カーディーラー	“カーディーラー”または“ディーラー”
スーパー	“スーパー”
家電店	“かでんてん”または“でんきや”
ディスカウントストア	“ディスカウントストア”または“ディスカウンター”
デパート	“デパート”または“ひゃっかてん”
紳士服	“しんしふくてん”または“しんしふく”
スポーツ用品店	“スポーツようひんてん”
ATM	“エーティエム”
都市銀行	“としぎんこう”
地方銀行	“ちほうぎんこう”
第2地方銀行	“だいにちほうぎんこう”
その他金融機関	“そのたきんゆうきかん”
公共施設	“こうきょうしせつ”
グルメスポット	“グルメスポット”
宿泊施設	“しゅくはくしせつ”
プレイスポット	“プレイスポット”
スポーツスポット	“スポーツスポット”
文化スポット	“ぶんかスポット”
自動車	“じどうしゃ”
小売店	“こうりてん”または“おみせ”
病院	“びょういん”
トイレ	“トイレ”

MEMO

ジャンル名をすべて覚える必要はありません。“ボイスヘルプ”と発話すると、ナビゲーションがジャンル名を読み上げてくれます。“次のページ”や“前のページ”と発話すると、次(前)のジャンル名が読み上げられます。希望のジャンルが含まれていたら、そのジャンル名を発話してください。

ジャンル名に続いてサブジャンル名の発話もできます。(サブジャンル名は、ボイスヘルプでは表示されません。メインメニューの **場所** **探す** **周辺から探す** で、**詳細選択** を行ったときに表示される店名を参考に発話してください。)

例：“ガソリンスタンド”の発話に続いて、“出光”や“エッソ”など

“コンビニエンスストア”の発話に続いて、“セブンイレブン”や“ローソン”などサブジャンルを直接発話することもできます。

検索できる観光地の種類

観光地名の指定のしかた

行き先を観光地名で探すときは、次の観光地名を発話できます。

地域	観光地の名称	読みかた
北海道	中標津	“ なかしべつ ”
	網走	“ あばしり ”
	弟子屈	“ てしかが ”
	摩周	“ ましゅう ”
	屈斜路湖	“ くっしゃろこ ”
	サホロ	“ サホロ ”
	美瑛町	“ びえいちょう ” または “ びえい ” または “ びえいまち ”
	富良野	“ ふうの ”
	ニセコ	“ ニセコ ”
	洞爺湖	“ とうやこ ”
	大沼	“ おおぬま ”
	函館	“ はこだて ”
	札幌	“ さっぽろ ”
	帯広	“ おびひろ ”
	室蘭	“ むろらん ”
	えりも岬	“ えりもみさき ” または “ えりも ”
	根室	“ ねむろ ”
	旭川	“ あさひかわ ”
	北見	“ きたみ ”
	紋別	“ もんべつ ”
	名寄	“ なよろ ”
	苫小牧	“ とまこまい ”
	小樽	“ おたる ”
トマム	“ トマム ”	
稚内	“ わっかない ”	
東北	岩木山	“ いわきさん ”
	弘前	“ ひろさき ”
	十和田湖	“ とわだこ ”
	男鹿半島	“ おがはんとう ”
	新郷村	“ しんごうむら ” または “ さんのへ ”
	田沢湖	“ たざわこ ”
	八幡平	“ はちまんたい ”
	安比高原	“ あっぴこうげん ”

次ページへ続く

地域	観光地の名称	読みかた
	雫石	“しずくいし”
	小岩井	“こいわい”または“こいわいのうじょう”
	岩手高原	“いわてこうげん”
	田老町	“たろうちょう”または“たろうまち”
	奥松島	“おくまつしま”
	気仙沼	“けせんぬま”
	塩釜	“しおがま”
	松島	“まつしま”
	仙台	“せんだい”
	オニコウベ	“オニコウベ”
	宮城蔵王	“みやぎざおう”
	月山	“がっさん”
	山寺	“やまでら”
	蔵王温泉	“ざおうおんせん”または“ざおう”
	蔵王坊平	“ざおうぼうだいら”
	米沢	“よねざわ”
	天元台高原	“てんげんだいこうげん”
	あだたら高原	“あだたらこうげん”
	高湯温泉	“たかゆおんせん”
	表磐梯	“おもてばんだい”
	猪苗代	“いなわしろ”または“いなわしろこ”
	磐梯高原	“ばんだいこうげん”または“うらばんだい”または“ごしきぬま”
	沼尻温泉	“ぬまじりおんせん”または“よこむきおんせん”
	湯野上温泉	“ゆのかみおんせん”
	会津田島	“あいづたじま”
	会津高原	“あいづこうげん”
	羽鳥湖高原	“はとりこうげん”
関東	那須高原	“なすこうげん”または“なす”
	馬頭町	“ばとうちょう”または“ばとうまち”
	鬼怒川温泉	“きぬがわおんせん”または“きぬがわ”
	日光	“にっこう”
	奥日光	“おくにっこう”または“ちゅうぜんじこ”
	丸沼高原	“まるぬまこうげん”
	尾瀬岩倉	“おぜいわくら”
	尾瀬戸倉	“おぜとくら”
	武尊高原	“ほたかこうげん”
	玉原高原	“たんばらこうげん”
	谷川温泉	“たにかわおんせん”
	水上高原	“みなかみこうげん”

次ページへ続く

地域	観光地の名称	読みかた
	赤城山	“あかぎさん”
	伊香保	“いかほ”
	榛名湖	“はるなこ”または“はるなさん”
	草津温泉	“くさつおんせん”
	万座温泉	“まんざおんせん”
	秩父	“ちちぶ”
	長瀨	“ながとろ”
	川越	“かわごえ”
	犬吠埼	“いぬぼうさき”
	岬町	“みさきまち”
	養老渓谷	“ようろうけいこく”
	大原	“おおはら”
	御宿	“おんじゅく”
	小湊	“こみなと”
	鴨川	“かもがわ”
	白浜	“しらはま”
	館山	“たてやま”
	真鶴	“まなづる”
	東京	“とうきょう”
	伊豆大島	“いずおおしま”または“おおしま”
	鎌倉	“かまくら”
	江ノ島	“えのしま”
	湘南	“しょうなん”
	箱根	“はこね”または“あしのこ”
	湯河原	“ゆがわら”
伊豆、富士五湖		
	熱海	“あたみ”
	宇佐見	“うさみ”
	伊東	“いとう”または“いっぺきこ”
	伊豆高原	“いずこうげん”または“じょうがさきかいがん”
	熱川温泉	“あたがわおんせん”
	稲取	“いなとり”
	今井浜	“いまいはま”または“いまいはまおんせん”
	河津	“かわづはま”または“かわづはまおんせん”
	下田	“しもだ”または“しもだおんせん”
	石廊崎	“いろうざき”
	堂ヶ島	“どうがしま”
	土肥	“とい”
	戸田	“へだ”
	湯ヶ島	“ゆがしま”
	十里木高原	“じゅうりぎこうげん”

次ページへ続く

地域	観光地の名称	読みかた
	寸又峡	“すまたきょう”
	修善寺	“しゅぜんじ”
	山中湖	“やまなかこ”
	忍野高原	“おしのこうげん” または “おしのむら”
	富士吉田	“ふじよしだ”
	富士山	“ふじさん”
	河口湖	“かわぐちこ”
	西湖	“さいこ”
	本栖湖	“もとすこ”
	朝霧高原	“あさぎりこうげん”
	浜名湖	“はまなこ”
中央本線、小海線沿線		
	塩山	“えんざん” または “えんざんおんせん”
	白州町	“はくしゅうまち” または “はくしゅうちょう”
	清春高原	“きよはるこうげん”
	小淵沢	“こぶちさわ”
	甲斐小泉	“かいこいずみ”
	大泉高原	“おおいずみこうげん” または “かいおおいずみ”
	清里	“きよさと” または “やつがたけ”
	野辺山	“のべやま”
	松原湖	“まつばらこ” または “まつばらここうげん”
	八千穂高原	“やちほこうげん”
	佐久高原	“さくこうげん”
	富士見高原	“ふじみいこうげん”
	原村中央高原	“はらむらちゅうおうこうげん” または “ちゅうおうこうげん”
	蓼科高原	“たてしなこうげん” または “たてしな”
	諏訪湖	“すわこ”
	白樺湖	“しらかばこ” または “くるまやま” または “くるまやまこうげん”
	白樺高原	“しらかばこうげん” または “めがみこ”
	ピラタスの丘	“ぴらたすのおか”
	姫木平	“ひめきだいら”
	乗鞍高原	“のりくらこうげん”
	駒ヶ根高原	“こまがねこうげん”
	野麦峠	“のむぎとうげ” または “ながわこうげん”
	開田高原	“かいだこうげん”
	三郷村	“みさとむら”
	安曇野	“あづみの” または “ほたか”
	大町	“おおまち” または “きざきこ”
	青木湖	“あおきこ”

次ページへ続く

地域	観光地の名称	読みかた
	白馬の森	“はくばのもり”
	白馬・八方	“はくばはっぽう” または “はくば” または “はっぽう”
	白馬岩岳	“はくばいわたけ”
	樽池高原	“つがいけこうげん” または “おちくらこうげん”
	白馬乗倉高原	“はくばのりくらこうげん” または “はくばのりくら”
	北軽井沢	“きたかるいざわ”
長野、上越新幹線	軽井沢	“かるいざわ” または “きゅうかるいざわ”
	中軽井沢	“なかかるいざわ”
	南軽井沢	“みなみかるいざわ”
	西軽井沢	“にしかるいざわ”
	菅平高原	“すがだいらこうげん”
	峰の原高原	“みねのはらこうげん”
	信州高山温泉郷	“しんしゅうたかやまおんせんきょう” または “たかやまむら”
	木島平	“きじまだいら”
	北志賀高原	“きたしがこうげん”
	奥志賀高原	“おくしがこうげん” または “しがこうげん”
	野沢温泉	“のざわおんせん”
	斑尾高原	“まだらおこうげん”
	飯綱高原	“いいづなこうげん”
	飯綱東高原	“いいづなひがしこうげん”
	戸隠高原	“とがくしこうげん”
	野尻湖	“のじりこ”
	黒姫高原	“くろひめこうげん”
	妙高高原	“みょうこうこうげん”
	苗場	“なえば”
	湯沢	“ゆざわ” または “えちごゆざわ”
	石内	“いしうち”
	佐渡	“さど”
北陸・飛騨・東海	立山山麓	“たてやまさんろく”
	金沢	“かなざわ”
	能登志賀町	“のとしがちょう” または “のとしがまち”
	輪島	“わじま”
	能登島	“のとしま” または “のとしまちょう” または “のとしままち”
	白山一里野温泉	“はくさんいちりのおんせん”
	山代温泉	“やましろおんせん”
	東尋坊	“とうじんぼう”
	勝山	“かつやま”

次ページへ続く

地域	観光地の名称	読みかた
	若狭小浜	“わかさおばま”
	高浜町	“たかはまちょう”または“たかはままち”
	高山	“たかやま”
	数河高原	“すごうこうげん”
	新穂高温泉	“しんほたかおんせん”
	上宝高原	“かみたからこうげん”
	鈴蘭高原	“すずらんこうげん”
	ひるがの高原	“ひるがのこうげん”
	蒲郡	“がまごおり”
	伊良湖岬	“いらごみさき”
	鳳来湖	“ほうらいこ”または“おくみかわほうらいちょう”
	湯の山温泉	“ゆのやまおんせん”
近畿	琵琶湖	“びわこ”
	伊吹山	“いぶきやま”
	鳥羽	“とば”
	奥志摩	“おくしま”
	南紀白浜	“なんきしらはま”
	川湯温泉	“かわゆおんせん”
	奈良	“なら”
	榛原	“はいばら”
	飛鳥	“あすか”
	京都	“きょうと”
	京都北山	“きょうときたやま”
	京北町	“けいほくまち”または“けいほくちょう”または“けいほく”
	丹後由良	“たんごゆら”
	八チ高原	“はちこうげん”または“はちきたこうげん”
	神鍋高原	“かんなべこうげん”
	香住海岸	“かすみかいがん”
	天橋立	“あまのはしたて”
中国・四国・九州	大山	“だいせん”
	北大山	“きただいせん”
	瑞穂町	“みずほちょう”または“みずほまち”
	三瓶山	“さんべさん”
	津和野	“つわの”
	日原町	“にちはらちょう”または“にちはらまち”
	牛窓	“うしまど”
	蒜山高原	“ひるぜんこうげん”
	湯郷温泉	“ゆのごうおんせん”

次ページへ続く

地域	観光地の名称	読みかた
	成羽町	“ なりわちよう ” または “ なりわまち ”
	吉備高原	“ きびこうげん ”
	宮島	“ みやじま ”
	尾道	“ おのみち ”
	安芸川尻	“ あきかわじり ”
	青海島	“ あおみじま ”
	萩	“ はぎ ”
	阿東町	“ あとうちよう ” または “ あとうまち ”
	小豆島	“ しょうどしま ”
	足摺岬	“ あしずりみさき ”
	大月町	“ おおつきちよう ” または “ おおつきまち ”
	川棚町	“ かわだなちよう ” または “ かわだなまち ”
	長崎	“ ながさき ”
	阿蘇山	“ あそさん ” または “ あそ ” または “ あそやま ”
	阿蘇町	“ あそまち ” または “ あそちよう ”
	阿蘇一の宮町	“ あそいちのみやちよう ” または “ いちのみやちよう ” または “ いちのみやまち ”
	阿蘇長陽村	“ ちようようむら ”
	阿蘇久木野村	“ あそくきのむら ”
	白水村	“ はくすいむら ”
	阿蘇高森はなしのぶ高原	“ あそたかもりはなしのぶこうげん ” または “ たかもりはなしのぶこうげん ” または “ あそたかもり ”
	雲仙	“ うんぜん ”
	鹿児島	“ かがしま ”
	湯布院	“ ゆふいん ”
	菊池高原	“ きくちこうげん ” または “ きくちおんせん ”
	久住高原	“ くじゅうこうげん ”
	別府温泉	“ べっぷおんせん ”
	霧島温泉	“ きりしまおんせん ” または “ きりしまじんぐう ”
	青島	“ あおしま ”
	綾町	“ あやちよう ” または “ あやまち ”
	日南海岸	“ にちなんかいがん ”
	那覇市	“ なはし ”

住所やインターチェンジの読みかた

住所や、インターチェンジ名や交差点名などを発話するときは、次のルールに従ってください。

住所、駅名、役所、交差点、フェリーなどのジャンル検索で発話できるジャンルは、「検索できるジャンルの種類」(P.246)をご覧ください。



住所や施設名の途中に「の」や、「えーと」などの言葉をはさんだり、丁目を「4 (よん)」などと単に数字だけを発話しても、正しく認識されません。

住所の読みかた

必ず都道府県名から丁目(丁目がない場合は町村名)までを順番に発話してください。丁目は「4丁目 (よんちょうめ)」などと発話してください。

インターチェンジの読みかた

施設名から施設種別まで順番に発話してください。(例：“交通機関” “高速道路” “インターチェンジ”)

交差点の読みかた

交差点の名称だけを発話してください(「交差点」の下線部分は発話不要です)。

読みかたの例

よい例
とうきょうと 東京都 めくろく 目黒区 めくる 目黒 いっちょうめ 1丁目(住所)

よこはままちだ 横浜町田インターチェンジ
 (インターチェンジ)

しぶやけいさつしよまえ 渋谷警察署前(交差点)

よくない例
 東京の目黒区(「東京都」が「東京の」になっている)

東京都 目黒区 目黒 1(「丁目」がない)

目黒区 目黒 1丁目(都道府県名がない)

横浜町田(「インターチェンジ」がない)

渋谷警察署前交差点(「交差点」がある)

町村名の読みかた

- ・「東京都西多摩郡日の出町」などの町名(町村役場のある行政区)は、「町」なら「まち」と「ちょう」のどちらでも受け付けられます。村名の場合も同様で、「むら」と「そん」のどちらでも受け付け可能です。
- ・「東京都中野区本町」などの町名は、正式名称で発話してください。

特別な町名の読みかた

京都市の住所では、区名、町名(公称町名)の順番に発話してください。

例：「京都市上京区 相合図子通一条下る一番町」の場合
 京都市 上京区 一番町

施設名の読みかた

施設名を発話するときは、正式名称で発話するのが原則ですが、「東京国際空港」と「羽田空港」のように、通称が広く一般に使われている場合は、どちらで発話しても受け付けられます。

読みかたの例

正式名称(通称)	読みかた
オホーツク紋別空港	オホーツクもんべつこうこう、もんべつこうこう
根室中標津空港	ねむろなかしべつこうこう、なかしべつこうこう
新千歳空港(千歳空港)	しんちとせくこうこう、ちとせくこうこう
札幌空港(丘珠空港)	さっぽろこうこう、おかだまくこうこう
大阪国際空港(伊丹空港)	おおさかこくさいこうこう、いたみくこうこう
関西空港	かんさいこうこう、かんくう
新東京国際空港(成田空港)	しんとうきょうこくさいこうこう、なりたくうこう
東京国際空港(羽田空港)	とうきょうこくさいこうこう、はねだくうこう
臼杵港(新臼杵港)	うすきこう、しんうすきこう
広島港(宇品港)	ひろしまこう、うじなこう
東京ディズニーランド	とうきょうディズニーランド、ディズニーランド

都道府県名の読みかた

都道府県名を発話するとき、名称をそのまま発話するのが原則です。また、都道府県名の前に「の」(は地方名)を付け加えて発話することもできます。

都道府県名 読みかた

北海道	ほっかいどう、ほっかいどうの～(北海道の北海道)
青森県	あおもりけん、とうほくの～(東北の青森県)
岩手県	いわてけん、とうほくの～(東北の岩手県)
宮城県	みやぎけん、とうほくの～(東北の宮城県)
秋田県	あきたけん、とうほくの～(東北の秋田県)
山形県	やまがたけん、とうほくの～(東北の山形県)
福島県	ふくしまけん、とうほくの～(東北の福島県)
茨城県	いばらきけん、かんとこの～(関東の茨城県)
栃木県	とちぎけん、かんとこの～(関東の栃木県)
群馬県	ぐんまけん、かんとこの～(関東の群馬県)
埼玉県	さいたまけん、かんとこの～(関東の埼玉県)
千葉県	ちばけん、かんとこの～(関東の千葉県)
東京都	とうきょうと、かんとこの～(関東の東京都)
神奈川県	かながわけん、かんとこの～(関東の神奈川県)
新潟県	にいがたけん、しんえつの～(信越の新潟県) ちゅうぶの～(中部の新潟県)
富山県	とやまけん、ほくりくの～(北陸の富山県) ちゅうぶの～(中部の富山県)
石川県	いしかわけん、ほくりくの～(北陸の石川県) ちゅうぶの～(中部の石川県)
福井県	ふくいけん、ほくりくの～(北陸の福井県) ちゅうぶの～(中部の福井県)
山梨県	やまなしけん、かんとこの～(関東の山梨県) ちゅうぶの～(中部の山梨県)
長野県	ながのけん、しんえつの～(信越の長野県) ちゅうぶの～(中部の長野県)
岐阜県	ぎふけん、とうかいの～(東海の岐阜県) ちゅうぶの～(中部の岐阜県)
静岡県	しずおかけん、とうかいの～(東海の静岡県) ちゅうぶの～(中部の静岡県)
愛知県	あいちけん、とうかいの～(東海の愛知県) ちゅうぶの～(中部の愛知県)
三重県	みえけん、とうかいの～(東海の三重県) きんきの～(近畿の三重県)
滋賀県	しがけん、きんきの～(近畿の滋賀県)
京都府	きょうとふ、きんきの～(近畿の京都府)
大阪府	おおさかふ、きんきの～(近畿の大阪府)
兵庫県	ひょうごけん、きんきの～(近畿の兵庫県)
奈良県	ならけん、きんきの～(近畿の奈良県)
和歌山県	わかやまけん、きんきの～(近畿の和歌山県)
鳥取県	とっとりけん、ちゅうごくの～(中国の鳥取県)
島根県	しまねけん、ちゅうごくの～(中国の島根県)
岡山県	おかやまけん、ちゅうごくの～(中国の岡山県)
広島県	ひろしまけん、ちゅうごくの～(中国の広島県)
山口県	やまぐちけん、ちゅうごくの～(中国の山口県)

都道府県名 読みかた

徳島県	とくしまけん、しこくの～(四国の徳島県)
香川県	かがわけん、しこくの～(四国の香川県)
愛媛県	えひめけん、しこくの～(四国の愛媛県)
高知県	こうちけん、しこくの～(四国の高知県)
福岡県	ふくおかけん、きゅうしゅうの～(九州の福岡県)
佐賀県	さがけん、きゅうしゅうの～(九州の佐賀県)
長崎県	ながさきけん、きゅうしゅうの～(九州の長崎県)
熊本県	くまもとけん、きゅうしゅうの～(九州の熊本県)
大分県	おおいたけん、きゅうしゅうの～(九州の大分県)
宮崎県	みやざきけん、きゅうしゅうの～(九州の宮崎県)
鹿児島県	かごしまけん、きゅうしゅうの～(九州の鹿児島県)
沖縄県	おきなわけん、おきなわの～(沖縄の沖縄県)

音声操作の設定を変える

ナビゲーションの利用状況に合わせて、音声操作に関係する設定を変えることができます。音声操作の設定は「設定を変える その他」メニューで設定します。

オート発話スタンバイ

通常は、最初に〔発話〕ボタンを1回押した後、連続して音声認識語を発話して操作を進めます(オート発話スタンバイ)。

これを、発話ごとに〔発話〕ボタンを押すという操作にすることもできます。音声操作に慣れるまで、ご自分のペースで発話することができます。

「設定を変える その他」メニューの「オート発話スタンバイ」(P.212)で、この設定のON/OFFを切り換えられます。

ボイスヘルプ

音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を、音声操作中、常に表示するかどうかを設定します。(ただし走行中は表示されません。)

「設定を変える その他」メニューの「ボイスヘルプ」(P.212)で設定します。

オーディオミュート

本機をパイオニア製カーステレオと組み合わせた場合は、ナビゲーションの音声案内が流れたり、電話で通話するとき、〔発話〕ボタンを押したときに、自動的にカーステレオの音量を下げる(オーディオミュート)ができます。

「設定を変える その他」メニューの「オーディオミュート」(P.212)で、オーディオミュートのタイミングを変更できます。

音声認識ノイズマイク

本機には、路面から拾う雑音(ロードノイズ)などを打ち消すために、専用のノイズマイクが内蔵されています。

ノイズマイクを使用することで、ロードノイズや車内の雑音などを打ち消して認識率を高めることができます。

ただし、発話用のマイクと発話する人の距離に対して、ナビゲーション本体と発話する人の距離が同じか、または近い場合に、音声認識語の発話までもノイズとして認識してしまい、音声操作が受け付けられなくなる場合があります。そのような場合には、ノイズマイクをOFFにします。

「設定を変える その他」メニューの「音声認識ノイズマイク」(P.212)で、ノイズマイクのON/OFFを変更できます。

電話操作ハンズフリー

携帯電話を接続した際、本機の音声認識用マイク、スピーカーを電話のハンズフリー用としても利用するかどうかを設定できます。また、リモコンで電話をかける・受けるなどの操作を行うかどうかを設定します。

「設定を変える その他」メニューの「電話操作ハンズフリー」(P.213)で設定します。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

「設定を変える その他」メニューの「電話操作ハンズフリー」(P.213)の設定が「オンにする」になっているときは、通話中は音声操作はできません。電話を切ってから音声操作を行ってください。

Appendix

付録

この章の内容

困ったときには	280
使い方Q&Aを見る	289
ナビゲーションのしくみ	290
タイヤを交換したときや 本体の設置場所を変更したときは	297
ルートに関する注意事項	300
VICS情報に関する注意事項	302
ETCに関する注意事項	303
天気予報に関する注意事項	304
アメダス情報について	305
詳細市街地図収録エリアについて	306
オービスポイントについて	310
「MapFan V」について	311
2画面でのナビゲーションの映像	312
かな漢字変換できる記号	313
地図記号一覧	314
メニュー別索引	316
キーワード索引	320
やりたいこと索引	324

困ったときには

ここでは、故障かな？と思ったときに何を確認すればよいか、エラーメッセージが表示されたときにどう対処すればよいかを説明します。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスで故障と間違えることもあります。故障かな？と思ったら、次の項目を参考に、操作をもう一度確認してください。

自転車位置を測位できない。 / 測位誤差が大きい。

原因	対処
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してから、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。(P.297)
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認(P.223)して、GPSアンテナの位置を変更してください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面(P.223)で、接続を確認してください。
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。
取付方向レバーの設定が間違っている。	ナビゲーション本体の取付位置と取付方向レバーの設定を確認してください。(『取付説明書』)

地図がかってに回転してしまう。

原因	対処
自動的に地図が回転する設定になっている。	「設定を変える 地図」メニューの「2D時地図の回転」(P.203)を確認し、「ノースアップ」に変えてください。 3D地図のとき回転させたくない場合は、手動で地図を回転させて、地図の向きを固定してください。(P.16)

走行軌跡が表示されない。

原因	対処
走行軌跡を表示しない設定になっている。	「設定を変える 地図」メニューの「軌跡表示」(P.205)を確認し、「オンにする」にしてください。
「走行軌跡」の「呼び出し」がエンドレスファイル以外になっている。	「エンドレスファイル」に切り換えてください。(P.182)

車のライトをONにしても夜画面に切り換わらない。

原因	対処
車のライトと連動する設定になっていない。	「設定を変える 地図」メニューの「昼夜の地図の色」(P.205)を確認して、[イルミで切り替え]にしてください。

3D学習度が表示されない。

原因	対処
電源コードの車速信号入力(ピンクリード線)が正しく接続されていない。	接続を確認(『取付説明書』)して、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。

電源が入らない。 / 動作しない。

原因	対処
各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか確認してください。(『取付説明書』)
DVD-ROMディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。(『スタートブック』)

TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。

原因	対処
ナビゲーション本体およびTVモニターの電源が入っていない。	ナビゲーション本体およびTVモニターの電源を入れてください。
TVモニターがナビゲーションの映像に切り換わっていない。	TVモニターをナビゲーションの映像に切り換えてください。

テレビやビデオの映像が映らない。

AVIC-D9900 / D9900V / D9500 / D6500をお使いの場合	
原因	対処
パーキングブレーキをかけていない。	安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

テレビの画面は出るが音が出ない。

ナビゲーション本体に「TV-W8800」や「AVX-P7700W」などパイオニア製 IP-BUS入力付きカーステレオ（メインユニット）をAUXで接続している場合（NAVI MASTER時）

原因	対処
各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか確認してください。（『取付説明書』）
「TV-W8800」や「AVX-P7700W」などのモードスイッチが正しく設定されていない。	「TV-W8800」や「AVX-P7700W」などのモードスイッチを正しく切り換えてください。
誤動作している	電源を入れて、各機器のリセットボタンを押してください。
音声ソースがテレビに切り換わっていない。	ナビゲーションのリモコンにあるSOURCEボタンを押して、ソースを「テレビ」に切り換えてください。（『スタートブック』）
「TV-W8800」や「AVX-P7700W」などの入出力設定が正しく設定されていない。 カーステレオ（メインユニット）のソースがAUXに切り換わっていない。	入出力設定を正しく切り換えてください。 ソースをAUXに切り換えてください。

映像が暗い。

原因	対処
日没時刻が過ぎた。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。
車内の温度が低い。	液晶画面は、周囲の温度が低いと暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。
オートディマー機能のあるTVモニターで外光センサーの前が覆われている	外光センサーを覆わないようにしてください。

ナビゲーションの音が出ない。/音が小さい。

原因	対処
音量を下げている。	メインメニューの【その他】 【設定を変える】 【ハードウェア】 【音量設定】(P.215)で、受光部付スピーカー(付属または別売「CD-TS36」)およびTVモニターの音量を上げてください。
音声ナビゲーションの音声に切り換わっていない。	TVモニターから音声を出力する場合は、TVモニターからナビゲーションの音声出力されるように、TVモニター側の設定を切り換えてください。

リモコンがきかない

原因	対処
電池が弱っている。	電池を交換してください。(『スタートブック』)
電池の⊕と⊖の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。(『スタートブック』)
リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。(『スタートブック』)
リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。
リモコンが正しく設定されていない。	リモコン設定スイッチを正しく切り換えてください。(『スタートブック』)

ディスクをセットしたのに地図が表示されない。

原因	対処
ディスクに大きなキズやソリがある。	お買い求めになった販売店にご相談ください。
ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。(『スタートブック』)

映像がゆれる。

原因	対処
「その他」メニューの「TV走査方式」が合っていない。	「設定を変える その他」メニューの「TV走査方式」(P.211)を確認し、必要に応じて切り換えてください。

誤差が大きくなった。

原 因	対 処
TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーをリセットしてください。(P.297)

インターネットなどの通信をする際のトラブル(デジタル携帯電話接続時)接続先に電話がかからない。

原 因	対 処
接続先の電話番号が間違っている。	接続先の電話番号が正しく入力されているか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
携帯電話のコネクタの接続が間違っている。	コネクタの向きが逆になっていないかどうか確認してください。
携帯電話でダイヤルロックをかけたままになっている。	ダイヤルロックを解除してください。
携帯電話の電池が切れている、または携帯電話が故障している。	携帯電話を本機から外して、電話をかけることができるかどうか確認してください。
携帯電話が他の端末をつなげるように設定されていない。	携帯電話側の設定を、接続端子を使用できるように変更してください。
「cdmaOne™」携帯電話を接続している。	別売の「cdmaOne™」用接続アダプター「CD-H1」を使って「cdmaOne™」携帯電話を接続し、「設定を変える その他」メニューの「使用する携帯電話」(P.213)を「cdmaOne™」にしてください。
「cdmaOne™」以外のデジタル携帯電話を接続している。	「設定を変える その他」メニューの「使用する携帯電話」(P.213)で「その他(PDC)」を選んでください。

途中で電話が切れてしまう。

原因

お使いのデジタル携帯電話のサービス
エリア外か電波の弱いところにいる。
接続ID、接続パスワードが間違っている。

プロバイダーの接続項目が間違っている。

電話番号が間違っている。

PIAFS対応のアクセスポイントを
指定している。

お使いのデジタル携帯電話が9600bps
のデータ通信に対応していない。

機種に対応していないデジタル携帯電話
をつないでいる。

「cdmaOne™」以外のデジタル携帯電話を
利用している。

対処

サービスエリア内の電波の強い場所
から接続してください。

接続ID、接続パスワードを確認して
ください。とくに、数字の「0」（ゼロ）
と英字の「O」（オー）、数字の「1」と
英字の「l」（アイ）などの区別や、英
字の大文字／小文字の区別も確認し
てください。

プライマリDNS、セカンダリー
DNS、サブネットマスクが正しく
入力されているかどうかを確認して
ください（P.119）。数字が2桁の
場合は、数字の前に「0」（ゼロ）
を入力してください。

プロバイダーの電話番号は変更され
ることが多いため、「接続先の設定」
（P.118）で別のアクセスポイント
を選んでください。それでもうまく
いかなかった場合は、プロバイダか
ら送付された資料にある電話番号を
入力して試してください。

PIAFS（PHS Internet Access
Forum Standard）に対応していな
いアクセスポイントに変更して接続
できるかどうか確認してください。
9600bpsのデータ通信に対応し
た、デジタル携帯電話をお使いくだ
さい。

対応している携帯電話かどうか、
パイオニアのホームページで確認す
るか、「パイオニアカスタマーサポ
ート」にお問い合わせください。

「設定を変える その他」メニュー
の「使用する携帯電話」（P.213）
で「その他（PDC）」を選んでくだ
さい。

ホームページが表示されない。

原因	対処
指定したホームページが混み合っている。	しばらくしてから再度接続してください。
URLが間違っている。	大文字と小文字の間違いや「.」と「.」、 「_」と「-」などの区別を確認してください。
DNSサーバーの設定が間違っている。	DNSサーバーの設定を確認してください。DNSサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。
プロキシサーバーの設定が間違っている。	プロキシサーバーの設定を確認してください。プロキシサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。
SSL対応のホームページを表示しようとしている。	本機ではSSLを使用しているホームページは表示できません。

ホームページが表示されるまでに時間がかかる。

原因	対処
接続先のサーバーに接続が集中している。	しばらくしてから再度接続してください。

画像データが表示されない。

原因	対処
ブラウザの設定の「画像の設定」がOFFになっている。	ブラウザの設定の「画像の設定」 (P.123)を「する(画像を表示)」 にしてください。
画像のサイズが大きい。 本機では表示できない形式の画像 (動画など)が使われている。	サイズの大きい画像は表示できません。 本機で表示できる画像データはGIF 形式とJPEG形式のデータです。それ 以外の画像データは表示できません。 また、プラグインなどを必要とする データも扱えません。

ホームページの文字が正しく表示されない。

原因	対処
本機で使用できない文字コードが使われている。	海外のホームページなどには、本機で 使用できない文字コードが使われてい ることがあります。このような文字 コードは正しく表示されません。

エラーメッセージとその対処方法

ルート探索できませんでした。

メッセージが表示される時 近くに道路が見つからないとき、または 通行規制により、近くの道路が探索でき ないとき	対 処 付近にある別の場所を指定して、ル ート探索の操作をやり直してください。
--	---

DVD-ROMディスクに傷、汚れがあります。ディスクを確認して下さい。

メッセージが表示される時 ディスクが傷ついていた、汚れているとき	対 処 ディスクを取り出し、傷や汚れがない か確認してください。汚れがある場合、 柔らかい布でふいてください。
-------------------------------------	--

DVD-ROMに異常があります。販売店にご相談下さい。

メッセージが表示される時 ドライブ不良のメッセージが1時間以内に3回 発生したとき	対 処 販売店にご相談ください。
---	---------------------

高温のため動作不可能です。安全な場所に移動して、エンジンを切っ
て、しばらくしてから入れ直してください。

メッセージが表示される時 ナビゲーション本体の内部温度が高くなったとき	対 処 本機の電源を切り、内部温度が下がるま までお待ちください。ヒーター吹き出し口 の近くなど、高熱になるところに設置 していないことを確認してください。
--	--

TV局リストがありません。

メッセージが表示される時 今いる地域で受信可能なTV局がない場合に、 TV局の一覧表示を出そうとしたとき	対 処 TVが受信できる場所に移動してからご 使用ください。
--	--------------------------------------

データの受信待ちです。/データの一部が取得できていません。

メッセージが表示される時 FM多重放送によるVICS情報がそろって いない、またはデータが不完全なとき	対 処 データが更新されるまで、しばらくお 待ちください。
---	-------------------------------------

ビーコンが接続されていません。

メッセージが表示される時 VICs用ビーコン受信機(付属または別売「ND-B3」)の接続が正しくないとき	対 処 ビーコン受信機の接続を確認してください。
---	-----------------------------

現在は情報がありません。

メッセージが表示される時 ビーコンからのVICs情報を取得していないとき	対 処 ビーコンからのVICs情報が更新されるまで、しばらくお待ちください。
---	---

データの一部を消去しないと読み込むことができません。データを消去して下さい。

メッセージが表示される時 本機のメモリー容量が不足しているとき	対 処 不要になったデータ(登録した場所、ルート、走行軌跡など)を消去してから読み込んでください。
------------------------------------	--

これ以上登録できません。

メッセージが表示される時 PCカードに制限以上のデータを保存しようとしたとき	対 処 「新規グループ」を選んで保存してください。
---	------------------------------

システムエラーが発生しました。

メッセージが表示される時 本機が正しく動作できないとき	対 処 画面の指示に従って対処してください。
--------------------------------	---------------------------

画面が動かなくなったときは

まず、リモコン左側面のPOWERボタンで、電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、ナビゲーション本体のリセットボタンを押してください。

頻繁にシステムエラーが発生するときは

頻繁にエラーが発生しナビゲーションの電源が切れるときは、ナビゲーション本体のメモリーに不適切な内容が記録された恐れがあります。このような場合は、次の操作を行ってナビゲーション本体のメモリーをクリアしてください。(ナビゲーションが自動で行う場合があります。)

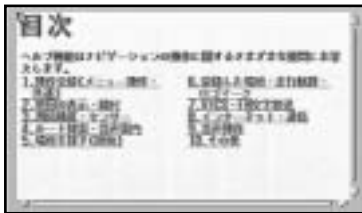
電源を入れてオープニング画面が表示されている間、〔現在地〕ボタンと〔迂回〕ボタンを同時に押し続ける(「本体メモリをすべてクリアします。しばらくお待ち下さい。」とメッセージが表示されます。)

この操作を行うと、登録地点や軌跡、ルート、本機の設定など、記憶させた内容はすべて消去されますのでご注意ください。(センサーの学習内容のみ消去されません。)

使い方Q&Aを見る

「なぜこうなるのだろう?」といった疑問に対する答えやアドバイスを画面に表示させることができます。

1. メインメニューで**その他の操作**
使い方Q&Aを見るを選び、〔決定〕
ボタンを押す



使い方Q&Aが表示されます。画面にはカーソルが(矢印・指マーク)が表示され、ジョイスティックで動かすことができます。

MEMO

操作のしかたは、「ホームページを見る」(P.124)をご覧ください。
〔メニュー〕ボタンを押すと、現在地画面または十字カーソル周辺の地図画面に戻ります。

ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

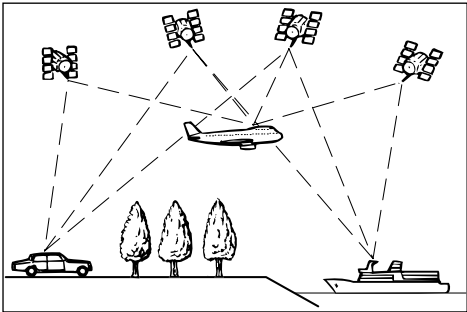
本機では、現在地(自車位置)を測位する方法として「GPS」に加え、「自立航法」による測位が可能です。

「GPS」による測位

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS(Global Positioning System: グローバルポジショニングシステム)です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できます。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

「自立航法」による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーで走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計(Gセンサー)で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせていますので、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの機能

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、次のような機能を内蔵しています。

高精度3Dハイブリッドシステム：車から車速パルスを取っている場合には、高度差まで測位する3Dハイブリッドセンサーをフルに活用した、高精度3Dハイブリッドシステムにより、高精度な測位が可能になります。

また、車速パルスが取れない外国車やディーゼル車などは、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）を組み合わせることで、3Dハイブリッドシステムが可能になります。（車種によっては、「ND-PG1」が取り付けられない場合もあります。）

簡易ハイブリッドシステム：車速パルスを取っていない場合には、簡易ハイブリッドシステムでの測位となります。車速パルスが入力されないため、傾斜計（Gセンサー）が車速パルスの代わりに車の移動距離を測定します。簡易ハイブリッドシステムでは、従来通りの水平方向のみの角度検出を行うハイブリッド測位となり、精度も低くなります。長いトンネルに入った場合などは、誤差が大きくなったり測位できなくなることがあります。

3Dハイブリッドセンサーには、次のような特長があります。

特 長	内 容
高度差の測位も可能です	従来の平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは高速と一般道のどちらに在るのかの判断ができないことがありました。 3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上は高速道路と一般道が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。
ワインディングや坂道で生じる距離誤差も修正します	山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、従来は自車位置の先走りといったことが起きる場合がありました。 3Dハイブリッドセンサーは測位した高度差からその誤差を修正して高精度な測位を可能にしています。
誤差の学習や補正を行います	3Dハイブリッドセンサーは、自分で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。 走行を重ねるにつれて学習内容が増えますので、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

特 長	内 容
誤差が大きいつきは自動的に学習を中断します	チェーンを装着したり、応急用タイヤで走行すると、タイヤの外周が変わるため誤差が大きくなります。この大きな誤差を学習すると、学習内容が悪くなってしまうため、大きな誤差が発生したときは学習を自動的に中断します。
2種類のタイヤを別々に学習できます	夏用タイヤと冬用タイヤなど、サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正することができます。

3Dハイブリッドセンサーは、学習・補正効果を高めるため、GPS衛星の電波が受信できないときには、学習や補正は行われません。このため、GPSによる測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがありますが、GPS受信状態で約1時間程度走行すると、かなり精度が高くなります。

ディファレンシャルGPS(D-GPS)

GPS衛星は米国防総省の管理下にあるため、衛星からの電波には軍事的理由により、あらかじめ誤差が含まれています。その誤差はリアルタイムで変化しており、GPS衛星からの電波だけで測位している場合には、この誤差により測位精度が低下します。

そこでGPS衛星からの電波を日本各地の施設で受信し、その施設の位置とGPS衛星からの位置情報を比較し、誤差を確認して、GPSの誤差補正データをFM多重電波で放送するしくみがディファレンシャルGPS(D-GPS)システムです。

内蔵のFM多重チューナーでD-GPSの情報を受信します：本機に内蔵のFM多重チューナー(VICSと切り換え)で、5秒ごとに更新されるD-GPSの情報を受信します。この情報をもとに、本機内部で誤差の補正処理を行い、リアルタイムでGPS測位に反映します。このシステムは全国サービスで行われるので、エリア内ならどこでも高精度な測位が実現できます。情報は全国JFN系列の放送局から発信しています：D-GPSの情報は、全国のJFN系列のFM放送局からFM多重電波を通じて放送されています。

D-GPS情報放送局(2002年5月現在)

JFN系列：

FM北海道、FM青森、FM岩手、FM仙台、FM秋田、FM山形、ふくしまFM、FMぐんま、FM栃木、TOKYO FM、FM新潟、FM長野、静岡FM放送、FMとやま、FM石川、FM福井、岐阜FM、FM AICHI、FM三重、FM滋賀、fm osaka、FM岡山、FM山陰、広島FM放送、FM山口、FM香川、FM愛媛、FM徳島、FM高知、FM佐賀、FM福岡、FM長崎、FM中九州、FM大分、FM宮崎、FM鹿児島、FM沖縄(全国37局)

独立系列：

Kiss-FM KOBE、FM京都、FM富士、横浜FM(4局)



一部地域については、カバーされていない場合があります。

D-GPS情報放送局は、自動的に選択されます。

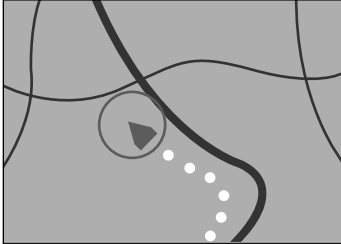
D-GPSを利用するためには、「設定を変える VICS」メニューの「FM多重チューナーの設定」(P.210)を「D-GPS」または「VICS / D-GPSダブル」に設定する必要があります。

FM放送局が休止している時間帯はD-GPSは利用できません。

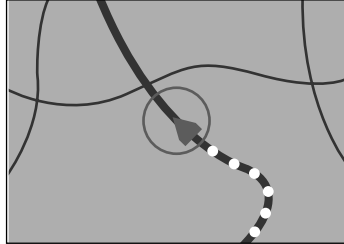
マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていないとき



マップマッチングしているとき



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

道路データについて

シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

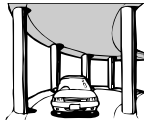
GPSや自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができますが、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなる場合があります。

GPS測位不可による誤差

- 2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられ、受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

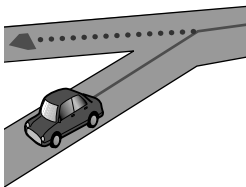
- 次のようなときは、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなる場合があります。
車載のテレビで56チャンネル(UHF)を受信しているとき。
GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っているとき。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、雪がつもると感度が低下しますので取り除いてください。



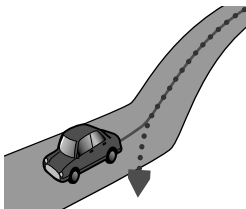
GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3次元測位のときは、約30 m ~ 200 mの誤差で現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。（GPS測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信した場合に、最も良い精度が得られるようになっています。）
- GPS測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について
 角度の小さなY字路を走ったとき。



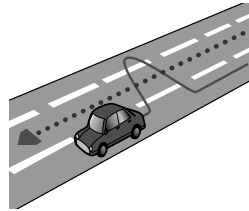
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



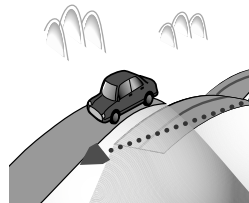
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップしたとき。



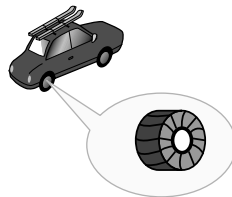
蛇行運転をしたとき。



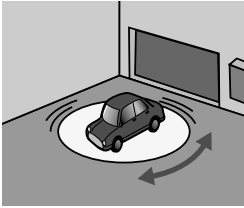
勾配の急な山道など、高低差のある道を走ったとき。



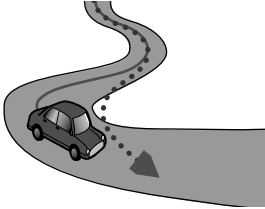
チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換したとき。



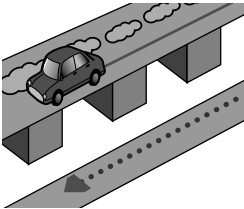
駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行ったとき。



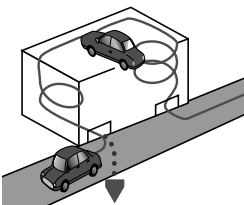
ヘアピンカーブが続いたとき。



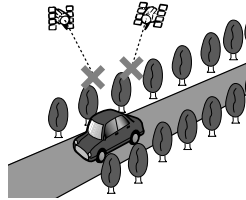
道路が近接しているとき（高速道路と側道など）。



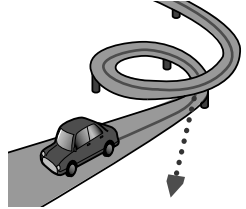
立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返したとき。



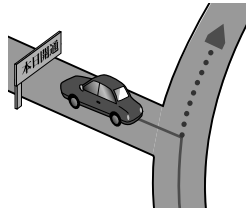
GPSによる測位ができない状態が長く続いたとき。



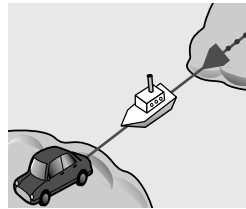
ループ橋などを通ったとき。



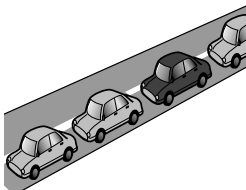
地図情報にはない新設道路を走ったとき。



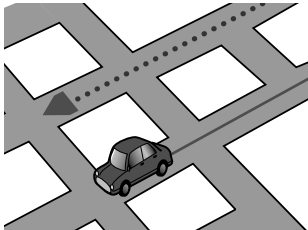
フェリーや車両運搬車などで移動したとき。



渋滞などで低速で発進や停止を繰り返したとき。



暮盤の目状の道路を走ったとき。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいたとき。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めたとき。
- 走行中に本機の電源をONにしたとき。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もないとき。

高速・高架道路での誤差について

高速道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3Dハイブリッドセンサーが勾配を検知します。本機はこの勾配の検知とディスクに収録されている道路の高さ（勾配）のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、勾配を検知しても道路の高さのデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

MEMO

サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正することができます（P.211）。この機能によりチェーンを装着したり、冬用タイヤに交換したときの誤差をより小さくできます。

低速時の位置精度について

車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。その様な車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場マップなど）で時速数km程度の低速走行が続くと自車位置が正確に表示されない場合があります。

地下駐車場マップについて

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムでは、位置精度が確保できない（上り下りの測位ができないなど）ため、地下駐車場マップが正常に動作しません。
- 下記のような走行状況などで地下駐車場マップに切り替わらないことがあります。
 - ① しばらく右左折せずに長距離走行した後に進入した場合
 - ② Uターンするような方向で進入した場合
 - ③ バック信号が接続されていない場合
 - ④ 時速数km程度の低速で車速パルスが出力されない車種の場合
 - ⑤ 収録されていない駐車場経由で進入した場合
 - ⑥ 新設された入り口から入場した場合

タイヤを交換したときや本体の設置場所を変更したときは

タイヤを交換したり本機の設置場所を変更したときは、本機の3Dハイブリッドセンサーをリセットしてください。必要に応じて、走行状況の学習結果を保存するメモリー（学習メモリー）の切り替えも行います。

センサーリセットが必要になるのは

異なるタイヤに交換したとき
 本機の設置場所や設置方法、取り付け角度を変更したとき
 測位の誤差が大きくなったとき
 夏用のタイヤと冬用のタイヤを交換したとき

リセット作業の流れ

必要に応じて学習メモリーを切り換える（下記参照）

学習メモリーをリセットする
 3Dハイブリッドセンサーをリセットする

学習メモリーとは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離／方位／傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。このため走行を重ねるごとに測位の精度が高まっていきます。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されている学習メモリーに蓄積されます。メモリー1とメモリー2の2つが用意されているので、ふだん使っているタイヤの学習結果はメモリー1に、また「冬期にスタッドレスタイヤへ交換した」場合など、ふだんと異なるサイズのタイヤの学習結果はメモリー2に保存する、といった具合に使い分けることをおすすめします。

MEMO

センサー学習状況の確認方法については、「センサー学習状況画面を見る」（P.220）をご覧ください。

センサーメモリーを切り換える

1. メインメニューで **その他の操作** **設定を変える** を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. **その他** を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. **センサーメモリー切替** を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. [決定] ボタンを押してメモリーを選ぶ

[決定] ボタンを押すごとに、「メモリー1」と「メモリー2」が切り換わります。



5. **設定終了** を選び、[決定] ボタンを押す



リセット作業を行う

1. 作業に適した安全な場所に車を止める
2. メインメニューで **その他の操作** **情報画面を見る** を選び、[決定] ボタンを押す



3. **センサー学習状況** を選び、[決定] ボタンを押す



4. **メモリー1リセット** または **メモリー2リセット** を選び、[決定] ボタンを押す



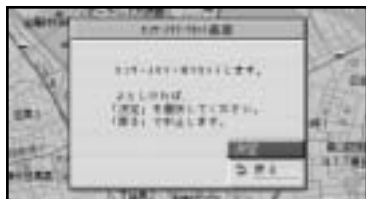
MEMO

学習メモリーをリセットすると、3Dハイブリッドセンサーの学習内容だけが消去されます。登録した場所や本機の各種設定など、ナビゲーションのメニューを使って設定した内容は消去されずに残ります。

MEMO

手順4で選べるメモリーは、メモリー1・2のうち、現在選択されているメモリー（P.297）になります。

5. **決定** を選び、〔決定〕ボタンを押す



センサーメモリーがリセットされます。

6. 〔現在地〕ボタンを押す

自動的に3Dハイブリットセンサーの初期学習を開始します。3Dハイブリットセンサーの初期学習には、しばらく時間がかかります。それまでの間はGPS衛星のみの測位となるため、自転車位置がずれたり止まったりすることがありますが、故障ではありません。初期学習が終了すると高精度で自転車位置を測位することが可能となります。

MEMO

リセット終了後、上とは異なる画面（エラーメッセージなど）が表示された場合は、同梱の別紙を確認後リセットをやり直してください。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

⚠️注意

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、2001年4月現在のもので、また、曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索（登録道使用ルート、学習ルートを含む）は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。なお、シティマップに表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、シティマップ上でもルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない区間はルート探索できません。
- 案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声自動的に設定されます。

MEMO

いくつかの都道府県にまたがる長距離のルートを設定するときは、一般国道の交差点や高速道路のインターチェンジに立寄地を指定しておく、よりよい案内地点が選ばれます。

ルート探索のされかた

- 出発地（自車位置）から最も近い、道路の前方方向の交差点が第1案内地点となります。出発地指定を行ったときは、指定した地点から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方が第1案内地点になります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と反対向きのルートが設定される場合があります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。その際には、目的地を使用したい道路の近くに移動させてみてください。
- 回避地を登録しても、その場所が回避されない場合があります。
- 遠距離の探索では回避地を考慮しないことがあります。
- 迂回路探索、渋滞考慮ルート設定、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合には迂回や回避はされないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになる場合があります。

- 立寄り地や登録道使用の指定、クイックルート探索、ショートカットメニュー、音声操作、登録ルート呼び出しによるルート探索を行った場合は、1本だけのルート探索となります。
- ルートは約3,000km程度までは探索可能です。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
- 場所によってはルート探索できない場合があります。その場合、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に立寄り地を設定してみてください。「大きな交差点」とは、細街路(100mまたは200mスケール地図でグレー表示の細い道)以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
 - 出発地、目的地、立寄り地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄り地付近でルートが途切れたように見える場合があります。(音声案内は継続)
 - ドライバーズビューでは、次の場所付近の道塗りが細い線で表示される場合があります。
 - * 行き先付近や出発地、立寄り地付近。
 - * オートリルートなどでルートを再探索した場合の自転車マーク付近。
- また、細い線で道塗りされた場合、道塗りが道路の形状と異なり、はみ出して見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 高速道路のインターチェンジ出口に目的地を設定すると、「高速出口」「料金」の音声案内はしないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点に進入する直前の自転車の進行方向が上になるように表示されます。道路が直行する交差点では、交差点拡大図の下から自転車マークが交差点内にあらわれます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自転車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向からあらわれます。
- 交差点付近で大きくカーブした場所では、実際の形状と異なる場合があります。
- ルート以外の道路の色は地図上に表示されている色と異なることがあります。
- 第1案内地点や立寄り地直後の案内地点での交差点拡大図は、表示されません。

ルート候補選択画面での高速料金について

- 特殊な料金体系の高速道路においては、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 高速道路上およびランプ上からルートを探索したときや、高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 「場所」メニューからインターチェンジなどの高速道路施設を検索し、表示された地点を出発地としてルートを探索した場合、料金が正しく表示されません。高速道路に乗る前の地点を出発地としてルートを探索してください。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりする場合があります。このような場合は実際の料金に従ってください。
- 高速料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。
- 有料道路をまったく使用しない場合は、「0円」と表示されます。

VICS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- 一定周期で情報が更新されるため、情報がそろうまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- 高速道路の高架下で、高速道路のビーコンを受信してしまう場合があります。
- ビーコンアンテナの前に遮弊物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどに、ビーコンを受信できない場合があります。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、(財)VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付 9:30～17:45

(土・日・祝祭日を除く)

FAX受付 24時間

窓口：東京センター

電話番号：0570-00-8831(全国)

携帯電話・PHS専用：(03)3592-2033(東京)

携帯電話・PHS専用：(06)6209-2033(大阪)

FAX：(03)3592-5494

VICS情報のサービス提供地域

VICSセンターよりサービスされるFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波により提供されます。なお、サービス提供地域については(財)VICSセンターへお問い合わせください。

ETCに関する注意事項

ETC (Electronic Toll Collection) とは、現在、有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払にかわる、新しい料金支払システムです。料金所に設置されている路側アンテナと、車両に装着した車載機との間で、無線通信を行って料金情報をやり取りします。これによって、料金所をノンストップ・キャッシュレスで通過できるようになります。



ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC2」(別売)と接続コード「CD-ETC10」(別売)をつなぐ必要があります。

ETCの詳細い説明は、ETCユニットの取扱説明書を参照してください。

ETCに関するお問い合わせ先

ETCの概念、計画、または提供される情報に関することは、下記へお問い合わせください。

国土交通省	TEL 03-5253-8111 (代)
日本道路公団ハイウェイガイド	TEL 03-3506-0333 (代) 受付時間 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日休)
首都高速道路公団管理部営業課	TEL 03-3539-9345
阪神高速道路公団業務部営業管理課	TEL 06-6252-8121 (代)
本州四国連絡橋公団業務部業務営業課	TEL 078-291-1048 受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日休)

また、下記のホームページでもETCに関する情報を見ることができます。

国土交通省道路局ホームページ	http://www.mlit.go.jp/road/
国土交通省道路局ITSホームページ	http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/
日本道路公団ホームページ	http://www.jhnet.go.jp/
首都高速道路公団ホームページ	http://www.mex.go.jp/
阪神高速道路公団ホームページ	http://www.hepc.go.jp/
本州四国連絡橋公団ホームページ	http://www.hsba.go.jp/

天気予報に関する注意事項

天気予報は、(株)ウェザーライン発表によるものです。

発表時刻は、午前4時と午後4時です。最新の予報をご利用ください。

全国を20キロメッシュの格子状に分割。分割されたエリアの天気と気温の予報が、約2日先まで3時間ごとに表示されます。

地面の色は、3時間ごとの天気を20キロメッシュごとに塗り分けたものです。

雨、大雨、雪、大雪は、下記の降水量を意味しています。

雨：降水量10ミリ未満 大雨：降水量10ミリ以上

雪：降水量5ミリ未満 大雪：降水量5ミリ以上



AVIC-D6500では、ご利用できません。

大雨や大雪の表現は、災害との関連を表しているものではありませんので、ご利用の際はご注意ください。

この天気予報をもとに遂行された活動において発生したいかなる人物の損傷、死亡、所有物の損失、損害に対して、パイオニア株式会社と有限会社ウェザーラインでは、すべての求償の責は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

天気予報のデータ取得エリアについて

東日本

[北海道][青森][岩手][宮城][秋田][山形][福島][茨城][栃木][千葉][新潟]
[群馬の一部][埼玉の一部][東京の一部][神奈川の一部][富山の一部][長野の一部]

中日本

[山形][福島][茨城][栃木][群馬][埼玉][千葉][東京][神奈川][新潟][富山]
[石川][福井][山梨][長野][岐阜][静岡][愛知][三重][滋賀][京都]
[大阪][奈良][和歌山][兵庫の一部]

西日本

[滋賀の一部][京都の一部][奈良の一部][和歌山の一部][大阪][兵庫][鳥取][島根]
[岡山][広島][山口][徳島][香川][愛媛][高知][福岡][佐賀][長崎]
[熊本][大分][宮崎][鹿児島][沖縄]



本機では地図表示不可能な諸島やデータ取得エリア範囲外の諸島などは、気象情報の提供範囲外となる場合があります。(一部、地図表示可能な諸島でも、気象情報の提供範囲外となる場合があります。)

パイオニア株式会社ならびに株式会社ウェザーライン社がご提供する気象情報は、気象学を中心とした科学技術をもって解析したプロダクトです。現状の科学技術では人知の及ばない要素を含んでいますので、局地的な地形などの効果や予想し得ない急激な変化により現況と予報との差異が現れることがあります。

(株)ウェザーラインが天気予報を発表する時刻は予告なく変更される場合があります。

アメダス情報について

アメダス情報は、気象庁発表によるものです。

データは毎正時に観測されて発表されます。最新の情報（過去1時間以内のもの）をご利用ください。

全国各地のアメダスポイントごとに、下にある表のデータが色分けされた四角（2D表示の場合）または棒グラフ（3D表示の場合）で表示されます。



AVIC-D6500では、ご利用できません。

アメダス情報を見るときは、地図の縮尺を20kmスケール以上にしてください。これより詳細な地図では、アメダス情報を画面に表示できません。

表示されるデータについて

データの種類	観測地点の数	表示単位
降水量	全国約1300ヶ所	0.5mm単位
気温	全国約840ヶ所	0.1 単位
風向・風速	全国約840ヶ所	16方位、1m単位
日照時間	全国約840ヶ所	0～60分、1分単位
積雪量	全国約300ヶ所	1cm単位
データ日時		毎正時

詳細市街地図収録エリアについて

本ディスクには、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

ほぼ全域を収録（187都市）

多賀城市、川越市、川口市、所沢市、岩槻市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、八潮市、富士見市、上福岡市、三郷市、吉川市、さいたま市、伊奈町、大井町、三芳町、松伏町、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、流山市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、葉山町、寒川町、玉穂町、昭和町、田富町、若草町、岐南町、笠松町、柳津町、清水町、舞阪町、名古屋市、一宮市、津島市、東海市、大府市、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、西枇杷島町、豊山町、師勝町、西春町、春日町、清洲町、新川町、大口町、木曾川町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、十四山村、飛島村、東浦町、木曾岬町、川越町、向日市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、松原市、大東市、門真市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四条畷市、交野市、大阪狭山市、忠岡町、田尻町、美原町、

尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、高砂市、播磨町、大和郡山市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西市、三宅町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、早島町、赤岡町、春日市、志免町、那覇市

大部分を収録（29都市）

蓮田市、鶴ヶ島市、宮代町、柏市、白井市、酒々井町、相模原市、大磯町、竜王町、八田村、川島町、安八町、墨俣町、稲沢市、弥富町、小坂井町、長島町、長岡京市、富田林市、柏原市、摂津市、神戸市、大和高田市、田原本町、船穂町、水巻町、宜野湾市、浦添市、南風原町

約半分を収録（125都市）

塩竈市、七ヶ浜町、伊達町、土浦市、取手市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、赤城町、尾島町、新田町、笠懸町、大泉町、本庄市、桶川市、久喜市、北本市、日高市、南河原村、白岡町、栗橋町、鷺宮町、杉戸町、庄和町、千葉市、野田市、成田市、佐倉市、我孫子市、印西市、富里市、沼南町、八王子市、厚木市、伊勢原市、二宮町、大井町、新潟市、亀田町、富山市、大島町、野々市町、七塚町、豊富村、甲西町、勝山村、岐阜市、大垣市、羽島市、北方町、穂積町、糸貫町、坂祝町、兼山町、伊豆長岡町、豊田町、新居町、雄踏町、半田市、春日井市、碧南市、刈谷市、江南市、小牧市、知多市、高浜市、日進市、東郷町、長久手町、扶桑町、平和町、佐織町、阿久比町、武豊町、三好町、津市、楠町、朝日町、御園村、草津市、五個荘町、宇治市、山城町、木津町、岸和田市、池田市、高槻市、貝塚市、茨木市、泉佐野市、箕面市、羽曳野市、島本町、姫路市、宝塚市、川西市、奈良市、橿原市、香芝市、當麻町、和歌山市、美浜

町、寄島町、里庄町、府中町、海田町、宇部市、和木町、松茂町、北島町、藍住町、北九州市、福岡市、中間市、大野城市、太宰府市、宇美町、須恵町、新宮町、柏屋町、芦屋町、吉富町、長与町、熊本市

中心部のみ収録（1065都市）

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、上磯町、大野町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、静内町、音更町、幕別町、釧路町、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、野辺地町、盛岡市、宮古市、大船渡市、水沢市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、江刺市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、玉山村、紫波町、矢巾町、石鳥谷町、金ヶ崎町、前沢町、大槌町、山田町、仙台市、石巻市、古川市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、大河原町、柴田町、山元町、松島町、利府町、大和町、富谷町、小牛田町、若柳町、迫町、矢本町、秋田市、能代市、横手市、大館市、本荘市、男鹿市、湯沢市、大曲市、鹿角市、鷹巣町、八郎潟町、角館町、十文字町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、高畠町、川西町、余目町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、原町市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、国見町、保原町、川俣町、本宮町、鏡石町、河東町、会津高田町、矢吹町、石川町、三春町、船引町、水戸市、日立市、古河市、石岡市、下館市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、水海道市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間

市、岩井市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、守谷市、茨城町、小川町、美野里町、内原町、常北町、大洗町、友部町、岩間町、岩瀬町、東海村、那珂町、瓜連町、大宮町、大子町、鉾田町、神栖町、波崎町、麻生町、玉造町、江戸崎町、美浦村、阿見町、新利根町、八郷町、千代田町、新治村、伊奈町、谷和原村、関城町、明野町、真壁町、協和町、八千代町、千代川村、石下町、総和町、五霞町、猿島町、境町、藤代町、利根町、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、今市市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、黒磯市、上三川町、南河内町、河内町、二宮町、茂木町、芳賀町、壬生町、石橋町、国分寺町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、氏家町、烏山町、那須町、西那須野町、田沼町、桐生市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、北橋村、富士見村、大胡町、宮城村、粕川村、新里村、榛名町、箕郷町、群馬町、子持村、伊香保町、吉岡町、吉井町、下仁田町、甘楽町、松井田町、中之条町、草津町、白沢村、月夜野町、水上町、境町、玉村町、薮塚本町、大間々町、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、熊谷市、行田市、秩父市、飯能市、加須市、東松山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、坂戸市、幸手市、吹上町、毛呂山町、越生町、名栗村、滑川町、嵐山町、小川町、都幾川村、玉川村、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、長瀨町、小鹿野町、美里町、児玉町、神川町、神泉村、上里町、大里村、江南町、妻沼町、岡部町、川本町、花園町、寄居町、騎西町、川里町、北川辺町、大利根町、菖蒲町、銚子市、館山市、木更津市、佐原市、茂原市、東金市、八日市場市、旭市、勝浦市、市原市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、八街市、関宿町、栄町、小見川町、多古町、東庄町、飯岡町、大網白里町、九十九里町、成東町、山武町、横芝町、一宮町、睦沢町、白子町、御宿町、

大原町、岬町、鋸南町、白浜町、千倉町、青梅市、あきる野市、小田原市、秦野市、南足柄市、中井町、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、新津市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、栃尾市、糸魚川市、新井市、五泉市、両津市、白根市、豊栄市、上越市、安田町、水原町、豊浦町、聖籠町、中条町、横越町、岩室村、弥彦村、分水町、吉田町、巻町、西川町、田上町、栄町、小出町、塩沢町、荒川町、高岡市、新湊市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、上市町、八尾町、婦中町、小杉町、大門町、福光町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、松任市、根上町、寺井町、鶴来町、津幡町、宇ノ気町、福井市、敦賀市、武生市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、松岡町、三国町、丸岡町、春江町、坂井町、今立町、甲府市、富士吉田市、塩山市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、春日居町、勝沼町、石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、中道町、芦川村、三珠町、市川大門町、増穂町、鯉沢町、中富町、身延町、敷島町、白根町、櫛形町、西桂町、忍野村、山中湖村、河口湖町、足和田村、上野原町、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、更埴市、佐久市、白田町、軽井沢町、御代田町、丸子町、東部町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、高森町、豊丘村、明科町、豊科町、穂高町、梓川村、池田町、戸倉町、小布施町、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、平田町、南濃町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、揖斐川町、池田町、本巣町、高富町、伊自良村、武芸川町、八幡町、白

鳥町、富加町、川辺町、八百津町、笠原町、下呂町、古川町、国府町、神岡町、静岡市、浜松市、沼津市、清水市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、天竜市、浜北市、下田市、裾野市、湖西市、東伊豆町、修善寺町、函南町、大仁町、長泉町、小山町、富士川町、蒲原町、由比町、岡部町、大井川町、相良町、榛原町、吉田町、金谷町、大須賀町、浜岡町、小笠町、菊川町、大東町、森町、浅羽町、福田町、竜洋町、豊岡村、細江町、豊橋市、岡崎市、瀬戸市、豊川市、豊田市、安城市、西尾市、蒲都市、犬山市、常滑市、尾西市、新城市、祖父江町、佐屋町、立田村、南知多町、美浜町、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町、額田町、藤岡町、足助町、下山村、旭町、音羽町、一宮町、御津町、田原町、赤羽根町、渥美町、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、上野市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、久居市、大安町、東員町、菰野町、河芸町、安濃町、一志町、嬉野町、三雲町、明和町、玉城町、二見町、小俣町、志摩町、阿児町、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、八日市市、守山市、栗東市、志賀町、中主町、野洲町、石部町、甲西町、水口町、甲南町、安土町、蒲生町、日野町、竜王町、湖東町、愛知川町、山東町、米原町、近江町、湖北町、高月町、安曇川町、新旭町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、井手町、宇治田原町、加茂町、笠置町、和束町、南山城村、園部町、八木町、岩滝町、伊根町、峰山町、大宮町、網野町、河内長野市、和泉市、泉南市、阪南市、豊能町、岬町、河南町、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、龍野市、赤穂市、西脇市、三木市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、社町、滝野町、稲美町、福崎町、香寺町、揖保川町、御津町、太子町、上郡町、山崎町、柏原町、氷上町、津名町、東

浦町、西淡町、三原町、南淡町、天理市、
 桜井市、五條市、御所市、都祁村、大宇陀
 町、菟田野町、榛原町、高取町、明日香村、
 吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、海南市、
 橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、
 下津町、野上町、打田町、那賀町、貴志川
 町、岩出町、かつらぎ町、高野口町、湯浅
 町、吉備町、由良町、白浜町、上富田町、
 那智勝浦町、鳥取市、米子市、倉吉市、境
 港市、淀江町、松江市、浜田市、出雲市、
 益田市、大田市、安来市、江津市、平田市、
 鹿島町、東出雲町、大社町、岡山市、倉敷
 市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総
 社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸町、
 山陽町、日生町、牛窓町、邑久町、長船町、
 灘崎町、金光町、鴨方町、真備町、落合町、
 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、
 因島市、福山市、府中市、三次市、庄原市、
 大竹市、東広島市、廿日市市、熊野町、坂
 町、江田島町、音戸町、大野町、大柿町、
 黒瀬町、瀬戸田町、向島町、沼隈町、神辺
 町、新市町、下関市、山口市、萩市、徳山
 市、防府市、下松市、岩国市、小野田市、
 光市、長門市、柳井市、美祢市、新南陽市、
 玖珂町、平生町、熊毛町、秋穂町、小郡町、
 山陽町、徳島市、鳴門市、小松島市、阿南
 市、石井町、那賀川町、羽ノ浦町、板野町、
 上板町、鴨島町、脇町、池田町、高松市、
 丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さ
 ぬき市、大内町、内海町、土庄町、三木町、
 香川町、綾南町、飯山町、多度津町、三野
 町、豊中町、詫間町、松山市、今治市、宇
 和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大
 洲市、川之江市、伊予三島市、伊予市、北
 条市、東予市、土居町、大西町、菊間町、
 重信町、松前町、砥部町、高知市、室戸市、
 安芸市、南国市、土佐市、須崎市、中村市、
 宿毛市、土佐清水市、野市町、伊野町、春
 野町、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚
 市、田川市、柳川市、山田市、甘木市、八
 女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、

小郡市、筑紫野市、宗像市、前原市、古賀
 市、那珂川町、福岡町、津屋崎町、玄海町、
 岡垣町、遠賀町、鞍手町、宮田町、桂川町、
 稲築町、穂波町、庄内町、三輪町、夜須町、
 志摩町、大刀洗町、三潴町、広川町、瀬高
 町、大和町、三橋町、高田町、糸田町、川
 崎町、椎田町、佐賀市、唐津市、鳥栖市、
 多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、諸富
 町、大和町、神埼町、千代田町、北茂安町、
 小城町、三日月町、塩田町、嬉野町、長崎
 市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、
 福江市、平戸市、松浦市、三和町、多良見
 町、時津町、飯盛町、有明町、国見町、加
 津佐町、口之津町、西有家町、有家町、生
 月町、佐々町、郷ノ浦町、八代市、人吉市、
 荒尾市、水俣市、玉名市、本渡市、山鹿市、
 牛深市、菊池市、宇土市、不知火町、松橋
 町、小川町、植木町、大津町、合志町、泗
 水町、西合志町、御船町、益城町、芦北町、
 五和町、大分市、別府市、中津市、日田市、
 佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後
 高田市、杵築市、宇佐市、日出町、三重町、
 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、
 日向市、串間市、西都市、えびの市、清武
 町、佐土原町、三股町、高鍋町、門川町、
 鹿児島市、川内市、鹿屋市、枕崎市、串木
 野市、阿久根市、名瀬市、出水市、大口市、
 指宿市、加世田市、国分市、西之表市、垂
 水市、東市来町、宮之城町、加治木町、隼
 人町、志布志町、石川市、具志川市、平良
 市、石垣市、名護市、糸満市、沖縄市

オービスポイントについて

別売のオービスROM「CNAD-OP03D」を利用すると、全国531ヵ所のオービスポイントとねずみ取り目撃ポイント82ヵ所の情報を画面と音声の両方で案内させることができます。

オービスポイントを表示させるには

オービスポイントのマークを画面に表示させるには、「設定を変える その他」メニューの「オービスポイント」(P.214)を「全ポイント」、「高速道のみ」、「一般道のみ」のいずれかに設定してください。



オービスROMには、株式会社三栄書房のSSR委員会が確認したポイントのデータが収録されています。

オービスROM「CNAD-OP01」または「CNAD-OP02」はご利用できません。

「DVDナビゲーションマップ・タイプ Vol.1」でオービスROM「CNAD-OP01」を利用した場合は異なり、オービスポイントの詳細情報を表示させることはできません。ねずみ取りポイントは音声案内のみとなります。

「Map Fan V」について

本機で作成しPCカードに保存した登録した場所、走行軌跡を「Map Fan V」(マップファン ファイブ)と交換できます。詳しくは「Map Fan V」のガイドブック、AVIC-D9500/9000の項をご覧ください。



「Map Fan」はインCREMENTP(株)の登録商標です。
「Map Fan V」はインCREMENTP(株)製の商品です。
登録したルートは、「Map Fan V」と交換できません。

「Map Fan」に関するお問い合わせ先

「インCREMENTP(株)インフォメーションセンター」 TEL 03-3491-5032
(受付時間) 10:00～12:00
13:00～17:00
(土日、祭日および休業日を除く)

ホームページ

<http://www.incrementp.co.jp>

2画面でのナビゲーションの映像

2画面でナビゲーションとテレビの映像を表示しているときでも、ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーションの映像だけになることがあります。



AVIC-D6500では、2画面でナビゲーションとテレビの映像を表示することはできません。

メニュー操作を行ったときや音声操作を行ったときなど、ナビゲーションの映像が優先的に表示されます。(一時的に1画面になる場合もあります。)

地図の表示方法をツインビューに切り換えたときは、ツインビューの左側の地図がナビゲーションの映像になります。











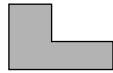
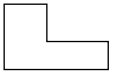
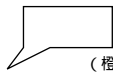
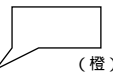

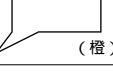




地図の表示方法をドライバースビューに切り換えたときは、ドライバースビューのウィンドウマップ内の地図がナビゲーションの映像になります。



































地図の表示方法をハイウェイモードに切り換えたときは、ハイウェイモード1画面になります。


























ハイパーツインスクロールにはなりません。スクロールのスピードが速くなる、ハイパースクロールとなります。

ルート案内中の交差点案内表示(ドライバースビューまたは交差点拡大図の表示)はされません。(ガイド音声は出力されます。)

地図記号一覧

記号	意味	記号	意味
 (青)	高速道路・有料道路	 (赤)	一般国道
 (緑)	主要地方道	 (橙)	一般都道府県道
 (濃灰)	一般道	 (淡灰)	細街路
 (黒/白)	鉄道	 (白)	県境
 (水色)	海、川、湖沼	 (緑)	緑地 (ゴルフ場、公園など)
 (あずき色)	施設	 (クリーム色)	鉄道・駅舎
 (青)	インターチェンジ名 (青)	 (黒)	交差点名 (黒)
 (橙)	ジャンクション名 (青)	 (橙)	交差点名 (黒)
 (橙)	ランプ名 (青)		
 (赤)	インターチェンジ (5km地図のみ)	 (赤)	ランプ出入口
		 (赤)	(青: 入口 赤: 出口) (100m、200m地図のみ)

記号	意味	記号	意味
	サービスエリア		小学校
	パーキングエリア		中学校
	駐車場		高校、その他教育施設
	道の駅		高専
	料金所		大学
	トンネル出入口		デパート、スーパー
	空港、飛行場		D I Yショップ
	ヘリポート		ホテル
	フェリー乗り場		ホール、劇場、文化会館
	灯台		公園
	工場など		遊園地、テーマパークなど
	警察署		動物園
	消防署		植物園
	病院、保健所		水族館
	公民館、公共図書館など		美術館、博物館
	郵便局		野球場、スタジアム
	N T T		体育館

記号	意味	記号	意味
	競馬場		温泉、銭湯
	ゴルフ場、ゴルフ練習場		山岳
	スキー場		指示点
	モータースポーツ		教会
	スポーツ施設		キャンプ場
	海水浴場		テニスコート
	ヨットハーバー		乗馬クラブ
	その他スポーツ施設		ボウリング場
	自動車学校		観光船乗り場
	牧場		マンション
	城、城跡		
	神社		
	寺		
	墓地		
	タワー、展望台		



地図データの整備上、通常の地図とシティマップでは、道路種別色が異なることがあります。

地図の回転などにより、文字どうし、あるいは文字と記号とが重なる場合があります。

車の進行方向によって、交差点名が地図上の表記と実際の表記で異なる場合があります。

地図記号は、実際に地図に表示される記号と若干異なる場合があります。

メニュー別索引

メインメニュー

行き先

探す	▶▶ P.35
ドライブガイドで探す	▶▶ P.44
自宅にする	▶▶ P.46
地図で決める	▶▶ P.35
ここにする	▶▶ P.35

(行き先の位置を決めた後)

探索開始	
条件指定	▶▶ P.48
立寄地指定	▶▶ P.50
出発地指定	▶▶ P.54
学習ルート使用	▶▶ P.55
登録道使用	▶▶ P.56

メインメニュー

場所

探す	
ドライブガイドで探す	▶▶ P.44
登録する	

名前で探す	▶▶ P.60
住所で探す	▶▶ P.62
電話番号で探す	▶▶ P.64
ジャンルで探す	▶▶ P.65
テーマで探す	▶▶ P.69
周辺から探す	▶▶ P.72
郵便番号で探す	▶▶ P.75
緯度経度で探す	▶▶ P.76
最近探した場所から探す	▶▶ P.77
登録した場所から探す	▶▶ P.78

ここを登録する	▶▶ P.81
探して登録する	▶▶ P.81
地図で探して登録する	▶▶ P.81
画像で探して登録する	▶▶ P.174
メモリダイアルから登録する	▶▶ P.85

(場所の位置を決めた後)

名前を変更する	▶▶ P.169
マークを変更する	▶▶ P.170
立体マークを変更する	▶▶ P.170
「自宅」で登録する	▶▶ P.83
「回避地」で登録する	▶▶ P.84
よみを変更する	▶▶ P.171
電話番号を変更する	▶▶ P.171
効果音を変更する	▶▶ P.172
画像を変更する	▶▶ P.173
探索条件を変更する	▶▶ P.174
位置を移動する	▶▶ P.175

メインメニュー

案内中のルート	再び探索する	▶▶ P.88
	迂回する	▶▶ P.89
	立寄地を加える	▶▶ P.91
	プロフィールで確認する	▶▶ P.93
	スクロールで確認する	▶▶ P.93
	登録する	▶▶ P.94
	消す	▶▶ P.95

メインメニュー

情報を見る	VICS情報	▶▶
	気象情報	▶▶
	ホームページ	▶▶
	FM文字放送	▶▶ P.146

地図情報	▶▶ P.102
FM図形情報	▶▶ P.104
FM文字情報	▶▶ P.105
ビーコン図形情報	▶▶ P.106
ビーコン文字情報	▶▶ P.106
放送局選局	▶▶
VICSセンター情報	▶▶ P.111

データを取得する	▶▶ P.142
天気予報を見る	▶▶ P.143
アメダス情報を見る	▶▶ P.144
警報・注意報を見る	▶▶ P.145
天気予報時刻を選ぶ	▶▶ P.144

オートで選ぶ	▶▶ P.108
リストで選ぶ	▶▶ P.108
シークで選ぶ	▶▶ P.109
マニュアルで選ぶ	▶▶ P.110

接続開始	▶▶ P.124
読込中止	▶▶ P.127
ホーム	▶▶ P.128
URL入力	▶▶ P.128
マイページ	▶▶ P.129
履歴	▶▶ P.133
PCカードへページの保存	▶▶ P.131
PCカードからページの読込	▶▶ P.132
ブラウザの設定	▶▶ P.116
終了	▶▶ P.134

メインメニュー

その他の操作

ログマークを選ぶ	▶▶▶ P.166	PCカード	▶▶▶ P.194
データを編集する	▶▶▶	呼び出し	▶▶▶ P.168
設定を変える	▶▶▶	編集	▶▶▶ P.169
携帯電話を使う	▶▶▶	消去	▶▶▶ P.176
情報画面を見る	▶▶▶		
使い方Q&Aを見る	▶▶▶ P.289	PCカード	▶▶▶ P.194
外部カメラを使う	▶▶▶ P.225	呼び出し	▶▶▶ P.177
		編集	▶▶▶ P.178
		消去	▶▶▶ P.179
登録した場所			
登録したルート			
走行軌跡		新規登録	▶▶▶ P.180
ルートに使う登録道		PCカード	▶▶▶ P.194
学習した道		呼び出し	▶▶▶ P.182
最近探した場所		編集	▶▶▶ P.183
		消去	▶▶▶ P.184
		新規登録	▶▶▶ P.186
		呼び出し	▶▶▶ P.187
		編集	▶▶▶ P.188
		消去	▶▶▶ P.189
		再学習	▶▶▶ P.191
		呼び出し	▶▶▶ P.192
		消去	▶▶▶ P.193
(PCカードを選んだ後)		音量設定	▶▶▶ P.215
カードへ保存する	▶▶▶ P.194	画面表示位置設定	▶▶▶ P.216
カードから読み込む	▶▶▶ P.196		
カード内のデータを消去する	▶▶▶ P.197		
カードを初期化する	▶▶▶ P.198		
地図	▶▶▶ P.199		
ルート	▶▶▶ P.199		
VICS	▶▶▶ P.199		
その他	▶▶▶ P.199		
10キーカスタマイズ	▶▶▶ P.233		
ハードウェア			
自転車位置	▶▶▶ P.217		

発信・着信履歴を使う	▶▶ P.154
メモリダイヤルを使う	▶▶ P.159
ロードサービスを使う	▶▶ P.157
携帯電話から読む	▶▶ P.158
短縮ダイヤルを設定する	▶▶ P.162
音量を調整する	▶▶ P.164

ショートカットメニュー

(スクロール画面で表示された場合)

この情報を見る	▶▶ P.228
ここへ行く	▶▶ P.230
ここへ立ち寄る	▶▶ P.230
ここを登録する	▶▶ P.231
この周辺を探す	▶▶ P.231

走行状態	▶▶ P.218
衛星側位状態	▶▶ P.219
センサー学習状況	▶▶ P.220
接続状態	▶▶ P.222

ショートカットメニュー

(案内中のルートがある現在地画面で表示された場合)

ルートスクロール	▶▶ P.231
ここへ行く	
ここへ立ち寄る	
ここを登録する	▶▶ P.231
この周辺を探す	▶▶ P.231

キーワード索引

英数字

10キー	2,232
10キーに割り当て可能な機能	235
2D時の地図回転	203
2次元測位	290
3D時地図の回転	203
3次元測位	290
carrozzeria.com	136
cdmaOne™	150,213
CGI	137
D-GPS情報放送局	292
D-GPSの状態	220
ETC	40,303
ETCユニット	224
FM多重チューナーの設定	101,210
FM多重放送	98
FM文字オンエア運動	147
FM文字放送	146
GPS (Global Positioning System)	290
GPSアンテナ	223
Gセンサー	290
http	137
MONET-i	115,136
PCカード	194
SSL	137
TV走査方式	211
URL	128,137
VICS情報	22,98
VICS情報マーク	101
VICSセンター	98,111
VICSの情報提供時刻	8
「設定を変える VICS」メニュー	201

あ

アクセスポイント	116,118
アメダス情報	140,144
案内中のルート	22

〔案内〕ボタン	2
行き先	22
緯度経度検索	76
イルミネーション	223
インターネット	115,136
インターネット	22,114
ウェザーライブ	140
〔迂回〕ボタン	2
営業時間考慮検索	72
衛星位置表示	220
衛星測位状態画面	220
エンドレスファイル	180
オーディオミュート	212
オート発話スタンバイ	212
オートフリーズーム	43,203
オートリルート	42,207
オービスポイント	214,310
〔オフフック / 切替〕ボタン	2,152
音声案内	40
音声操作	242
音声認識コントローラー	2
音声認識ノイズマイク	212
〔オンフック / 確定〕ボタン	2,152
音量設定	215

か

回避地	84
外部カメラ	214,225
学習度	
距離の～	221
傾斜(3D)の～	221
今回の～	221
方位の～	221
学習ルート	55
学習ルート探索	208
カスタマイズショートカットメニュー	23
簡易ハイブリッドシステム	291
画面表示位置設定	216

気象情報.....	140
規制表示.....	209
軌跡自動消去.....	205
軌跡表示.....	8,205
クイックルート探索.....	47
区間別条件指定.....	48
区間旅行時間表示.....	210
傾斜計.....	219
〔決定〕ボタン.....	2
現在地情報の表示.....	205
現在地の地名.....	8
〔現在地〕ボタン.....	2
現在の時刻.....	8
効果音.....	172
交差点案内表示.....	34,38,203
高精度3Dハイブリッドシステム.....	291
高速施設のイラスト表示.....	20,38,208
高度.....	220

さ

最近探した場所.....	77
サウンドトラップ.....	213
〔削除〕ボタン.....	2
サブネットマスク.....	116,120
自車位置.....	217
自車マーク.....	8,10
施設名ダイレクトスタート.....	245
自宅登録.....	83
シティマップ.....	13,204
自動地下駐車場マップ.....	206
車速バルス.....	223
車両姿勢表示.....	221
ジャンルの種類.....	67
十字カーソル.....	9
渋滞考慮ルート設定.....	107
渋滞情報.....	100
渋滞表示.....	209
渋滞表示の点滅.....	209
渋滞を考慮したルート探索.....	209
周辺検索.....	72
受信感度表示.....	108
出発地.....	54
受話音量.....	164
順調表示.....	209
使用する携帯電話.....	213
ショートカットメニュー.....	23,228
ズームングスクロール.....	11
スカイビュー.....	14
スクロール方面表示.....	11,206
スケール円.....	8
スケールコントローラー.....	2
スケールバー.....	12
スケール表示.....	8
セーフティインフォメーション... ..	40,213
セカンダリーDNS.....	116,120
接続状態画面.....	223
前後G / 回転速度計.....	219
センサー学習状況画面.....	221
センサーメモリー切替.....	211
全ルート再探索.....	88
総合学習度.....	221
走行軌跡.....	180
走行状態画面.....	218
測位状態.....	220
速度.....	219
「設定を変える その他」メニュー... ..	202

た

ダイレクトインターネットアクセス..	125
ダイレクトキー.....	23,232
立寄地.....	50,91
地下駐車場マップ.....	39
着信音量.....	164
着信履歴.....	154
注意報・警報.....	145
地図情報の網かけ表示.....	211
「設定を変える 地図」メニュー.....	200
駐車場満車表示.....	209
昼夜の地図の色.....	205
ツインビュー.....	15
通常発話モード.....	244
使い方Q&A.....	289

〔訂正〕ボタン	2
テーマ	69
デジカメリンク	173
デジタル携帯電話	150
ディファレンシャルGPS （D-GPS）	292
デモ走行	211
天気予報	140,143
天気予報表示	204
電源電圧	219,223
電話操作ハンズフリー	213
電話番号検索	64
到着予想時刻	205
登録した場所	78,168
登録したルート	94,177
登録地画像表示	204
登録地のルート探索条件	208
登録道	56,186
道路料金	21
時計表示	211
ドライバーズビュー	15
ドライバーズビューウィンドウマップ	15,204
ドライブガイド	44
トリップ	219
取付け位置	223
な	
ナイアガラビュー	14
ナビゲーションの設定	199
ノースアップフロントワイド	203
ノーマルビュー	14
は	
パーキングブレーキ	223
ハイウェイマップ	15
ハイウェイモード	15,19
ハイパースクロール	10
ハイパーツインスクロール	11,205
場所	22
バック信号	224
発信履歴	154

発話するタイミング	243
〔発話〕ボタン	2
パルス	219
ハンズフリー	153
ビーコン	98
ビーコン文字図形表示	106,210
ビーコンユニット	223
ビジュアルシティマップ	13,204
ビューメモリー	18
フェリー航路	207
復帰ルート探索	42
プライマリーDNS	116,119
ブラウザ	123
フリーズーム	12
フリーダイヤル	64
ブロックサーバー	116,120,122
プロバイダー	116,136
ボイスヘルプ	212,244
方位表示	8,16
方面案内表示	8,206
ホーム	128,137
ホームページ	124

ま

マイク	2
マイページ	131,137
マップマッチング	217,293
マルチビューコントローラー	2
道のり・到着予想時刻表示	205
メインメニュー	22
メールアドレス	137
〔メニュー〕ボタン	2
メモリー1 / メモリー2	221
メモリアイタル	85,158
モード表示	219
〔戻る〕ボタン	2

や

郵便番号検索	75
有料道路	207
予想時刻速度	208

よみ171

ら

リアルタイムリルート.....	42,207
リアルタイムロゴマーク表示.....	166
リクエスト案内.....	41
立体マーク.....	170
立体ランドマーク表示.....	13,204
リモコン.....	2
〔リルート〕ボタン.....	2,88
ルート案内.....	34
ルートインフォメーション.....	38,205
ルート音声.....	40
ルートスクロール.....	93
ルート設定.....	34
ルート探索基準.....	207
ルート探索の候補数.....	207
「設定を変える ルート」メニュー.....	201
ルートプロフィール.....	93
レーン案内表示.....	8
レベル3：地図.....	99
レベル2：簡易図形.....	99
レベル1：文字.....	99
ロードサービス.....	157
ロードノイズ.....	242,278
ロゴマーク.....	166

やりたいこと索引

あ

行く

行きたい場所に～ 35, 230

移動する

登録した場所の位置を～ 175

動かす

見たい場所まで地図を～ 10

選ぶ

FM放送局を～ 146

VICS放送局をシークで～ 109

VICS放送局をマニュアルで～ 110

VICS放送局をリストで～ 109

お店を～ 65

か

解除する

インターネットの接続を～ 134

地図の回転を～ 16

回転させる

地図の向きを左右に～ 16

帰る

自宅に～ 46

変える

10キーに割り当てた機能を～ 233

立ち寄り順序を～ 92

地図の縮尺を～ 12

地図の表示方法を～ 14

地図を見る角度を～ 17

登録した走行軌跡の名前を～ 183

登録した場所の画像を～ 173

登録した場所の効果音を～ 172

登録した場所の

探索条件を～ 174

登録した場所の

電話番号を～ 171

登録した場所の名前を～ 169

登録した場所のマークを～ 170

登録した場所のよみを～ 171

登録した場所の立体マークを～ 170

登録したルートの名前を～ 178

ナビゲーションの設定を～ 199

予報時刻を～ 144

確認する

VICS情報を～ 249

自分の車の現在地を～ 8

道路料金を～ 21

配線の接続状態を～ 222

放送局の受信感度を～ 108

ルートの案内順を～ 93

ルートを～ 93

確認する（音声操作で）

距離を～ 250

現在の日時を～ 250

地図上の情報を～ 249

ルートを 257

かける

検索した施設に電話を～ 152

最近電話した相手に

電話を～ 154

地図上の場所に電話を～ 228

電話を～ 152

メモリダイヤルに電話を～ 159

ロードサービスに電話を～ 157

かける（音声操作で）

検索した施設に電話を～ 260

電話を～ 260

登録した場所に電話を～ 260

フリーダイヤルに電話を～ 261

メモリダイヤルに電話を～ 261

聞く（音声操作で）

気象情報を～ 262

切り換える

全角・半角を～ 28

消す

PCカードのデータを～ 197

案内中のルートを～ 95

最近探した場所を～	193
走行軌跡を～	184
登録した場所を～	176
登録したルートを～	179
登録道を～	189
マイページを～	131
メモリダイヤルを～	160

さ

再学習させる

学習した道を～	191
---------	-----

再探索させる

新たなルートを～	88
自動的にルートを～	42

探す

行きたい場所を～	35,230
緯度経度を入力して場所を～	76
最近探した場所を～	77
ジャンルを指定して場所を～	65
住所を指定して場所を～	62
近くのガソリンスタンド	

などを～	72
------	----

テーマを指定して場所を～	69
--------------	----

電話番号を入力して場所を～	64
---------------	----

登録した場所を～	78
----------	----

ドライブガイドで場所を～	44
--------------	----

郵便番号を入力して場所を～	75
---------------	----

名前を入力して場所を～	60
-------------	----

探す（音声操作で）

観光地を指定して施設を～	252
--------------	-----

最近探した場所を～	254
-----------	-----

ジャンルを指定して

場所を～	252
------	-----

住所を指定して場所を～	251
-------------	-----

近くのガソリンスタンド

などを～	251
------	-----

電話番号から場所を～	253
------------	-----

登録した場所を～	253
----------	-----

最寄り駅を指定して

施設を～	251
------	-----

削除する

誤って入力した文字を～	30
-------------	----

案内中のルートの立寄地を～	92
---------------	----

立寄地を～	52
-------	----

指定する

出発地を～	54
-------	----

立ち寄りしたい場所を～	50
-------------	----

探索条件を～	48
--------	----

自転車位置のずれを～	217
------------	-----

取得する

気象データを～	142
---------	-----

準備する

インターネット接続を～	116
-------------	-----

初期化する

PCカードを～	198
---------	-----

接続する

インターネットに～	124
-----------	-----

設定する

接続先プロバイダーを～	116
-------------	-----

操作する

インターネット画面を～	125
-------------	-----

た

探索させる

迂回路を～	89
-------	----

自宅に帰るルートを～	46
------------	----

渋滞を考慮したルートを～	107
--------------	-----

ルートを～	35,230
-------	--------

探索させる（音声操作で）

自宅に帰るルートを～	256
------------	-----

近くのガソリンスタンドに

行くルートを～	256
---------	-----

登録した場所に行くルートを～	256
----------------	-----

ルートを～	255
-------	-----

調整する

TVモニターの表示位置を～	216
---------------	-----

音量を～	215
------	-----

受話音量を～	164
--------	-----

着信音量～	164
-------	-----

追加する

案内中のルートに立寄地を～	91
---------------	----

立寄地を～	52
-------	----

通話する
 ハンズフリーで 153

使う
 学習ルートを ~ 55
 ショートカットメニューを ~ 228
 ダイレクトキーを ~ 232
 短縮ダイヤルを ~ 162
 登録道を ~ 56
 ロードサービスを ~ 157

転送する
 メモリダイヤルを ~ 158

登録する
 案内中のルートを ~ 94
 回避道を ~ 84
 自宅の場所を ~ 83
 縮尺と角度を ~ 18
 登録道を ~ 186
 ホームページを ~ 129
 メモリダイヤルを使って ~ 85
 ルートに使う道を ~ 186
 友人宅などを ~ 81, 231

登録する（音声操作で）
 探した場所を ~ 254

な

並べ替える
 立ち寄り順序を ~ 53, 92
 メモリダイヤルの
 リストを ~ 160

は

表示させる
 オービスポイントを ~ 310
 番組内容を ~ 147
 ショートカットメニューを ~ 228
 見たい場所の地図を
 すばやく ~ 11
 ログマークを地図上に ~ 166

保存する
 データをPCカードに ~ 194

ま

見る
 FM文字放送の番組を ~ 146
 VICS情報マークの詳細を ~ 102
 VICS情報を簡易図形
 表示で ~ 104
 VICS情報を地図上で ~ 100
 VICS情報を文字表示で ~ 105
 VICSセンターからの
 連絡を ~ 111
 アメダス情報を ~ 144
 衛星測位状態を ~ 219
 お店の情報(ログマーク)を ~ 167
 外部カメラの映像を ~ 225
 高速道路の施設情報を ~ 19
 ここの情報を ~ 228
 センサー学習状況を ~ 220
 走行状態を ~ 218
 注意報・警報を ~ 145
 使い方Q&Aを ~ 289
 天気予報を ~ 143
 ドライブガイドを ~ 44
 ナビゲーションの状態を ~ 218
 ビーコンからの情報を ~ 106
 ホームページを ~ 124
 ログマークを ~ 166

文字を入力する
 英数字 28
 カタカナ 28
 漢字 30
 記号 28
 ひらがな 29
 難しい漢字 30

や

呼び出す
 登録したルートを ~ 177
 走行軌跡を ~ 182

読み込む
 PCカードのデータを ~ 196

地図データについて

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図および20万分の1地勢図を使用しました。(測量法第30条に基づく成果使用承認 平13企指公第5号、平8総使第31号)

この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース(©2002財団法人日本デジタル道路地図協会)を使用しました。(測量法44条に基づく成果使用承認90-063)

この地図の作成に当たっては、小田原市長の承認を得て、同市発行の2.5千分の1国土基本図を使用しました。(承認番号小田原市指令第52号)

この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2.5千分の1国土基本図を使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成10年度 知都発第193号)

この地図の作成に当たっては、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用しました。

(平成12年 1902養建第号)

この地図の作成に当たっては、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調整しました。

(承認番号平10・近公・第34号)

データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用しています。

TMT承認番号 02-185

本製品に使用している交通規制データは、2001年4月現在のもので、本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をバイオニア(株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複製複製・加工または改変することはできません。

©2002.TMT

この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

高速道路料金データについて

この地図ディスクに使用している都市高速・都市間高速・一部の有料道路の料金データは、2002年7月1日現在のもので、

VICSサービスエリアについて

この地図ディスクに収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。

北海道(札幌)(旭川)(函館)(北見)、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県、富山県、福井県、石川県、愛知県、三重県、岐阜県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

VICSサービスエリアが拡大されても、本ディスクでは新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

郵便番号のデータについて

郵便番号検索のデータは次の時点のものです。

大口事業所の郵便番号：2001年8月現在

ビルの郵便番号：2001年10月現在

住所の郵便番号：2001年10月現在

テレビ局リストのデータについて

テレビ局リストのデータは2002年6月調査現在のものです。

その他情報提供元

NTT情報開発株式会社(2001年7月現在のタウンページデータ)

財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)

三井物産株式会社(2001年9月現在の駐車場データ)

監修：夜景愛好家 縄手真人(夜景コメント・夜景写真)

小黑俊雄(写真撮影、百名山・高原植物)

加藤庸二(写真撮影、名滝百選)

関係各市区町村観光課・観光協会(写真協力、さくら名所・名水百選)

米国特許No.4,558,302および対応外国特許

訪問宅電話番号データについて

訪問宅電話番号データは、日本ソフト販売(株)「Bellemax®」(2001年6月現在)のデータを使用しております。訪問宅電話番号検索では、一部検索またはピンポイント表示できない場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましては、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まる☎フリーフォンおよび「0120」で始まる☎フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日を除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口：☎ **0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）

カタログのご請求窓口：☎ **0070-800-8181-33**
ファックス： **03-3490-5718**

バイオニアホームページのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内
カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日を除く）

電話：☎ **0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）

ファックス：☎ **0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日を除く）

電話：☎ **0120-5-81028**
03-5496-2023（一般電話）

ファックス：☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日を除く）

電話： **098-879-1910**（一般電話）
ファックス： **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2002

< KAMZF/02100000 > < IRA1285-A >